

和 昭

新日本地理

廣島高等師範學校附屬中學校

地理研究會 著

京 東

修文館藏版

教
5
2000

42911

教科書文庫

4
291
51-1928
20000
39361

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



濟定檢省部文

用科理地校學中並校學範師 日貳拾月壹年三和昭

教科書文庫

4

291

51-1928

2000039361

和 昭

理地本日新

校學中屬附校學範師等高島廣

著會究研理地

京 東

兌發館文修

広島大学図書

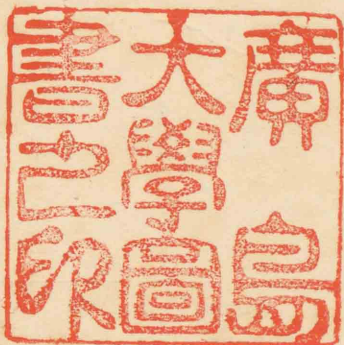
2000039361



資 料 室

375.9
H118

12449



— 穂高山 —

— 徳本峠より —

松本驛から筑摩電気鐵道に乗り換へて約一時間で島々に達する。これから島々谷の溪流に沿うて徳本峠に登れば、脚下に上高地の仙境を俯瞰し、仰げば穂高の峻峰を指呼の間に望み得られ、眼界頓に開けて風光佳く、眞に自然の壮大に恍惚としてわれを忘れさせる。穂高山は日本アルプス中最も峻嶒である、山骨稜々、晩春なほ残雪を載いてゐる。



剛 金 海



山 高 穗

海金剛

朝鮮金剛の勝は通例これをわけて内金剛・外金剛・新金剛及び海金剛の四とする。蓬萊・楓嶽・皆骨は一萬二千衆峰の内・外・新の金剛の四季折々の特相を示した名である。海金剛はこれ等の特相と稍その趣を異にしてゐる。見渡せば奇岩怪石が參差として海濱に亂立し、日本海の怒濤がこれを噛んで飛沫散り風光頗る壯絶である。亦實に雞林屈指の勝區である。

例言

本書は中等學校の教科書に充てんが爲め編纂したもので、昭和新世界地理及び和昭新地理學通論と相連絡せしめ、地理教授の本旨の達成を期するものである。本書は從來の無味乾燥な記載的叙述を避け、地文人文に關する教材の選擇排列に留意し、叙述の一方に偏することを避け、地理學習をして興味多からしむることに努めた。本書編纂に當り特に留意した要點は略、次の如くである。

- 一、尋常小學地理書と連絡せしめ、適當の範圍に於て内容程度を高め、且記述の重複を避けた。
- 一、最近に於ける帝國國勢の發展を知らしめることに努め、人文地理特に産業に重點を置いた。
- 一、人口及び産業の諸統計は最近の調査によるものを採擇した。
- 一、挿圖挿畫の選擇に留意すると共にその數を増加した。特に本文の

一 記述の足りない點を補ふ爲めこれ等を系統的に排列し學習者の興味を喚起するに努めた。

一 文章は口語體を採り記述は平易を旨とし學習者が理解し易いやうに努めた。

一 卷末に設問を附し學習者の豫習復習の便に供した。

本書編纂の趣旨は前述のやうである。教授者各位は實際の授業に當つて十分に活用せられんことを切望する次第である。

昭和二年八月三日發行
 大日本帝國
 地理院編纂
 編輯者 藤田鳴鶴

新日本地理 目次

第一編	緒論	大日本帝國	一
第二編	地方誌		
第一章	關東地方		七
第二章	奥羽地方		壹
第三章	中部地方		四
第四章	近畿地方		七
第五章	中國地方		壹
第六章	四國地方		一〇三
第七章	九州地方		一三二
第八章	臺灣地方		一三六
第九章	北海道地方		一四四
第十章	樺太地方		一五〇



目次

目次

第十一章	朝鮮地方	一六五
第十二章	關東州	一八〇
第十三章	南洋群島	一八五
第三編 總括		
第一章	地形	一八九
第二章	海洋	一九四
第三章	氣候	一九六
第四章	生物	一九八
第五章	産業	二〇〇
第六章	交通	二〇五
第七章	住民	二〇七
第八章	政治	二一五
第四編	結論	二一九

和昭新日本地理

第一編 緒論

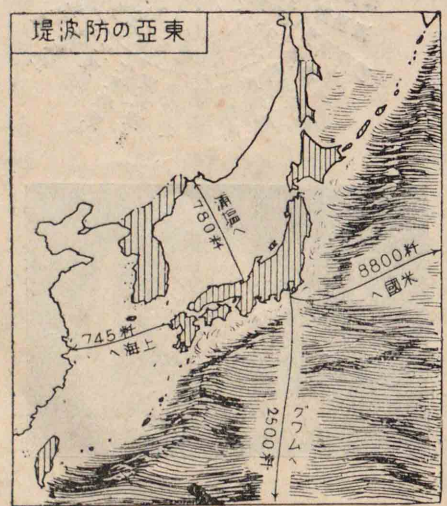
大日本帝國

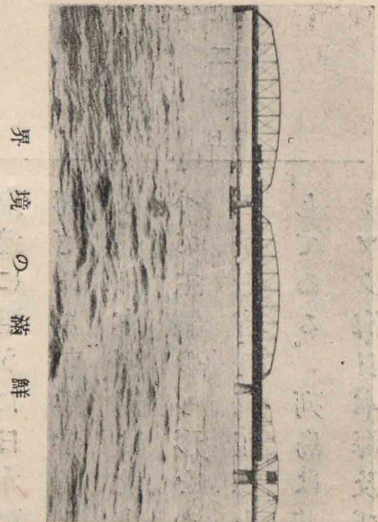
わが國の位置

の東
防亞
波海
堤上

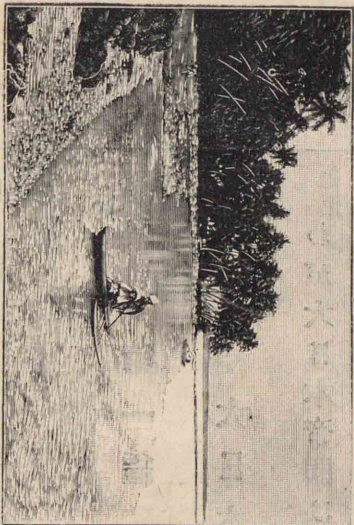
わが大日本帝國は、アジヤ大陸の東邊に沿うた日本列島と、大陸の一部である朝鮮半島とから成つてゐる。日本列島は、北東から南西に向つて三個の弓形をつくり、長さ凡そ四千七百軒、東亞海上の防波堤を成してゐる。列島は、其の内側はオホーツク海、日本海及び東支那海を挾

緒論 大日本帝國

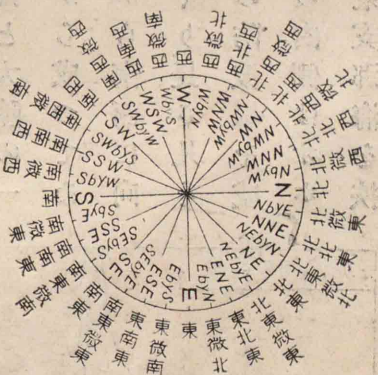




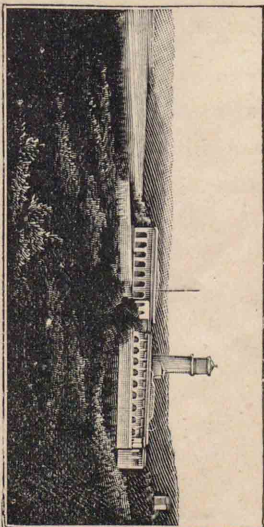
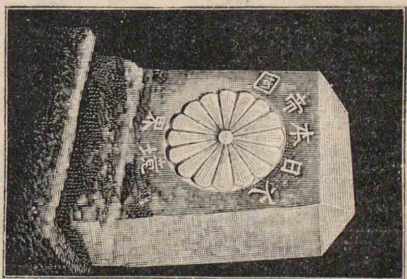
朝鮮の境界



千島の椰子



天測境界標



臺灣南岬燈臺

極四の國帝
 極北 千島の阿煩島 北緯五〇度五五分
 極南 臺灣の七星岩 南緯二七度四分
 極東 千島の占守島 東經一七度四分
 極西 澎湖清島の花嶼 西經一一度二分

わが國の面積
 日本要部面積
 單位平方軒

地域	面積 (平方軒)
本州	三三四
朝鮮	三三〇
北海道本島	三三〇
九州	四六
樺太	三三
臺灣	三三
四國	六

んで近くアジャ大陸に對し、外側は太平洋を隔てて遠くアメリカ大陸及び大洋洲に對する。朝鮮半島はアジャ大陸の東部に突出て、日本海と黃海とを分け、朝鮮海峽を隔てて日本列島と相對する。わが國は、四面殆ど海を環らした海國で、従つて千島、間宮、臺灣、巴士等の諸海峽を挾んで、近く他國の領域と對する部分が多く、僅かに樺太と朝鮮との北部に於て他國と領域が相接する。即ち樺太では北緯五十度線により、朝鮮では鴨綠、豆滿の二江と白頭山とによつて、ソヴイエト聯邦領及び支那の滿洲と連るのみである。帝國の面積は、凡そ六十七萬八千方軒で、世界列強の面積に比べて敢へて小さくはない。その中、本州は最大で全體の凡そ三分の一を占め、朝鮮これに次ぎ、北海道本島、九州、樺太、臺灣、四國とが順次相次いである。この中で、本州、四國、九州は帝國の主要部で、文化夙に開け人口稠密であるが、北海道は明治維新後開發せられた地方で、まだ人口が稀薄である。これ等の諸地方は、新領土に對して内地と呼ばれ、往

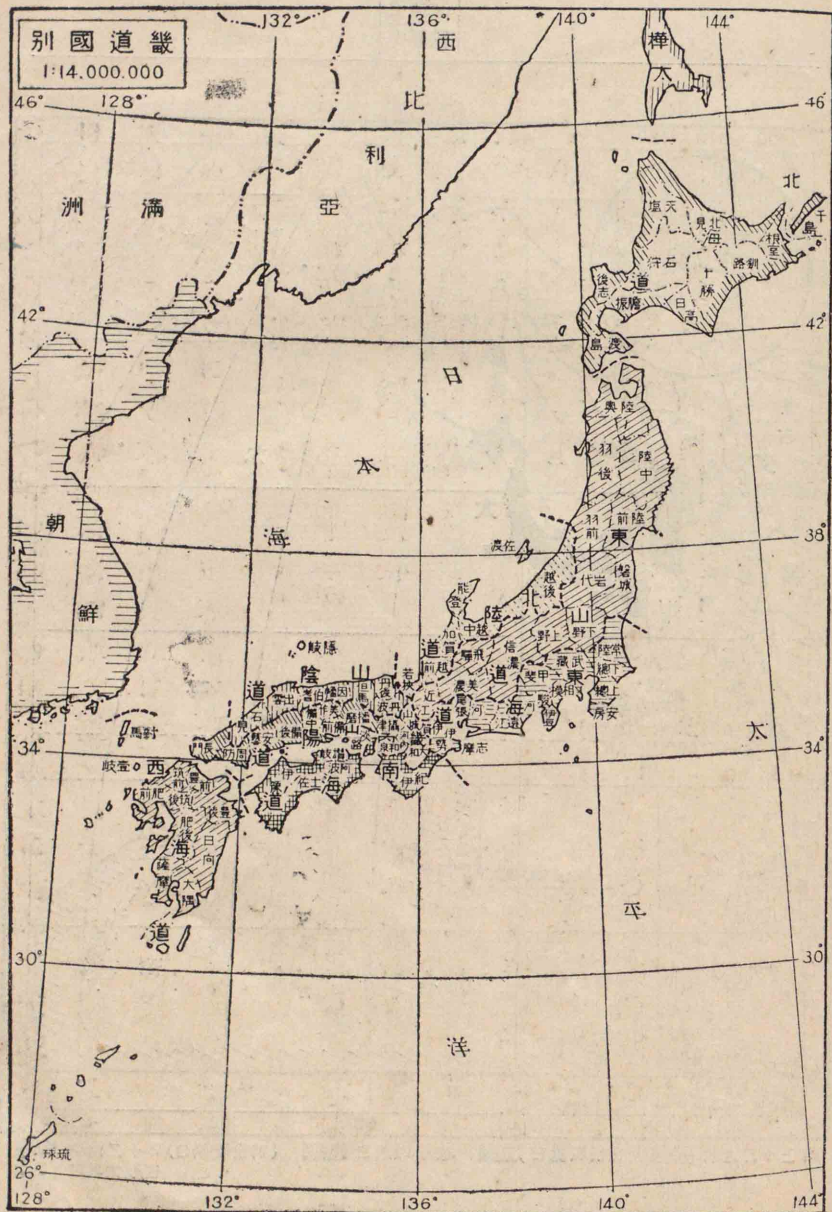
時は畿内八道八十五國に分けたが、現今は行政上一道廳三府四十三縣に分ける。帝國の領土は明治の御代に大いに擴張し、さきに臺灣及び樺太の南半を收め、ついで關東州を支那から租借し、又明治四十三年に朝鮮を併合した。世界大戰の結果、もとドイツ領であつた南洋のマリヤナ・カロリン・パラオ・マ

ーシャルの群島は、國際聯盟の管理の下に置かれ、わが國はその委任を受けてこれを統治してゐる。これ等の植民地の中、臺灣、朝鮮にはともに總督府を置き、樺太、關東州、南洋群島には各廳を置いて統治してゐる。

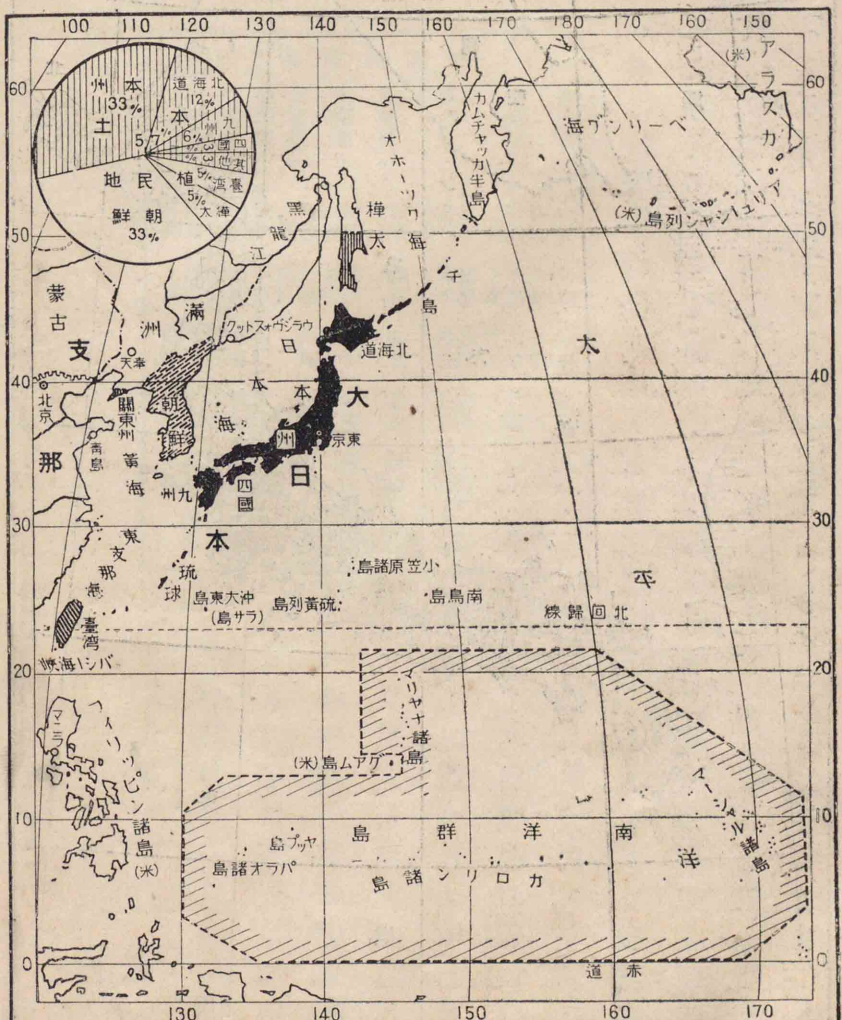
別國內道畿

北海道 (11)	山陰道 (8)	北陸道 (7)	東山道 (13)	畿内 (5)
日高島	石見	播磨	若狹	山城
十勝	淡路	美作	越前	大和
釧路	阿波	備前	加賀	河内
根室	豊後	備中	能登	和泉
千島	肥前	備後	越中	攝津
膽振	土佐	出雲	安藝	遠江

畿道國別圖



わが國の領土の
發展及び各地面
積の比較圖



明治十四年三月 後日清戦役 後日露戦役 前日清戦役 (明治十二年) 世界大戦後

第二編 地方誌

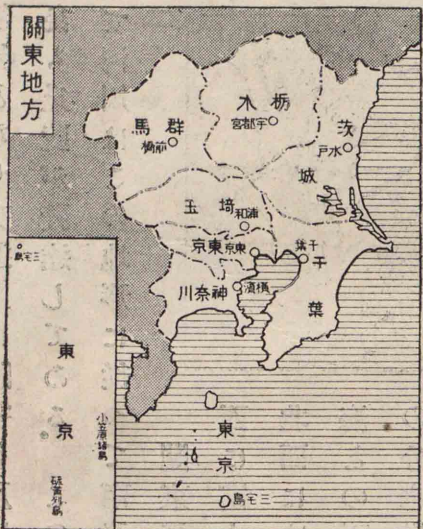
本書は行政上の區分と自然の地形とによつて、本州を關東・奥羽・中部・近畿・中國の五地方に分け、これに四國・九州・臺灣・北海道・樺太・朝鮮・關東・南洋群島を加へて、全國を十三地方に分ける。

第一章 關東地方

面積 一三三二九方軒
人口密度 二二二二人
人口 三八二二人

東海道・相模・武蔵・安房・上野・下野の六國と、東山道の關八州とを加へて關東州と呼んだ。

關東地方
行政區劃圖



地方誌 關東地方

關東地方は、本州島の南東部を占め昔の關八州の地で、源頼朝が鎌倉に幕府を開いて以來樞要の地となり、現今では實に本邦文化の中心で、中に一府六縣を含み人口稠密である。

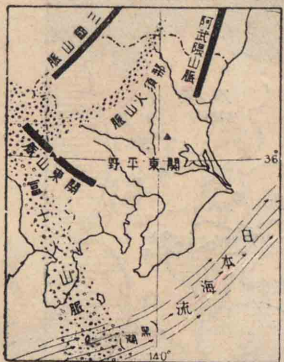
地形 北部から西部にかけて一體に山地が多く、この地方の自然の

境界となり、交通上に障害を及ぼしてゐる。南部の房總三浦の兩半島も丘陵が発達してゐる。この地方南東部の大部は、所謂關東平野で河川はこの地形に従つて南又は東に流れる。

關東平野の西には關東山脈が連り、その南西に富士火山脈に屬する箱根山が聳える。北西には三國山脈が連亘して、太平洋と日本

海との兩斜面に注ぐ河川の分水嶺となり、北東には、阿武隈山脈の餘勢を受け

た山丘が起伏する。那須火山脈は、この地方の北部に亘り、活火山の那須山を首め、男體白根・赤城・榛名の諸火山が峙つてゐる。これ等の火山地方は、山姿水態の勝れた處が多く、又温泉が處々に湧出するので、遊覽保養の地が多い。中でも日光箱根

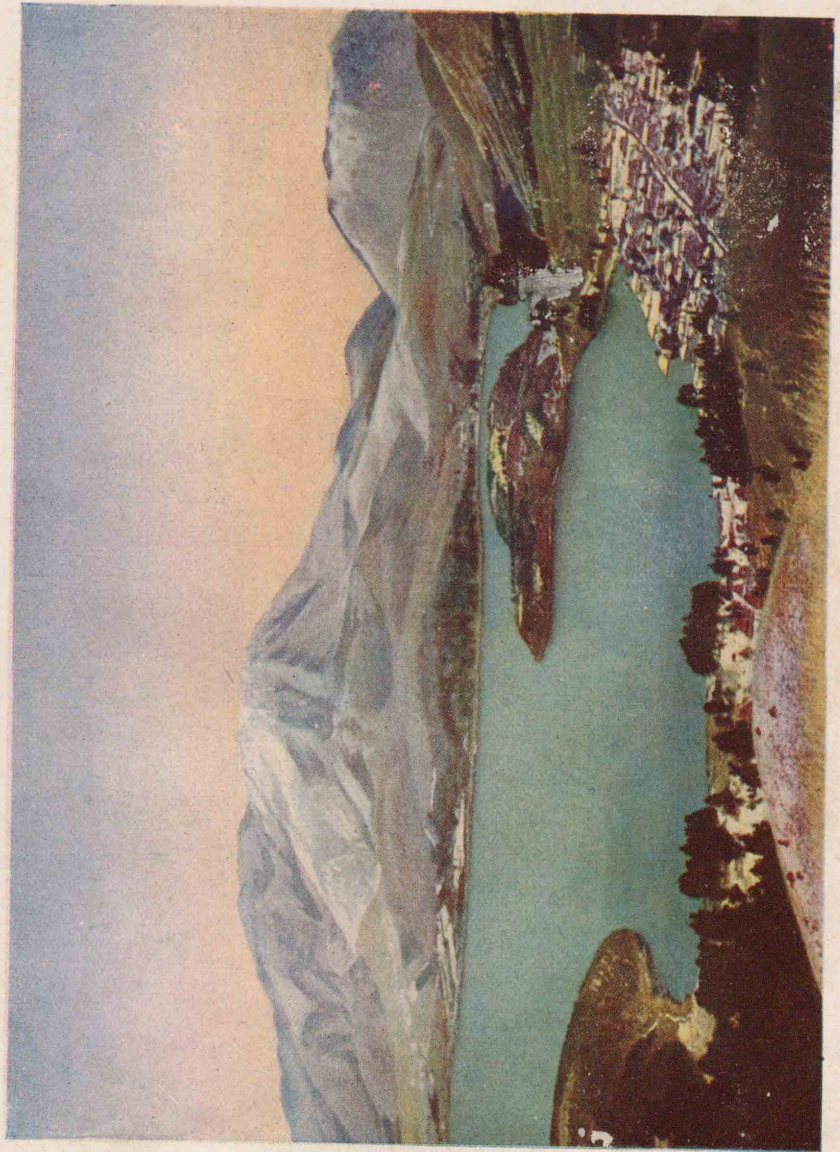


關東地方の山系圖
關東山脈
三國山脈
阿武隈山脈
富士火山脈
那須火山脈
筑波山上に故山階宮殿下の設立せられた測候所があつて、高層氣象を觀測する。近時ケールカーを設け登山に便してゐる。白根山には草津白根と日光白根との二つがある。

榛名山



日光白根



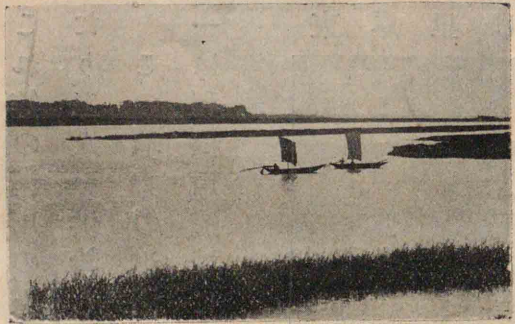
伊香保、鹽原等は殊に名高い。

この地方の南東部を占めてゐる關東平野は、わが國最廣の平野で、多くは百米以下の高度である。昔、月が草から出て草に入つた」と歌はれた武藏野もこの一部で、今では産業がよく開け、人口稠密、交通の便がよい。河流は概ね北西方の山地に發して、この廣大な平野を灌漑してゐる。中にも坂東太郎の稱ある利根川は、この大平野の大動脈で、その流域はこの地方の大半を占めてゐる。この川は三國山脈に發源し、鬼怒、渡良瀬等の諸川を合はせ、江戸川を分け、霞浦、北浦等の水を容れて、太平洋に注いでゐる。この川の下流は霞浦や江戸川などと航路が通じ、わが國で水運の便が最もよい。この外、太平洋岸には那珂川があり、南部には東京灣に注ぐ荒川、多摩川、相模灣に

武藏野は月の入る
へき山もなし草よ
り出でて草にこそ
入れ 太田道灌
水系斜面
一、太平洋斜面
二、東京灣斜面
三、相模灣斜面

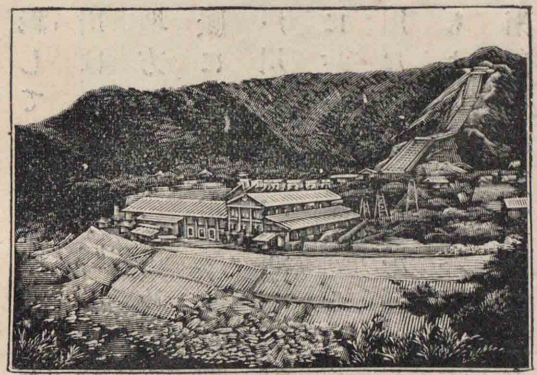
利根川

地方誌 關東地方



多摩川の水は東京にひかれ、相模川の水は横濱にひかれ、市民の飲料水や用水になつてゐる。

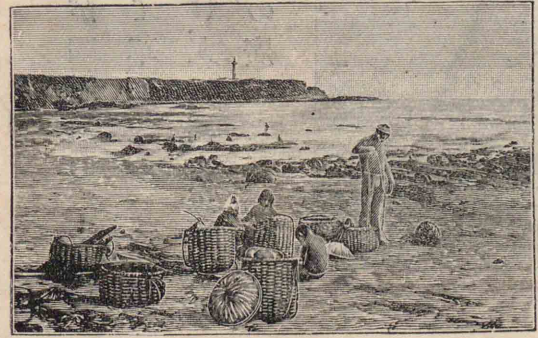
鬼怒川水電所



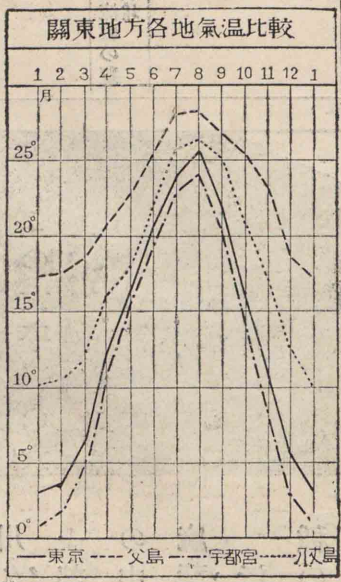
入る相模川等がある。これ等の河川の上流は、水力發電に利用されたり、上水を供給したりするものが少くない。この地方の湖沼は、一は火山地方に分布し、一は利根川流域に發達してゐる。

犬吠岬
中央に見ゆるは銚子の燈臺である。

この邊一帶は、海岸の出入が乏しく、良港は殆どなく、稍よいのは銚子港だけである。房總三浦の兩半島は、浦賀水道を挟んで東京灣を扼し、ここに要塞を設けて防備を嚴にしてゐる。東京灣内は、波が穏やかで沿岸は出入が稍多く、横濱・横須賀



關東地方各地氣温比較

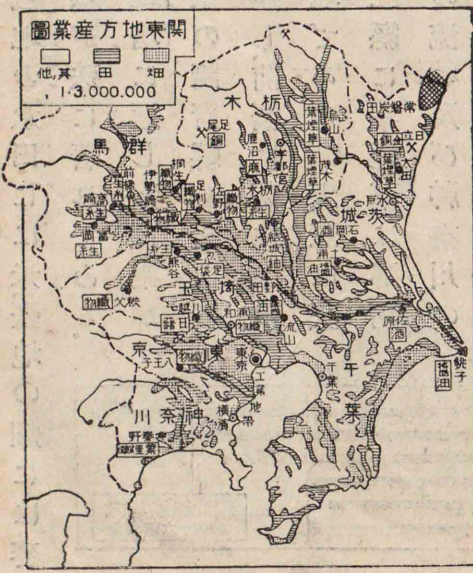


等の良港がある。相模灣の沿岸は砂濱で出入に乏しい。

氣候 この地方の北境は山脈が相連り、北西からの寒風を遮り、南東は太平洋に面して海風を受け、殊に暖流の日本海流は、沿岸近く流れるので氣候は一般に溫和で、適度の雨量を有する。殊に南部

關東地方産業圖

模灣沿岸及び房總半島沿岸の地方は、氣候溫和で風景がよく、避暑遊樂地として著名な所が多い。
産業 關東平野は、地域廣く、地味肥沃、氣候溫和、人口稠密であるから、農業を首め、各種の産業が頗る發達してゐる。農業は灌漑の



大麥產額比較

那珂川流域の葉煙草栽培



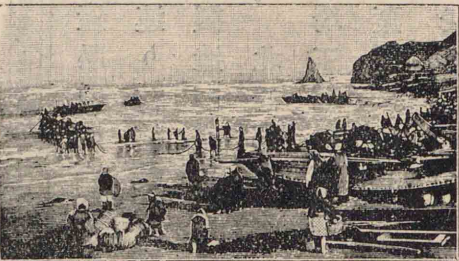
便利な利根川下流の諸縣に盛で、低地の水田には米、臺地の畑には麥の産額が多く、埼玉千葉茨城の三縣が殊に著れてゐる。北西部の山地に近い地方は桑の栽培に適し、養蠶業が大に行はれ、中でも群馬埼玉東京の諸府縣が最も盛である。機業もこれにつれて發達し、前橋は繭生糸の

主な集散地である。大豆は茨城埼玉の二縣に、葉煙草は那珂川久慈川の流域及び神奈川の一部に産し、太田茂木秦野はその中心である。その他甘藷大麻蔬菜落花生等の産が多い。近海は暖流の日本海流に洗はれるから各種の漁族を誘ひ、且又京濱等の消費地を控へてゐるために、漁業が頗る盛である。沿海到

	計万五	計万十	計万五十
茨城	~	~	~
埼玉	~	~	~
千葉	~	~	~
群馬	~	~	~
東京	~	~	~
神奈川	~	~	~

比較額産麥大
計萬十六百 地内

る處好漁場で、鯿・鯉・鮪・秋刀魚等の漁獲が多い。



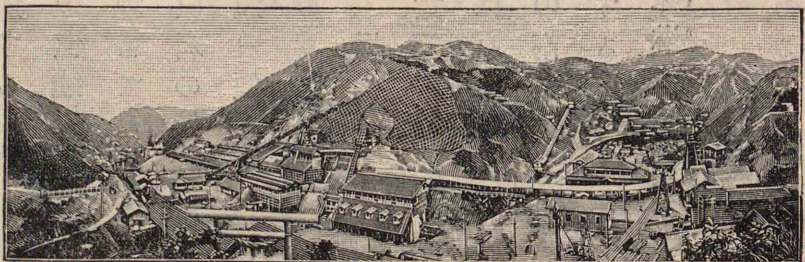
房總の東岸殊に九十九里濱は屈指の漁場である。従つて水産製造業も亦盛で、干鰯・搾粕・鯉節等の産が多い。又東京灣の北部では、淺瀬を利用して海苔を養殖してゐる。淺草海苔は古來風味の佳いので知られてゐる。

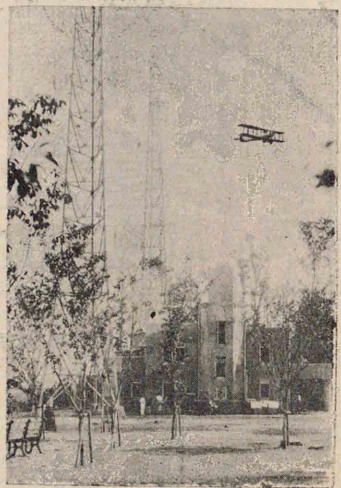
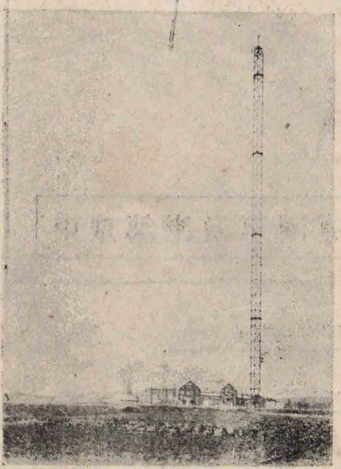
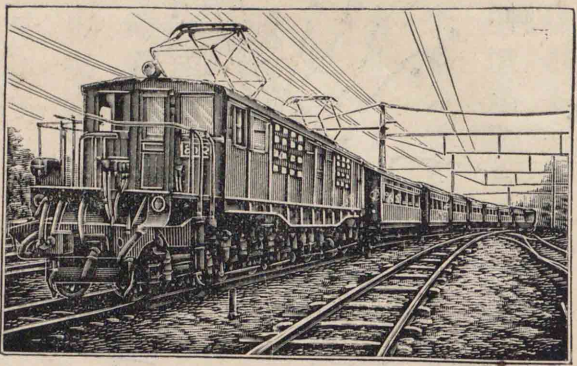
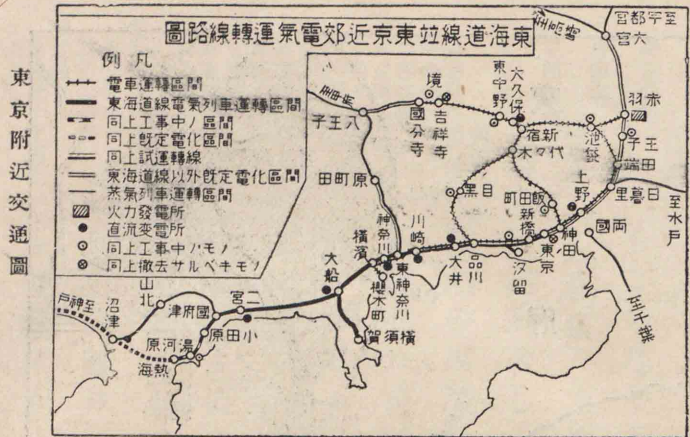
足尾・日立の兩鐵山とも銅の製鍊を主とする。日立鐵山では金・銀の製鍊も多い。

日立鐵山

九十九里濱の地曳網

鑛産は銅金銀を主とし、足尾・日立の二鐵山は共にわが國屈指の大鑛山である。いづれも大製鍊所があつて、他の鑛山の鑛石をも製鍊してゐる。茨城縣の北部には石炭の産がある。この炭田は常磐炭田の一部で、その石炭は京濱地





比醬油 釀造額

京濱工場分



地方誌 關東地方

方工業の燃料等に供せられる。

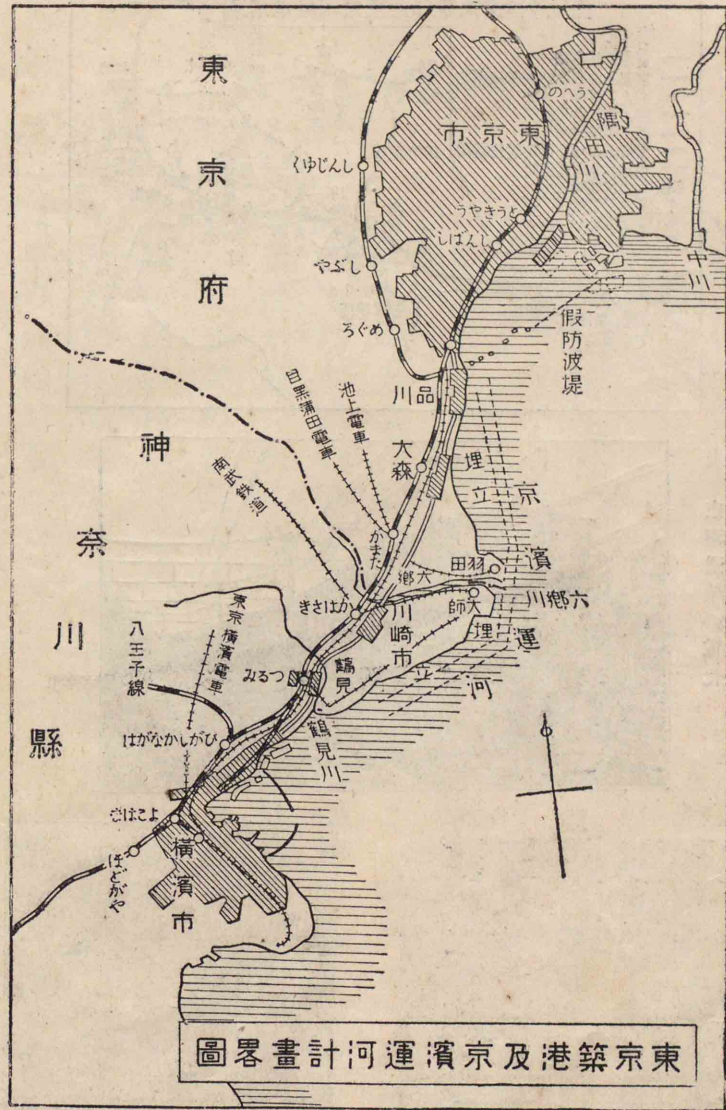
又各地に石材を産する。京濱地方は工業の發達が著しくわが國屈指の大工業地帯である。この地方が諸種の原料の供給が豊富で、勞力が得易く、交通の便と水力、石炭の供給とが十分であり、生産品の販賣消費が盛だからである。各種の大工場が連り、紡績織物、砂糖、機械、紙、皮革、藥品、肥料並に雜貨等の製造が盛に行はれ、東京灣西岸には造船業も行はれる。北西部の蠶業地方は製絲機業が發達し、兩毛の南部、埼玉縣の西部には生絲絹織物、綿交織等を産する。千葉縣には釀造業が盛で、殊に野田の醬油、流山の味噌はその産額が著しい。

かく諸種の産業が發達し、海陸の交通も便利である。

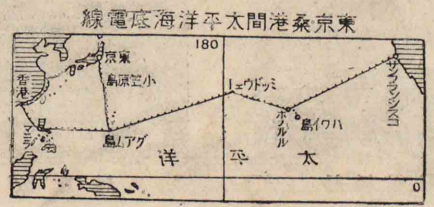
産地	1920年	1926年	1930年
千葉	10000	15000	20000
香取	8000	12000	16000
茨城	6000	10000	14000
福井	4000	7000	10000
岡山	3000	5000	7000
山形	2000	4000	6000

比較額 釀造油醬 1936年内地

手州石(4等)
砂石(1等)
利根川(1等)
(1936年)



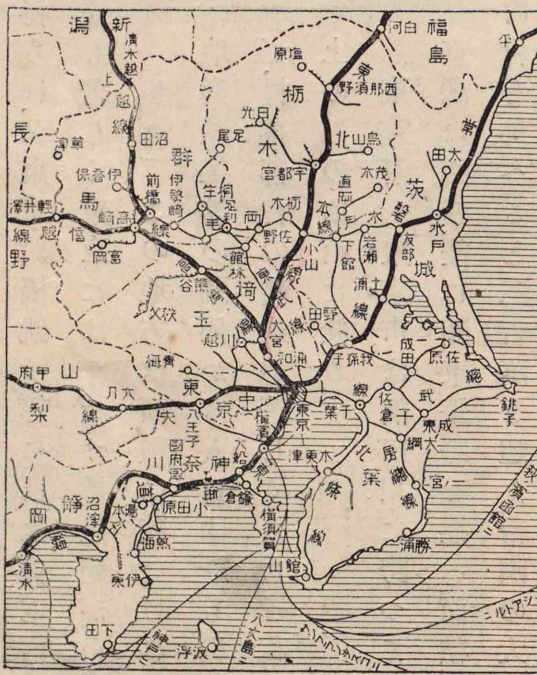
東京築港及濱運河計畫圖



- 東京市から發する
街道名
奥羽街道
勿來關
白河關
越後街道
清水越
中山道
碓氷峠
甲州街道
小佛峠
東海道
箱根峠
東京日本橋に道
路元標がある。
東海道本線
東京發・静岡・名
古屋・京都經由
神戶迄
東北本線
東京發大宮・宇
都宮・仙臺經由
青森迄
中央線
東京發甲府・鹽
尻經由名古屋迄
常磐線
東京發水戸・平
經岩沼迄
總武線
東京發千葉經由
銚子迄
高崎線
大宮發高崎迄

から、商業取引もまた活潑に行はれる。東京は内地商業の大中心地
で、その勢力はわが國東半に及び、横濱港はその門戸で外國貿易は專
らこの地で行はれる。又北西部の地方には機業に伴ふ市場がある。

交通 土地平坦、産業の
發達が著しく、帝都の東京、
開港の横濱を有するため、
海陸共に交通の便がよく
開けてゐる。東京市は陸
上交通の大中心で、各地方
に通じる道路、鐵道の起點
で、東海道東北中央常磐總
武の諸線はいづれもこゝ、
から發する。以上の外、この地方には高崎・兩毛・水戸・信越等の諸線が
ある。近時東海道線の一部には鐵道の電化が行はれてゐる。横濱



東京
無線電
局

關東地方
人口密度圖

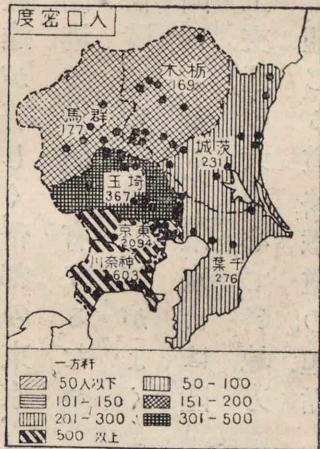
東京府(東京)
武蔵一部
豆南諸島

東京市一九九五千
八王子市 四五

東京市の十五區

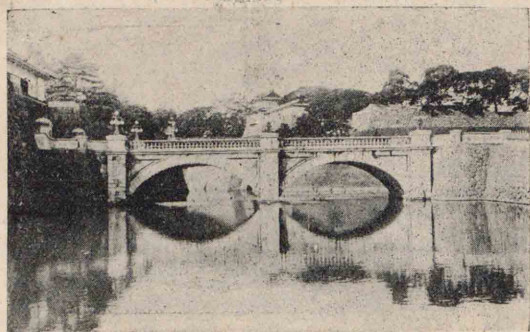
京橋・日本橋・神
田・麴町・芝・麻
布・赤坂・四谷・
牛込・小石川・本
郷・下谷・淺草・
本所・深川

は内外航路の中心であり、東京も近海航路の中心である。海底電線は東京灣岸から小笠原諸島の父島を経て、太平洋海底電信線支線に接続し、米國桑港と通信し得られ、又東京船橋銚子等には無線電信局の設があり、無線電話の發達も著しく、東京にはラヂオ放送局がある。

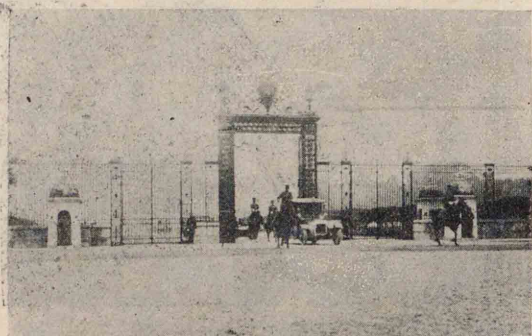


都會 この地方は面積は狭いけれど、地形・産業等の關係から人口は最も稠密で、村落都會の發達が著しく、人口一萬以上のものは百に餘る。

東京府 東京市は隅田川に跨つて東京灣に臨み、後に關東平野を控へ、面積八十方軒人口約二百萬、接續町村を加へると三百萬を超え、帝國の大都市である。この地は昔江戸と呼び、徳川家康が幕府を此處に開いてから次第に發達したが、明治二年帝都と奠められて以來、その發展が著しく、今や政治・軍事・學藝・交通・商工業等の大中心で、わが國文化の源



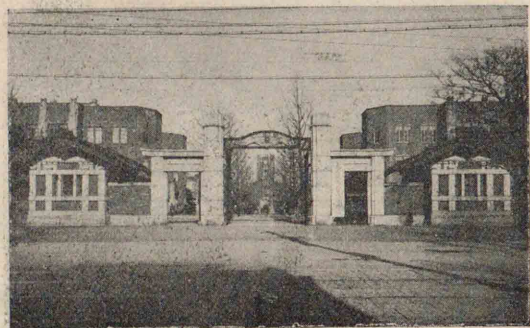
二重橋



赤坂御所



明治神宮



東京帝國大學

丸の内有樂町



日本銀行

浅草



日比谷公園

大震災損害
焼失戸数 二十九萬戸
死者 七萬人
行方不明 十萬餘人

明治神宮
官幣大社
祭神明治天皇
靖國神社
祭神昭憲皇太后
即格官幣社
祭神明治前後
殉國の諸士

泉地である。市は地形上臺地の山手と低地の下町とに分れる。山手は市の北西部を占めて學校邸宅兵營等が多く、南東部の下町は、商業が盛で、就中商業は南東部に、工業は東部及びその近郊に盛であつて、紡織品印刷紙類雜貨藥品等の産出が多い。大正十二年九月の大震災のため、下町は殆どその全部が焦土と化した^{キラド}が、その復興は速やかで、市況の繁盛を恢復するに至つた。

宮城は市の中央に位し、その附近には、内閣各省樞密院大審院帝國議會議事堂日本銀行等の政治經濟の中央機關がこゝに集り、また外國大公使館がある。教育機關には、東京帝國大學を首め各種の學校、博物館圖書館等があつて、わが國に於ける學術の中心をなし、又圖書の出版も多い。軍事上の機關には、參謀本部海軍軍令部近衛師團第一師團等がある。市には又上野日比谷芝等の公園、明治神宮靖國神社淺草寺等の社寺、その他名所古蹟が多い。

市の内外は交通の便が著しく開けて、鐵道電車自動車の往來がは

飛行部隊

八四部隊

伊豆諸島

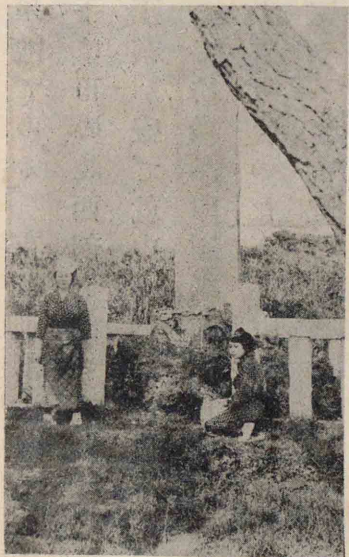
伊豆

伊豆大島三原山

伊豆諸島

大島・利島・新島・神津島・三宅島・御蔵島・八丈島

源為朝の碑

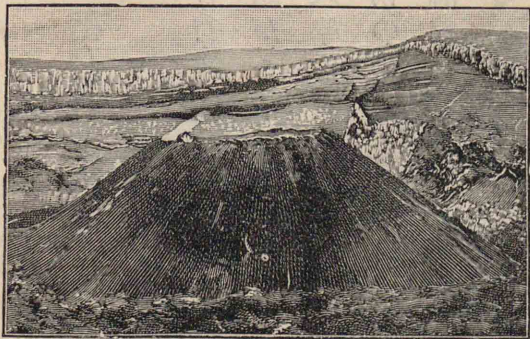


けしい。郊外の田園は次第に住宅地と變じ急速に發達するに至つた。今や都市計畫築港及び京濱運河の開鑿計畫が既に成り眞に帝都としての設備の完整も近い中であらう。中央線に沿ふ立川には陸軍飛行部隊がある。八王子市は絹織物を産し横濱線はこゝから通じる。浅川驛附近には大正天皇を葬り奉つた多摩陵がある。

豆南諸島は伊豆諸島小笠原諸島硫黄諸島の總稱で、

富士火山脈が通じ

東京府に屬する。伊豆諸島の大島には三原山の活火山がある。八丈島には八丈富士が聳えてゐる。



漆油は主として大島・新島に産する。

小笠原諸島母島

椰子・芭蕉・鳳梨及び信天翁

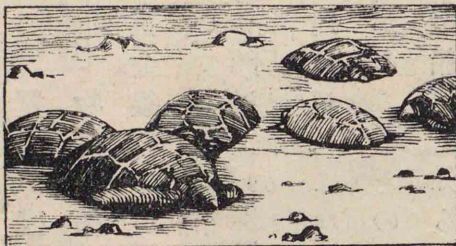
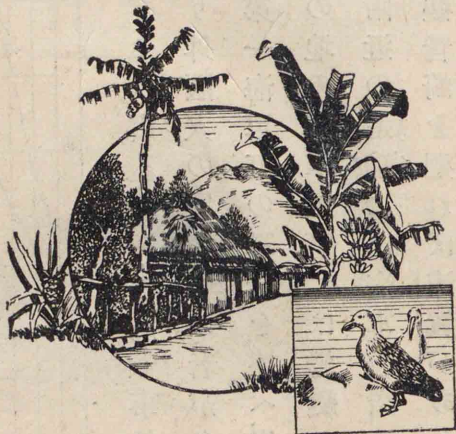
小笠原諸島の海

小笠原諸島には歐米から歸化した人の子孫がある。

神奈川縣

武蔵一部

鶴見に曹洞宗の本山總持寺がある。



る。この諸島は水産物・漆油・絹織物等を産する。

小笠原諸島 その位

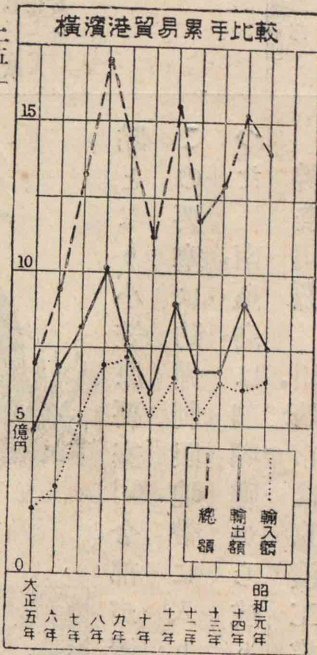
置が南方にある故氣候は亞熱帶性で熱帶性植物が多い。甘蔗・芭蕉鳳梨等を栽培し、又海龜を産する。主島父島の二見港は近海唯一の良港で、日米海底電線の接続點となり、小笠原要塞司令部が置いてある。ワシントン會議の結果この要塞は防備制限地帯に入り、その設備を現狀に止めることとなつた。南島は珊瑚礁から成り信天翁を産する。

神奈川縣 川崎市は京濱工業地帯の一部で、綿絲・電球の産が多く附近に造船所がある。横濱市は東京灣の西岸に位し、帝都の門戸と

横濱市 四五六
川須賀市 五九六

地方誌 關東地方

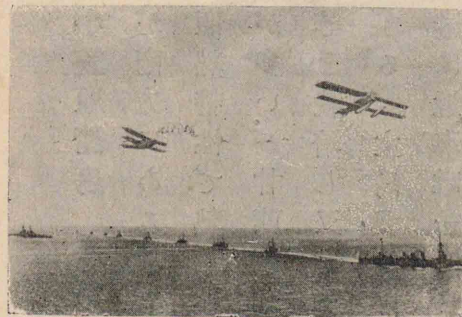
二四



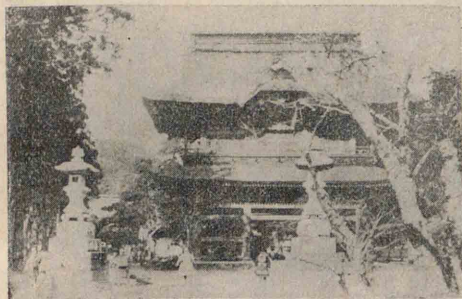
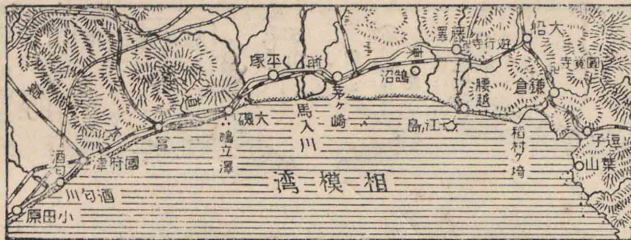
邦六大都市の一に數へられ、神戸と共にわが國最大の貿易港で、壯大な防波堤、棧橋、繫船岸、壁等その築港設備がよく整ひ、内外汽船の出入繁く貿易が盛で、北米その他へ生絲絹織物等を輸出

小田原町 飛濱上空の飛行機
藤倉町 飛濱上空の飛行機
浦賀町 飛濱上空の飛行機
横濱市は、大正十二年九月の大震災のため、市街の大部分を焼失し、復興に際して、現に復興高等工業学校、横濱高等商業学校、横濱には、絶縁電線、コークス、機械、肥料等を産する。三ヶ所、東京帝國大學、理學部の臨海實驗所がある。

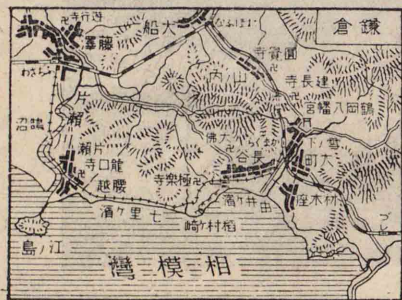
する。縣廳、税關、各國領事館、正金銀行等があり、外國人の居留する者が多い。横須賀市は、第一海軍區の軍港を控へ、鎮守府が置かれ、此の地の海軍工廠では艦艇の建造が行はれる。附近の追濱には海軍航空隊がある。その南、觀音崎を廻れば浦賀があり、造船業で知られ、附近の久里濱はペリーの上陸した處である。



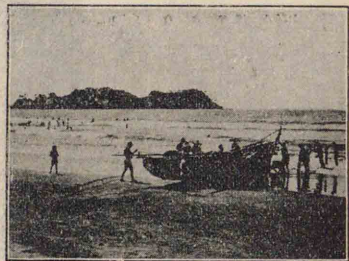
湘南地方



建長寺山門



倉 録



島 の 江



山 葉

二五

箱根火山断面圖



宮ノ下



關所址



大涌谷



鎌倉著名の社寺
鎌倉宮・鶴ヶ岡
八幡宮・建長寺
圓覺寺

鎌倉宮
官幣中社
祭神 護良親王

氷川神社
官幣大社
祭神 素戔鳴尊
外二所

埼玉縣(浦和)
武藏一部

川越市 三二
熊谷町 二七
大宮町 二五
浦和町 一八
秩父町 一五
所澤町 一〇
浦和に高等學校がある。

相模灣岸一帯の地方を湘南地方と呼び、氣候溫和、風光明媚の所が多く、又京濱に近くて交通が便利であるから、遊覽保養の勝地として知られてゐる。中にも、葉山・逗子・鎌倉・江島・大磯・國府津・小田原等は尤も著名で、御用邸を首め貴紳の別荘が多い。鎌倉は源頼朝が幕府を開いた處で社寺史蹟が多い。

箱根山は複式層狀火山で、大噴火口の内部に更に神山駒ヶ岳等の火口丘が噴出し、外輪山と火口丘との間の低地である火口原に水の溜つたのがかの風光のすぐれた蘆湖である。早川はこの湖から流出し、温泉は多くこの谿谷の中に湧出する。湖畔に離宮關所址がある。

埼玉縣 東半は關東平野の一部で、小都邑が散在してゐる。東北本線に沿つた浦和は縣廳の所在地で、附近には綿織物を産する。大宮は高崎線の分岐する處で、鐵道工場があり、武藏一宮である氷川神社がある。熊谷は蠶業の中心地で繭生絲の取引が盛であり、その東

熊谷の南西に當る吉見に太古の遺跡である百穴がある。

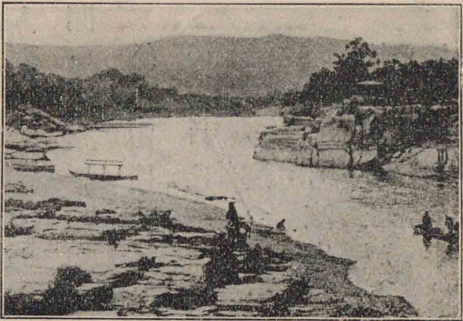
秩父の長瀬

千葉縣 (千葉)
安房上總
下總大部

千葉市 四二
船橋町 一九
本銚子町 一九
銚子町 一九
佐原町 一六
國府臺は後北條氏
さ里見氏この古戦
場である。

香取神宮

官幣大社
祭神 經津主神
外二神
伊能忠敬先生は佐
原の人である。



地方の忍には足袋の産がある。中部の川越市は機業の中心地で絹綿織物の産が多く、その附近は甘藷の産地である。所澤はわが國陸軍飛行場の始めて設けられた地で、陸軍飛行學校、氣球隊がある。西半は秩父山地で、荒川沿岸には長瀬の如き風景のよい處がある。秩父盆地は絹織物を産し、秩父をその集散地とする。

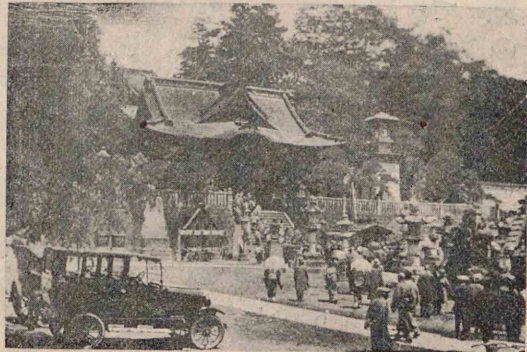
千葉縣 この縣は田畑がよく開け、農産が多く、小都邑が発達してゐる。總武線は江戸川を渡り、國府臺、習志野等の陸軍練兵地附近を過ぎ、千葉、佐倉に通じ、終に銚子に達する。千葉市は縣廳と醫科大學とがある。佐倉は附近農業地の中心で、木炭の集散が行はれ、銚子は利根川口に發達した漁港であるが、港口が險惡で、大船の碇泊には不便である。醤油、鯨節等の産が多い。その他、佐原は利根川沿岸舟運の要地で、附近に香取神宮が

成田の不動堂

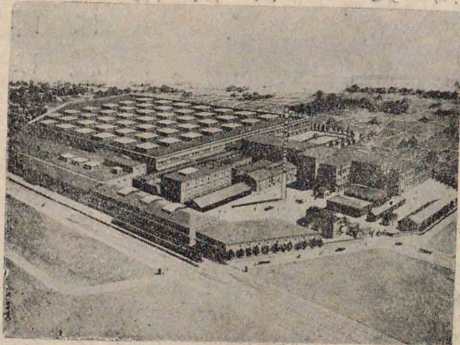
野田醬油會社の工場

茨城縣 (水戸)
常陸
下總一部

水戸市 四六
日立町 二六
石岡町 一六
土浦町 一五
結城町 一五
鹿島神宮
官幣大社
祭神 武甕槌神
土浦の附近に高層
氣象臺がある。



ある。成田には名高い不動堂があつて、參詣者が絶えない。利根、江戸の兩河川の流域は、醸造業の盛な處で、野田、佐原は醤油、流山は味淋の産が多い。房總半島沿岸は、近時鐵道の延長に連れて、北條、館山、勝浦等の小邑は、保養地として年と共に榮えて行く。小湊は立正大師の出生地である。



茨城縣 常磐線は、千葉縣から本縣に入り、霞浦の北西部にある醸造地の土浦、石岡を過ぎ、水戸市に達する。土浦は霞浦の湖港で、湖上汽船の往來が繁く、その附近の阿見には海軍の飛行場がある。北浦に近い鹿島神宮は名高い古社である。

水戸に高等學校がある。
 常磐神社
 別格官幣社
 祭神 德川光圀
 齊昭兩公
 吹く風を勿來の關
 さ思へども道もせ
 に散る山櫻かな。

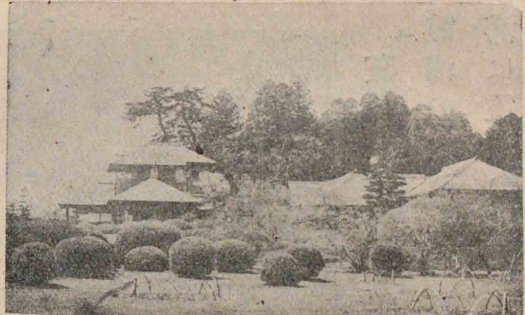
常磐公園

栃木縣 (下野)
 下野

宇都宮市 七六
 足利市 三九
 栃木町 二七
 足尾町 二二
 日光町 一〇
 鹿沼町 二七
 日光町 一七
 佐野町 一七

宇都宮市街

足利市に足利學校の舊蹟がある。
 市の附近に高等農林學校がある。



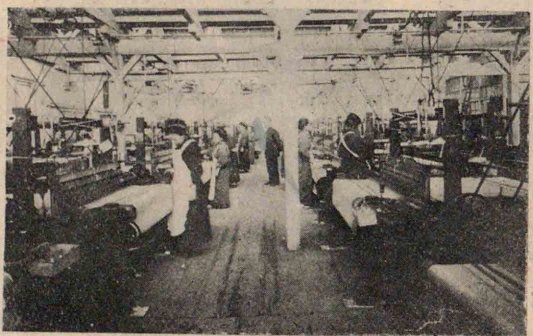
水戸市は、那珂川に沿ひ德川氏が親藩を置いた處であつて、その常磐公園には常磐神社がある。市の北方太田は煙草大理石の産が多く、那珂川の河口の湊は水産物の集散が多い。附近の大洗岬は風光壯絶である。水戸線に沿つた結城、下館等は織物の産地である。



織物及び絹織物の産が多い。東北本線は小山で水戸、兩毛の二線と相會する。宇都宮市は縣廳の所在地であり、又機械製粉の中心地で、附近に第十四師團司令部がある。日光線はこゝから分岐する。鹿沼は製麻の中心地であり、日光は結構壯麗な東照宮と山水の秀麗とが相俟ち遊覽地として頗る名高い。製麻及び電気精銅の工場がある。

大谷川の上流には中禪寺湖がある。湖畔は風光秀麗で、避暑地として名高い。湖の北方に男體山が峙ち、湖の水はその熔岩流の上を流れ、華嚴瀧となつて落ちてゐる。この縣の北部は、温泉の湧出が多く、鹽原、那須は名高い。那須野の草野は、近時開墾が進み耕地も次第に増加するに至つた。

群馬縣 兩毛線に沿うた桐生市、伊勢崎は足利市と共に兩毛機織地の大中心で、桐生市は絹織物の産が多く、伊勢崎は銘仙の産地として名高い。東方の館林は麥粉モスリンを産する。前橋市は縣廳の所在地で、繭生絲の市場である。



伊勢崎の機織場
 前橋市 七四
 高崎市 四六
 桐生市 四二
 伊勢崎町 一八
 館林町 一七
 富岡町 一七
 桐生に高等工業學校がある。

群馬縣 (前巻)

上野



日光地方



男體山中禪寺湖



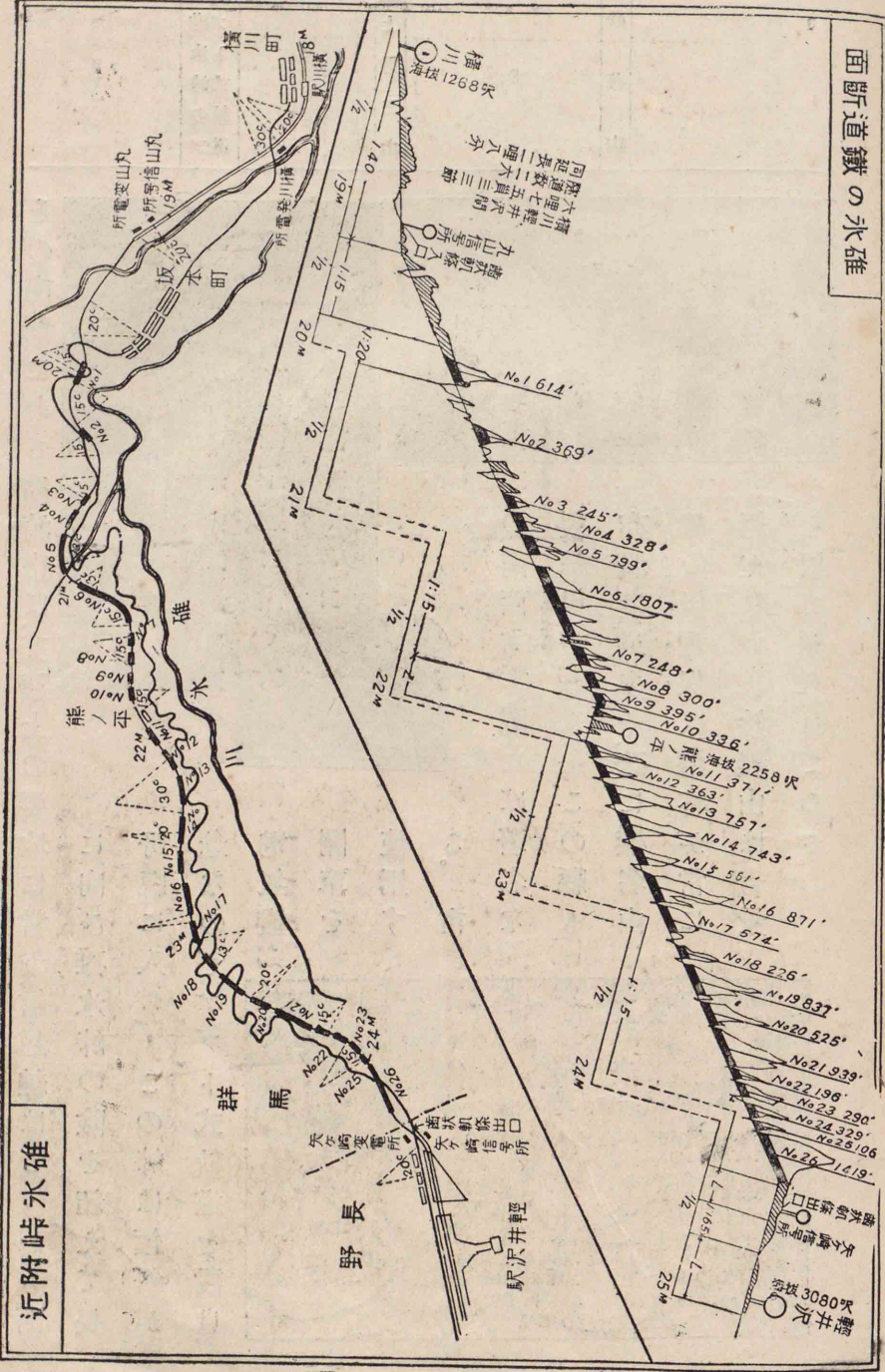
木並杉光日



瀧殿華

黒の大線は下ノホルの位置を示したものである。

面断面鐵の永碓

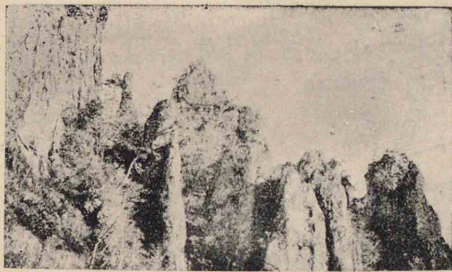
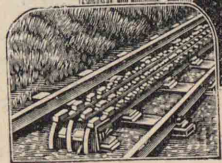
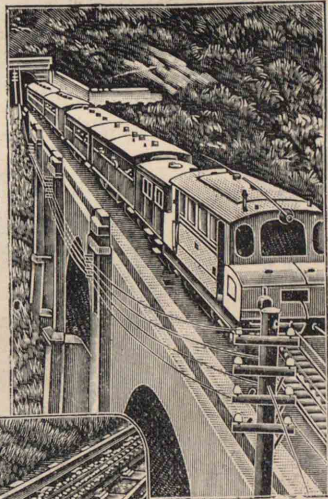


近附峠永碓

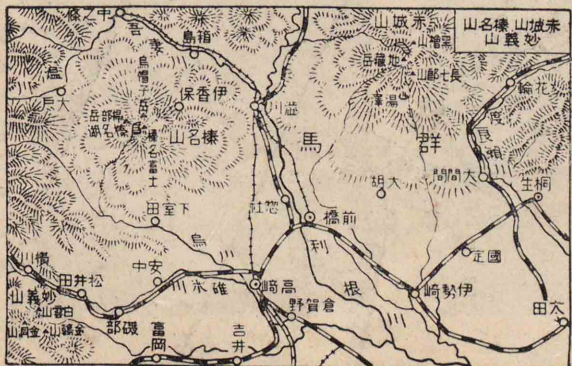
ア碓氷峠の軌道

上野三山

妙義山



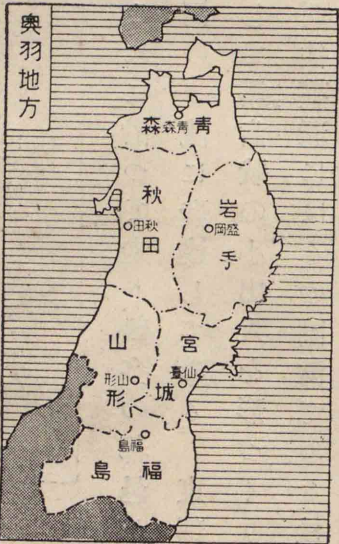
その南西にあり、高崎市は、交通上の要地に當り、信越線はこゝから西野縣に入る。この峠は傾斜が急なのでアプト式軌道を設け、電氣機關車を使用する。市の南西方富岡には著名な製絲場がある。この縣も亦温泉が多く、殊に榛名山麓の伊香保は浴客が常に絶えない。妙義山は奇景を以て知られてゐる。



奥羽は陸奥・出羽の略稱である。

奥羽地方行政區劃圖

會津富士は磐梯山
吾妻富士は吾妻山
南部富士は岩手山
津輕富士は岩木山
出羽富士は鳥海山
磐梯山は明治二十一年、吾妻山は同二十六年に爆裂した。
十和田湖は隣の養殖場として知られる。

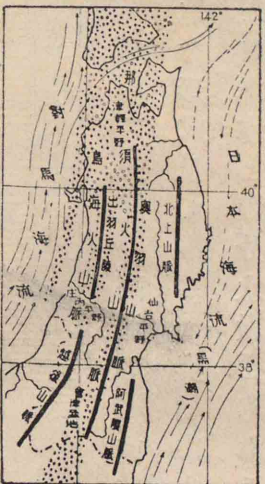


第二章 奥羽地方

面積 六六八〇二平方軒
人口密度 六一五九千人

地形 三條の高地が略南北に並走し、その間に狭長な平野又は盆地を形成してゐる。奥羽山脈は、この地方の中央を縦貫して、太平洋と日本海との分水嶺をなし、これと重つて那須火山脈が走り、磐梯山・吾妻山・岩手山・恐山等の諸火山を起し、温泉が所々に湧出してゐる。奥羽山脈中には猪苗代・十和田等の湖が發達し、水力發電又は養殖に

利用せられてゐる。

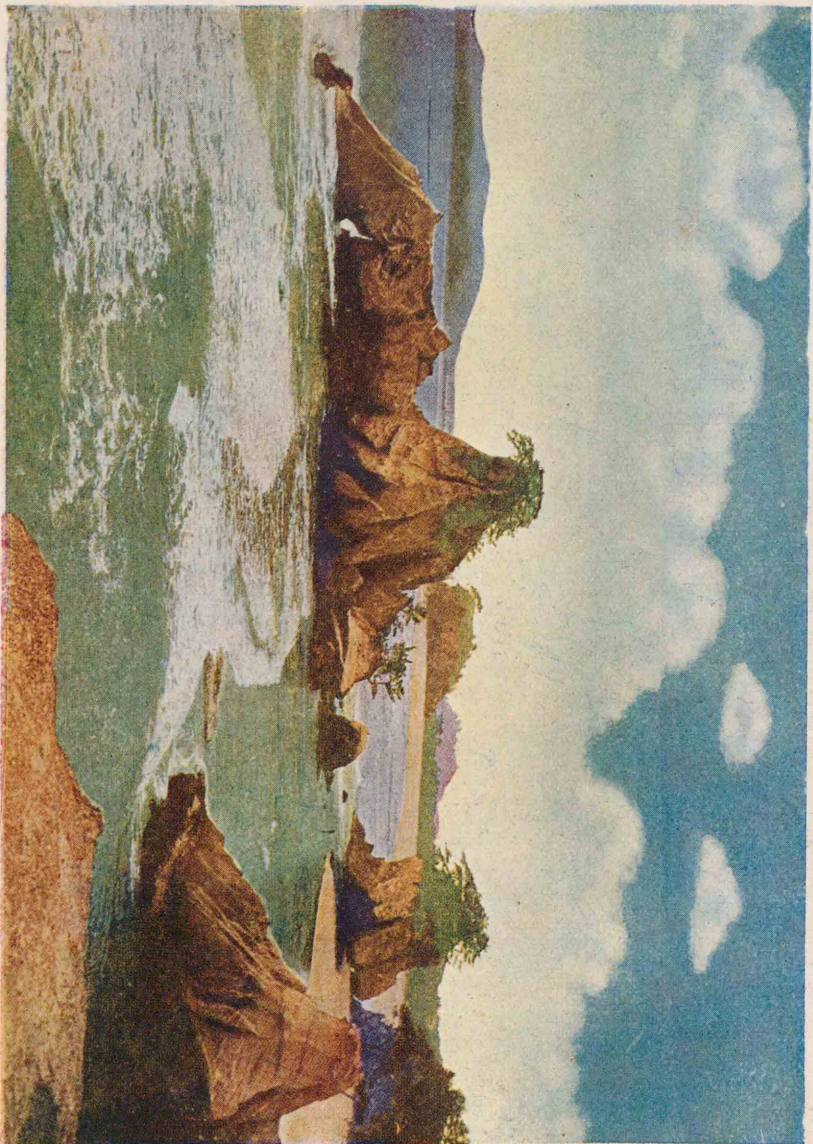


奥羽地方山系圖

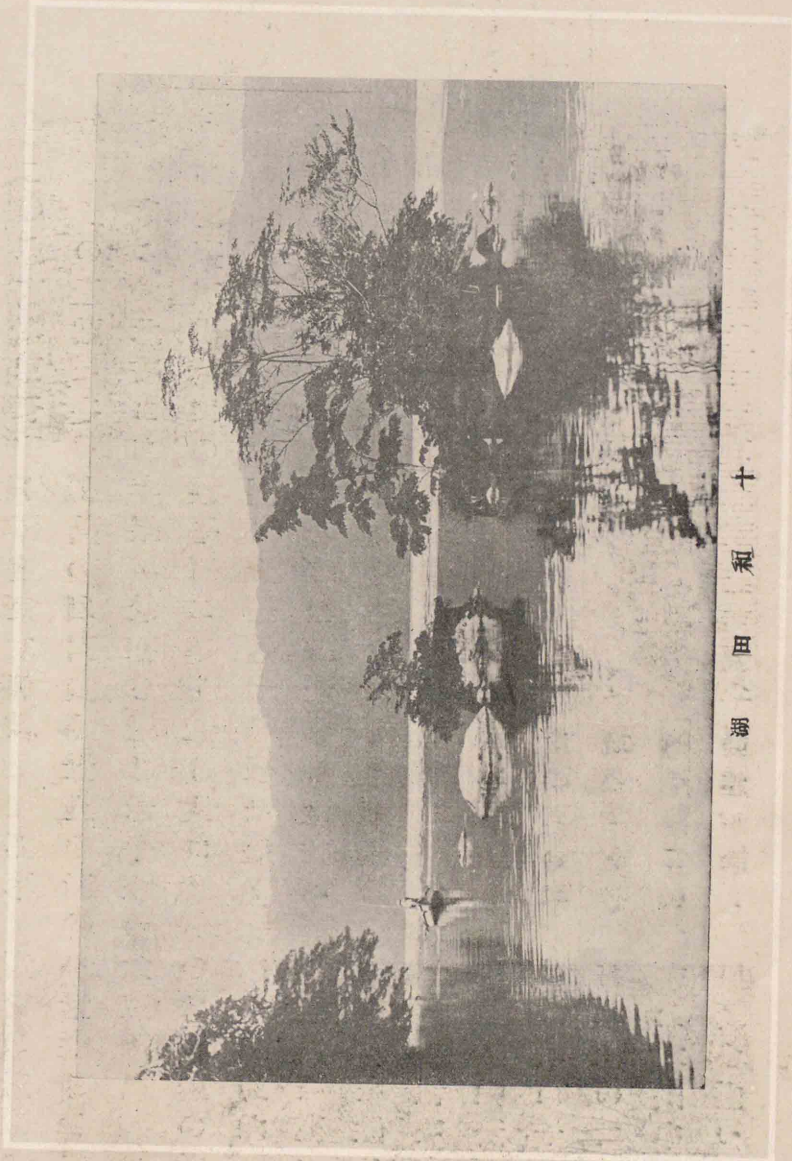
奥羽山脈の東部には、北に北上南に阿武隈の兩山脈があり、仙臺灣によつて中斷せられ、いづれも高原状を呈してゐる。この兩山脈と奥羽山脈との間には、北上川阿武隈川が縦谷を作つてゐる。この兩河の流域は、この地方の重要な生産地で、東北本線がこれに沿つて走り、幾多の都邑が分布してゐる。仙臺平野はこの二河の下流に發達してゐる。東部太平洋海岸の北半は、山脚が海に没して鋸齒状の小出入を形づくり、人文の發達が遅い。牡鹿半島の南西仙臺灣にはその副灣である松島灣がある。奥羽山脈の西側には、斷續する出羽丘陵があつて、越後山脈に連續する。



奥羽地方北東部の海



島松

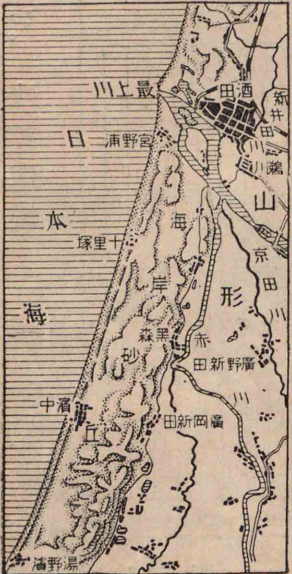
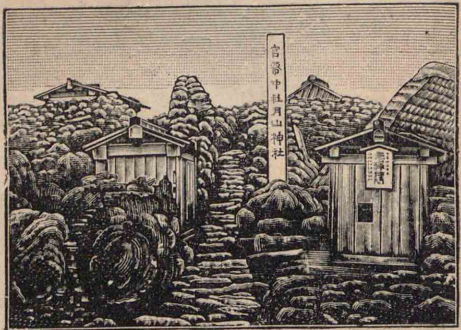


月山の山頂
月山・羽黒山湯
殿山を出羽三山
と云ふ。

最上川
山地を切る所が
急流であるが、
その他は緩流で
ある。

日本海岸の砂丘

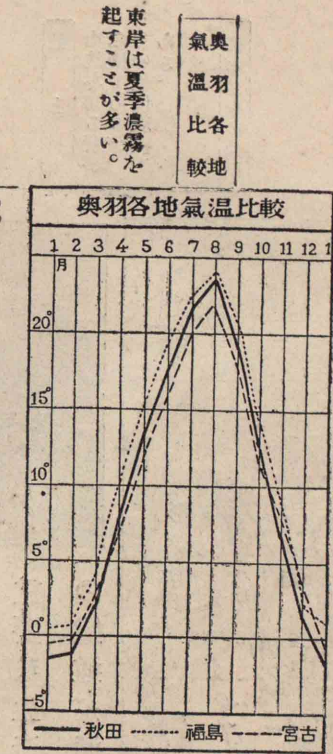
鳥海火山脈は出羽丘陵に沿って走り、鳥海山・月山を噴起させ、又温泉が各所に湧出してゐる。この山脈と奥羽山脈との間には小盆地をつくり、米代・雄物・最上・阿賀等の諸川は、この盆地の水を集めて日本海に注ぎ、その下流には庄内・秋田・能代等の諸平野が開けてゐる。これ等の盆地及び平野は、この地方の重要な生産地で、奥羽線等の鐵道が通じてゐる。日



本海岸は男鹿半島の外概ね平直で、海岸砂丘の發達が著し



い。津軽海峡には下北津軽の兩半島が突出て陸奥灣を抱いてゐる。



【氣候】この地方は本州中で気温が最も低く、冬季は積雪のために交通を妨げられる。東岸は千島海流に洗はれ、夏季でも比較的低温であつて、米作等に影響する所が少なくない。西岸は對馬海流が通じて、東

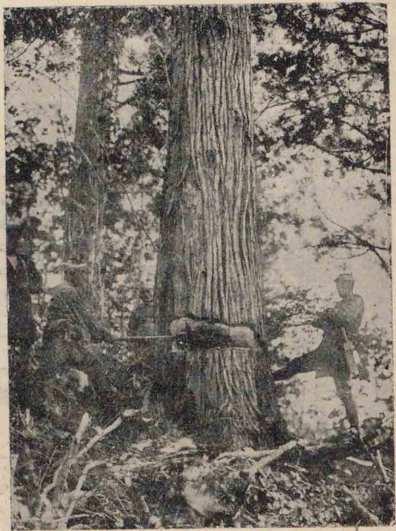
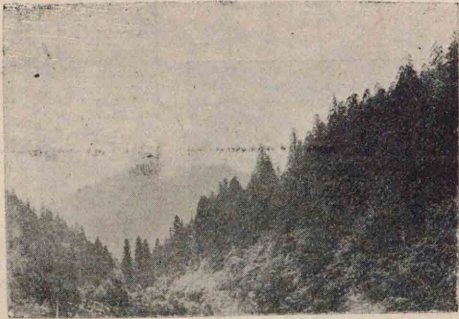
岸よりも気温が高いが、冬季は降雪多く天候不良で風浪が高い。

【産業】氣候・地味の關係上未墾の原野が多く、耕地は比較的少ない。米は仙臺庄内秋田の諸平野に多く産し、人口稀少のため他の地方へ移出する。北部には苹果馬鈴薯を産し、岩手縣の大豆、福島縣の葉煙草もその産額が多い。養蠶は阿武隈最上の河谷に發達してゐる。この地方は原野廣く雨量少なく、風土が牧草の發育に適するから、牧畜は甚だ盛であつて、馬の飼養は太平洋岸の四縣に盛に行はれ、古

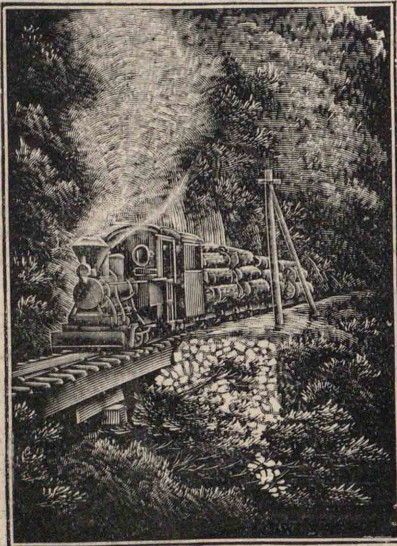
米：庄内仙臺秋田諸平野
秋田馬鈴薯
大豆：仙臺牛野
葉煙草：福島縣
養蠶：阿武隈最上の河谷

柳川青森岩手
櫻上河山形

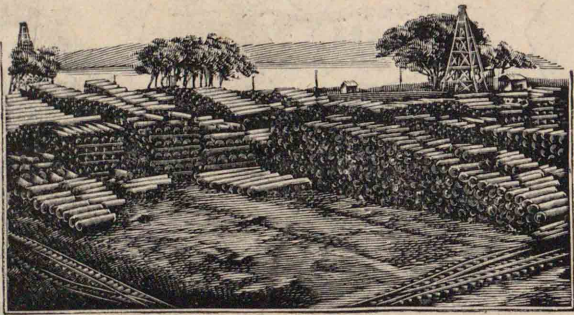
秋田縣の杉林



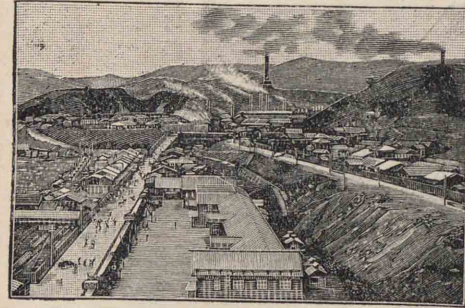
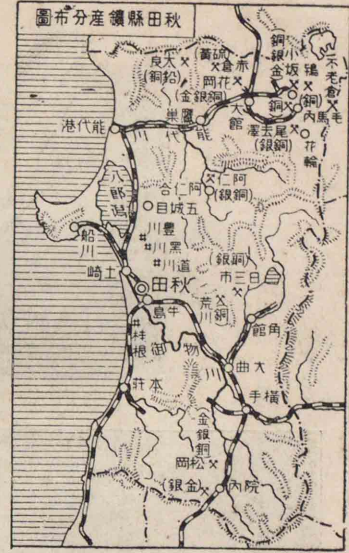
伐木



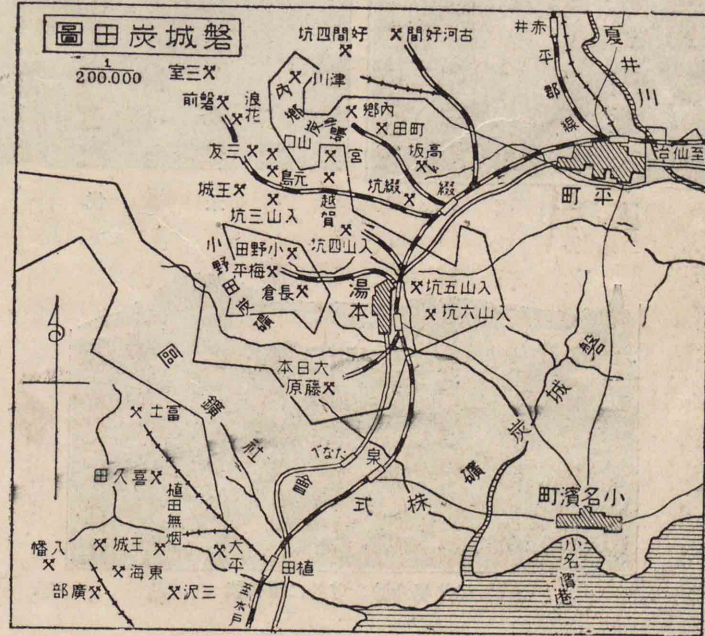
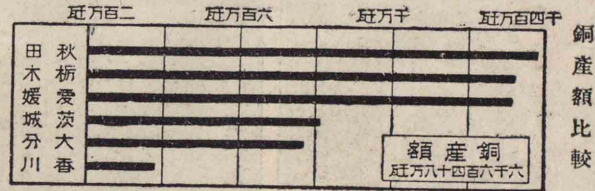
運材狀況



能代港に於ける木集場



小坂鐵山



磐城炭田圖

牧畜

青森、岩手、宮城、福島、南部馬市

林業

杉、ヒノキ

内地に於ける馬の頭數比較

三本木の牧馬
小坂、尾去澤、荒川、阿仁
黒川、阿仁、秋田、大館、青森、岩手、宮城、福島
秋田、大館、青森、岩手、宮城、福島

水産

金華山沖、捕鯨、鯨節、搾乳

工業

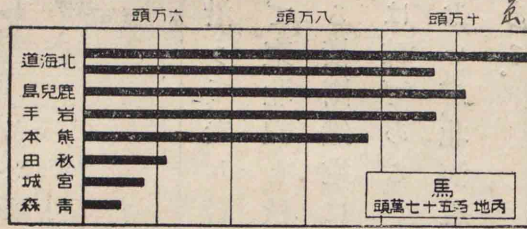
製鉄業、布製、絹織物、福島川、手織

來南部馬の名が世に高い。盛岡や白河には毎年秋季に馬の大市が開かれる。林業は、青森、秋田等の日本海斜面に發達し、杉、羅漢柏の良材を産し、能代港、秋田、大館、青森等で製材せられる。



らは石油を産する。その原油は、主に秋田、土崎港

の製油所で精製せられる。その他、岩手縣釜石の鐵山、福島縣の炭田が世に知られる。水産は太平洋面に盛て、鯨、鯨節等を主とし、金華山沖には捕鯨が行はれる。水産製造物も盛んで、鯨節、搾乳の産が多い。工業はまだ十分に發達してゐない。製絲業は南部の諸縣に絹織



地方誌 奥羽地方

業は福島川俣米澤等に盛である。

會津塗・津輕塗・會津焼・相馬焼等の産がある。

奥羽地方交通圖

冬季積雪が深いので雪除け隧道の設備がある。

東京・青森間は東北本線によれば約十七時間を要する。

東北本線

東京・福島・仙臺

青森線

福島・青森間

羽越線

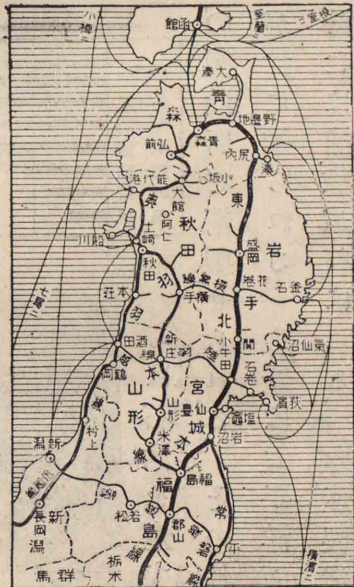
秋田・新津間

磐梯線

平・新津間

陸羽線

小牛田・余目間



交通

地形氣候上海陸ともに交通が不便である。東北地方の文化、殊に産業の不振は主としてこれに起因してゐる。鐵道は縦谷盆地に先づ發達し、この地方の幹線である東北線は、奥州街道に沿うて走り、岩沼で常磐線と、青森で奥羽線と合する。奥羽線は、福島で東北線と、秋田で羽越線と合する。これ等の南北の鐵道を連絡する横斷鐵道には、僅かに磐越・陸羽・横黒の諸線がある位で、今も鐵道網は疎である。海運は良港に乏しく、且冬季風波が荒いために盛ではないが、北海道方面との航通は賑はつてゐる。開港場は青森のみである。

都會

奥羽地方は面積に於て關東地方より大きいが、地形氣候交

通等の關係から産業も概して不振である爲に、文化は本州の他地方

より遅れ、人口の密度も小で

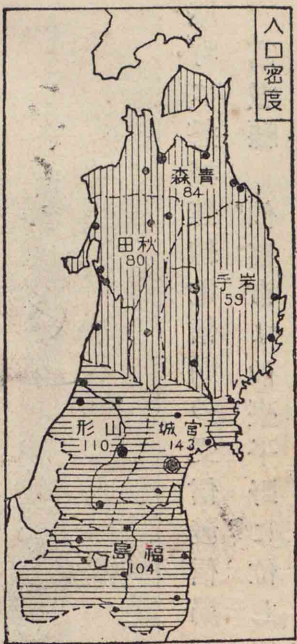
都邑も少ない。

福島縣 東北本線に沿う

た白河は奥羽地方の關門で

あり、附近に白河關址がある。

人口密度



郡山市 四三

若松市 四二

福島市 四一

白河市 四〇

郡山市 三九

若松市 三八

福島市 三七

白河市 三六

郡山市 三五

若松市 三四

福島市 三三

白河市 三二

郡山市 三一

若松市 三〇

福島市 二九

白河市 二八

郡山市 二七

若松市 二六

福島市 二五

白河市 二四

郡山市 二三

福島の生絲の荷造場

若松市は二つある、その一は福岡縣にある。

別格官幣社

祭神 北畠顯家

親房等

靈山神社

祭神 北畠顯家

親房等

郡山市は鐵道の交叉點に位し、二本松と共に製絲業が盛んである。福島市は奥羽線の起點に當り、繭生絲羽二重の取引が盛に行はれ、北西に飯坂温泉がある。磐越線に沿うた若松市は、會津盆地の中心であつて漆器を産する。この地は戊辰の役の激戦地で市の東郊飯盛山には白虎隊の墓がある。猪苗代湖は、北に磐梯山を負うて風光が麗



瑞穂の郷 伊達勝

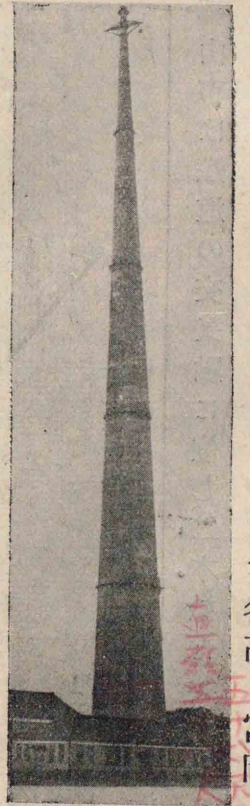
本町(一) 阿武隈川沿い 4年平野

平野 本町(二) 附近に東山温泉がある。 阿武隈川沿い 猪苗代湖附近には避暑の好適地がある。

磐城無線電信局 原町發信所 仙臺市街 宮城縣 磐城一部 陸前大部 仙臺市 一四三 石巻市 一四五 磐城無線電信局 原町發信所

仙臺市に宮城控訴院・第二高等學校・高等工業學校がある。 松島の諸島は凝灰岩が海水に浸蝕されてできたものである。 奥州四邊に鹽釜に鹽釜神社がある。 市の北東多賀城址は昔鎮守府將軍の駐在した所である。 鬼首に間歇温泉がある。

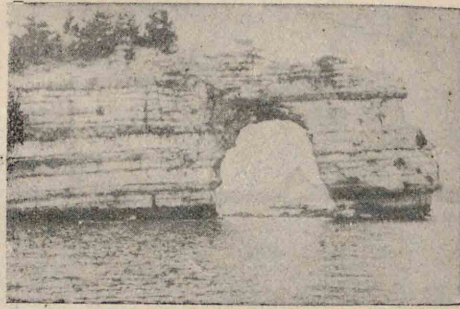
地方誌 奥羽地方



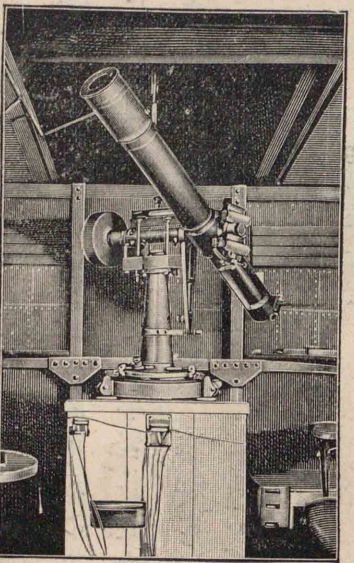
原町は磐城無線電信局の受信發信局がある。 宮城縣 仙臺市は仙臺平野に位し、伊達氏の舊城下であつて奥羽第一の都會である。 縣廳



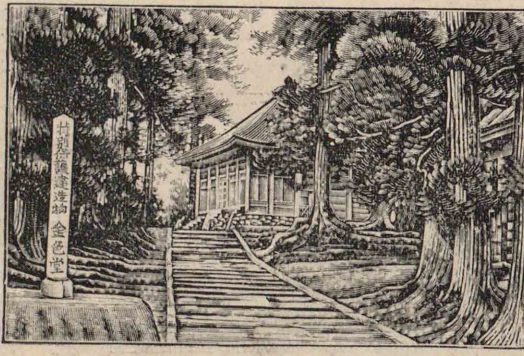
しい。湖水は水力發電に利用せられ、電力の大部は東京に送られる。又疏水運河により、阿武隈川沿岸の平野に送られ、灌漑にも用ひられる。平は常磐炭田の中心であり、小名濱は漁港として名高く、富岡



第二師團司令部・東北帝國大學等がある。市の外港鹽釜は石材・水産物を集散する。松島灣は幾多の小島が散點し、青松が茂り、風光美しい。石巻は北上川の口に位し、米を集散する。路の要地である。



地方誌 奥羽地方



岩手縣 一關はこの縣の南部の門戸であり、その北方の平泉は奥州藤原氏の榮華の跡で、金色堂にその名残を留めてある。水澤に緯

盛岡縣概観

南羽旧城下

馬市宿

中系鉄瓶苹果

岩手山麓養蚕成産

大岩場

宮古新市大岩場

青森縣 (青森)

陸奥大部

青森市 五九

弘前市 三九

八戸町 二一

野邊地町 一〇

青函連絡船

青森函館六十哩
四時間半で達す

岩木山遠望

高き山、牧馬

大湊、海軍要港、津軽

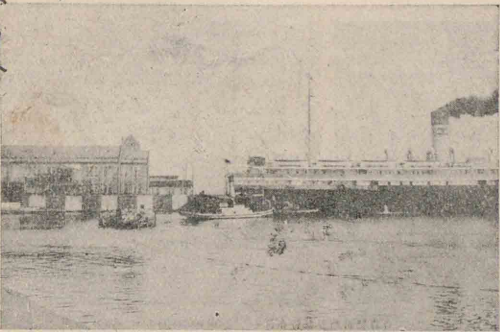
弘前、津軽、津軽

津軽、津軽、津軽

木材、苹果

地方誌 奥羽地方

度観測所がある。縣廳の所在地の盛岡市は、南部氏の舊城下で生絲鐵瓶苹果を産し、又盛な馬市がある。市の北西に聳える岩手山の麓には、馬の牧養が盛で、又小岩井農場の如き大農場がある。海岸には宮古釜石大船渡等の漁港がある。



青森縣 馬淵川に沿うた八戸は商業が盛で、この附近は牧馬が行はれる。縣廳の所在地青森市は、同名の灣に臨み、北海道本島へ渡る要津である。下北半島の大湊は、海軍要港で要港部が置かれる。弘前市は津軽平野の中央に在る。弘前市は津軽塗、木蓮細工を産す。



能代港

秋田縣 (秋田)
陸中一部
羽後大部

能代港町 二二

土崎港町 一六

横手町 一六

秋田平野 一三

男鹿半島 一三

男鹿半島の奇勝は海蝕によつて出来たものである

外港に流る。左地、右地

山形縣 (山形)

羽前一部

新庄 五五

米澤市 四五

鶴岡市 三二

酒田町 二五

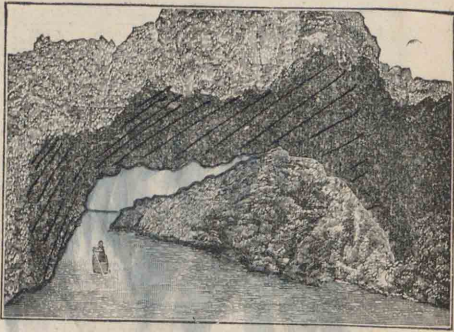
山形市 一八

漆器銅鐵器の産がある。米澤に高等工業学校がある

櫻桃栽培

寺奇勝

山温泉



秋田縣 能代港は米代川の川口に位し、製材業が盛で木材の積出しが多い。縣廳の所在地の秋田市は、秋田平野の中心で、絹織物金銀細工、漆漬を産する。その外港の土崎港には、製油並に鐵道の工場があり、米の積出しが多い。然し冬季北西風の強い時は、碇泊に不便であるから、船舶は船川港に避難する。

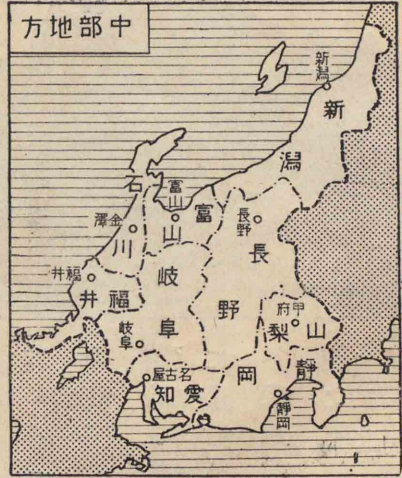
山形縣 最上川はこの縣の動脈で、鐵道は概ねその流域に沿うて通じ、新庄は奥羽陸羽兩線の接續點である。縣廳の所在地山形市は、同名の盆地の中心で、漆器銅鐵器の産がある。この附近には櫻桃の栽培が行はれる。市の北東山寺は奇勝で、南方の上山は温泉で著はれる。





三 景 妙

中部地方
行政区劃圖



上野ヨウザン
米澤
鶴岡
米中心地
酒田に於ける米の積出し

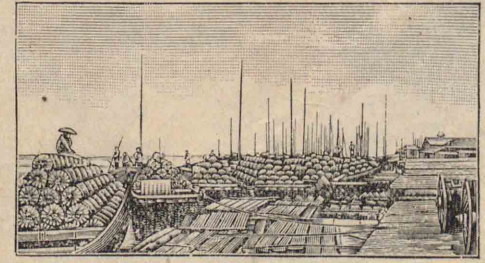
地方誌 奥羽地方
米澤市はこの附近蠶業の中心地で、機業が盛で絹織物の産が多く、庄内平野の鶴岡市は米の中心市場で、酒田はその積出し港である。

第三章 中部地方

面積 六六三八二平方
人口 一三〇〇千人
人口密度 一七〇人

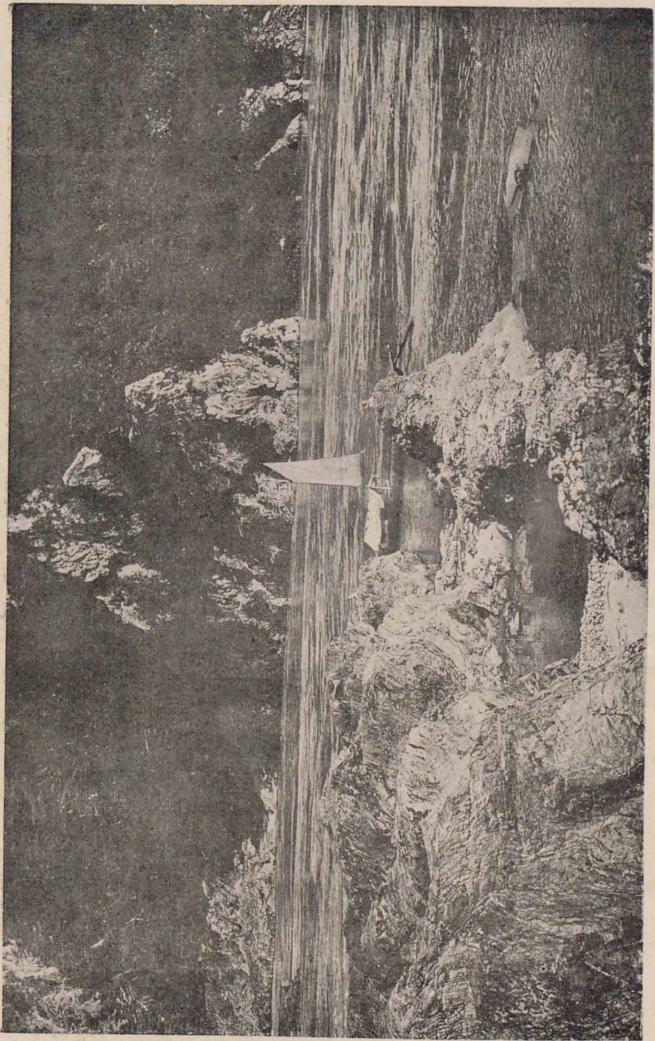
中部地方は、本州の中部を占めてる広い地域で、東部は關東・奥羽の兩地方に接し、西部は近畿地方と境し、行政上九縣に分れる。

地形 この地方は、南彎・北彎兩山系の相會する所であつて大山脈發達し、本州中土地最も高峻である。南彎山



四八

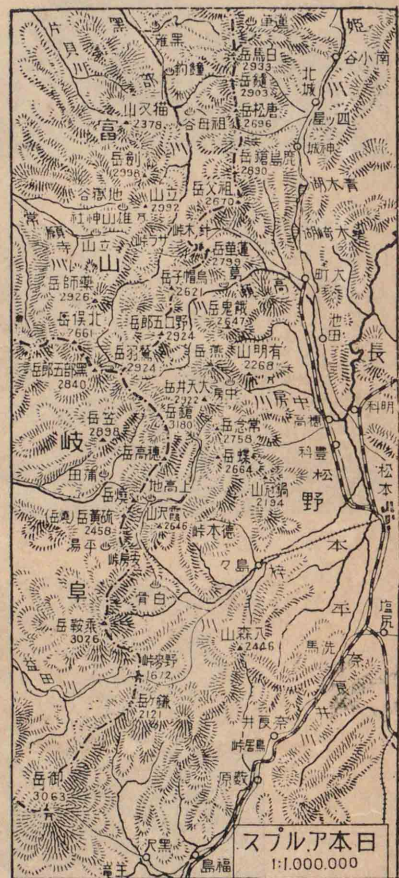
水 倉 川



日本アルプス

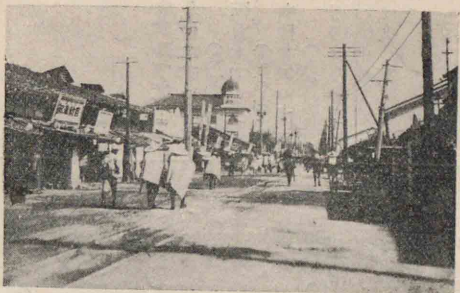
日本アルプス

北日本アルプス
(飛驒山脈)
南日本アルプス
(赤石山脈)
中日本アルプス
(木曾山脈)
赤石山脈の白根山
はわが内地で富士
山に次ぐ高峯であ
る。

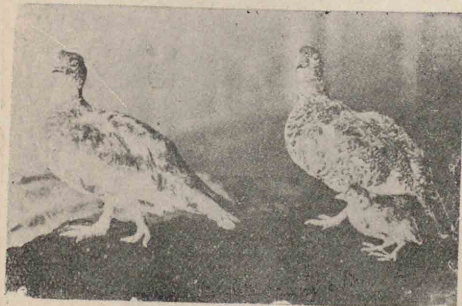


系は、山勢雄大な
数條の山脈
から成つてゐ
る。飛驒山脈
は、略この地方
の中央を南北
に走り、白馬嶽
鎗嶽等の高山の外に、乗鞍火山脈に屬する乗鞍嶽・御嶽の諸火山が雲
を凌いで兀立し、所謂日本アルプスの主部をなし、夏季には登山者が
頗る多い。その南東に木曾・赤石の兩山脈が高く聳え、その間に木曾
谷・伊那谷の縦谷をつくつてゐる。飛驒山脈の西部には、飛驒高地が
發達し、その西縁には白山を主とする白山火山脈がある。
北彎に屬してゐる關東山脈は、東部に連なり、三國・越後の兩山脈は
相續いて北東に延びてゐる。この南北兩彎の間には、富士火山脈が

大町に於ける日本
アルプス登山者



(山別) 山 立



鳥 雷



谷 峽 川 部 黒



御 嶽

場山

所山



富士山麓には数多
の湖水がある。山
中湖・明見湖・川口
湖・西湖・精進湖・
四尾連湖・本栖湖
は箱根の蘆湖と合
せて富士八湖と稱
する。

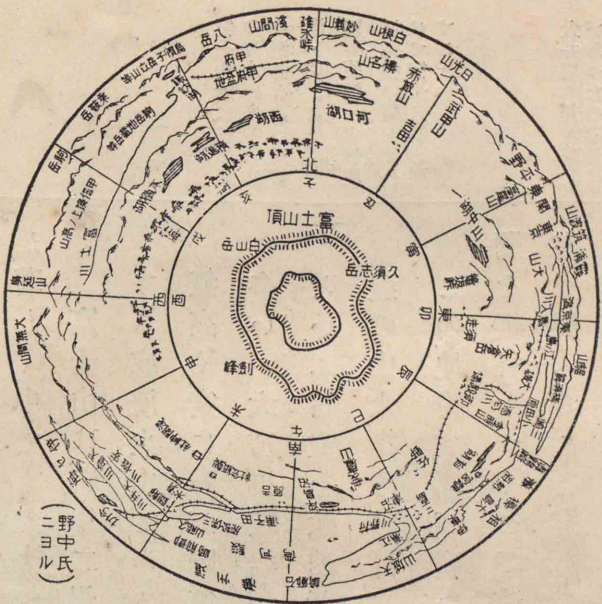
大井川は昔蓮臺渡
があつたので名高
い。

通じ富士山を主峰とし、妙高山・八嶽・箱根山・天城山を起し更に南方諸島にも及んでゐる。この火山脈の通じてゐる地方には温泉の湧出が著しく、中でも熱海・修善寺が名高い。

富士山は、駿甲二州に跨り三千七百七十八米の劔峰を最高とする成層火山である。山形は白扇を倒にかけてたやうで優美で氣高く、實にわが國第一の名山である。夏季には登山者が甚だ多い。大宮御殿場須走吉田を登山口とし、全路を十合に分け室といふ石室を休泊所とする。山頂に登れば眼界頓に開けて、四近の山水指呼の間に迫り、その壯觀は實に名狀し難い。

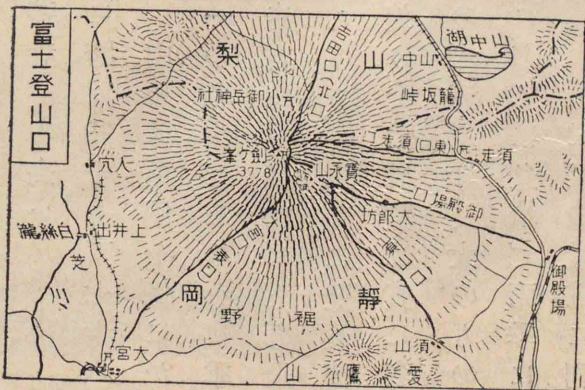
この地方は幅が廣いので、河川も長大のものがあつて、多くは山脈の間を縦谷をつくつて流れ、多くは急流で雨季にはその下流地方に水害を與へることがあるが、水力電氣の發電に利用せられる。中央山脈は主な分水界をなし、太平洋斜面では富士・大井・天龍・木曾等の諸川が發達し、急流なものは下流に礫をつくつてゐる。富士川は、甲府盆

富士山の展望區域



(二野中氏)

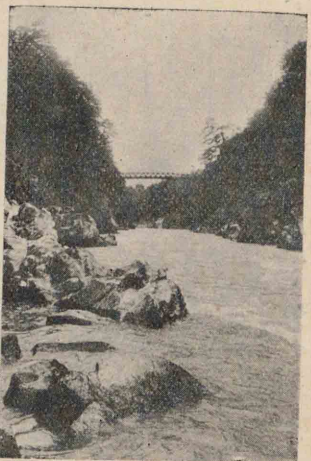
富士登山口



砂走り



天龍峽



地の水を集め、昔から急流で名高く、天龍川は諏訪湖から出て伊那谷の縦谷をつくり、中流に天龍峽の勝地がある。木曾川は木曾谷の水を入れ、寢覚床の勝地をつくり、更に飛驒・長良の支流を合はせて、その下流には大きい濃尾平野を開いてゐる。この平野は關東平野に次ぐ大平野で農産豊かである。

日本海斜面の信濃川は、千曲川・犀川

寢覚床



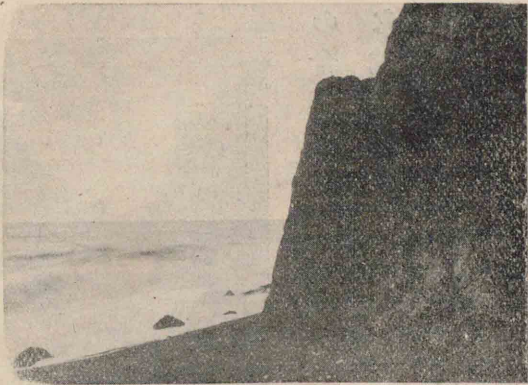
の合流で、その下流は阿賀川と共に廣大な越後平野を形成し、その流域は米産地として知られる。この川は本州第一の大川であるが、舟運の便があるのは下流約八十軒に過ぎない。その他、神通川・庄川・九頭龍川の下流域にも、沃野が発達し

地方誌 中部地方

米の産出が少くない。

海岸

太平洋岸には、東部に伊豆半島が突出して風光明媚な駿河

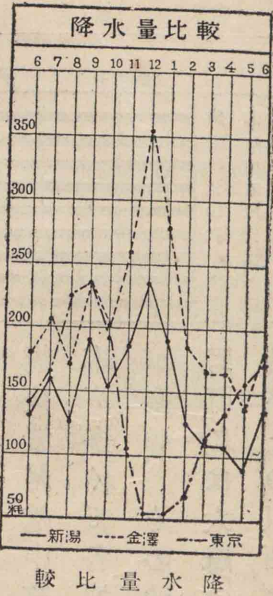
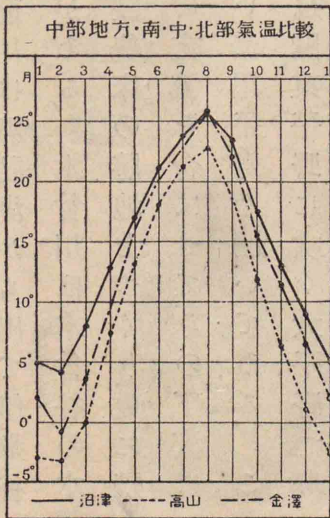


灣を抱き、御前崎から渥美半島に至る海岸は平直である。西部の伊勢海と日本海の若狭灣とは相逼つて本州の地峽をつくつてゐる。日本海には能登半島が突出し、東に富山灣、西に若狭灣、その支灣敦賀灣がある外、概して單調で低平な砂濱が多く、石川縣の海岸には潟湖が發達し、飛驒山脈の海に盡きる所は親不知の嶮崖をつくつてゐる。

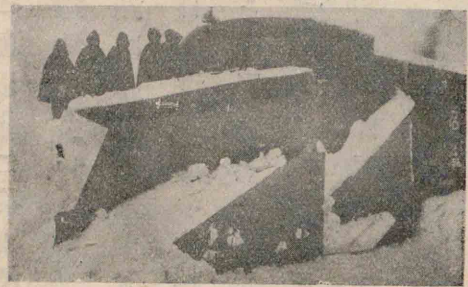
親不知 往時は水際を往來したが今は道路・鐵道が之に通じ昔日の不便がない。

中部地方各気温比較

親不知の嶮崖をつくつてゐる。
氣候 太平洋斜面地方は、海流・地形等の影響で、氣候溫和夏季に雨がが多い。



昭和二年の高山の大雪



排雪機關車

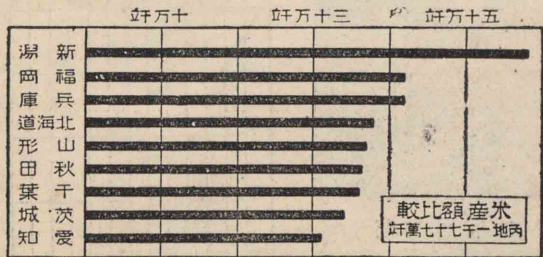


諏訪湖の氷結

飛驒山脈の高地では盛夏でも積雪が溶えないで雪溪をつくつてゐる。

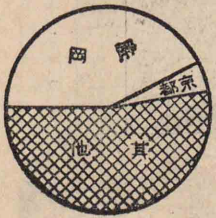
米産額比較

内地緑茶産出価格比較



故に諸種の生産に適し、殊に茶・柑橘類の栽培に適する。又冬温夏涼であるため保養の適地が多い。中央山地は寒暑の差が甚だしく、空気が乾燥し、かの諏訪湖は厚く結氷する。この地方では晩春櫻・梅・桃李一時に開花する。日本海斜面の北陸地方は、アジア大陸に對するの、その影響を受けることが著しく、夏季は比較的高温であるが、冬季は北西季節風が對馬海流上を吹いて、殆ど連日雨雪を降らし、裏日本の特色を呈する。

産業 信濃・木曾・神通等の諸大河の下流并びに海岸地方は、土地がよく開けて農業が盛である。米は、越後・濃尾・越中等の諸平野に産し、收穫内地緑茶産出価格比較率が多くて各地に移出せられるものが多い。その他、愛知縣には麥・蔬菜、長野縣には大麻の産が多い。静岡附近及びその以西は、茶の栽培に適しその



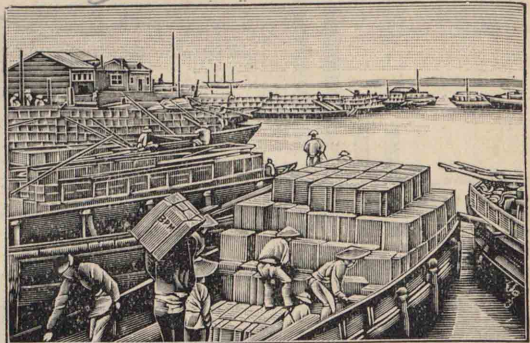
蜜柑の栽培も亦盛である。

木曾五木

清水港の茶の積出し

勝沼附近葡萄畑

Handwritten notes and sketches of agricultural products and regions.



産額は全國第一位で、清水港からおもに海外に輸出する。甲府盆地の東部では葡萄の産が多く、勝沼附近はその中心である。養蠶は、中央の山地及び濃尾平野に盛で、殊に長野縣は繭の産額が多い。

この地方は風土林業に適し、又古來森林の保護に努めたために、林業は頗る盛で、中でも中央山地を主とし、木曾谷及び天龍川上流は、檜等の良材を産し、名古屋及び天龍川口等へ積出す。鑛産は、新潟縣の石油が第一であつて、信濃川の兩側に沿つた各地に産し、東山・西山・新津の油田を主とする。そして新津・柏崎で製油される。この外相川の金、尾小屋の銅、神岡の鉛等は世に聞える。



木曾五木
扁柏・榎・鼠子
明檜・榎

明治神宮及び朝鮮神宮の用材は多くこの檜を用いた。

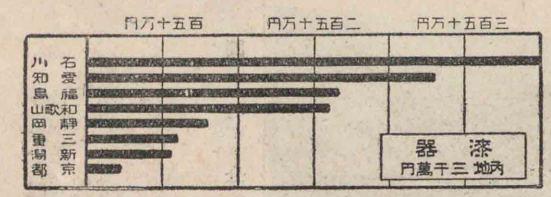
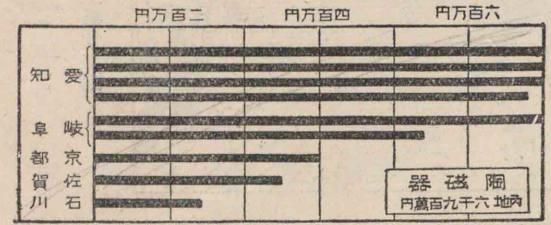
木曾山脈
小山系古屋山脈

新潟
秋田
山梨
長野
静岡
大分
大津
日本海
中津

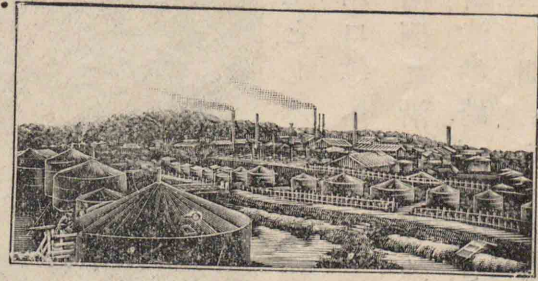
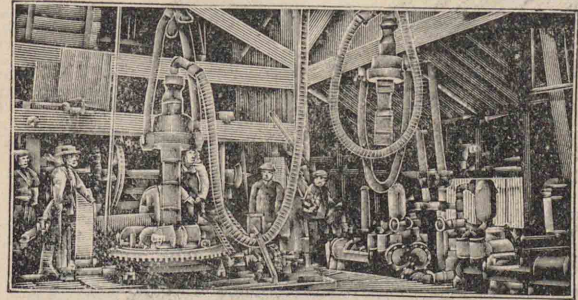
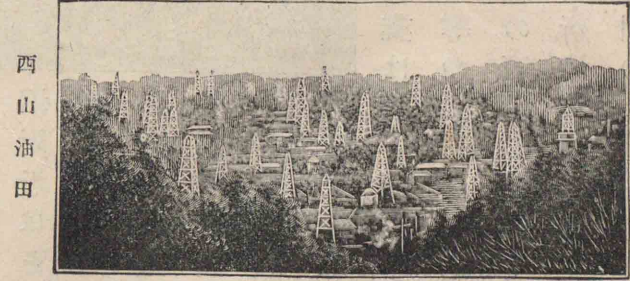
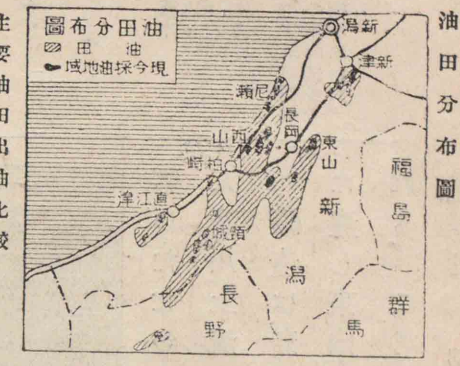
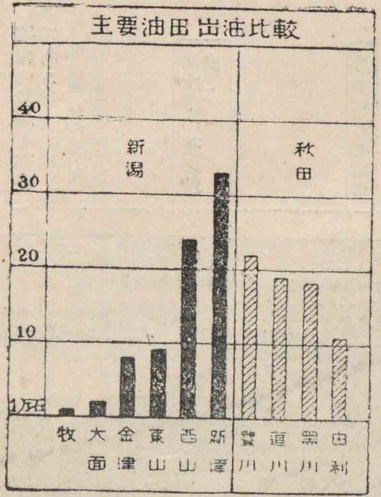
漆器産額比較
横濱から輸出される生絲の大部分はこの地方の産である。

陶器産額比較
静岡縣の饅頭産額は全國の首位を占めてゐる。

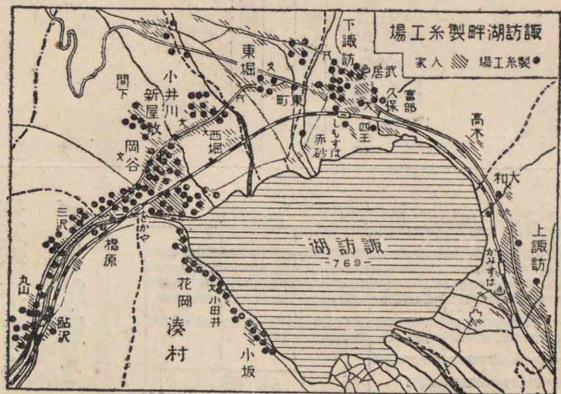
地方誌 中部地方



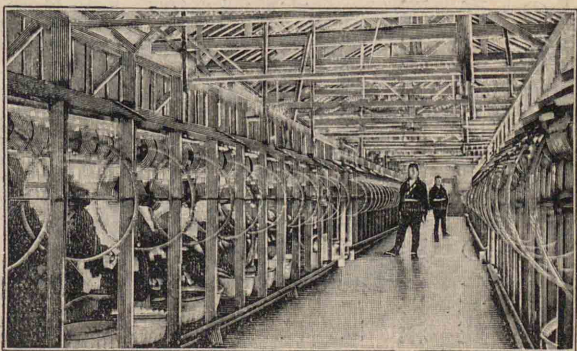
水産は頗る豊富で、太平洋方面は暖流性の漁族に富み、鱈、鯷等の漁獲が多く、水産製造物も亦少なくない。静岡縣はこの地方第一の水産業地である。日本海方面は、鰯、鯛、烏賊等の産が多く、この地方河川では、鮭、鱒を産する。工業は、東海道方面が殊に發達し、大都市は概ね工業品の製造が盛である。名古屋市を中心とする工業地帯には、織物、綿絲、麥粉、機械等を産する。製絲業は、長野、愛知、岐阜、山梨の諸縣を主とし、中でも長野縣諏訪地方が最も盛で、岡谷はその中心地である。機業は各地で行はれ、北陸方面の福井、石川、富山の三縣は、絹織物殊に羽二重の産が多い。その他、愛知、静岡の綿織、山梨の海氣織等がある。木曾山脈の南西麓地方は、製陶業が盛で、瀬戸、多治見等



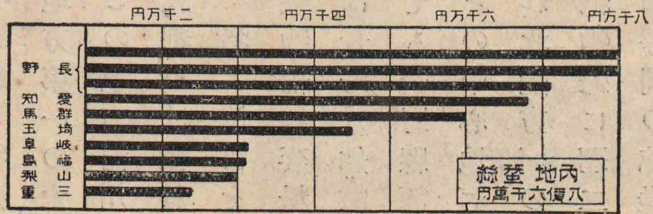
諏訪湖畔製糸工場分布圖



岡谷全景



製糸工場の内部



陶器

産知日本一

瀬子

岐

多

石川

長野

貿易港

太平洋方面

清水・名古屋・武

豊

日本海方面

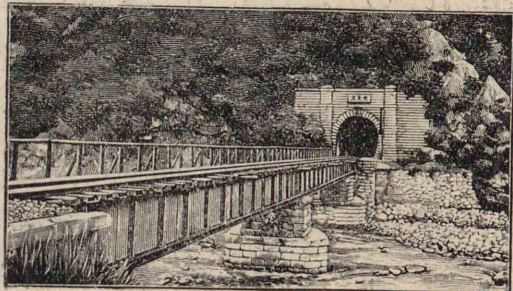
敦賀・七尾・伏木

新潟・夷

笹子峠の隧道

をその中心とする。この外、石川縣の九谷焼、硬質陶器が世に聞えてゐる。その他、静岡、石川の二縣は漆器の産が多く、静岡、岐阜、福井の諸縣からは和紙を産し、大宮附近には數多の製紙工場があつて、水力を利用し、パルプから洋紙を製し、愛知縣では酒醬油の醸造が盛である。かく産業が発達してゐるから、商業は關東、近畿の兩地方に次いで盛で、名古屋はその中心であつて、東京、大阪、兩都の中間をその商區とする。外國貿易は、この地方の開港場でも行はれるが、港灣が良好でない爲に却つて横濱、神戸を經由するものが多い。

交通 この地方は、高山急流が多いにかゝら、その位置が關東、近畿の兩地方の間にある爲に昔から上方と江戸とを連絡した東海道、中仙道等の主要道路が通じ、鐵道もこれに沿つて敷設されてゐる。東海道本線は、本邦鐵道幹線の主要部分



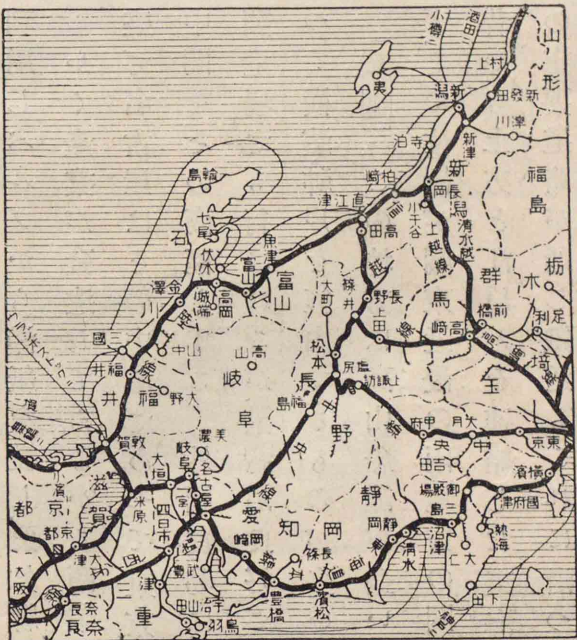
であつて、海道筋を通つて關東關西の兩地方を連絡し、名古屋で關西

中央線 東京發、關西經由名古屋迄。

北陸線 直江津發、金澤經由米原迄。

信越線 高崎發、長野・直江津・長岡經由新潟迄。

中部地方交通圖 敦湖航路は歐亞連絡の重要な交通路で、片道に約四十時間を要する。名古屋にラヂオ放送局がある。



本線に連絡する。中央線は、山地の谿谷を貫き、北陸本線は日本海方面を走る。その他信越線、磐越線、羽越線等がある。日本海沿岸の鐵道は、冬季積雪のために往々交通を妨げられる。又日本海は、冬季風波荒く、且良港に乏しいから、太平洋方面よりも發達しない。

都會 太平洋斜面地方は、天産が豊か、て人文が早く開け、人口が稠密であるために都會の數も多い。中部の山地は蠶業が盛であつて、製絲業も興つたけれども、未だ未開の山地が多く、人口の密度が小で

中部地方人口密度圖

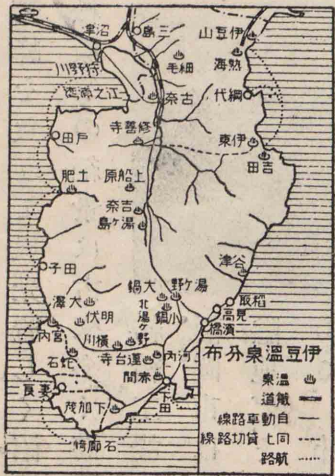
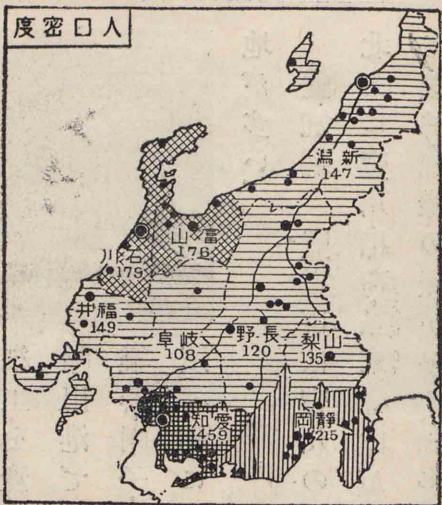
靜岡縣 (靜岡) 駿河 遠江 伊豆 (諸島以南)

熱海には間歇温泉がある。

濱松市 九二
静岡市 八五
清水市 四六
沼津市 三二
大宮町 一八

伊豆半島 伊豆分佈圖

修善寺温泉



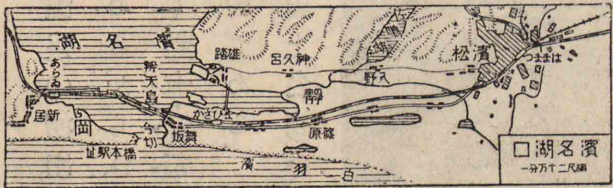
駿河の北岸には、後富の土



秀峰を負うて風光麗しく、沼津市・興津の保養地がある。又田子浦・三保松原等の絶景は、古來多く詩歌に詠まれてゐる。小山に



紡績工場、大宮に洋紙の大工場がある。静岡市は昔駿府といひ、徳川家康の退隱地で、その南東久能山には東照宮がある。市は製茶、木材の市場で、漆器、竹細工を産する。東方の清水市は茶の輸出港である。濱松市は工業が盛で、樂器、帽子、捺染、リボン等を産し、附近の濱名湖には養魚が行はれ、湖岸には勝



地が多い。

愛知縣

豊橋市は、豊川の岸に位し、製絲業が盛で、その北方に豊川稻荷、鳳來寺山がある。岡崎市は徳川氏創業の地であつて、製絲、綿織の産が多く、知多半島には醸造業が盛である。

淺間神社
官幣大社
祭神 木花咲耶媛命
東照宮
別格官幣社
祭神 徳川家康
静岡に高等學校がある。

富士山麓の製紙工場

濱名湖口附近圖

濱松には高等工業學校がある。又北方に三方原の古戰場がある。

愛知縣 (名古屋)

三河 尾張

名古屋市 七六八

豊橋市 八二

岡崎市 四四

一宮市 三五

瀬戸町 一七

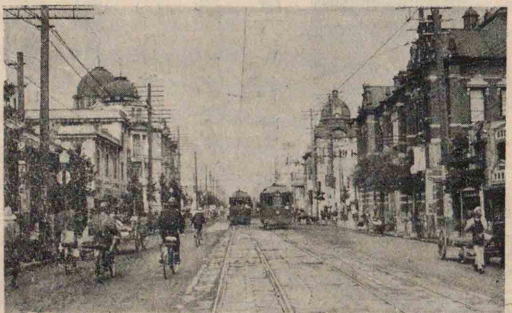
名古屋は中部地方文化の中心地で、愛知醫科大學・第八高等學校・高等工業學校・高等商業學校等がある。また控訴院が置かれてゐる。名古屋には綿絲・綿布・毛織物・時計・陶磁器・麥粉・車輛・兵器等を製造する工場がある。又七寶燒の名産がある。

上 名古屋城
下 名古屋市街

熱田神宮
官幣大社
祭神 草薙實劍



名古屋市は濃尾平野を控へ伊勢海に面し、東西兩京の間の最大都市であつて、俗に中京とも呼びもと徳川氏親藩の居城地であつた。金の號で名高い名古屋城には、今は離宮と第三師團司令部が置かれる。市は交通の要衝に當り、商工業が盛大で、中部地方物資の一大供給地である。市の南部には熱田神宮がある。一宮市は綿絲、毛織物を産し、瀬戸は瀬戸燒の産地として知られる。この縣は、戦國時代に織田信長、豊臣秀吉、徳川家康等の幾多名將勇士を輩出し、桶狭間を始めこれ等に關係ある史蹟が多い。



岐阜縣 飛騨

岐阜市 八二

大垣市 三四

高山町 一七

多治見町 一一

岐阜に高等農林學

校がある。

大垣市の四方關ヶ

原は古戰場として

名高い。

長良川の鵜飼

高山の附近の位山

は一位木の産地で

ある。

赤阪は大理石を産

する。

養老瀧

長野縣 (長野)

信濃



岐阜縣 岐阜市は平野の中央に位し、鵜飼に
名高い長良川に臨み、絹織物美濃紙等の取引が
多くまた傘、提灯、團扇等の紙製品を産する。東
方の各務原に陸軍の飛行場がある。大垣市は
揖斐川水運の便がよく米の集散が多い。その
南西の養老公園には養老瀧がある。高山は飛
騨盆地の中心で、製絲業が盛に行はれまた春慶
塗を産す
る。中央

線に沿つた中津には製絲業が
行はれ多治見は陶磁器の産が
多い。
長野縣 この縣は略本州の
中部に位し、四境山を繞らし、山



長野市 六六
松本市 六三
上田市 三〇
上諏訪町 二〇
下諏訪町 一七
飯田町 一一
伊那町 一五

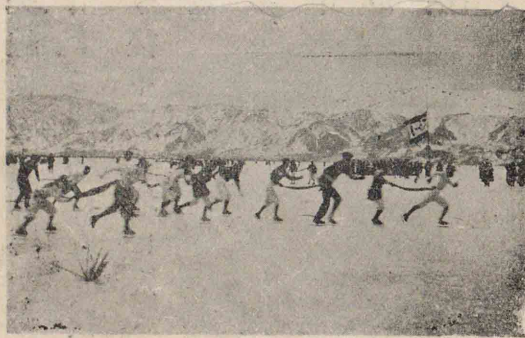
浅間山の遠望



地の間の谷には大河發達し、鐵道はこれに沿つ
て通じてゐる。中央線は鹽尻で篠井線と會し
木曾谷を通じる。福島はその中心である。諏訪
平は製絲業の盛な地方で、岡谷はその中心であ
る。諏訪湖は冬季氷滑の遊戯場として知られ、湖
岸の上、諏訪下、諏訪には温
泉がある。この附近から寒
天を産する。飯田は南部
の伊那谷の名邑である。

諏訪湖の水滑
上田に蠶絲専門學
校がある。
長野附近に川中島
の古戰場がある。
松本市に高等學校
がある。
梓川畔に上高地の
温泉がある。

浅間山下の輕井澤は避暑地として知られ、上
田市は繭蠶卵紙肥料の取引が多く、善光寺平の
長野市は縣廳の所在地で、有名な善光寺がある。
松本市は松本平の中心地で、繭蠶卵紙の市場で
あり、大町は日本アルプス登山の一要點である。



山梨縣 (甲府)

甲府市 六八
桂川は水力發電に
利用せられる。

猿橋

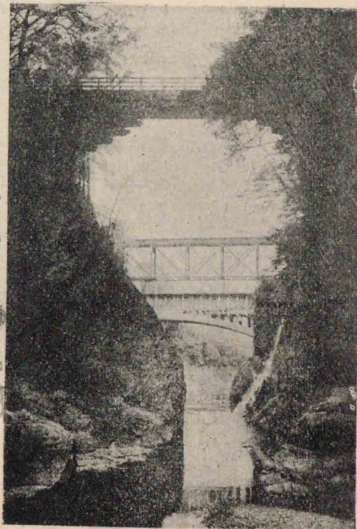
甲府に高等工業學
校がある。

身延山久遠寺

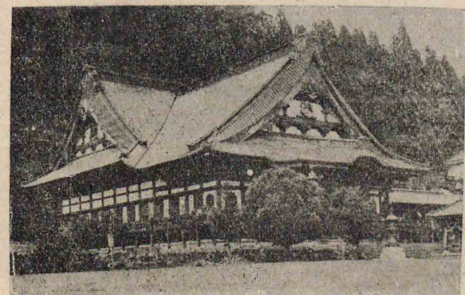
新潟縣 (新潟)

越後 佐渡

新潟市 一〇九
長岡市 五三
新潟市 三一
柏崎町 一六
直江津町 二五



山梨縣 中央線は、神奈川縣から桂川の谿谷に沿うて本縣に入り、猿橋の奇勝を過ぎ後甲府盆地に入る。郡内地方は海氣 (甲斐絹)の産が多く、谷村はその中心である。



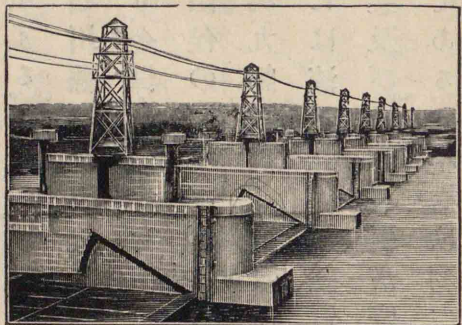
甲府市は甲府盆地の中心で製絲業が盛んで水晶細工の特産がある。その北方には御嶽の勝地がある。鰻澤は富士川舟運の起點地で、その下流に日蓮宗の本山身延山久遠寺がある。新潟縣 信越線は、長野縣から來て荒川流域の高田市をすぎ、直江津で北陸本線と會する。高田市は冬季積雪が多いためスキーが盛である。長岡市はこの附近交通の中心地であつて、柏崎、新津と共に製油業が盛で、また米の取引が多く市況繁盛であ

高田の北西方に上杉氏の舊城址春日山がある。山の高山の山腹に赤倉温泉がある。長岡 高等工業學校がある。小千谷・五泉は絹織物を産する。

上スキー練習
下大河津の洗塩

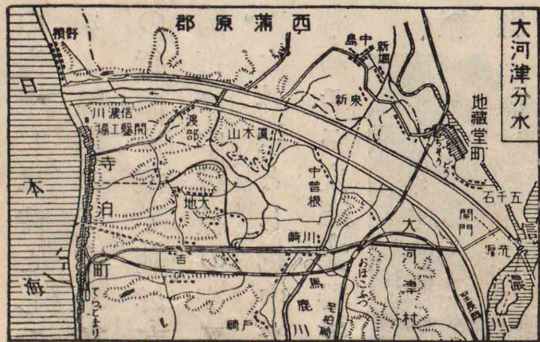
大河津分水圖

新潟に醫科大學、高等學校がある。冬季風波のはげしい時は佐渡の夷港に避ける。



なつた。縣廳所在地新

潟市は同河の川口に位し舊五港の一であるが、船舶の碇泊に不便なために貿易は振はない。鐵工業綿織業等が盛んである。佐渡島の夷港は良港であり、西岸の相川は古來金産地として知られてゐる。



信濃川は、近年大河津から日本海に直通する分水路ができたため、その下流域は水害を免れ、河口は土砂の堆積を

下田神奈川

新潟 六九

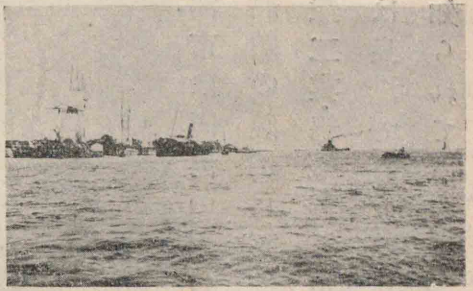
富山縣 (富山) 越中

富山市 六七
高岡市 四二
魚津町 一一
伏木町 一二
滑川近海には蟹島
賊が多い。
富山には高等學校
醫學專門學校があ
る。

伏木 港
高岡に高等商業學
校がある。

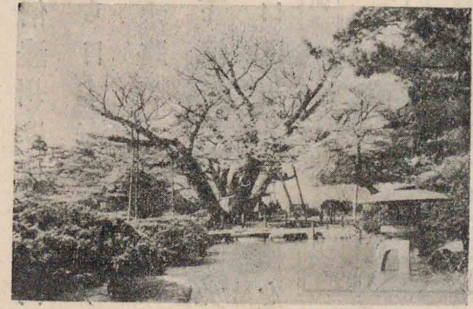
石川縣 (金澤) 加賀 能登

金澤市 一四七
小松町 一五
輪島町 一三
七尾町 一三
兼六公園
金澤に醫科大學・
第四高等學校・高
等工業學校がある。
金石に金澤無線電
信局がある。



富山縣 魚津は漁港で、その海上には時として
蜃氣樓の現はれることがある。縣廳の所在地富
山市は古來製藥業が盛で、その行商は遠く朝鮮支
那南洋にも及んでゐる。高岡市は中越線の交叉
點に當り、商工業の中心で伏木を外港とし、越中米
の集散が著しい。また銅器綿絲新モス友禪漆器等
を産する。

峠を過ぎこの縣に入り、金澤大聖寺を経て福井縣
に入る。金澤市は前田侯の舊城下であつて、北陸
第一の都會で、縣廳第九師團司令部及び有名な
兼六公園がある。市には漆器九谷燒硬質陶器金
箔を産し、羽二重の機業及び米の取引が盛であつ
て、金石港はその外港である。小松は羽二重機業



敦賀 港

福井縣 福井 越前 若狹

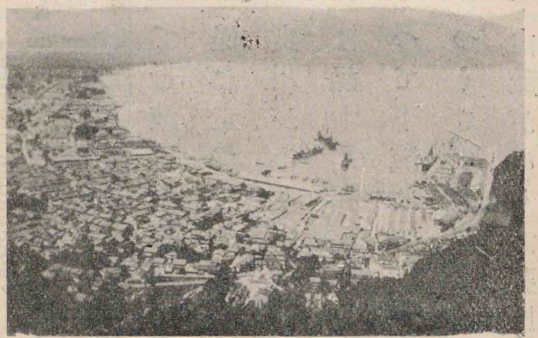
福井市 六〇
敦賀町 二一
武生町 一九
福井・大野等は羽
二重の大産地であ
る。福井に高等工
業學校がある。
三國の附近に東尋
坊の勝地がある。
敦賀の金崎城址に
は金崎宮がある。

藤島神社 別格官幣社
祭神 新田義貞

金崎宮 官幣中社
祭神 尊良・恒

氣比神社 官幣大社
祭神 神功皇后

外六神

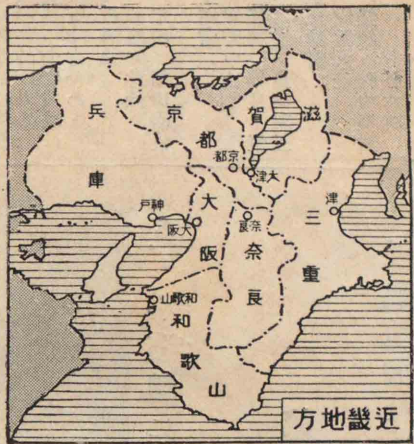


小濱線に沿うた小濱には若狹塗の特産がある。

第四章 近畿地方

近畿地方は、中部地方と中國地方との間に挟まり、もと本邦政治七

密人面 一三九六一方軒
度口積 一〇一六二千人
二六八人



の中心であつた畿内と、その附近の地方とを含み、人文頗る進み人口も亦稠密である。行政上二府五縣に分れてゐる。

地形 地形上この地方を三部に分ける。北部は丹波高原の丘陵が起伏し、南部には紀伊山脈が略東西に走り、中部には、小山脈・盆地・平野が發達し、地形が複雑である。北部山地は中國山脈の東端で、主とし

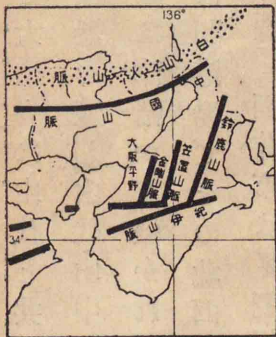
近畿地方
行政區劃圖

近畿地方地形圖

大臺原山

大和アルプスとも呼ぶところがある。

て丹波高原等をつくり、白山火山脈はその北邊を走つてゐる。日本海斜面には朝來川・由良川があり、内海斜面には加古川・揖保川等があつて、下流は播磨平野をつくる。南部には紀伊山脈があり、大臺原山



三井晚鐘

七景はくもにかくれて三井の鐘

芭蕉

石山秋月

都にも人や待つらん石山の峯に残れる秋の夜の月

長能

瀬田夕照 (長橋)

永き日や蝶とつれたつ瀬田のはし

朱迪

粟津晴嵐

嵐渡粟津春興長 吹霞吹雨似相狂 山花片々一蘆海

湖上閑鷗夢亦香

近衛關白



雁落田堅



帆歸橋矢



照夕田瀨



鐘晚井三



雪暮長比



雨夜崎唐



嵐晴津粟



月秋山石

矢橋歸帆

眞帆ひきて矢橋にかへる釣船は打出の濱のあとの追風

唐崎夜雨

からさきの松は花よりおぼろにて

堅田落雁

病む雁の夜さむにおちて旅寝かな

比良暮雪

都にてさむきを見ゆる峯越の比良の遠山雪降りにつけり

伊尹

芭蕉

芭蕉

信實

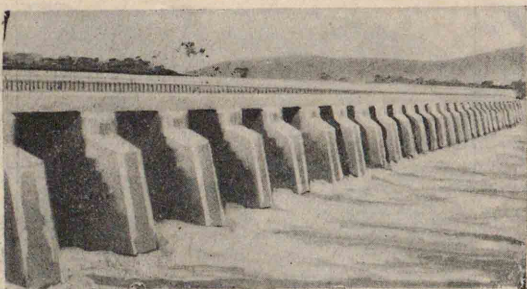
淀川は桂川・賀茂川・宇治川・(勢多川下流)・木津川等の諸川を入れる。紀ノ川の上流を吉野川といふ。熊野川は十津川・北山川の合流である。これ等の小山脈は古來軍事・交通上の要地となり關址古戰場が少なくない。

勢多川の洗堰

湖岬に無線電信局がある。

上嶽等の高峰が聳え森林の發達が著しい。河川は、ここから三方に分流し、紀ノ川・有田川・熊野川・宮川等はその著しいもので、その下流には平野が發達してゐるものがある。この南北兩山地の間には、鈴鹿・笠置・金剛等の小山脈が南北に竝走して伊勢平野・近江盆地・京都盆地・奈良盆地及び大阪平野を分ける。近江盆地の琵琶湖は、本邦最大の湖であつて、その水は流れて中部の低地を貫いてゐる。湖の末である勢多川には、洗堰を設けて水量を調節し、淀川と合して大阪灣に入る。舟運・灌漑・水力の利用が著しい。この中央部の平野・盆地は古來わが國の中心地となつた處で、文化よく開け産業進み大都會が發達してゐる。

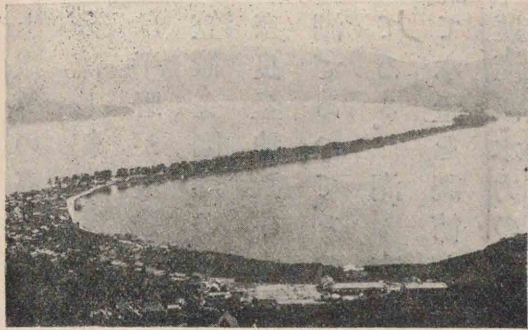
海岸 伊勢海は海岸單調なるに反し、志摩半島から湖岬に至る熊野灘は風波荒く、内奥との連絡も不便なので、漁港として利用される小港



橋 杭 岩

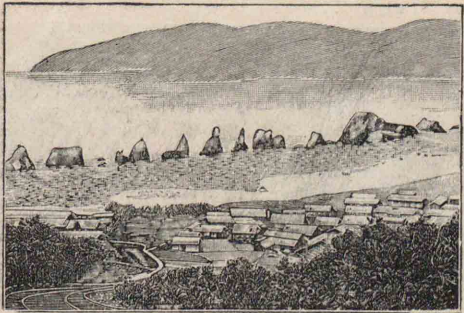
和歌山縣潮岬附近にあり、海水の浸蝕により岩石の硬き部分が残存せるものである。

天 橋 立



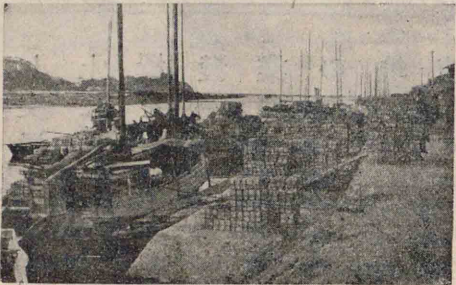
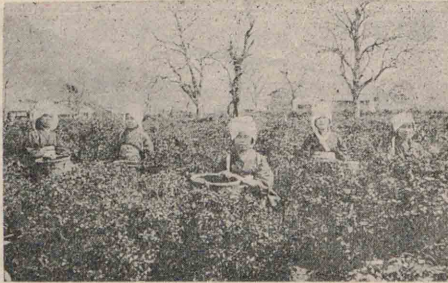
があるに過ぎぬ。淡路島は紀伊水道と大阪灣及び播磨灘とをわける。大阪灣沿岸は産業進み文化よく開けて、大阪神戸等の大港市を控へてゐる。大阪灣の西部から播磨灘沿岸は、白砂青松の勝地で氣候亦温暖であるから名勝保養地が多い。日本海方面の與謝半島の東部には、宮津舞鶴の灣入があるが、西部は概して單調である。宮津灣には、一條の砂洲が長く突出て、青松その上を被うて天橋立をつくり、舞鶴灣には舞鶴要港がある。

〔氣候〕 紀伊山脈以南の地方は、日本海流の影響を受けて、氣温高く雨量も多いため、森林の生育に適するが、北部の山地は氣候が稍寒冷で雨



宇治の茶摘み
宇治茶は品質良好である。
有田川筋の蜜柑の積出し
紀州蜜柑は内地は勿論朝鮮・滿洲等へも多く輸出せられる。

雪が多い。中部殊に内海沿岸は全國中稀に見る良い氣候で保養の適地が多い。

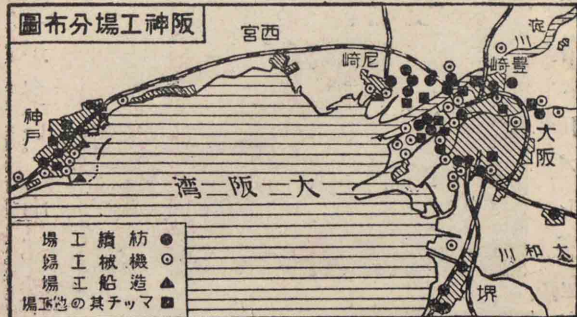


〔産業〕 農業は内海沿岸から琵琶湖畔に盛で、耕地よく開け、二毛作が行はれて、米・麥・菜種等の産が多く、又大都市の附近には蔬菜の栽培が盛である。京都盆地及びその附近と伊勢の北西部は茶を産し、有田川筋は蜜柑・ネーブル等を産し、箕島はその集散地である。牧畜は農耕屠殺搾乳用として牛の飼養が多く、就中神戸牛は但馬その他に多く牧養せられてゐる。養蠶は丹波高原地方、東近江に盛である。

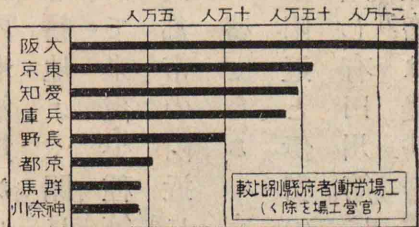
紀伊山脈地方の暖濕な山地には、林業が盛で、吉野・熊野・高野地方の森林が殊に名高く、杉・扁柏の良材を産し、紀ノ川・熊野川から和歌山・新

京都附近には竹材を産する。赤標鹽はその名風に知られてゐる。

宮に運搬集散せられる。水産業は熊野灘に鯷・鯨の獵獲が多く、志摩半島英虞灣には眞珠貝の養殖が行はれ、琵琶湖には淡水産の魚介を産する。水産製造物には鹽寒天等がある。鑛産には生野の銀、明延の錫の産等があるに過ぎぬ。



この地方は本州の中樞に位置し交通發達し、人文よく開けた上に、外國に對しても須要な位置を占めてゐるから、商工業の發達を促し、わが國最要の商工業地となつた。大阪灣播磨灘の沿岸地方は、わが國の大工業地帯であつて、各種の大工場が連なり機械工業が盛に行はれ、京都市には美術工藝が發達してゐる。



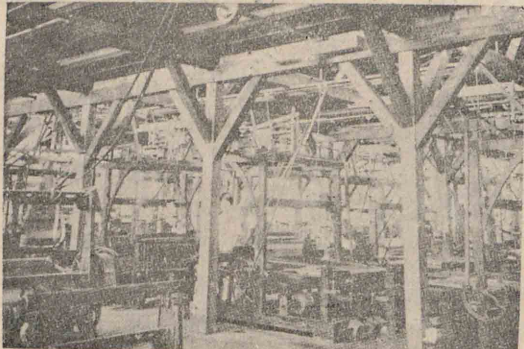
上 阪神工場分
布圖
下 工場労働者
府縣別比

上 綿織物額
下 内地綿絲紡績額

西陣とは、京都市の北西部の總稱で、其織物には綾・錦・織子・縮緬等がある。

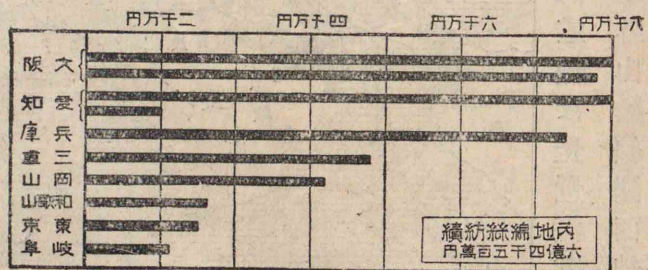
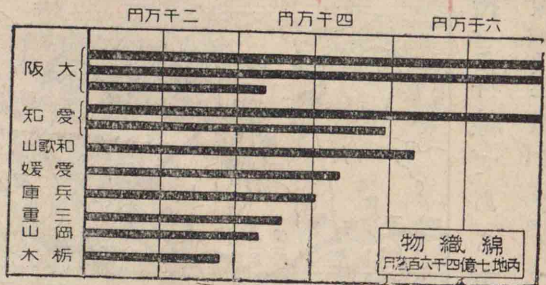
織物工場内部

灘五郷
今津・西ノ宮・奥本庄・御影・西流都賀濱
吹田にはビールを醸造する。



地方誌 近畿地方

阪神工業地帯には、綿絲綿布、肥料・セルロイド・硝子・セメント、マツチ・麥粉・船舶・洋紙・機械・工業用品、莫大小毛織物等を産する。京都には西陣織・友禪染・刺繡・清水焼・漆器等の美術工藝品を産する。その他、和歌山の紀州ネル、近江の麻織物、長濱及び峰山の縮緬、和歌山縣の漆器等も、亦その産額が少なくない。兵庫縣は古來醸造地として知られ、就中灘地方は醇良の清酒を



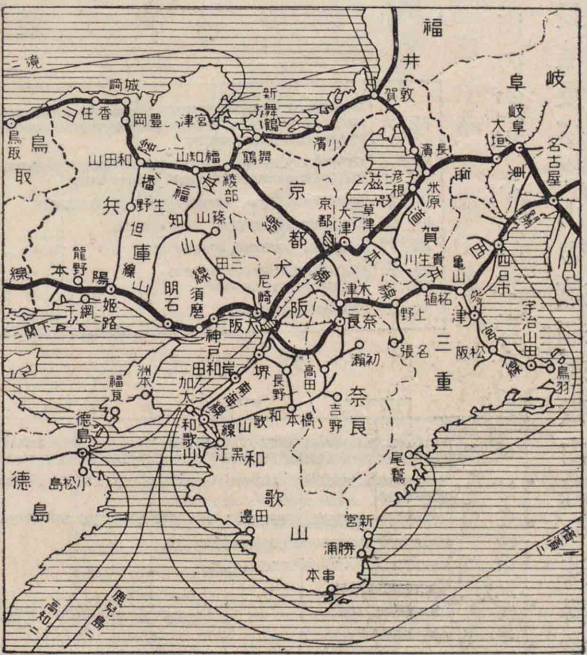
大阪の商區は東京のそれよりも大きく今や東亞方面との取引も盛に行はれる。

一 近畿地方交通圖

この外開港に宮津がある。
山陽本線 神戸・發岡山・廣島
關西本線 名古屋・發龜山・奈良・郡山
參宮線 大阪
播但線 龜山・鳥羽間
福知山線 神崎・福知山間

産し、龍野は醬油の産を以て聞えてゐる。かく工業の發達と地理上の好位置を占めることとは、商業の繁盛を促して、大阪は内國商業の西方中心である。神戸・大阪は外國貿易の中心であり、又近畿工業地帯の門戸であつて、莫大の原料を輸入し、四日市は濃尾平野の門戸で近年の發展が著しい。

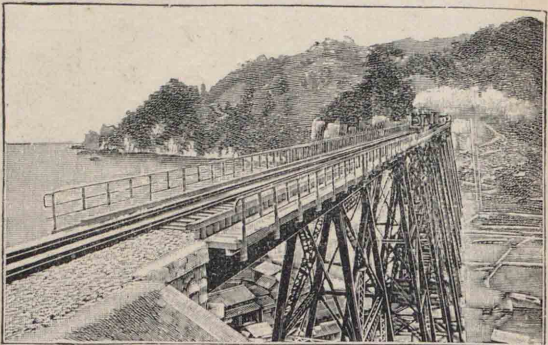
交通 この地方は古來帝都の所在地であつた爲に、主要な道路は多くここに集つてゐる。鐵道は中部の低地に密で、幹線である東海道線は琵琶湖畔から淀川筋に進み、神戸で山陽線と連絡する。この外山陰線關西線



餘部の鐵橋 餘部の鐵橋は長さ三百〇九米、高さ四十米で餘部村落に跨る。

疏水運河

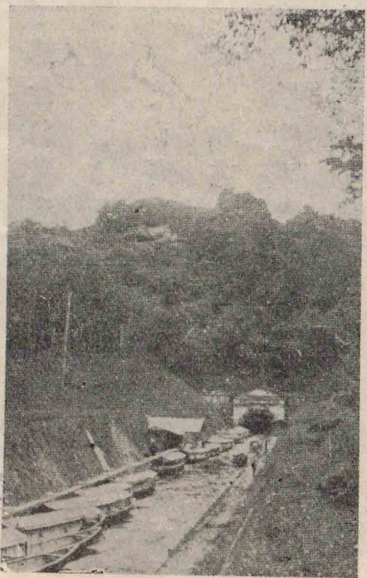
三井寺の下より隧道に入り約十二軒の西にある京都に通じ灌漑運輸に利用せられる。疏水運河の水は京都で、淀川の水は大阪で共に飲料水・用水として使用せられる。



日本海方面の航運は頗る不振である。

都會 この地方は舊日本の中心であつて、交通便で産業進み人

地方誌 近畿地方



滋賀縣(天津)
近江

大津市 三四
彦根町 二〇
長濱町 一三

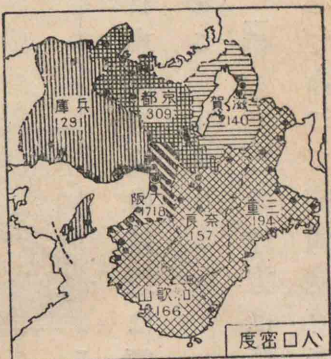
人口密度圖

伊吹山には高層氣
象觀測所・スキー
練習所がある。
彦根に高等商業學
校がある。
八日市附近に陸軍
飛行聯隊がある。

長濱の北方には姉
川・賤ヶ岳の古戦
場がある、柳ヶ瀬
附近は冬季積雪が
多い。

圓城寺は一に三井
寺とも呼ぶ。

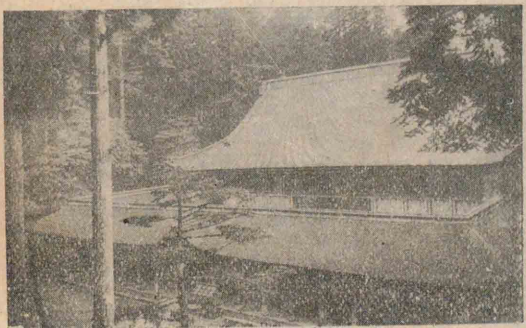
延曆寺



口稠密で都會の發達が著しい。
滋賀縣 米原は北陸線の分岐點であり、
彦根は井伊氏の舊城下で、近江鐵道がここ
から岐れ日野地方へ通じる。日野は八幡
と共に麻織物を産し、近江商人の郷土であ
る。縣廳の所在地

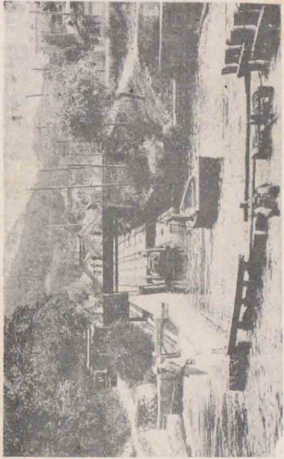
である大津市は湖畔の一要津で、製麻工業タ
オルの製造が行はれる。比叡山には天台宗
の本山延曆寺がある。

琵琶湖畔は風光麗はしく、就中大津市附
近を中心として近江八景がある。三井晚
鐘石山秋月瀨田夕照粟津晴嵐矢橋歸帆唐
崎夜雨堅田落雁比良暮雪であつて、古來詩
歌に詠まれて名高い。

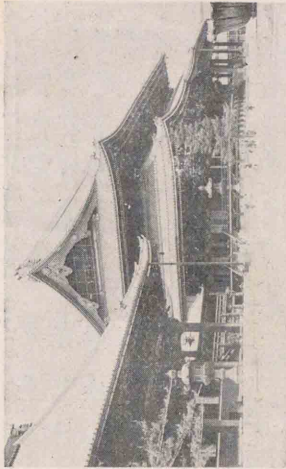


寺 園 金

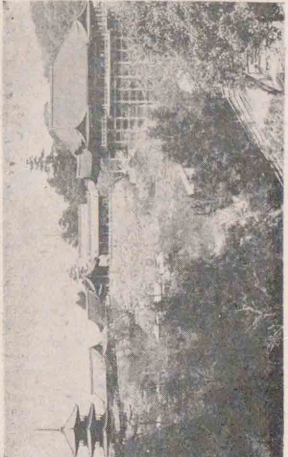
メイヤラクライメ



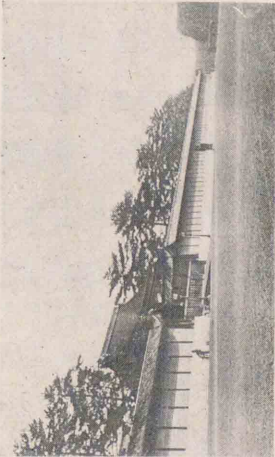
東本願寺



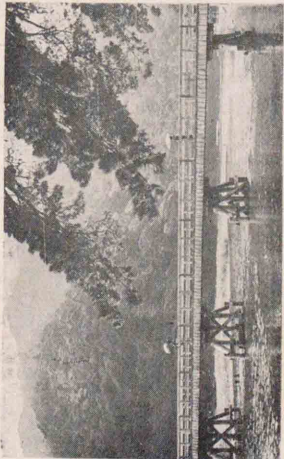
清水寺



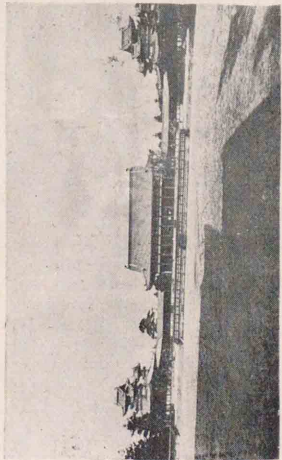
京都御所



嵐山



平安神宮



京都府 (京都市)

丹波一部

六八〇〇

三〇〇〇

二〇〇〇

一四〇〇

京都市 伏見町 福知山町 新舞鶴町 宮津町 有名な社寺

平安神宮・建勳神社・北野神社・豊國神社・東西本願寺・知恩院・清水寺

名所

金閣・銀閣・嵐山

高野

即位の禮及び大嘗祭は京都で行はせられる。

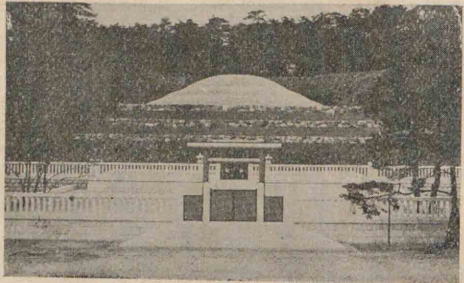
第三高等學校・高等工藝學校・繪畫專門學校・同志社大學等がある。

明治天皇御陵

伏見桃山陵・伏見桃山東陵と申し奉る。

平等院には名高い風凰堂がある。宇治には宇治川水力電氣會社の發電所がある。

京都府 京都市は同名の盆地に位し、三方山に圍まれ賀茂川に跨り、四近の風光美はしく山紫水明の都である。市は平安奠都以來一千有餘年間帝都の地で、京都御所・二條離宮を首め、神社佛閣名所舊蹟が頗る多く、歴史的都市として並ぶものなく、遊覽の人が常に絶えない。市街は街區整然として上京下京の兩區に分れ、府廳京都帝國大學醫科大學恩賜博物館等があつて關西學藝の中心地である。附近に第十六師團司令部が置かれる、又この地の美術工藝品は世に名高い。



市は南方近くに伏見があり、清酒の醸造で聞え、東方の桃山には明治天皇及び昭憲皇太后の御陵がある。宇治は茶の産地で平等院の名刹がある。南東境の木津川に沿うた笠置山は、後醍醐天皇の行在所として史上に名高い。

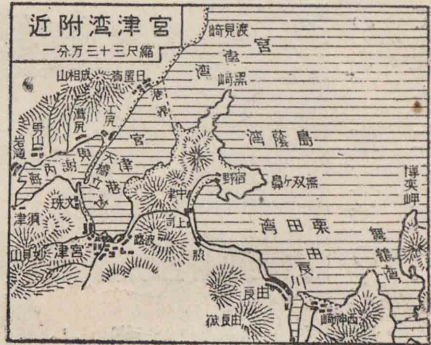
地方誌 近畿地方

舞鶴に海軍機關學校がある。

宮津灣附近

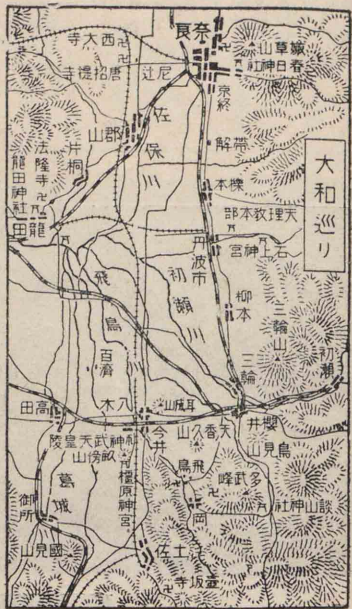
奈良縣(奈良)
大和

奈良市 郡山町 一四九
奈良に女子高等師範學校がある。
春日神社
官幣大社
祭神 武甕槌神 外三神
官國幣社は奈良縣京都府に多い。
奈良の南方丹波市に天理教本部がある。

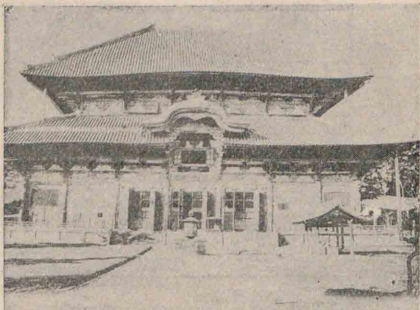


山陰本線は綾部で舞鶴線を派出し福知山で福知山線を分岐する。舞鶴灣は東西の二つに岐れ東灣は海軍の要港である。宮津は開港場でその北に天橋立がある。峰山地方は昭和二年の春大地震が起り死傷者多く損害も甚しかった。

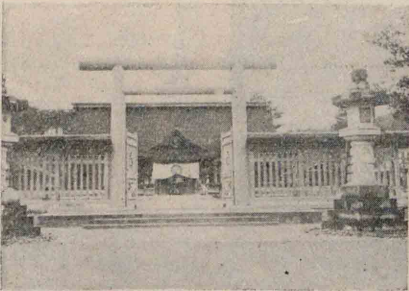
なしてこれを訪ねる人が多い。奈良市は縣廳の所在地であつて奈良盆地の北端に位し、三笠山を負ひ、古の平城舊都の東部を占めてゐる廣大な奈良公園には、春日神社、東大寺、正倉院等があつて、歴史的都市として名高い。根來塗墨、人形、奈良漬、鉦等を産する。郡山は紡績工業が行はれ、法隆寺は同名の古刹で名高い。畝傍山の麓には神武天皇の御陵があり、その南東に橿原神宮、多武



大和巡り地圖



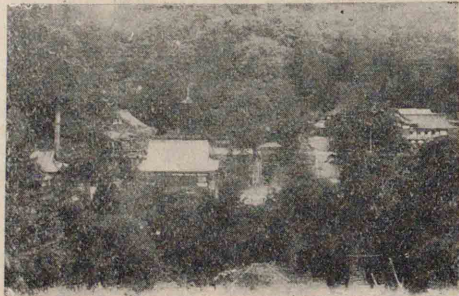
東大寺大佛堂



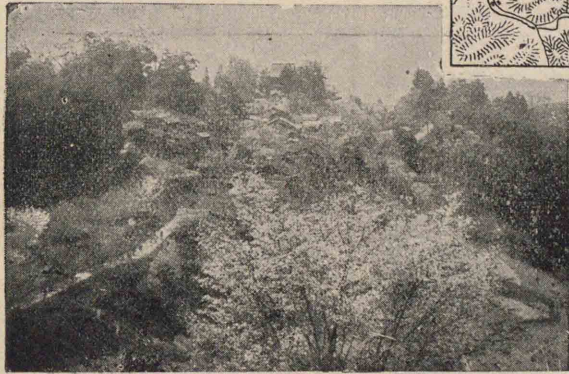
橿原神宮



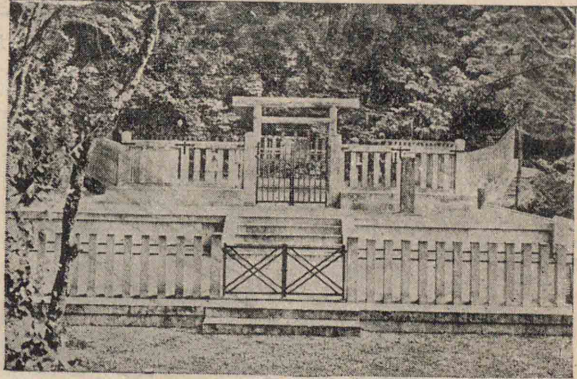
法隆寺金堂



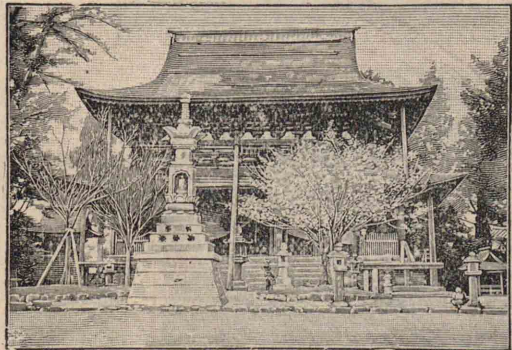
多武峰



中ノ千本より藏王室を望む



後醍醐天皇御陵(塔尾陵)

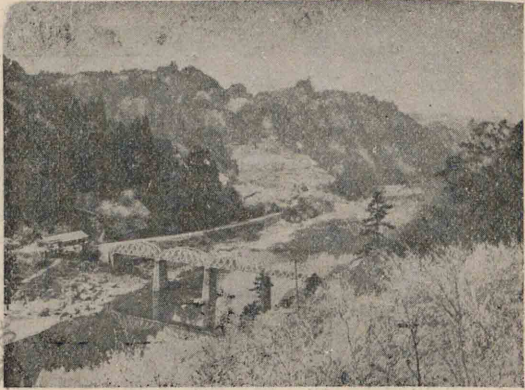


藏王堂

遷原神宮 官幣大社 神武天皇
 談山神社 祭神 藤原鎌足
 別格官幣社 祭神 藤原鎌足
 吉野神宮 祭神 後醍醐天皇
 官幣大社 祭神 後醍醐天皇
 月瀬の梅林

三重縣 (連)
 伊賀 伊勢
 紀伊一部

津市 街
 四日市 市 萬古焼
 津市 市 高等農林學校
 田派の本山 眞宗高
 がある。



川の河口にあつて米穀の市場で名高く、四日市市はその積出港である。この地は開港場であり、紡績製紙、製油が盛である。龜山は參宮線の分岐點で洋紙、陶器の産がある。上野は伊賀盆地の中心で木材、薪炭の集散が盛である。津市は縣廳の所在

峰には談山神社がある。吉野地方は山深く山中植林がよく行はれて、吉野杉の良材を産する。この地方は吉野朝五十餘年の皇居のあつた處で歌書よりも軍書に悲しく、吉野神宮、後醍醐天皇陵、藏王堂等がある。櫻花満開の頃はことに杖曳く人士が多い。縣の北東部にある月瀬は梅花の名所である。

三重縣 桑名は揖斐

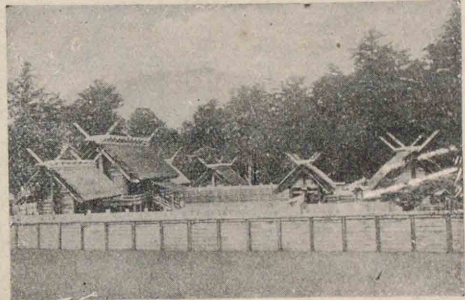


松阪は本居宣長翁の誕生地である。

内宮

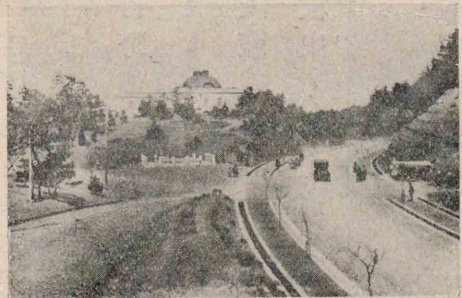
上二見
下古見
館浦

地方誌 近畿地方



地で綿絲綿布を産し、松阪は木綿を産する。
宇治山田市は伊勢神宮鎮座の地であつて、又神都と呼ばれ参拜人が四時絶えない、綿絲傘を産す。宇治に内宮があつて天照大神を祀り、山田に外宮があつて豊受大神を祀つてゐる。神域崇高社殿莊嚴、賽者は自然に尊崇の念にうたれて、忝さに涙がこぼれる程である。

る。實に伊勢の神風は長へにわが國を護り、五十鈴の流は千古に清い。市に神宮司廳、徴古館、神宮皇學館がある。近郊に二見浦の勝地がある。志摩半島の北岸にある鳥羽。



明野に陸軍の飛行學校がある。

和歌山縣(和歌山)

紀大伊部

和歌山市 九六

新宮町 二四

田邊町 一一

箕島町 一〇

黒江町 〇

那智瀧

那智瀧は直下八十餘丈ありと稱せられ、遠く海上より望むことが出来る。

田邊の附近には鉛山温泉がある。

瀧八丁

和歌山に高等商業學校がある。

は、風光が佳い港であつて、鐵工業が行はれ、熊野灘沿岸の尾鷲は木材の積出しが盛である。



和歌山縣 熊野川口に臨む新宮は、木材薪炭の集散が多く、又この地は本宮、那智と共に熊野

三社を祀り、那智には那智瀧、熊野川上流には瀧八丁の勝がある。紀伊水道沿岸には、田邊、湯淺、箕島等の要津がある。箕島は蜜柑の積出し港である。

和歌山市は縣廳の所在地であつて、紀川の口に位し、徳川氏が親藩を封じた地である。紀州ネル、莫大小樽類を産し、木材の取引が盛



地方誌 近畿地方

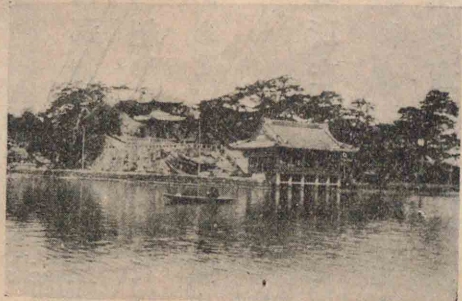
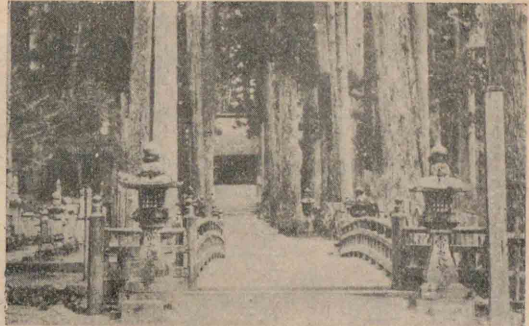
下上 高野山奥院
和歌浦

大阪府 大阪
河内 和泉
攝津 一部

大阪市 二一五
堺市 一〇五
吹田町 三二
池田町 一七
濱寺町 二二

四條畷神社

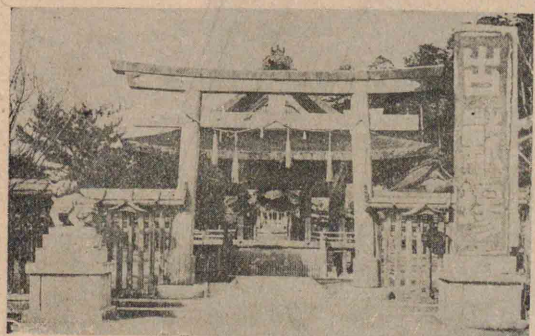
別格官幣社
祭神 楠木正行
堺市の東方には仁
徳天皇の大山陵が
ある、堺は綏通を
産する。



を産する。

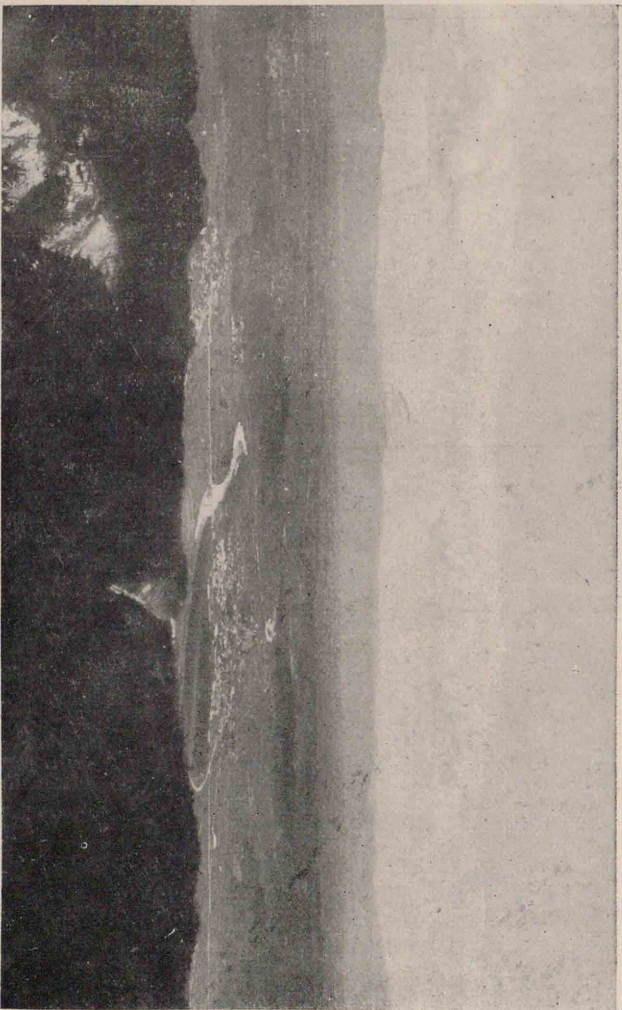
である。市の附近に和歌浦の勝地や漆器の産地である黒江がある。高野山には眞言宗の本山である金剛峰寺があり、附近には杉檜の良材

能登一の高野山
八八

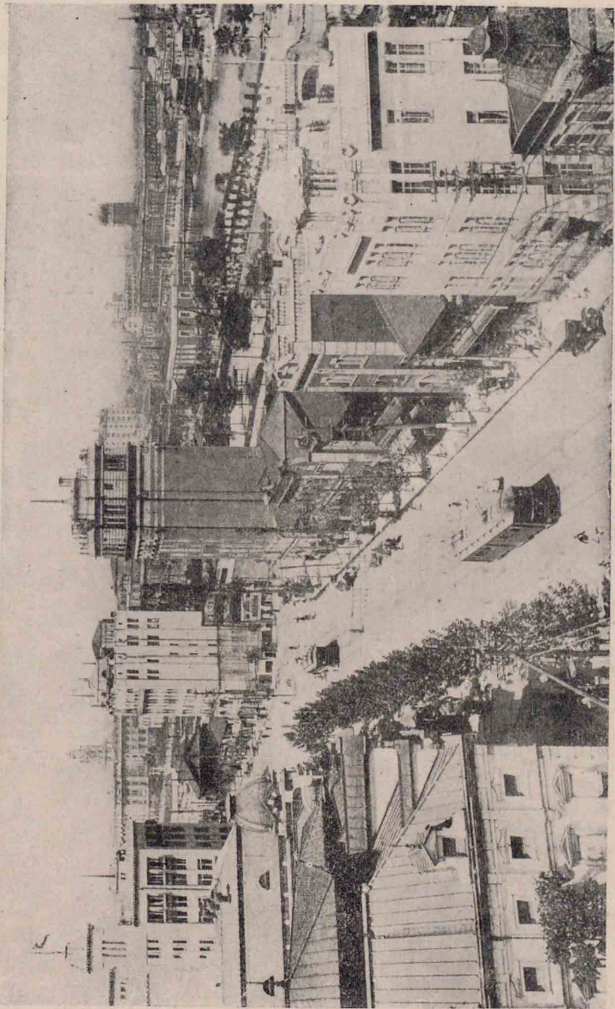


科明易中心地たりヨリ

大阪府 岸・和・田・市は紡績業が盛で、又煉瓦・マニラロープを産する。その南東の金剛山は四條畷と共に楠木氏の遺蹟地として史上に名高い。堺市は大和川の口に近く、綿糸・足袋・煉瓦・清酒・刃物・セルロイド製品を産する。



野平和太



大阪市の北(北濱附近)

東京市は大震災により人口減少したため大阪市は本邦第一の大都會となつた。

大阪市の十三區

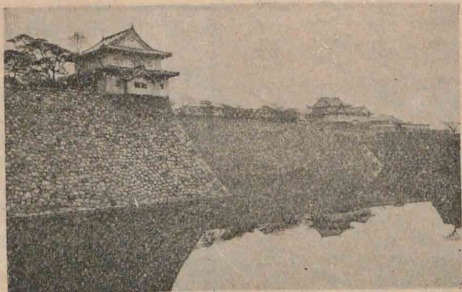
北・此花・東・西・港・天王寺・南・浪速・西淀川・東淀川・東成・西成・住吉

大阪城

市には高等學校・浪速高等學校・高等商業學校・高等工業學校・外國語學校・女子專門學校等がある。

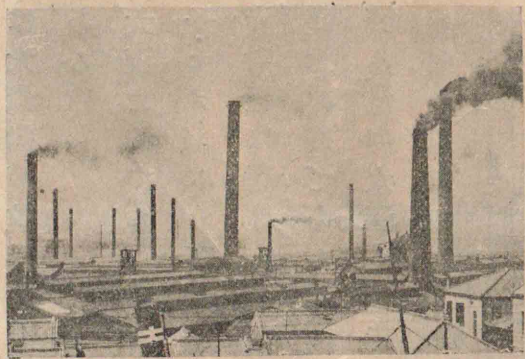
大阪の工業區

大阪の工業品には綿絲紡織・綿布・莫大小機械・工業用藥品・肥料・マツチ硝子・船舶・雜貨等がある。近郊平野には大無線電信局を設け歐洲からの通信を受けける。ラヂオ放送局がある。



大阪市は大阪灣に臨み、淀川三角洲の上に立ち、豊太閣がここに築城して以來、次第に商業・經濟・金融上の中心となり、わが國南西半の物資の大集散地である。市は十三區に分れ、溝渠橋梁多く水都と呼ばれる。市の内外には、大阪城址・四天王寺・住吉神社・濱寺・箕面・寶塚等の名勝・史蹟・遊覽地がある。

又市の内外には、公私の大工場が多く、煙突が林立して煤煙が天を蔽ふ程である。官設の造兵工廠造幣局の外、諸種の大工場では工業品の製造が行はれ、その商區はわが國の南西半から鮮滿支にも及んでゐる。市はまた關西に於ける交通の一大中心で、鐵道・電車等の陸上交通網の發達が著し



阪神間は工業が盛んで人口稠密であるから交通が頗る頻繁である。

兵庫縣 (補)
 丹波津 一
 但馬 播磨 淡路 部部
 神戸市 六四四
 姫路市 四五六
 尼崎市 四四四
 明石市 三七七
 西宮市 二三四
 洲本町 二二五
 御影町 一一七
 豊岡町 一一一
 有馬は温泉地である。

市に高等商業學校・高等商船學校・高等工業學校がある。

工業品には船舶・綿絲紡績・マツチ・麥粉・肥料・洋紙・精糖・ゴム製品等がある。

別格官幣社
 祭神 楠木正成
 上 川崎造船所
 下 海洋氣象臺

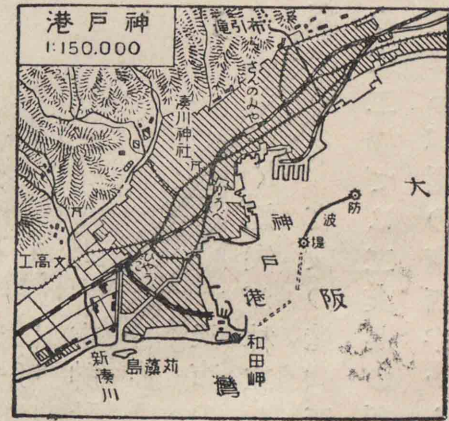
姫路に高等學校がある。

中央標準時子午線通過地識標

我が國の中央標準時子午線は明石の東部を通過する。圖はその地點に建てたる識標で背後の家屋は裁判所である。

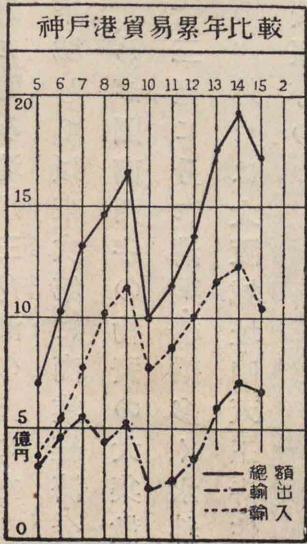
地方誌 近畿地方

い、又沿岸航路の船舶は安治川に集り、築港には大汽船が碇繋する、市に府廳第四師團司令部控訴院醫科大學等がある。

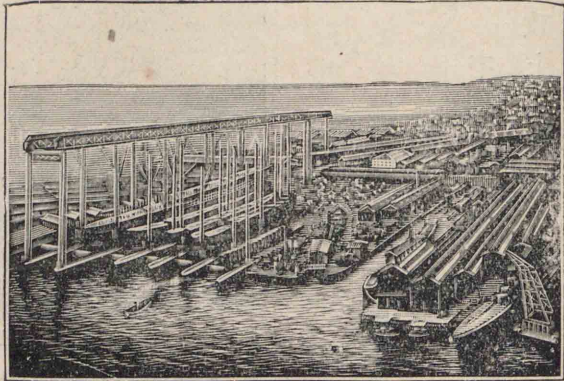


易港の一で貿易は多く東洋諸國との間に行はれる。綿綿鐵類機械類化學藥品羊毛等を輸入し、生絲絹織物綿織物を輸出する。工業もよく

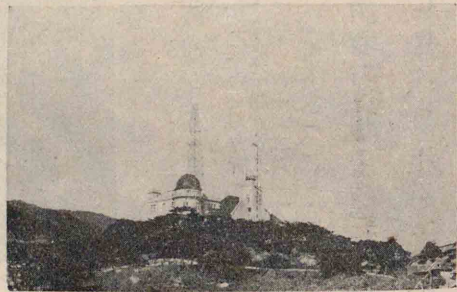
兵庫縣 尼崎市は大阪に接する工業市であつて、綿絲紡績硝子・セメントの製造が行はれ、西宮市及び御影附近は灘地方と呼び、伊丹と共に清酒の醸造が盛である。神戸市は大阪灣に臨み、港内水深く近時築港半ば成り、その貿易額は横濱港の上に位し實に本邦大貿易



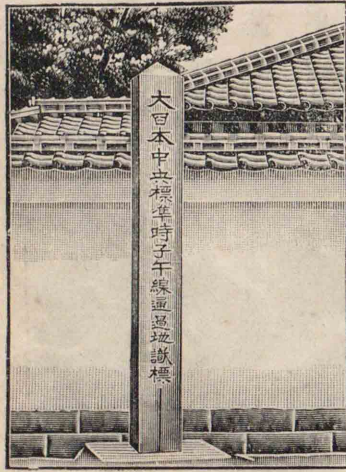
池田清酒本舗
 吹田春酒
 九〇



發達し、川崎・三菱の兩造船所を首め、幾多の大工場があつて工業品を製造する。市に縣廳海洋氣象臺湊川神社がある。山陽線は神戸から起り、白砂・青松の相連る間に須磨・舞子・明石市を過ぎ、姫路市に達する。姫路市は第十



師團司令部の所在地で、毛絲革細工を産する。龍野は醬油を産し、赤穂は製鹽と義士の事蹟で名高い。播但線は市川に沿ひ和田山で山陰線に接する。



地方誌 近畿地方



豊岡は朝來川流域の名邑で柳行李を産する。附近に城崎温泉及び玄・武洞の奇勝がある。この附近は大正十四年の大地震のために甚しい損害を受けた。淡路島の洲本は淡路焼を産し、由良・福良は紀淡・鳴門兩海峡の要地である。



九二

上城崎温泉
下白鷺城

山口縣は山陽・山陰兩斜面を有するが、通例山陽地方に入れる。

第五章 中國地方

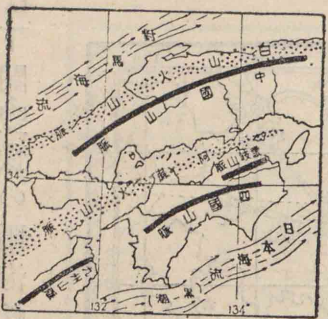
面積 三一六七〇平方
人口密度 五一四・五千人
人口 一六二八

中國地方は本州西端の半島部であつて、近畿九州の中間に位し、行政上五縣に分れ、山陽に岡山・廣島・山口の三縣、山陰に鳥取・島根の二縣

がある。

地形

高原性の中國山脈が東西に走つて脊梁をなし、地形を山陽山陰の兩斜面に分ける。山陰地方には白山火山脈が通じ、大山・三瓶山等を噴起し、所々に温泉が湧出する。河流は南北に分流し、山陽には吉井・旭・高梁・大田・岩國等の諸川があつて、岡山平野・廣島平野を開いてある。山陰には中國第一の長流である江川があるが、沿岸は平野に乏しい。斐伊川・日野川等の下流は、宍道湖・中海の沿岸と共に出雲平野を開いてある。



海岸

南北によつて著しくその趣が異なつてゐて、日本海沿岸は島根半島が宍道湖・中海を抱き、隠岐島に對してゐる外は、概して單調で良港灣に乏しく、僅かに境濱田港があるに過ぎない。瀬戸内海沿岸は港灣岬角に富み、無数の島嶼が散點してゐる。

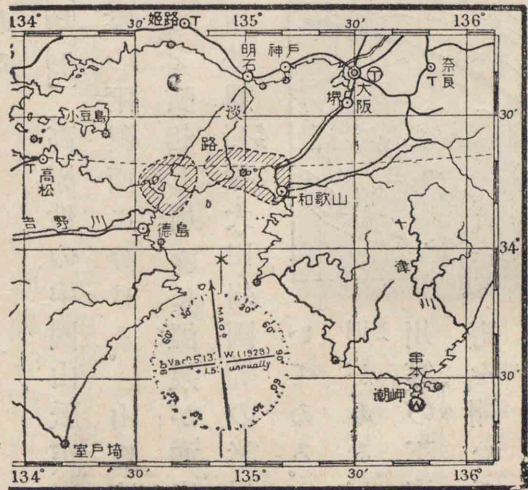
大山を伯耆富士とも云ふ。

中國・四國系圖

瀬戸内海 近畿・中國・四國・九州の四地方に囲まれた内海であつて、中國・四國・兩山脈間の地方の陥没及び海水の浸蝕によつてできたものである。東は鳴門・紀淡の兩海峽によつて、西は下關・豊豫の兩海峽により、僅かに外海に通じ

屋島談古蹟より内海を望む

軍航空圖



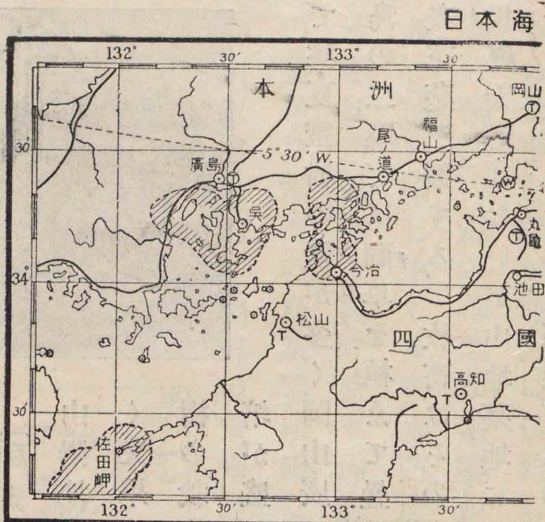
1:30,000 主要鐵道 4°W 磁針偏差

るだけである。内海はまた淡路島・兒島・高繩の兩半島を等々の附近の島嶼及び國東半島で分けられて、大阪灣・播磨灘・備後灘・安藝灘・伊豫灘・周防灘等となつて



藝豫海峽の要塞地帯は、近時廢止せられた。

鞆の港



1:30,000 航海燈 無線電信所 著陸場 要塞地帯

ある。沿岸は長汀曲浦が相連なり、海上には數多の島嶼が散點して、幾多の瀬戸をつくり、眞帆片帆、碧波に映じ、山容水態恰かも畫圖の如



く、實に海の公園の名に背かない。この沿岸地方は文化夙に開け、この海上は古來わが國海上交通の要路であつて、東に大阪・神戸、西に下關・門司などの主要開港場があるので、外國航路も多くここに通じ、内外汽船の往來がはげしい。また漁利に富む、

夏蜜柑畑

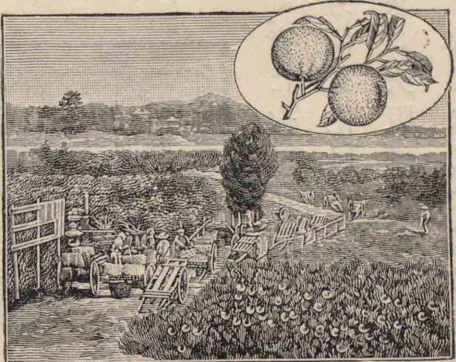
備前米・防長米が、殊に著はれてゐる。

岡山縣の水蜜桃、葡萄、山口縣の夏蜜柑等は著名である。

蘭の花 苧取織

除蟲菊・大麻を産する

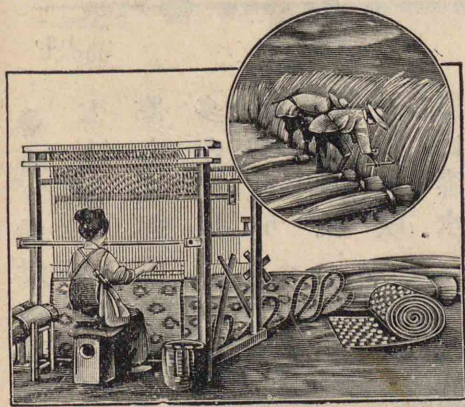
疊表産額比較



て桃・夏蜜柑の産が多く、岡山・廣島の二縣では蘭草を植ゑて疊表・花苧を製する。牧畜はその規模大ではないが、山地臺地に行はれ、廣島・山口の兩縣では多

【氣候】 山陰地方は氣温低く、冬季は對馬海流上を吹いて來る北西風の爲に曇天多く、又雨雪量大であるが、山陽地方は地形の影響によつて氣候温暖で晴天多く雨量も少ない。

【産業】 この地方は廣大な平野に乏しいが、山陽地方は耕地よく開けて米・麥等の産が多く、又果樹の栽培が盛



産地	疊表産額 (円)
廣島	約 1,200,000
山口	約 800,000
岡山	約 600,000
備前	約 400,000
備後	約 300,000
備中	約 200,000
備前・備中・備後	約 1,500,000

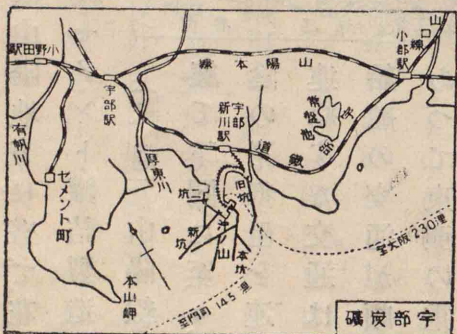
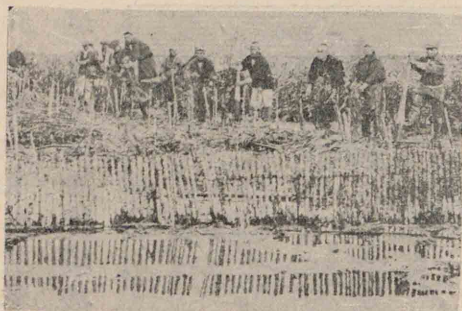
牛の頭數比較

上 牡 養
殖 備 立
下 宇 部 炭 礦

大嶺炭は徳山の海軍燃料廠の原料に供せられる。

廣島縣には清酒の醸造が盛である。

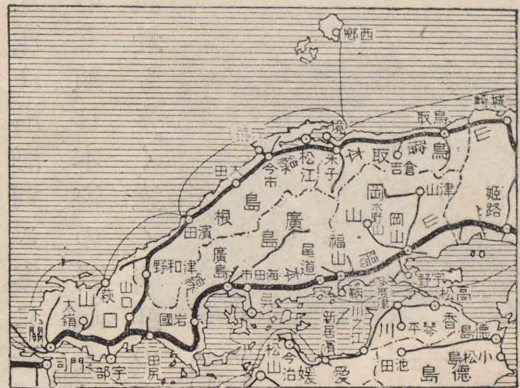
數の食牛を阪神地方に供給し又罐詰とする。雨量が少なく晴天が多い瀬戸内海の砂濱は製鹽が發達し所謂十州鹽田の一部を成し、中でも松永・防府等が最も盛である。水産は沿海到る處に盛で、内海の鯛・鱒・廣島縣の牡蠣の養殖、日本海の烏賊等は殊に著はれ、山口縣は水産額最も多く、遠く朝鮮の東海方面へも出漁する。



産には、この地方の特産の砂鐵の外、山口縣の宇部・大嶺の石炭、岡山縣の銀・銅・秋吉の大石、及び各地の石材等

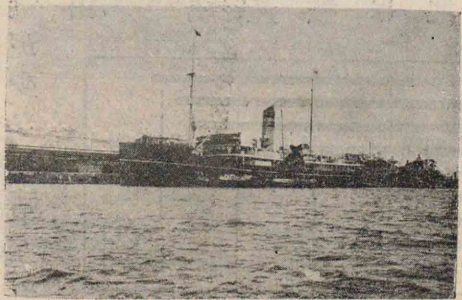
産地	牛の頭數 (頭)
廣島	約 1,200,000
山口	約 800,000
岡山	約 600,000
備前	約 400,000
備後	約 300,000
備中	約 200,000
備前・備中・備後	約 1,500,000

がある。家内工業は山陽地方に盛で、花菴、莫蔞、麥稈、眞田、經木、眞田等が多く、近年紡績機織、セメント、鑛詰製造等の工業も發達して來た。



の所在地である。

都會 山陽地方は中國山脈を負ひ瀬戸内海に臨み、氣候溫和で天産に富み、加ふるに古來か



鐵道省の關釜・關門連絡航路がある。山口線は益田・小郡間である。

中國地方交通圖

下關の連絡棧橋

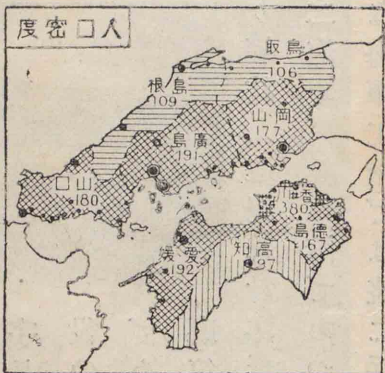
人口密度圖

岡山縣 (岡山) 備前 備中

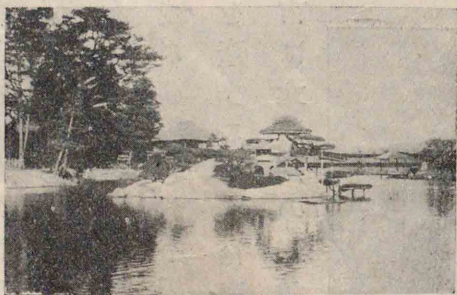
岡山市 一二四
玉島町 一一一
津山町 一七
笠岡町 一三
三石には礫石及耐火煉瓦を産する。伊部には備前焼を産する。

後樂園

岡山醫科大學・第六高等學校がある。兒島灣の淺海に埋立を行ひ水田にしてゐる。川邊川流域に沿ひ、豪溪の勝地がある。



岡山縣 山陽本線は兵庫縣から舟坂峠を過ぎ三石を経て岡山市に入る。岡山市は池田氏の舊城下であつて旭川に跨り、交通の要地を占め、商工業が繁盛で花菴製粉、足袋を産する。後樂園は有名な公園である。山陽線に沿うた倉敷、玉島、笠岡は共に綿絲を産する。高梁は川邊川の流域の中心で、麥稈、眞田、經木、眞田の集散地



である。津山は同名の盆地の中心地であつて、板紙を産し、その西方に院庄がある。宇野は四國に渡る要津で、近年の發展が著しい。

廣島縣

福山市

尾道市は尾道市と共に備後表花苳を産し、附近は製鹽

が盛である。尾道市は四國へ渡る要津であつて、

水産物肥料の取引が多く帆布を産する。また尾

道・尾崎は開港場である。廣島市は大田川の三角

洲上に立つ中國第一の都會で、

宇品港を控へ日清日露の兩戰

役の際には、陸軍輸送の基點地

であつた。市には大本營址縣

廳第五師團司令部控訴院があ

り、罐詰・人造絹絲・針・洋紙・牡蠣を産する。吳市は第

二海軍區の軍港であつて、鎮守府を置き、規模廣大

な海軍工廠では盛に兵器・鋼鐵・艦船を製する。市



廣島縣 (廣島) 備後 安藝

廣島市 一九六

吳市 一三九

福山市 三四

尾道市 二八

福山の北方府中地方は備後絹を産する。

尾道・尾崎は開港場である。

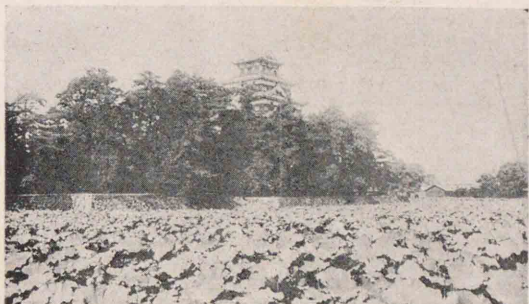
廣島には高等師範學校・高等工業學校・高等學校がある。

尾道 港

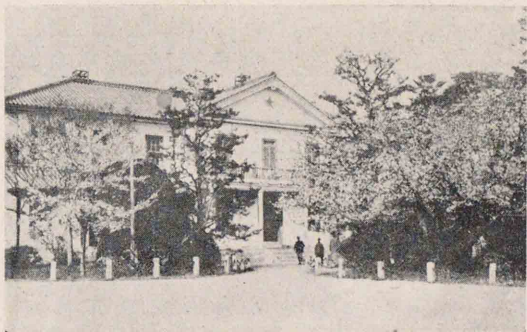
庄原の東に帝釋、加計の西に三段峽の奇勝がある。可部から山繭織を産する。吳に潜水學校がある。江田島には海軍兵學校がある。



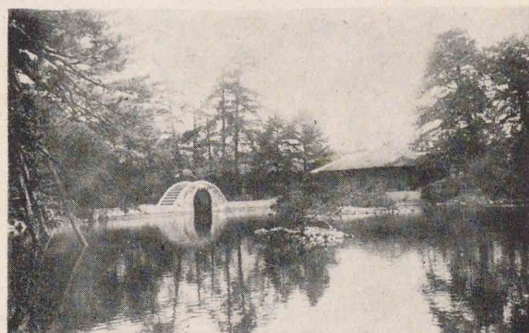
鳥居



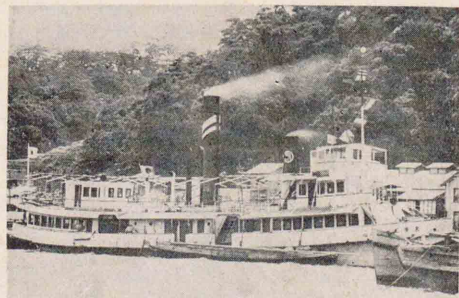
廣島城



大本營址



泉邸



宇品港

嚴島神社
官幣中社
祭神 市杵島姫
命
三次はその中心である。

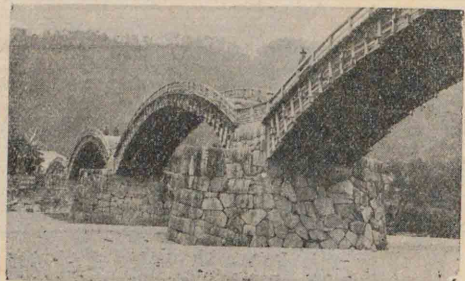
山口縣 (前日)
周防 長門

下關市	九二
宇部市	四九
萩町	三三
山口町	二八
防府町	二〇
徳山町	一〇
岩國町	一一

錦帯橋

大嶺・平壤附近の石炭を原料とする。山口に高等學校・高等商業學校がある。

下關市街
下關は日清講和條約の締結地である。
附近に壇浦の古戦場がある。
萩の北西方の青海島は風景がよい。



には清酒・金ペンを産する。附近の廣には海軍支廠がある。嚴島は天然の風致と、嚴島神社の社殿の美觀とはその名世に著はれる。三次・益地は霧の海を以て知られ、牛大麻を産する。

山口縣 岩國は錦川に跨つて錦帯橋を以て名高く、人造絹絲・岩國縮紙を産する。徳山は開港場であつて、海軍燃料廠がある。防府の附近では製鹽が行はれる。山口は縣廳の所在地で、宇部市は石炭の産で榮え、小野田はセメント工場で名があり、秋吉には大理石を産する。下關市は下

關海峽に臨む開港場であつて、中國地方の西部の門戸を占め、水陸交通の便が開け、九州朝鮮に通じ、米・鮮魚・肥料の取引が盛である。開港場の



阿武川の上流に長門峽の勝地がある。

島根縣 (松江)

出雲 石見

松江市 四一

濱田町 一三

松江に高等學校がある。

出雲 大社

官幣大社

祭神 大國主命

後鳥羽上皇・後醍醐天皇の行宮址がある。

名和神社

別格官幣社

祭神 名和長年

鳥取縣 (鳥取)

因幡 伯耆

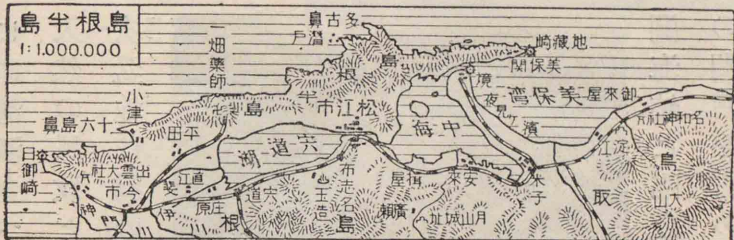
鳥取市 三五

米子市 二七

倉吉町 一三

大山火山の裾野には放牧が行はれ、船上山は史蹟で名高い。

鳥取に高等農業學校がある。



萩は阿武川口にあり夏蜜柑・萩焼を産する。

島根縣 濱田は開港場であつて、紙の集散が行はれ、

大社は出雲平野の西端に位し、出雲大社鎮守の地で賽

者が多い。松江市は風光美はしい

宍道湖の東岸に位し、山陰第一の都

會であつて、清酒を産し縣廳の所在

地である。附近から出雲焼・瑪璃細

工を産する。日本海上の隠岐は島

前島後に分れ、錫の産が多く、島後の

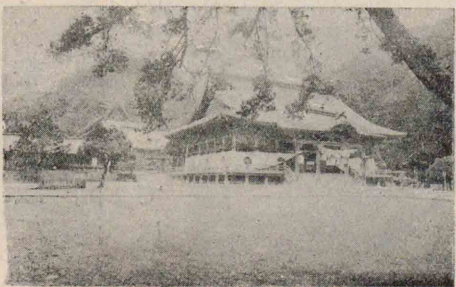
西郷は好漁港で漁船の出入が多い。

鳥取縣 米子市は中海に臨み、水

陸交通の要地であつて、境線はここから岐れて白砂青

松の夜見濱の砂嘴の尖端にある境に達する。倉吉は

木綿織の産に富み、この南東に三朝温泉がある。鳥取

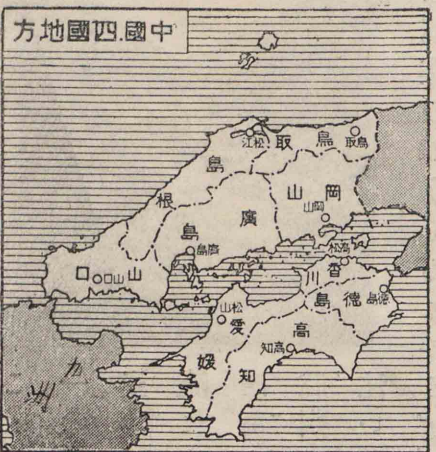


市は千代川の下流に位し、縣廳の所在地で近海に海柳を産する。市の南東に宇倍神社がある。賀露は鳥取市の外港である。

第六章 四國地方

面積 一八七六七方呎
人口密度 一七四九人

面積 一八七六七方呎
人口密度 一七四九人



この山脈は本島の地形を南北に分けるので、氣候・交通はその影響を

四國山脈の北に低
山性の讃岐山脈が
ある。
吉野川は四國三郎
と呼ぶところがある
下流には水害が屢々
起る。

大崩壊

土佐灣の一部は古
代地震のために陥
没したものである。

備讃海峡

受けたために、南北兩斜面の人文の發達が異なつてゐる。河川は多く

これ等の山脈から發する。吉野川は四國第

一の長流であつて、四國山脈を横ざる處に大

崩壊・小崩壊の峡谷をつくり、東流してその下

流に徳島平野を開いてゐる。その他仁淀川・

四萬十川は土佐灣に入り、

肱川・重信川は瀬戸内海に

注いでゐる。四國島の形

は胡蝶の舞うてゐるやうで、室戸・蹉跎の兩岬が遠

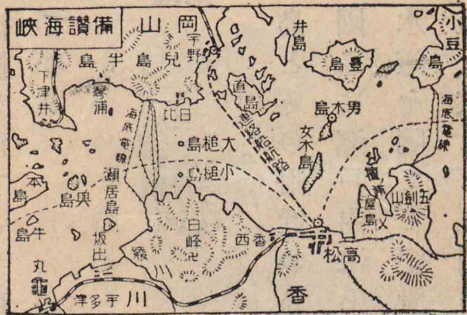
く相對して土佐灣を抱き、四國山脈の盡きる處は

海岸が屈曲に富み、殊に豊後水道沿岸は佐田岬を

首め、幾多の岬角・港灣が多く、紀伊水道の鳴門海峡

は潮流急で航行が危険である。瀬戸内海には讃

岐高繩の半島が突出し、沿岸には島嶼が多い。



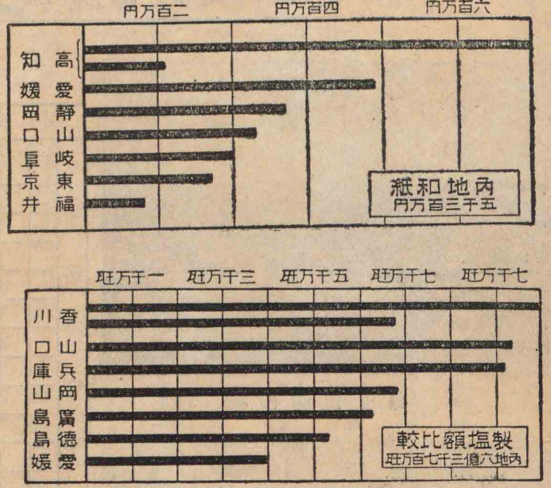
備讃海峡

土佐半紙・大洲半紙は世に知られる。その他香川・愛媛・高知・徳島・高松・香川・愛媛・高知・徳島・高松の産物がある。太平洋方面の多雨地方では森林が繁茂し木材薪炭を産し樟腦等の副産物もある。豊後水道南部に紅珊瑚を産する。

佐節の製造

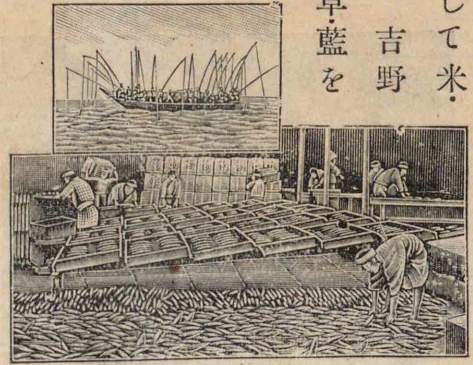
地方誌 四國地方

産し、西部地方では榎を植ゑて木蠟を採り、愛媛・高知兩縣の山地では楮・三楮から和紙を製する。水産は一帯に豊富であつて、内海の鯛・鱒、太平洋面の鰹・鰯・鯨等著はれ、高知縣の鰹節はその名が聞えてゐる。製鹽は

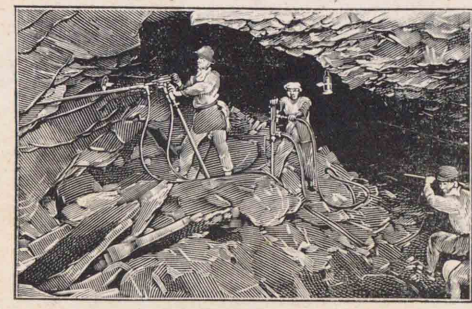


【氣候】 内海斜面は氣候温和で雨量が少なく晴天の日が多い。太平洋斜面は黒潮の影響を受け高温で、夏季には降雨が多く本邦多雨地帯の一である。

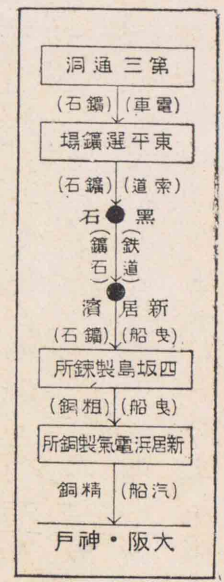
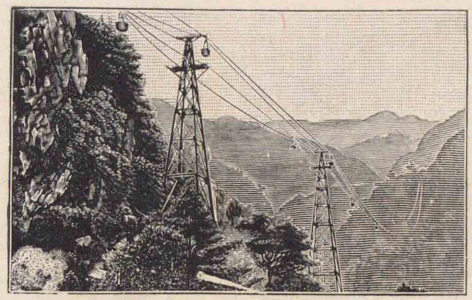
【産業】 地域は狭いが、内海方面は耕作がよく發達して米・麥の産が多い。吉野川流域は葉煙草・藍を



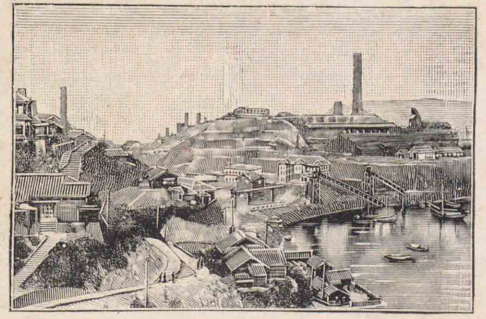
別子銅山坑内鑿岩機作業



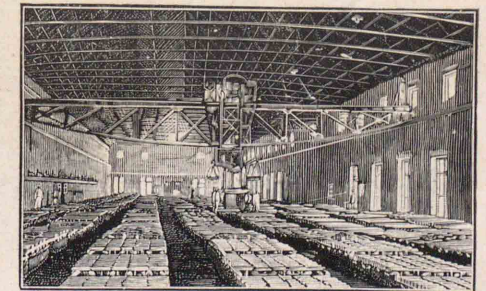
鐵道



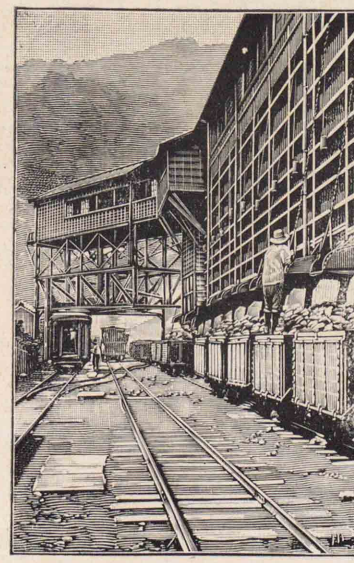
所鑛製島坂四



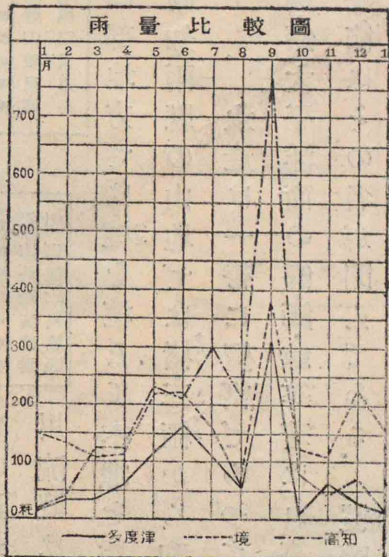
所鑛精氣電



ンヨシーテス道鉄石黒



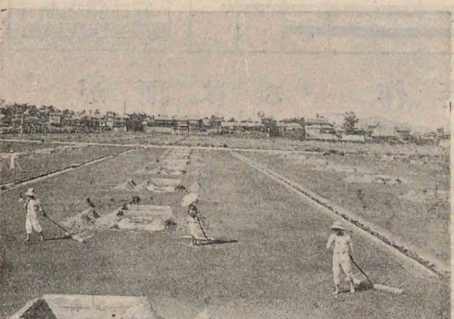
内海鹽田分布圖



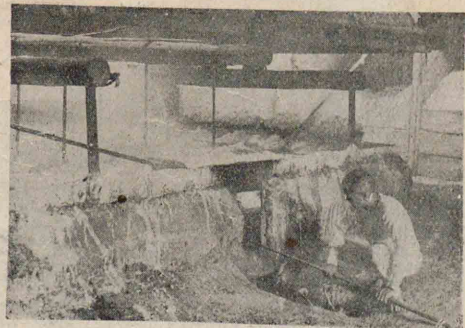
雨量比較圖



景全田鹽出坂



田鹽



釜造製鹽



鹽産額比較圖

徳島線

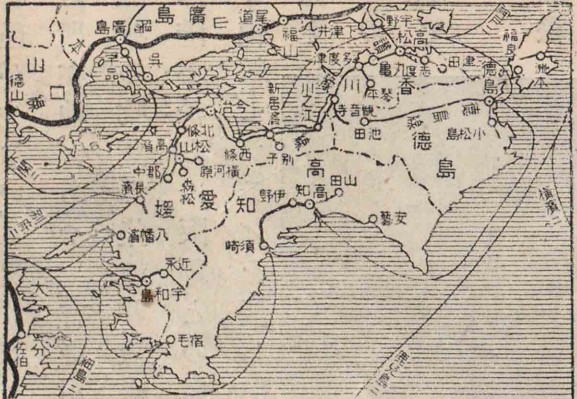
徳島・阿波池田
間
讃豫線は全線が開通して高松・松山間を連絡するに至つた。

四國地方交通圖

四國では八十八ヶ所の靈場があつて順次に順禮する。祖谷は今もほ別天地である。

内海の重要な産業の一つであつて香川縣が最も盛である。撫養・高松附近坂出・波止濱等はその中心地である。鑛産は別子の銅を主とする。工産には愛媛・徳島の兩縣の綿絲・綿織物・香川縣の眞田等がある。
交通 地形の影響を受けて陸上の交通は一部の外は未だ發達しない。鐵道は徳島・讃豫の兩線の外は概して地方局部の便に止まり、まだ四縣を連絡するものがない。然し海運は大いに發達して陸運の缺點を補ひ、殊に内海方面は最も開け、阪神・山陽・九州との連絡航路を有し、高松・多度津・今治・高濱等はその中心である。
都會 内海方面は阪神・山陽方面に近く、早くから文化が開けたから、人口が稠密である。殊に香川縣の人口密度は甚だ大である。これに反して太平洋方面は交通頗

地方誌 四國地方



徳島縣 (徳島)

徳島市 一七四
撫養町 一七八
小松島町 一七
徳島には高等工業
學校がある。

鳴門海峡

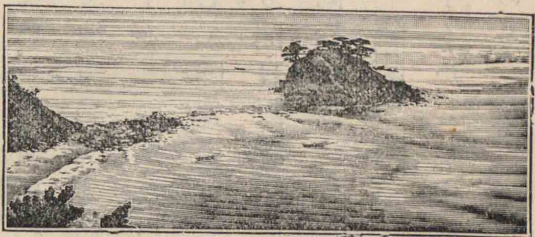
鳴門海峡の附近は
要塞地帯である。

香川縣 (高松)

高松市 七二
丸龜市 二八
坂出町 一八
善通寺町 一七
栗林公園

耕地よく肥沃し、
溜池を造り灌漑す
る。

高松に高等商業學
校がある。



不便で、文化稍遅れ人口も亦疎で従つて都邑が少ない。

徳島縣 徳島市は縣廳の所在地であつて、吉野川
の三角洲上に立ち、吉野川流域の物貨を集散し、絨織
綿絲足袋を産する。その外港小松島は阪神との航
路の連絡を有し、新工業地で綿絲ゼラチンを産し、撫
養は鳴門海峡に面し齋田鹽を
産する。その他脇町は藍作の
中心地、池田は葉煙草の中心地で
ある。

香川縣 縣廳所在地の高松
市は、内海の良港、讃豫線の起點地、中國との鐵道
の連絡要地であつて、商業が盛で綿絲を産し、又
塗物保多織の特産がある。市の南に栗林公園
の名勝がある。東方にある屋島は熔岩臺地で



屋島の東方檀ノ浦
は源平の古戰場で
ある。坂出の北東
にある白峯には崇
徳天皇の御陵があ
る。

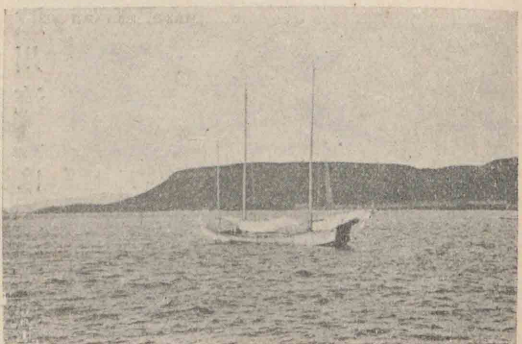
屋島

象頭山と金刀比
羅宮

愛媛縣 (松山)

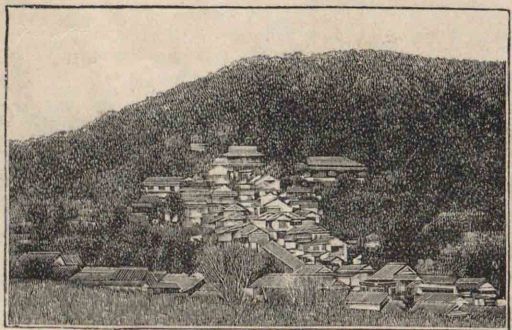
松山市 五八
宇和島市 三八
今治市 三八
三津濱町 一四
八幡濱町 一一

松山に高等學校・
高等商業學校があ
る。

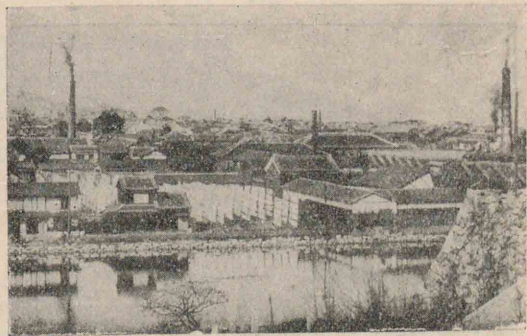


寒霞溪の勝地があり、又醬油石材素麵を産する。

愛媛縣 讃豫線は香川縣から入り、海岸に沿
うて新居濱、今治市等を経、松山市に達する。新
居濱よりは別子銅山の鑽石を積出し、四坂島で
製鍊する。今治市は來島海峡に面する開港場



であつて、近時著しく發達し、綿ネル、タオル等を産する。松山市は松山平野の中心に位し、縣廳の所在地で、伊豫緋綿ネルの集散地である。その附近に道後の温泉がある。高濱、三津濱は松山市の外港であつて、宇品との航通が盛である。肱川流域は木蠟和紙の産が多く、大洲はその中心である。南豫地方には八幡濱、宇和島市等の港市がある。



一一〇

今治市街

道後温泉

高知縣 (高知) 土佐

高知市 六六
高知に高等學校がある。
仁淀川流域は和紙の産が多く、伊野はその中心である。



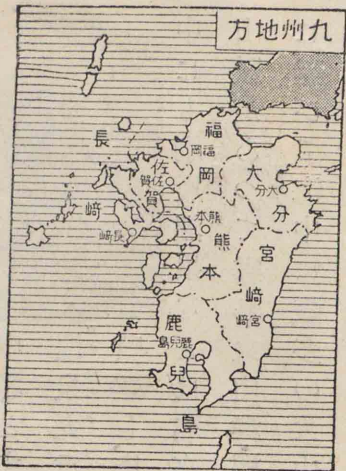
高知縣 高知市は縣廳の所在地で、吸江灣に臨み、縣内物貨の集散地でセメントを産する。浦戸はその外港で、土佐節の市場として名高い。その他須崎、宿毛、甲浦等の港市がある。

第七章 九州地方

面積 四四〇六六方
人口密度 九〇八二六

九〇八二六
二〇六八人

九州地方行政區劃圖



通軍事經濟上重要な地位を占める。行政上八縣に分ける。

地形 九州島は列島中地形が最も複雑した地方であつて、北部には中國山脈の續きである筑紫山脈があり、南部には四國山脈の續



九州地方地形圖

一一一

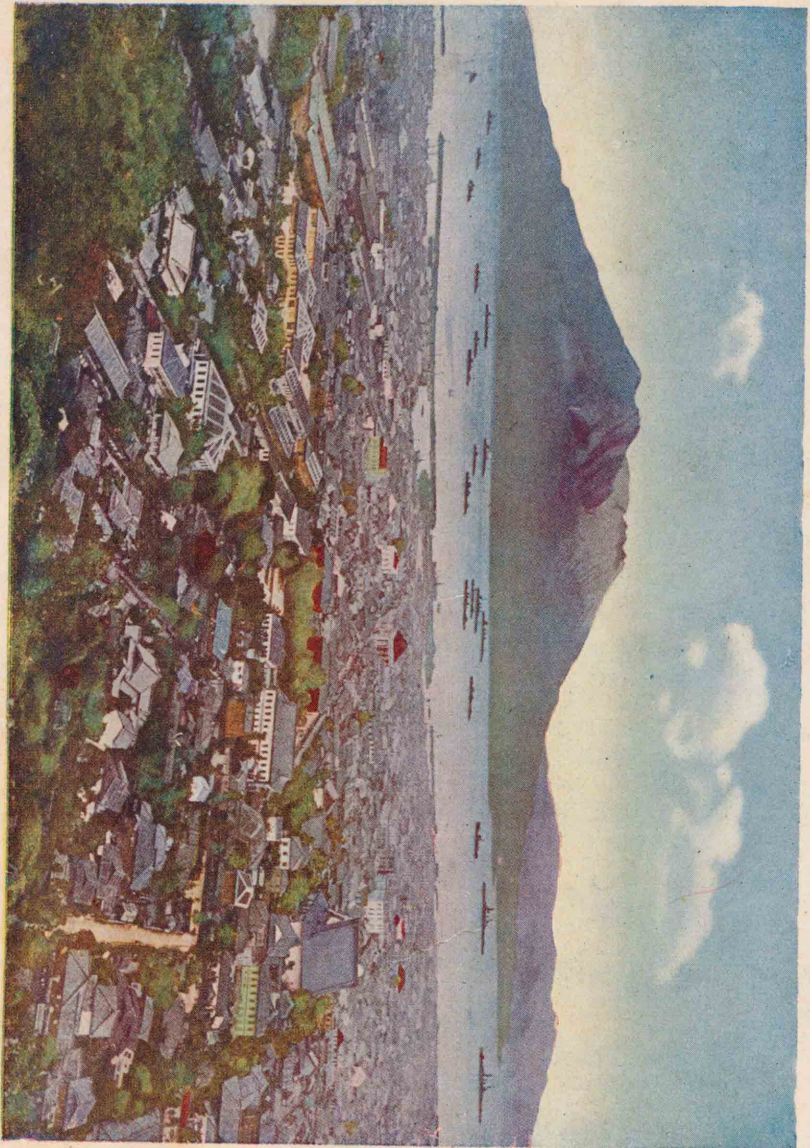
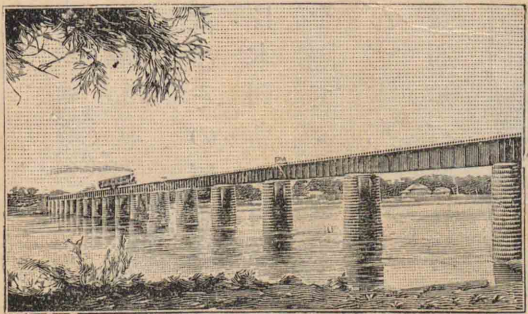
霧島山

九重山は九州島第一の高山で海拔一七八八米を有する。阿蘇火山は世界第一の複式層状火山で舊火口は南北二十四軒、東西十六軒その中に高岳・中岳等阿蘇の五岳の火口丘を起す。火口原の阿蘇・南郷の兩谷には四萬餘の人が住んでゐる。温泉・噴氣孔も處々にある。

大淀川



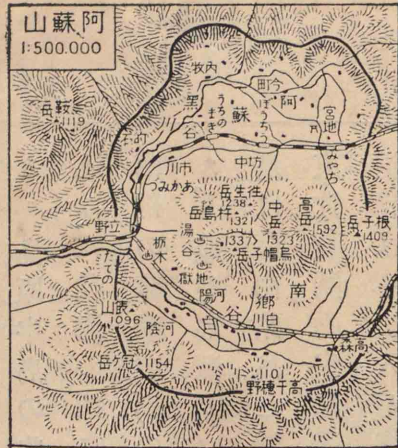
きである九州山脈が連亘してゐる。筑紫山脈は斷續した低山性のものであるが、九州山脈は山勢高峻であつて東岸から斜に南西に連なり祖母山・市房山等の高峰を起し、その餘脈は延びて琉球列島に及んでゐる。この兩山脈の間には阿蘇山を中心とする阿蘇火山脈が通じ、温泉九重鶴見由布等の諸山を噴起し、處々に温泉を湧出する。中にも別府温泉などは名高い。南部には霧島火山脈があつて霧島火山群・櫻島・開聞嶽を起し、南方に延びて海中に幾多の火山島をつくり、臺灣島に續いてゐる。河川はこれ等の山脈から發源する。遠賀川は玄界灘に注ぎ、その流域は有名な筑豊炭田地方である。筑後川は九州第一の大河であつ



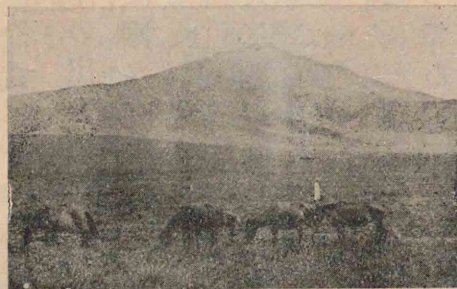
む望を島櫻りよ島兒鹿



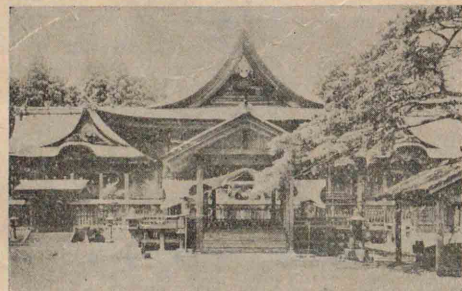
阿蘇火山の噴煙



阿蘇火山

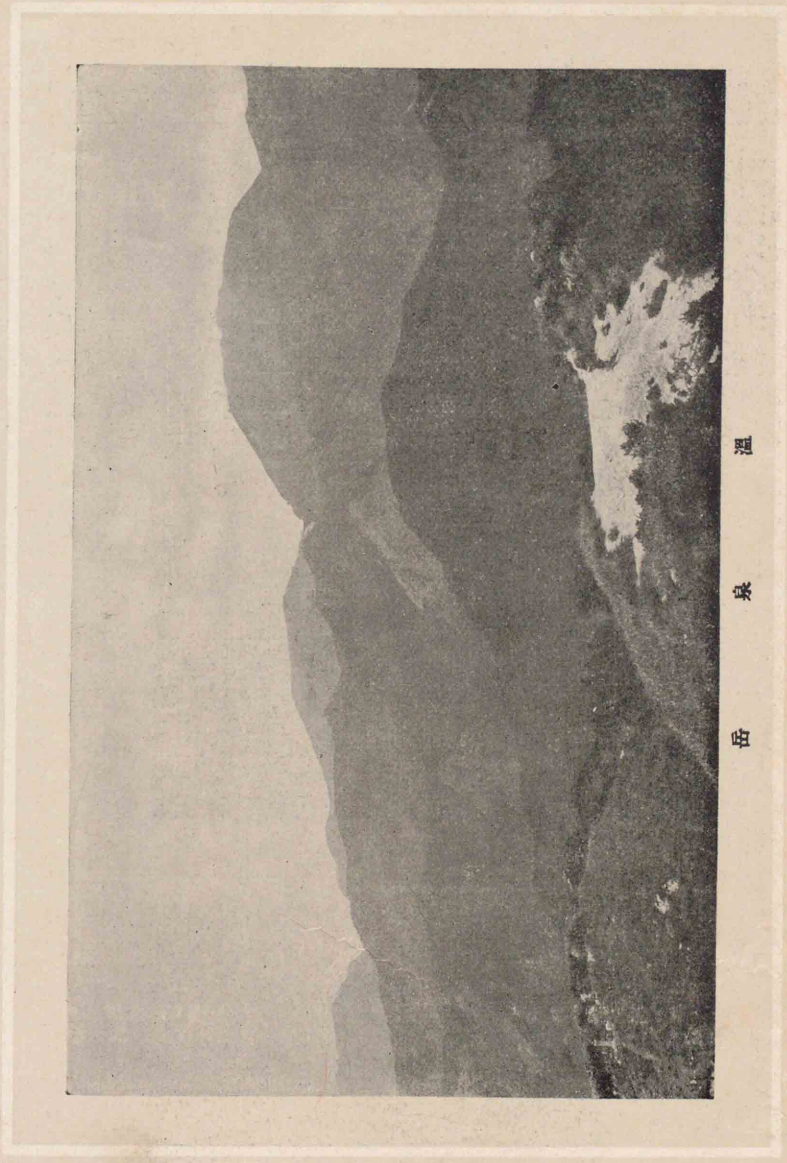


千原が原の牧馬



阿蘇神社

一一三

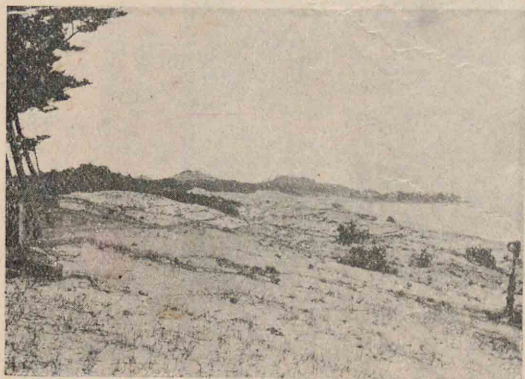


温泉

筑後川は筑紫二郡とも呼ばれる。

て、下流には筑紫平野を開き有明海に入る。この外西部斜面の白川・緑川等は熊本平野を灌ぎ、急流の球磨川は八代海に注ぎ、川内川はその流域に小平野をつくつてゐる。日向灘斜面には長流が多く、中でも大淀・大野の二河は著名であつて、その流域は開墾が行はれる。

海岸 九州島は海岸の出入の多いことは全國の首位で、殊に北西海岸に著しい。北には博多・唐津の灣入がある。島原半島の内側には、有明海が深く入り込み、八代海の西には天草島が横はつてゐる。南部の薩摩半島の西には吹上濱の砂丘がある。鹿兒島灣頭に櫻島火山がある。琉球列島は薩南諸島と連なつてゐる。北東部の國東・佐賀關兩半島は別府灣を擁し、豊後水道の沿岸は小出入が多いが、日向灘の海岸は概して出入に乏しい。



吹上濱の砂丘

櫛の實

櫛は福岡・佐賀の兩縣を主とするが、近來桑の栽培が盛になつたためその産額が次第に減少してゐる。

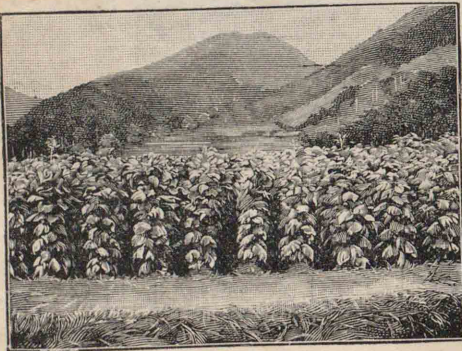


氣候 位置が南西にある上、暖流が東西兩岸を流れるから、氣候が一般に温暖である。北部は山陰の氣候と似て、冬季は北西風が強い。熊本平野は寒暑の差が稍著しい。南部は氣溫高く、雨量大で多雨地帯の一部である。沖繩諸島は亞熱性帶氣候を呈し、終歲霜雪を見ないで、榕樹等の熱帶性植物が繁茂する。

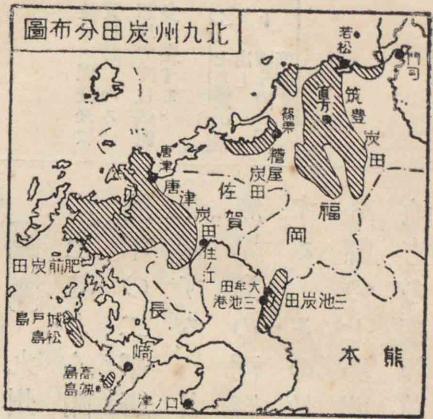
筑後米・肥後米は品質良好である。南部地方では機耐と多く産する。

上 七島蘭の種
下 國分附近の葉煙草

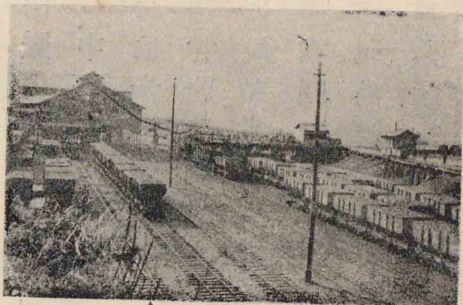
産業 九州山脈の西斜面は土地よく開け、中にも筑紫熊本の二平野には米・麥・菜種を産する。甘藷・甘蔗は沖繩・鹿兒島の兩縣に最も多く産する。その他熊本縣の粟、大分縣の七島蘭、鹿兒島縣國分地方の葉煙草、筑紫平野の櫛等も亦名高い。



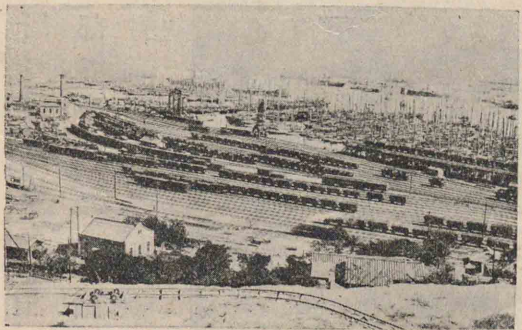
北九州炭田分布圖



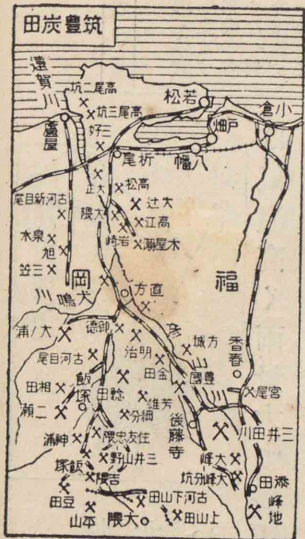
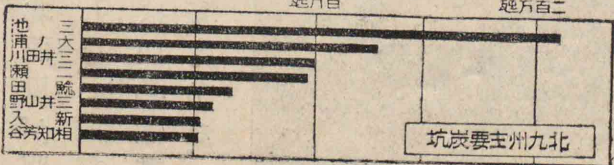
大ノ浦炭坑



若松港の石炭積出し



石炭産出比較



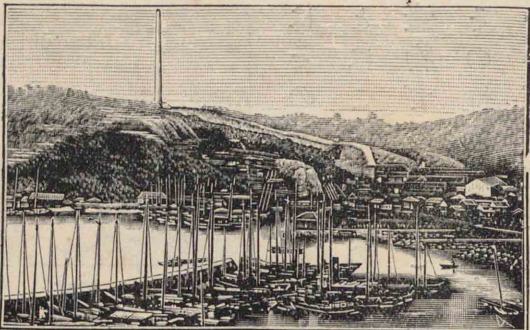
圖田炭豐筑

筑豊炭田の石炭は主として門司・若松の二港から、三池炭田の石炭は主として三池港から内外各地に積出される。

佐賀關製鍊所

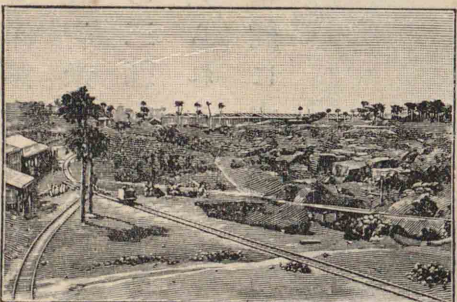
久原鐵業株式會社の經營に屬し各地よりの金銀銅鐵を製鍊する。

ラサ島磷礦採掘



熊本・鹿兒島の二縣は古來馬の産に名高く、又沖繩縣では養豚が盛である。南東部の山地には林産が多く、木材・薪炭・樟腦・椎茸等の産が多い。鑛産は石炭を首位とし、わが國石炭産額の大部分を占め、筑豊三池の炭田を首め、唐津長崎附近等に多く産する。その他、鹿兒島縣の金、宮崎縣の銅、ラサ島の磷礦等があり、佐賀關には大製鍊所があつて、金・銀・銅を製鍊する。この地方の北西部は石

炭が多く、交通運輸が便利で、原料勞力が豊富なために、諸種の工業が発達し、殊に福岡縣の北東部の工業地帯では、製鐵・製粉・精糖・綿絲・紡績・硝子・セメント・麥酒等の各種の大工場が處々に起り、



地方誌 九州地方

北九州工場

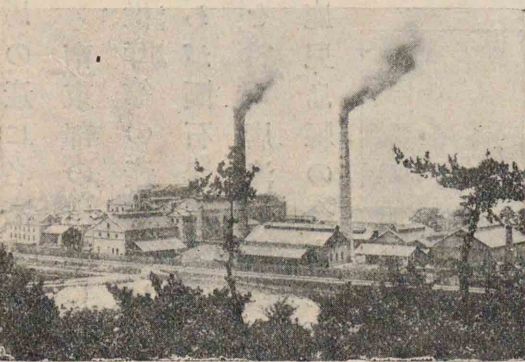
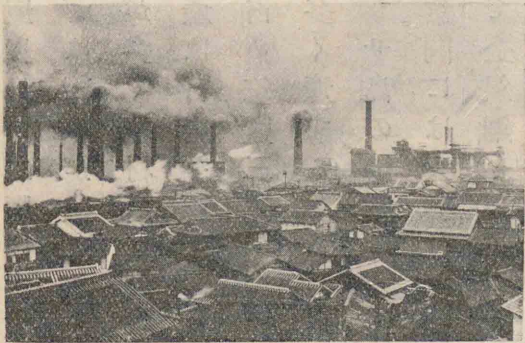
製鐵の原料は、主として支那の大冶、朝鮮の載寧、殷栗等の鐵礦である。

錫は多く長崎から支那に輸出せられる。有明海の北岸では牡蠣の養殖が行はれ、西部の海では珊瑚を採集する。

上 八幡製鐵所
大里の精糖工場



はその額が多く、錫と鯉節とはこの地方の重要な水産物である。この地方はその位置が朝鮮支那に近いので、古來交通通商上の



就中八幡製鐵所はその規模が東洋第一である。その他織物には福岡縣の博多織、久留米緋、鹿兒島沖繩二縣の緋、上布、佐賀福岡鹿兒島の三縣の陶磁器、長崎縣の造船、福岡縣の清酒等世に知られる。沿海は海流の影響をうけて、一般に水産が豊富で、

三池港も外國船の出入が次第に多くなつた。

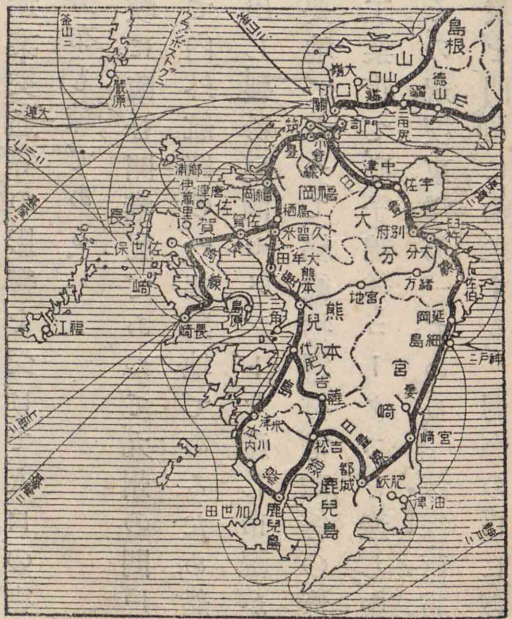
九州地方交通圖

- 鹿兒島本線 門司發島橋・八代・川内經由鹿兒島間
- 日豐本線 小倉發宮崎經由吉松間
- 長崎本線 島根・長崎間
- 筑豊線 若松・上山田間
- 肥薩線 八代・鹿兒島間

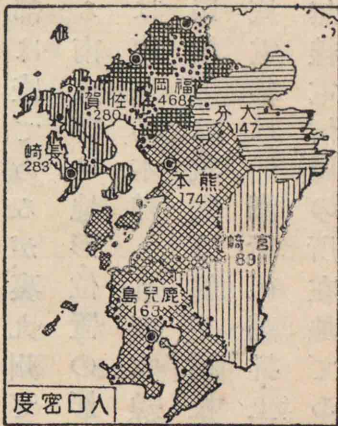
要地を占め、且生産に富むから商況が活氣を呈し、門司長崎を首め幾多の開港場がある。

交通

海運は門司長崎を起點として内外各地に航路を通じ、筑後遠賀の二川も船運の便があつて、一般に北西部は盛であるが、裏九州である南東部は、地形位置の影響を受けてこの發達が遅れてゐる。鐵道は鹿兒島本線と日豐本線等として九州循環線を成している。筑豊炭田地方は筑豊等線が樹枝狀に分れ、鐵道網の稠密な地方である。海底電線は浦潮斯德、朝鮮、上海、臺灣に通じ、大瀬崎、鹿兒島、那霸、ラサールは無線電信局の所在地である。



九州地方人口密度圖



が比較的小であつて都邑の分布も疎である。

福岡縣 福岡市 一四六
 門司市 一八八
 久留米市 九二
 大牟田市 六八
 小倉市 五〇
 若松市 五一
 戸畑市 三八
 直方町 一九
 福岡縣には八市四開港場がある。戸畑に明治専門學校がある。

福岡縣 門司市は下關海峡に臨む開港場であつて九州の門戸に當り海陸の交通は甚だ便利で内外航路の一起點地であるため船舶の出入が多く盛に石炭を輸出し製粉麥酒セメントを産し市況が活潑である。小倉市は交通の要地であつて綿織物鋼材電球等の産が多い。戸畑・八幡の兩市も亦工業市で硝子綿絲・コークスを産し中ても八幡市の官設の製鐵所はその規模東洋第一である。飯塚直方は筑豊炭田の要地で多量の石炭を門司に輸送する。洞海の口にある

博多灣には元寇の史蹟が多い。福岡市の東一帯を千代の松原といふ。博多人形を産する。福岡に高等學校がある。

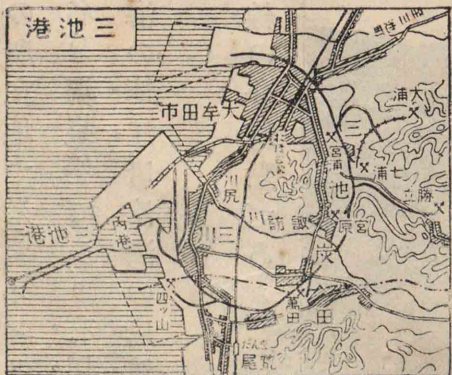
- 宮崎宮
- 官幣大社 祭神 應神天皇
- 香椎宮
- 官幣大社 祭神 神功皇后 仲哀天皇
- 太宰府神社
- 官幣中社 祭神 菅原道真

三池港

唐津灣の東に芥屋の大門の奇景がある。



若松市は石炭の集散が多く、鐵鑛を輸入する。博多灣頭にある福岡市は福岡・博多の二部から成り、商工學術の中心である。博多織綿布等を産する。市の内外には縣廳九州帝國大學があり、香椎宮・宮崎宮等の神社及び名勝史蹟が多い。市の南方太宰府には太宰府址太宰府神社があり、その北方に水城の遺蹟がある。筑紫平野の久留米市は第十二師團司令部の所在地であつて、緋足袋・綿絲を産する。大牟田市は三池炭坑を控へ、紡績・亞鉛・石灰・窒素・硫酸・アンモニア等の工業が起り、その外港三池港は近年閘門式大築港を完成し、石炭を多く輸出する。



佐賀縣 (佐賀)

肥前一部

佐賀市 一四二
唐津町 一七
鳥栖町 一七
佐賀に高等學校がある。
名護屋は豊太閤征韓役の根據地である。

有田焼の工場内

長崎縣 (長崎)

肥前西半部
壹岐・對馬

長崎市 一八九
佐世保市 一九五
島原町 一九三
平戸町 一九三
五島附近は水産物が多く平戸・福江はその中心である。

三菱造船所

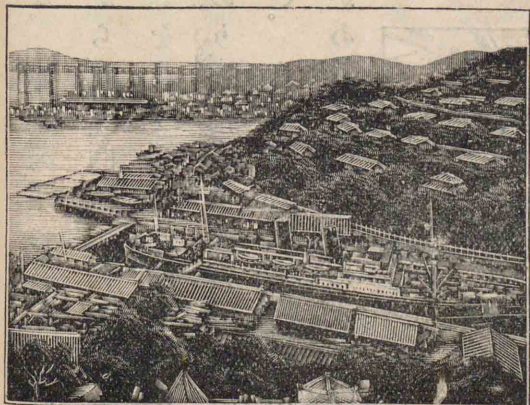
長崎に高等商業學校がある。
島原半島は寛永の昔耶蘇教徒が叛亂を起した處、その中央の温泉獄には温泉水の硫黄孔がある。
避暑客が多い大村に海軍の飛行場がある。
口之津は開港場である。



佐賀縣 佐賀市は縣廳の所在地で、米・セメントの取引が行はれ、武雄は有名な温泉場であり、有田は有田焼を産する。有明海の住江、唐津灣の唐津は石炭の輸出港である。

長崎縣 早岐は佐世保線の分岐點である。佐世保市は第三海軍區の軍港であつて、鎮守府海軍工廠がある。長崎市

は古い開港場であつて、西洋文明輸入の門戸であつた。今も九州第一の大都會で、東洋諸國との貿易が盛であつて、石炭水産物等を輸出する。市に縣廳控訴院醫科大學がある。對岸には規模壯大な三菱造船所がある。壹岐に勝本郷浦の名邑がある。對



對馬の嚴原は開港場である。

熊本縣 (熊本)

肥後

熊本市 一四七
八代町 一二

菊池神社

別格官幣社
祭神 菊池武時等

成趣園

熊本に第五高等學校・高等工業學校がある。

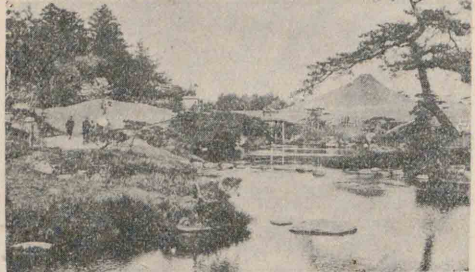
八代宮

官幣中社
祭神 懷良親王

宮地は阿蘇火口原にある名邑である。宇土半島の尖端にある三角は開港場である。

大畑附近の鐵道線路

球磨川の上流には五家荘がある。平家の落人の隠れた所であるとの傳がある。



馬は朝鮮海峽の要地であつて、淺海灣運河によつて上島下島に分れてゐる。竹敷は好錨地で嚴原は支廳の所在地である。

熊本縣 熊本市は白川の下流に跨り、百貫石を控へ、この附近の交通の中心で、肥後米の集散が多

く醬油綿絲を産する。その舊城は西南の役で名高く、今は第六師團司令部が置かれてある。縣廳醫科大學がある。市の南東水前寺には成趣園の勝地がある。八代は球磨川の口に當り水陸

の便がよく、木材を集散し、又セメント・洋紙の工場がある。肥薩線はこゝから球磨川の谷を溯つて人吉盆地の中心である人吉を過ぎ、ループ線によつて吉松に出る。



墳火孔

谷附道

其の活動

より水蒸気

ラ復出すること

大分縣 (天分)
豊前一部

別府市 三七

大分市 五三

馬・鯛生はともに有名な金山である

宇佐神宮 官幣大社
祭神 應神天皇
外二神

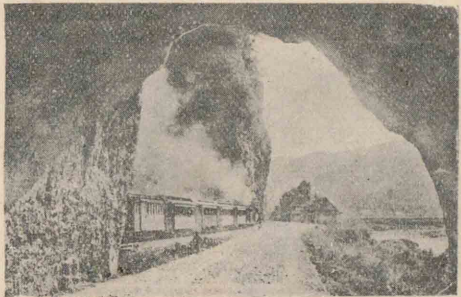
大分に高等商業學校がある

耶馬溪

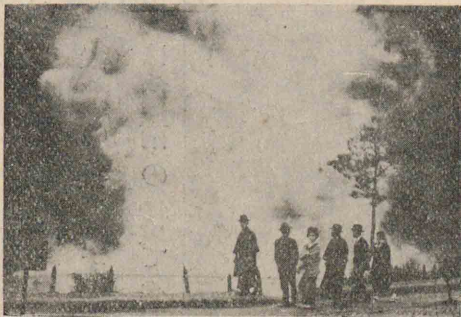
別府の噴氣孔

宮崎縣 (宮崎)

宮崎市 四三
都城市 三〇
小林町 二五



宮崎縣 この縣は太古から知られたが、今猶未墾の山林原野が多く、人口の密度小であるため、各地からの移住を奨励してゐる。この縣は太古から知られたが、今猶未墾の山林原野が多く、人口の密度小であるため、各地からの移住を奨励してゐる。この縣は太古から知られたが、今猶未墾の山林原野が多く、人口の密度小であるため、各地からの移住を奨励してゐる。



三流
運送酸ガス
涼化水素

宮崎神宮

官幣大社 祭神 神武天皇

宮崎に高等農林學校がある

青島の南に鶴戸神宮がある

青島の熱帯植物

鹿兒島縣 (鹿兒島)

薩摩 大隅

鹿兒島市 二五

名瀬町 一八

加治木町 一五

鹿兒島に第七高等學校造士館・高等農林學校がある

鹿兒島市には薩摩焼・紵・纏節・肥料等を産する

浄光明寺の墓地

大正三年 櫻島爆裂

櫻島は大正三年爆裂し熔岩を流出し大隅半島には陸續さなつた



の古戦場で南洲翁の終焉地である。山川は

地方誌 九州地方

日豊線は延岡・高鍋を過ぎ宮崎市に達する。宮崎市は大淀川の河口に位し、縣廳の所在地である。市の郊外に宮崎神宮がある。その南方に青島の勝と油津の要津とがある。都市は交通の要地で生絲・茶・木材を産する。

鹿兒島縣 肥薩線は、

吉松から煙草の産地國

分加地木を経て鹿兒島

市に達する。鹿兒島市

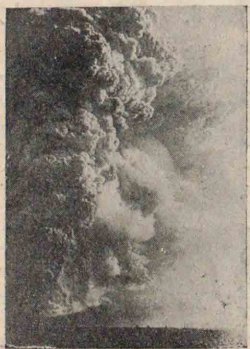
は島津氏の舊城下で、前

面に櫻島を望み風光明媚

な開港場である。

背後の城山は、西南戦役

の古戦場で南洲翁の終焉地である。



櫻島に大根を産する。

櫻島 大根

屋久島の八重嶽は九州第一の高峯である。

名瀬港 全景

沖繩縣 (那覇) 琉球

那覇市 五十四
首里市 二〇

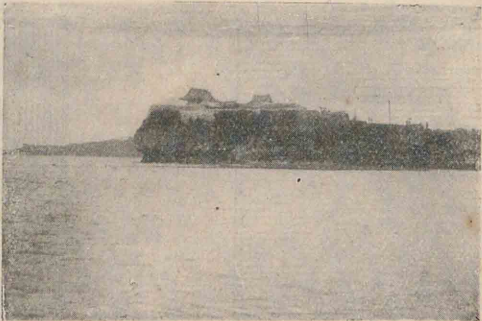


である。奄美大島の軍備はワシントン會議の結果その防備を現状にとゞめた。
沖繩縣 琉球諸島は沖繩諸島と先島諸島とを含み、薩南諸島の南西から臺灣の東に亘つて、羅列する五十餘の島嶼から成る。この地方は氣候暖熱で雨量が多く、初秋の候には屢、颱風の



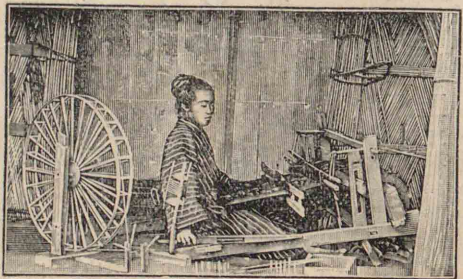
珊瑚礁上にある波上宮

琉球風俗織女



王が治めたが、明治初年にこれを藩とし、後更に改めて沖繩縣を置いた。縣廳の所在地那覇市は、沖繩島にある開港場であつて、前記の産物の集散地である。首里市は舊王城の地で、中城、連天はとも

地方誌 九州地方



襲來することがある。島には芭蕉榕樹椰子等の熱帶性植物が繁茂し、毒蛇の飯匙倩が生育し、海岸には珊瑚礁が発達してゐるなど、動植物の狀態は九州島と異なつてゐる。

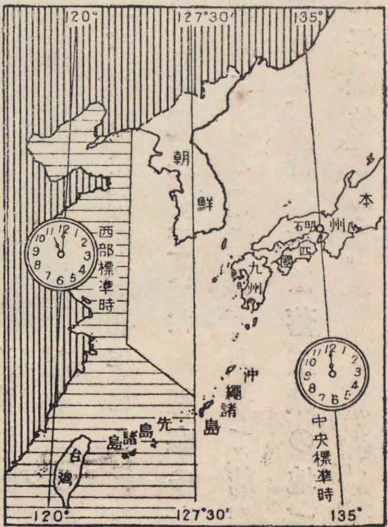
住民はその習俗が内地と異なり、特有な方言を有し、多くは甘藷を常食とする。砂糖帽子、芭蕉布、漆器、泡盛酒、豚等は主要な産物である。この地方はもと琉球

西部標準時使用地

先島諸島
臺灣地方
關東州

中央・西部の兩
標準時使用地域

ラサ島は又沖大東
島とも云ふ。



西部標準時を使用する先島諸島は、宮古諸島と八重山諸島とから成る。屢、颱風が襲來する。この諸島には砂糖上布の産がある。又東方のラサ島は磷礦の産を以て著はれ、無線電信局の所在地である。

第八章 臺灣地方

面積 三五九一九方呎
人口密度 四〇四一人
一三一人

臺灣地方行政區劃圖



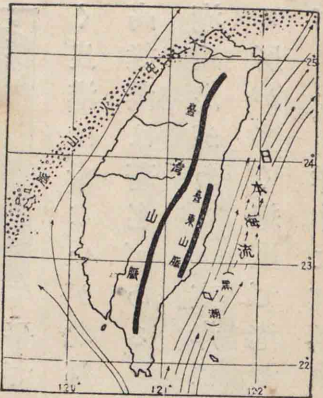
臺灣島は日本列島の南西に位し、西は臺灣海峽を隔て、支那の福建省に對し、南はバシー海峽によつて、フィリッピン諸島に相對する。わが南方の要鎮であつて、軍事上經濟上重要な一地方である。

臺灣山脈系圖

臺灣山脈は鼻頭角から起り南端の南岬につきる。新高山はわが國第一の高山であつて海拔三九五〇米を有する。次高山はもさシルグイヤ山と云つたが今上天皇陛下の御命名によりかく改められた。

上新高山
下淡水溪

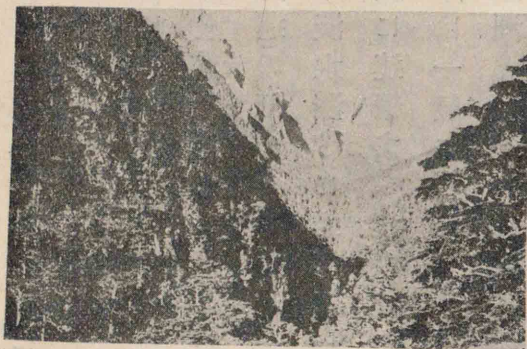
東部斜面の河川の重なるものに花蓮溪・秀姑巒溪・卑南溪がある。



臺灣山脈には新高山次高山等の高峰を起し、山勢頗る雄大である。東岸の南部には低い臺東山脈が竝走し、臺灣山脈との間に細長い臺東平野を挾んでゐる。東部斜面には河流が少ない。臺灣山脈の西方

地形

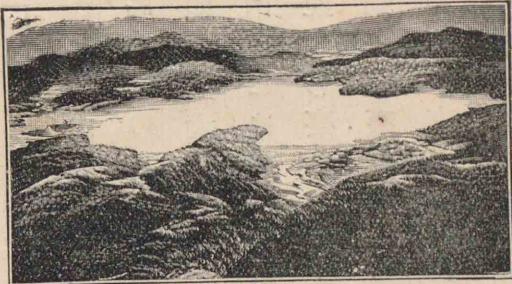
島形南北に長く、本島の主軸である臺灣山脈は東偏縦走するから、東部には平野の著しいものがない。之に反し、西部には廣大な臺灣平野の發達を見、産業盛に人文進み人口稠密である。



日月潭

日月潭は風光明媚でその水力は發電に利用せられる。

近年治水の結果河川の氾濫は減少した。



側は次第に緩斜し、その麓には廣い平野が開け幾多の河川がその間を流れる。これ等の河川は一度平野に出ると砂礫を放流し、積を作り數派に分れる。濁水溪、大肚溪等はその著しい例である。従つて舟運の便があるのは、僅かに北部の淡水河、南部の下淡水溪等に過ぎない。本島の北端に霧島火山脈に連續する大屯火山群がある。

海岸は一般に單調で出入に乏しい。西岸は低

平で沙洲、瀉湖が多

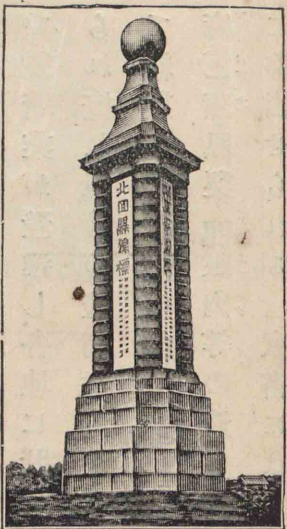
く良港は少ないが、北部の基隆、南部の高雄港は著名である。臺灣海峡に澎湖諸島がある。東岸は山嶽の海に迫る所が多く、絶壁で港灣の著しいものがない。洋中に紅頭嶼がある。



東部海岸の絶壁

北回歸線標

嘉義の南方約四
料水上庄にある。

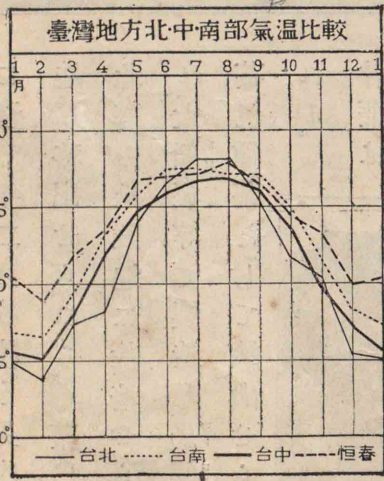


氣候 概して熱帶性で殊に南部は熱帶に入り氣温高く、山地の外は殆ど霜雪を見ない。一般に雨量が多く、北部地方はわが國の最大雨量を示してゐる。又近海は颱風が起

り屢その災害を被ることがある。氣候がこのやうであるから、低地には熱帶性植物が繁茂し、榕樹、檳榔など發育し、丘陵には樟樹が多く、山地には檜等の森林を見、動物には穿山甲、コブラ等が棲息する。

産業 本島の主産業は農業であつ

て、西部平野は既によく開け、埤圳の改修増設に連れてその産額が逐年増加し、臺東平野も亦近年次第に開拓せられるに至つた。米は西部平野の中部



地方誌 臺灣地方

臺灣各地氣温比較

臺灣の五大農産物
米・芭蕉・甘蔗・甘藷・茶

豊原米は良質である。

埤圳は低濕地の人工貯水池で灌溉に供する。

毎年十月から翌年三月頃迄は北東風が吹いて北部地方は雨が多く、四月から九月頃迄は南西風が吹いて南部地方に雨が多い。

樟樹

上製の收穫茶

果實の荷造

臺中・嘉義・鹽水
港・屏東等に製糖
工場がある。
わが國で消費する
砂糖の大部分はこ
の地方の産である。
製糖の副産物とし
て酒精・ラム酒を
製する。
水牛は性質温和で
よく暑氣に堪へか
が強いので耕作に
使用される。

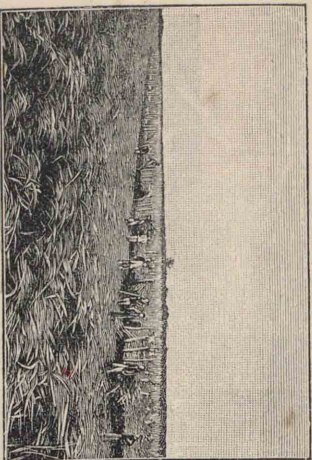


に産し、年二回収穫を見内
地に移出せられる。茶は
北部の丘陵地に栽培せら
れ、大稻埕等で製造し、烏龍
茶、包種茶として輸出せら
れる。

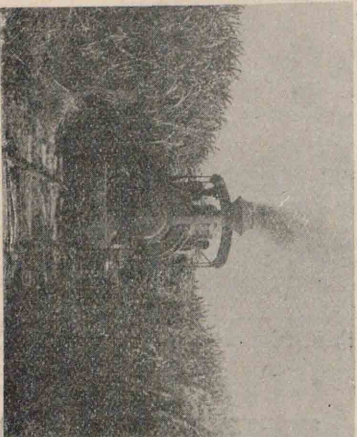
甘蔗は
中部以

南の平野に産し、之に伴なつ

て製糖業が發達し、各地に壯大な製糖工場が設け
られ、概ね粗糖の儘高雄港から内地に移出せられ
て精製する。その他甘蔗は各地に産し、落花生苧
麻、芭蕉、鳳梨、龍眼、肉等の産も多く、芭蕉は多く内地
に移出せられる。家畜には水牛、黄牛、豚等がある。



畑 蔗 甘



搬 運 蔗 甘

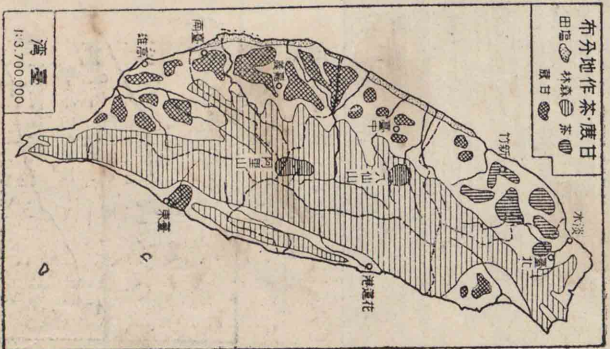
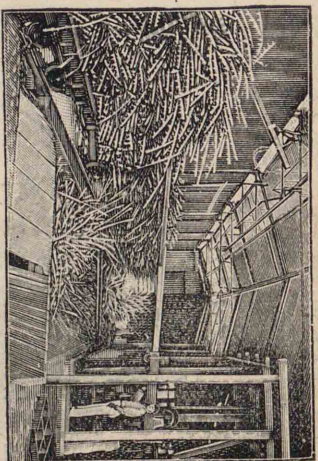
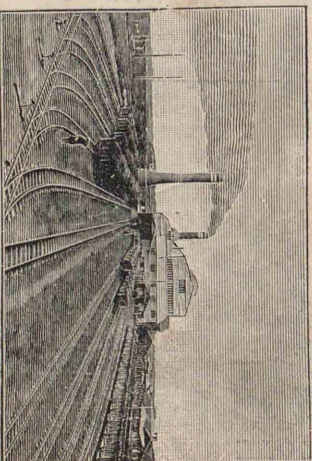


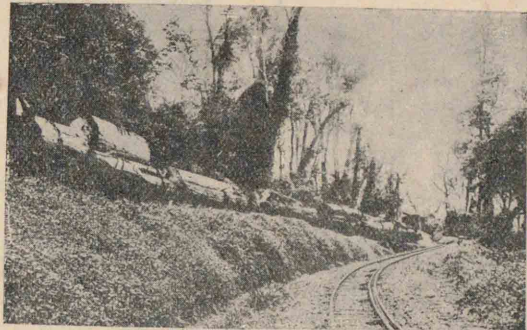
圖 布帛地産の茶・蔗甘



部 内 の 場 工 糖 製



場 工 糖 製



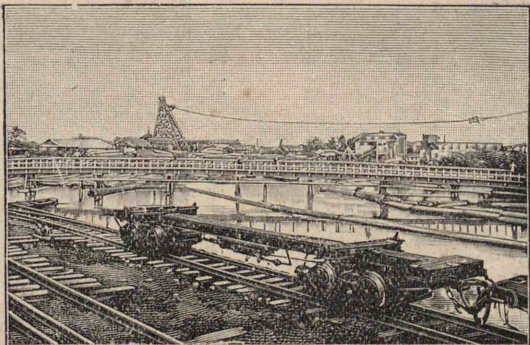
阿里山森林鐵道



扁柏林



總督府森林事業地



嘉義貯木場及製材場

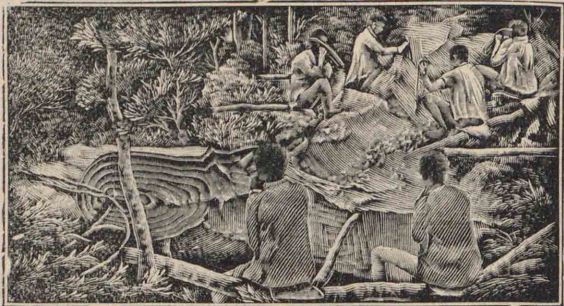
豊原・宜蘭にも製材業が盛である。樟腦は淡水・濁水・下淡水溪の上流で粗製せられ、臺北城外萬華で精製せられる。本島産の樟腦は世界需要の過半を供給する、主として基隆から輸出する。

樟腦原料の採集

金瓜石の金・銅・瑞芳の金、四脚亭の石炭がある。

上天日鹽
下金瓜石鑛山

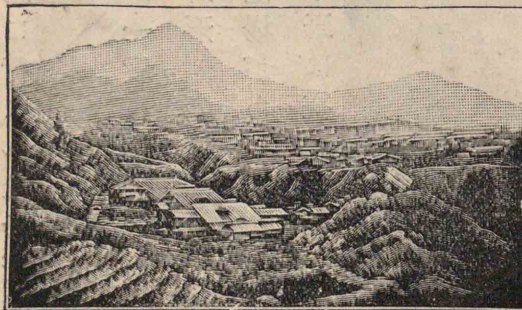
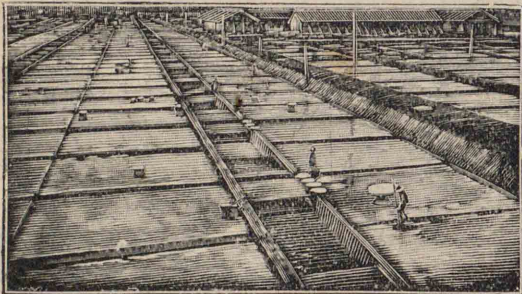
臺灣産の鹽は色が純白でないが内地の味噌・醬油製造の原料となる。



く發達し、鯉節煮干の産が多く、養殖及び天日製鹽も行はれる。手工品には林投帽・紙大甲蒔などがある。商業取

地方誌 臺灣地方

山地には檜・紅檜等の原生林が多く、殊に阿里山八仙山はこれ等の良材を産する。嘉義の製材場は、その規模が宏大である。又北中部の山地には樟樹が多く、樟腦は本島富源の一である。鑛産は北部の石炭を主とし、金・銅・硫黄などが之に次ぎ、出礦坑の石油も亦有名である。近時水産業も著しく發達し、鯉節煮干の産が多



開港場には基隆・高雄・淡水・安平がある。

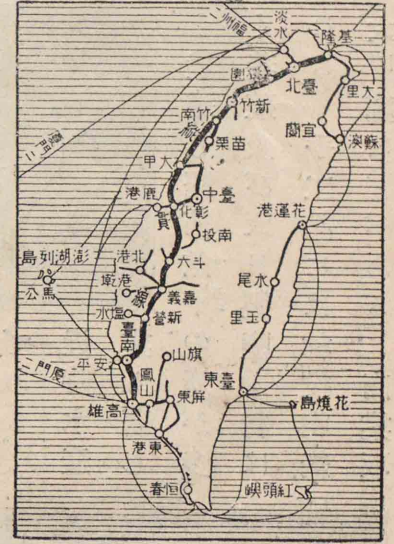
特別開港場には基隆・新竹・基隆・鹿港・東石・馬公(媽宮)等がある。

臺灣地方交通圖

交通機關として電車も發達してゐる。

竹筏

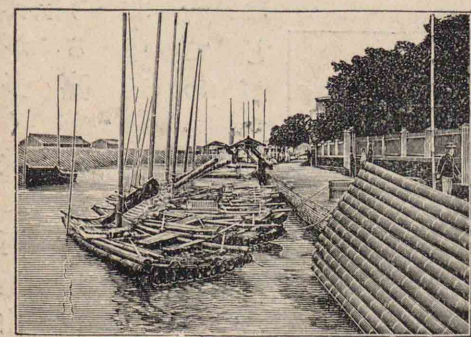
他の西岸の諸港は水深淺いため竹筏で陸上と連絡する。



鐵道縱貫線は基隆から起り高雄に終る、その間數多の輕便鐵道があつて、製糖地・林業地に連絡する。臺東平野にも一縱貫線が近く完成を見るであらう。航路は基隆・高雄を中心とし、沿岸各地・内地・南支・南洋に通じてゐる。海底電信内地と支那とに通じ、基隆・鳳山等には無線電信局がある。

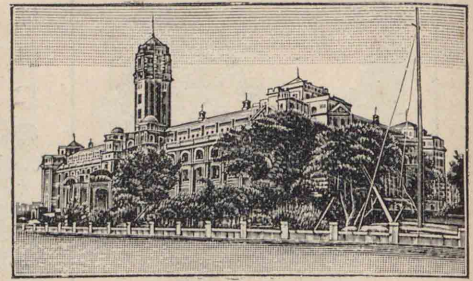
引は内地との間に行はれ、米・砂糖・樟腦等を移出する。外國貿易は茶・樟腦を輸出するが一般に不振である。西海岸には支那形船の通商に限つてゐる特別開港場がある。

交通 西部平野は交通著しく發達してゐる。



臺灣軍司令官があつて軍事を統へてゐる。

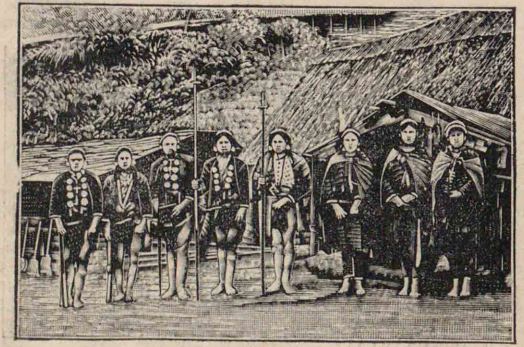
臺灣總督府



上 臺灣人中流家庭風俗
下 高砂族のアイヤル人

臺灣人には阿片の吸飲、男子の辮髪及び女子の纏足の弊風がある。アイヤル人は性質兇暴である。

政治 住民 本島は日清戰役の結果、わが國の領有となり、臺北に總督府を置き、その下に五州三廳を置いて統治してゐる。住民の總數は約四百萬、その大部分は南支地方から移住した漢族の裔であつて、内地人と高砂族とは少ない。漢族である



台北
大橋
百華

臺北州
臺北市 一八七
基隆市 六二
淡水街 二二
宜蘭街 一一

基隆港
基隆港の岸壁の長さ千六百七十八米六千噸乃至一萬噸の船も岸壁に七隻繫船し浮標に六隻安全に碇泊が出来る。

臺北に高等學校・醫學專門學校・高等商業專門學校・農林專門學校がある。又近く大學も開校の豫定である。

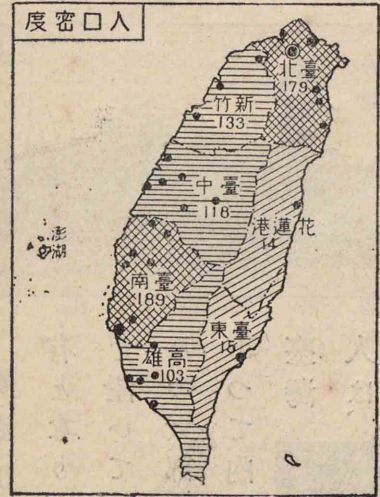
臺北市社
臺南市社
宜蘭市社
花蓮市社
台東市社
澎湖市社
嘉義市社
台南市社
高雄市社
基隆市社
淡水市社
宜蘭市社
花蓮市社
台東市社
澎湖市社
嘉義市社
台南市社
高雄市社

市は城内と城外に分れ、城内は市街として整備されて、自然道路は都市を整く整つてゐる。

高砂族分布圖

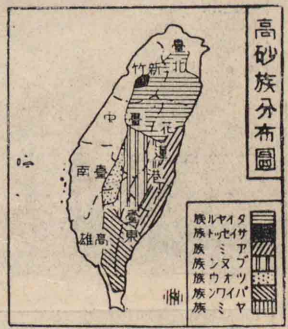
蕃童教育所

臺灣地方人口密度圖

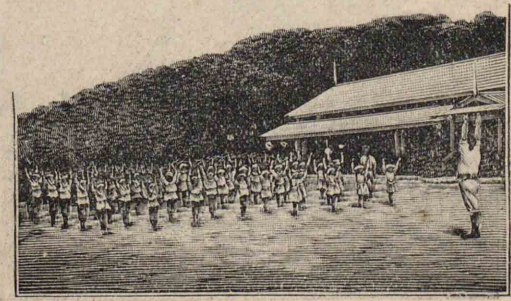


地方誌 臺灣地方

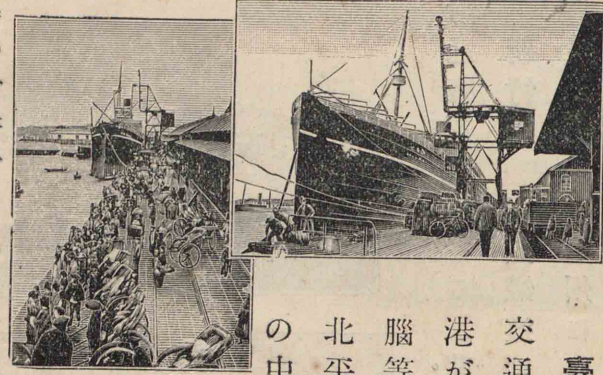
數八萬餘本島先住の蕃族であるが、次第に漢族に逐はれて、今は山中又は東部に住み文化の程度が低い。概してその性質が犍猛頑強で殺伐を好む風があるが、領臺以來わが恩威が並び行はれたので、次第に皇恩に浴する様になつた。



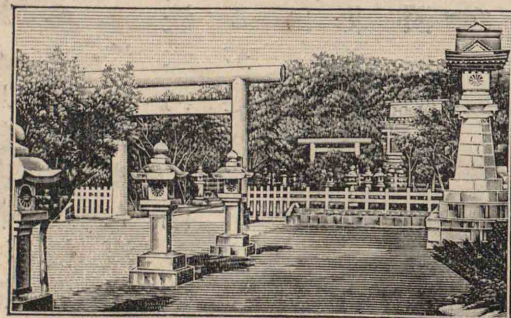
都會 東部は多くは山地で開拓が遅れ、産業がまだ進まないために人口が少なく、小都邑が散在するに過ぎないが、西部平野は早くから南支の影響を受けて、人文進み重要な都會が多い、領臺以來その市街は面目を一



新したものがあつた。



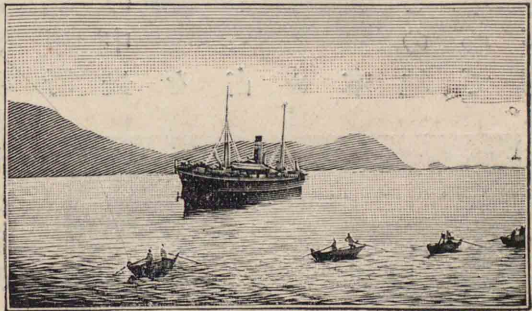
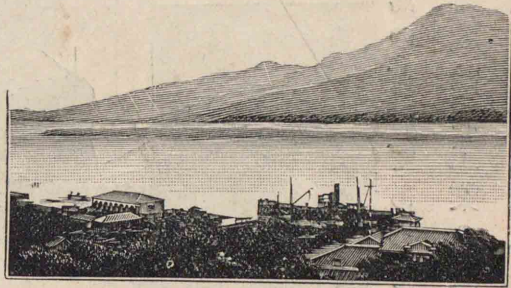
臺北州 基隆市は本島の北門に當り、内地との交通最も繁く、又縦貫鐵道の起點である。近時築港が完成したため、島内第一の開港場となり、茶樟腦等の輸出が多い。臺北市は淡水河に沿うて臺北平野の中央を占め、本島の首府であつてこの地方政治、商工業の大中心である。市内に總督府臺灣



地方誌 臺灣地方

上淡水港
下蘇澳港

淡水は支那との取引が多い。



神社等あり、烏龍茶、林投帽の取引が多い。附近に北投、温泉がある。淡水はまた滬尾とも云ひ、淡水河口に臨む開港場であるが、港内水が浅く貿易は振はない。東部濁水溪流域に宜蘭がある。



大後

新竹市街
新竹街 三六

附近麻類を産する。蘇澳をその外港とする。

新竹州 縦貫鐵道は臺北市から来て、桃園、新竹、苗栗を経て臺中州に入る。桃園は製茶業の中心

新竹附近は柑橘を産し、苗栗は樟腦を集散する。

臺中州

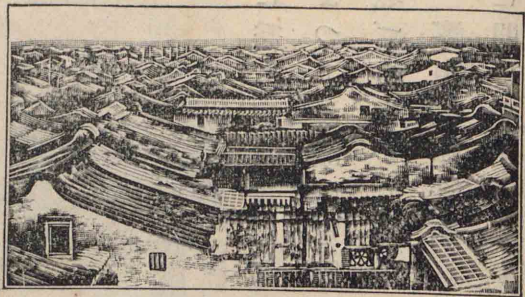
臺中市 三三八
鹿港街 三三二
埔里街 二二三
大甲には延・帽子を産する。

鹿港市街
屋根傾斜の緩やかなのに注意せよ。

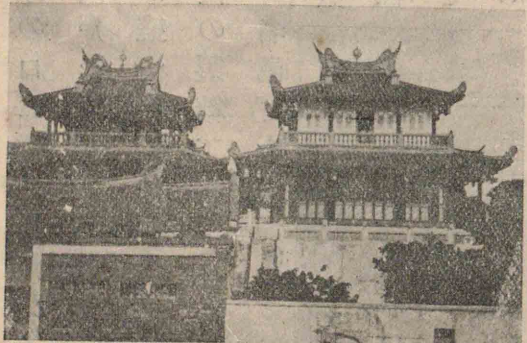
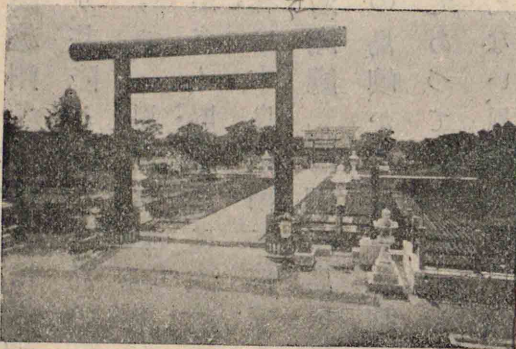
臺南州
臺南市 八三
嘉義街 四二
臺南に商業専門學校がある。

上臺南神社
下赤崁樓

臺南神社
官幣中社
祭神 北白川宮
安平は良港ではないが開港場であつて砂糖及び食鹽を移出する。



會てあつ



て、蘭人の城塞址、鄭成功の廟、臺南神社等がある。市は南部第一の大市場で製糖業が盛である。安平を外港とする。

高雄州
高雄市 四〇
屏東街 二四
高雄は舊名は打狗である。

高雄港埠頭

七星岩は臺灣の最南端である。牡丹社の蕃人は明治初年に琉球漂流民を殺害したためこれを征伐したことがある。

澎湖廳

馬公街 二〇

落花生・甘藷を主産物とする。

馬公は特別開港場である。

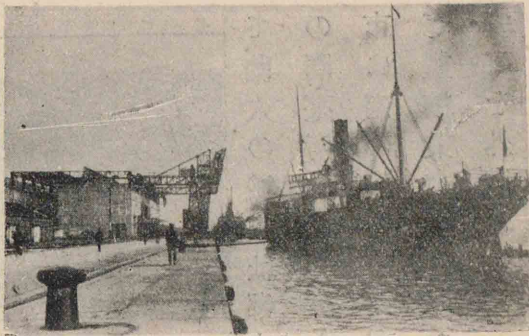
花嶼は極西の地である。

内地人移住民部落

臺東・花蓮港廳

臺東街 〇、八

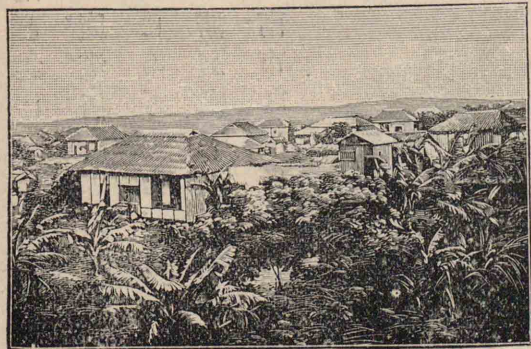
花蓮港街 〇、七



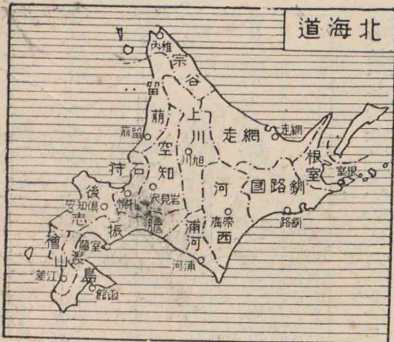
高雄州 高雄市は潟湖の口に位し、築港殆ど成り、基隆と共に本島の門戸をなし、米砂糖を移出する。鳳山は製糖業が盛で、附近には鳳梨の産が多く、屏東には大規模の製糖工場がある。恒春は本島最南に位する名邑である。

澎湖廳 澎湖諸島は數多の島嶼から成り、土地低夷であつて最高五十米を越えない、風が烈しいため

に喬木が成長しない。澎湖白沙漁翁の三島がよつて澎湖灣を圍んでゐる、軍事交通上重要な地であるから、馬公に海軍要港部が置いてある。臺東花蓮港廳 東部地方は土地がまだ十分に開けず人口も少ない。臺東平野は近年拓殖



北海道地方行政區劃圖



地方誌 北海道地方

が進み、内地人の移住する者が次第に増加してゐる。臺東(卑南)はこの地方の門戸で製糖業が起り、北方の花蓮港との間は鐵道及び軌道で連絡してゐる。

第九章 北海道地方

面積 八八一四三平方
人口 二四九九十九人
人口密度 二六人

面積 八八一四三平方
人口 二四九九十九人
人口密度 二六人

北海道地方は北海道本道と千島列島とから成り、本島の南は津輕海峽を隔て、本州に、北は宗谷海峽を挟んで樺太に對し、千島列島の北端はカムチャツカ半島の南端に對してゐる。この列島で太平洋とオホーツク海とを分ける。

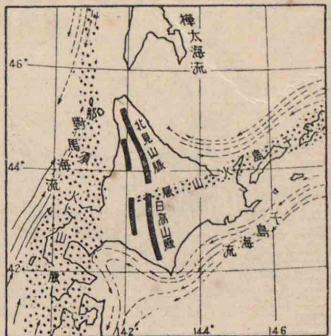
地形 北海道本島は、その島形が赤鱗の尾を振うてゐるのに似、胴部は菱形になつてゐる。本島の主軸である蝦夷山系は、殆ど南北に襟裳

北海道系道地圖

十勝嶽は近時爆裂して泥流を裾野地方に流下させた。眞狩嶽は蝦夷富士とも呼び山容秀麗である。

上 神居古潭 石狩川が夕張山脈を切開してできたものである。

下有珠嶽



珠嶽・眞狩嶽等の火山が群集し北に延びてゐる。かく主軸山脈と千島火山脈とは略十字形に交錯するため、川はこの中部高地に發源し四方の斜面に流下する。石狩川は石狩嶽に發して、上川盆地の水を集め、神居古潭の峽流となつて



猿瀧湖・網走湖等は其主要なものである。

石狩川流域の河跡湖

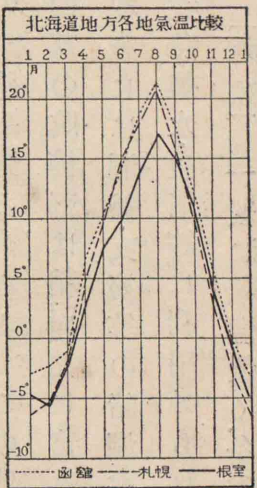
石狩平野は廣大で且平坦なれども十勝平野は多少の高地を交へてゐる。内浦灣は周圍に數多の火山が群集するので噴火灣の名がある。



夕張山脈を貫き石狩平野に出て著しく蛇行して小樽灣に流入する。天鹽川の縦谷は天鹽平野であつて、近時次第に拓殖が行はれてゐる。胴部の日本海岸は小樽灣の外出入に乏しい。又利尻禮文の島嶼が散點する。オホーツク海斜面は地形上大河少なく、海岸には瀉湖が發達してゐる。知床半島の知床岬と花咲半島との間は、國後島によつて根室海峽をつくつてゐる。太平洋斜面には、釧路川流域を中心とする釧路平野と、十勝川流域の十勝平野とがある。この地方は近時拓殖がかなり進んできた。西部の肢節部は稍、屈曲に富み、函館灣・内浦灣等がある。本島の火山地方には、洞爺・支笏等の諸湖が發達し、海岸には瀉湖が多く、これ等は養魚製氷・發電等に利用せられる。

氣候 一般に氣温低く、冬季は寒冷であつて上川盆地・十勝平野は

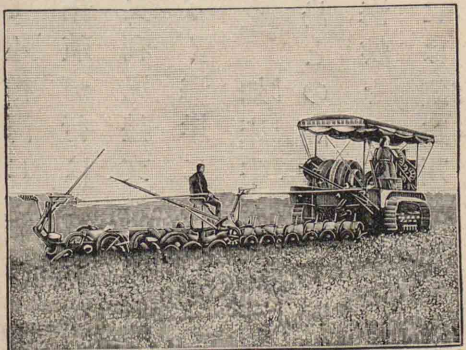
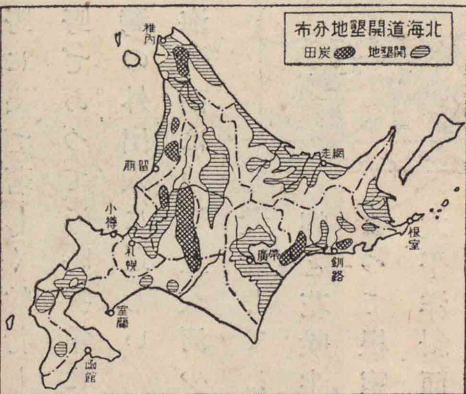
上川地方は嘗て氷
點下四十一度に達
したことがあり、
内地に於ける温度
の最低記録である
北海道各地
氣温比較
晩春流水が漂ひ航
海が危険である。



響を受け氣温稍高く、オホーツク海は冬季海水凍結する。

産業 農業は本道

開發の主要な産業であつて、石狩平野は最もよく開け耕地の規模が大きく機械力應用の大農法も行はれる。豆類はその産額が多く、内地各地に移

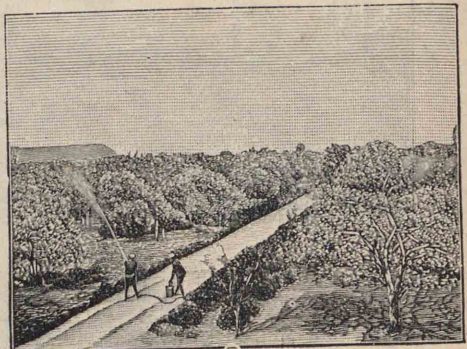
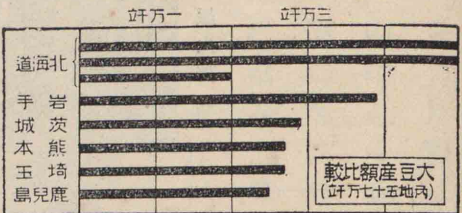


大豆産額比較

米は上川盆地に多く本道需要の半を充たすに至つた。

十勝種馬所の放牧

牧畜は南部中部の平野・臺地に盛であつて日高の新冠・釧路の白糠は名高い。槽からタンニンを取り鞣皮に用ひる。



林産の主要なものは蝦夷松・榎松であつて、製紙原料のバルブに製せられる。白楊はマツチの軸木に、櫓は建築用材、鐵道枕木に、刺楸は器具材に使用せられる。

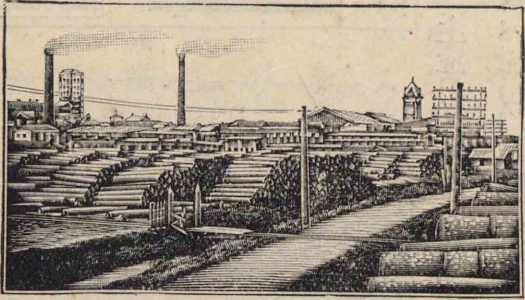
鑛産は石炭を主とし、夕張山脈には石狩炭田があつて、夕張・新夕張・美唄・空知等の炭坑を含み、



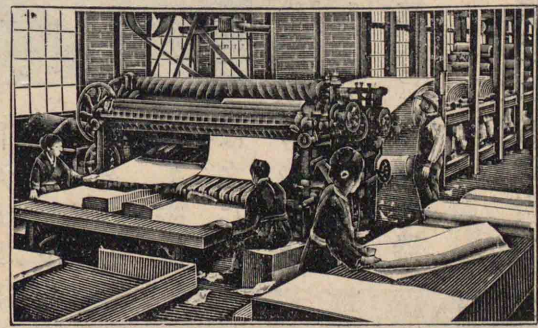
出する。その他、麥類、馬鈴薯、玉蜀黍、菜種、亞麻、薄荷等を産し、又林檎、櫻桃等の果實も産する。未開の原野が多く、且つ牧草が生育するから、牧畜はよく發達し、馬を主として、牛、豚は之に次



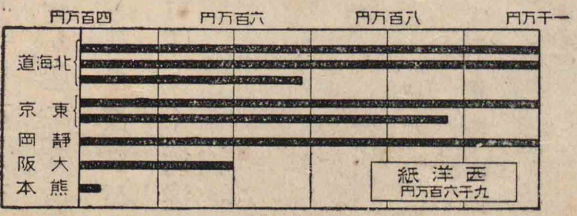
北海道の原生林



王子製紙會社
苫小牧工場



苫小牧工場仕上室



西洋紙産額比較

この石炭は本道工業の燃料に消費する外室蘭小樽等の各地方から移出する。

石狩炭田主要坑産額比較

鮭は西別川・石狩川に多くされる。

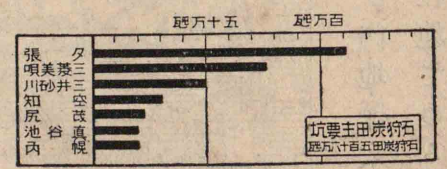
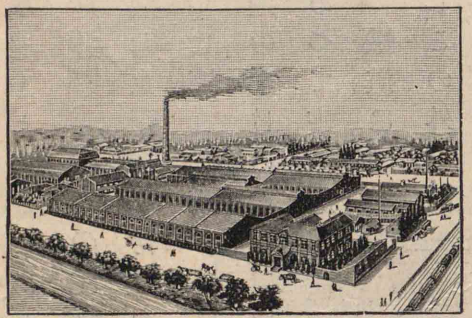
上 鱈の漁獲
下 札説にある
製 麻工場

製紙 苫小牧・江別・池田・網走等
製鐵 室蘭・輪西
製麻 札幌
醸造 札幌
麥酒(札幌)
酒精(旭川)等

その産額は九州の次に位する。その他、渡島半島及びその附近の硫黄、金、銅、石狩の石油等がある。近海は寒暖二流に洗はれ、且つ近海に大陸棚の發達が著しいため、水産に富み、世界屈指の好漁場である。産額の多いのは鱈で、日本海岸はその主産地であつて、食料又は肥料として内地に供給せられる。鮭、昆布、鱒、鱈、烏賊、鰈等も多く、乾製、鹽藏又は罐詰として内外各地に輸送する。かく沿岸は、水産豊かに山地は森林多く、平野は廣く、農牧に適し、且つ石炭及び水力が豊富であるから、將來開拓が進歩すれば、わが國の原



地方誌 北海道地方



小樽・函館は商業の中心であつて室蘭・釧路・根室と共に開港場である。

冬季は馬糞を使用する。

北海道地方交通圖

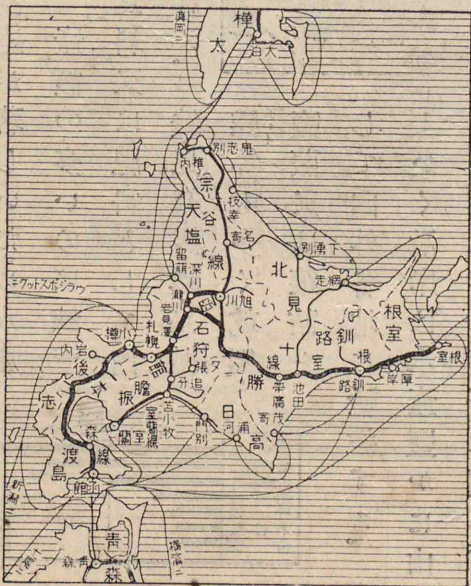
近年宗谷線が開通し稚内と樺太大泊との間に鐵道の連絡船が往復する。函館本線 函館・札幌・岩見澤・瀧川・旭川間 根室本線 瀧川・根室間 室蘭本線 岩見澤・室蘭間 網走本線 池田・網走間 宗谷線 旭川・稚内間

地方誌 北海道地方

料産地として重要な地方となるであらう。近年大工業が発達し、製紙製鋼製材製麻醸造製粉鑛詰等の工場が處々に起るに至つた。内外の商業も漸次發達し、水産物木材等を輸出する。

交通 拓殖の進歩に連れて道

路も次第に整ひ、鐵道の設けのない地方には驛遞があつて旅客及び荷物を輸送する。鐵道は函館線根室線を幹線とし、この外室蘭線網走線及び幾多の炭坑線がある。海上交通は比較的早く開けたけれども、沿岸に良港灣のないのと、氣候不良との爲にその發達は著しくない。函館小樽を中心として、沿岸定期航路及び内地樺太との連絡航路がある。落石石狩幌筵は無線電信局の所在地である。



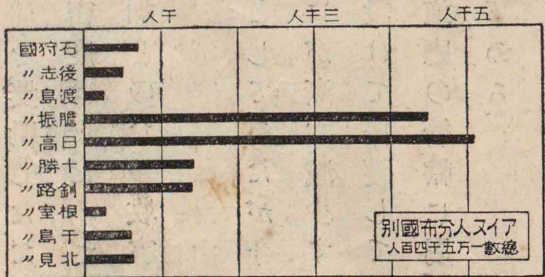
アイヌ人の家屋



アイヌ人と所持の寶物



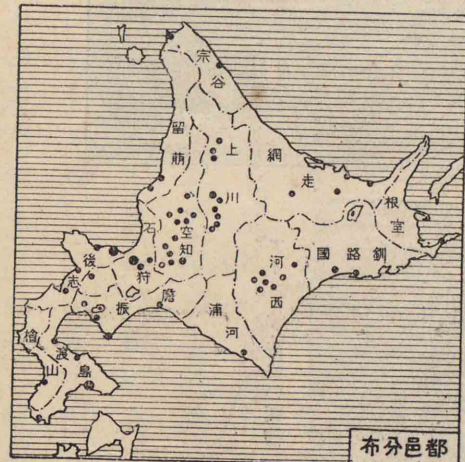
アイヌ人の熊祭



住民 本島はもと蝦夷島と呼び古來の住民はアイヌ族であつたが明治維新以後政府はその拓植に努め内地人の移住を奨励したため戸口増加し今や人口二百五十萬に達したがその密度はまだ小である。政府は内地人口の増加の調節と米の産出増加のため收容の餘地があるこの地方への移住を奨励してゐる。

アイヌ族は日高膽振に多く住みもとは漁獵を主としてゐたが今は農耕に従事する。人口が漸次減少するので政府は保護法を設けて保護してゐる。この地方は北海道廳の管轄に屬し六市十四支廳を置いてゐる。

北海道地方
都邑分布



都會 人口密度小であるから都會の數も多くない。島内開發の第一歩は本州に近い肢節部であつて沿岸航路の發達により聚落ここに起り炭田その他の

函館市 一六四
余市町 一九四
倶知安町 一四

森は室蘭へ渡る要津である。

函館港

上大沼公園

下五稜廓

大沼は駒ヶ嶽の爆裂のため湛水してできたものである。五稜廓は榎本武揚等が據て官軍に抵抗した處である。

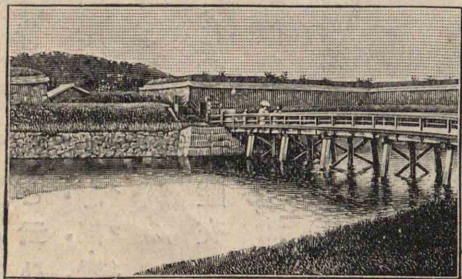
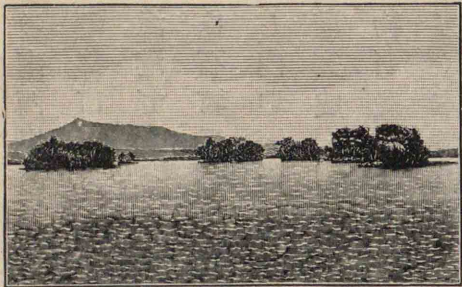
開發により次第に内部に及んだ。東部より西部に多く分布する。

函館市は渡島半島の南端に位し天然の良港を控へて本島の門戸となり青函連絡及び各地への航路の中心であつて商業が盛んで水産物の輸出が多い。市の郊外にある五稜廓は戊辰の戦蹟地であつてその外濠には製氷が行はれる。

函館本線は本市から起り駒ヶ



嶽の山麓の勝地大沼公園を過ぎ内浦灣岸を繞り倶知安余市を経て小樽市に通じてゐる。倶知安は尻別川流域の農産の中心地で余市は苹果の産が多



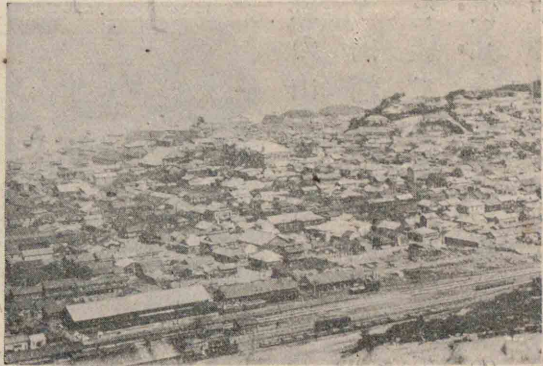
札幌市	一四五
小樽市	一三四
旭川市	七二四
夕張町	四九二
岩見澤町	二五八
江別町	一八五

小樽市街
小樽に高等商業學校がある

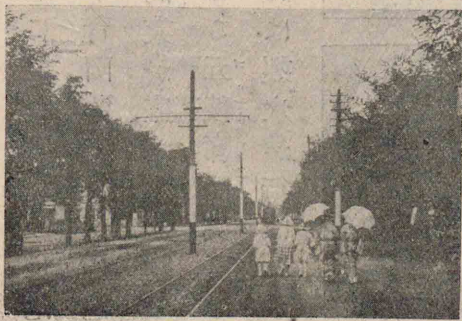
札幌市街
アカシヤの並木

札幌神社
官幣大社
祭神 大國魂神
外 二神

月寒に種羊場がある。



札幌市は石狩平野の一隅に位し豊平川に沿った本道の首府で政治拓殖工業等の中心である。市街は街路廣く市區整然として碁盤の目の如く道廳北海道帝國大學控訴院等がある。



旭川市街

室蘭市	二五〇
苫小牧町	一七〇
稚内町	一一〇
留萌町	一一〇
増毛町	〇三七

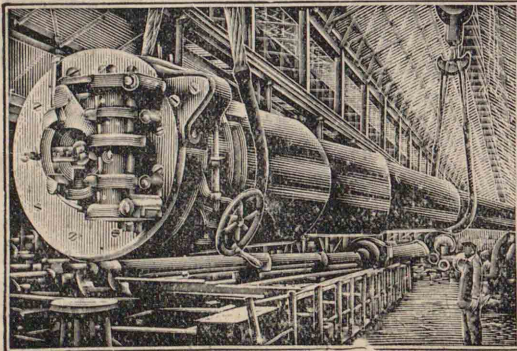
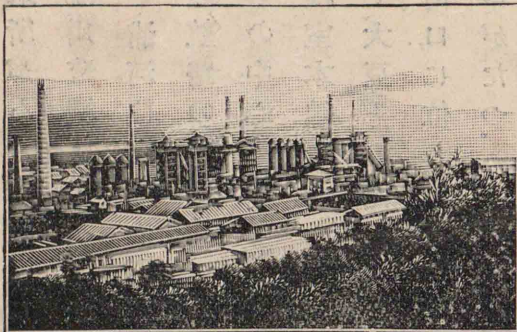
上 室蘭製鋼所
下 室蘭製鋼所
内 部

苫小牧に石灰窒素製造の工場がある。



業が盛で附近は米の産が多い。室蘭線に沿うた苫小牧には本邦屈指の洋紙の大工場がある。室蘭市は内浦灣口にある開港場で木材石炭を

地方誌 北海道地方



農産物の取引が多く、麥酒製麻製粉煉乳の工業が行はれる。江別は製紙業が行はれ、岩見澤瀧川は鐵道の分岐點であつて、その東方夕張山脈内には幾多の炭坑がある。上川盆地の中心地旭川市は交通の要地で近時の發達が著しく第七師團司令

部があり、醸造

輪
西
製
所



銅路市 四二
網走町 二四
野付牛町 二〇
帶廣町 一六
根室町 一六
厚岸に牡蠣・昆布
を集散する。

帶廣市街

地方誌 北海道地方

一五六

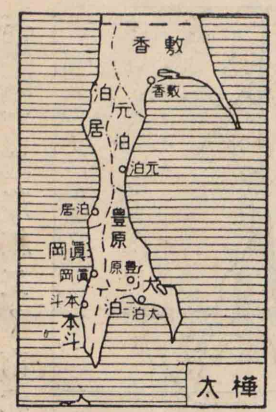
輸出し又壯大な日本製鋼所がある。附近に登別温泉がある。東方の日高地方の沙流川流域はアイヌ族の部落が多く中でも平取は世に知られてゐる。浦河は支廳の所在地である。宗谷線の終點稚内は樺太渡航の最短航路の起點地である。天鹽の海岸は鯨の漁業が盛で増毛留萌はその中心である。



根室本線に沿ふ帶廣は十勝平野の中心であつて大豆その他の農産を集散し釧路市は同名の河口に位し木材水産物の取引が多く又盛な馬市がたつ。根室は花咲半島の開港場で千島に對する要地で水産物の製造が行はれる。冬季その港内が結氷するときは花咲港を補助港として寄泊する。網走はオホーツク海方面の良港であつて水産物の集散が多く野付牛と共にマツチ軸木の製造が盛である。

千島火山脈通じ、爺々登・羅臼等の火山が多い、硫黄を多く産する。國後・擇捉・得撫等は其中的大島である。千島は將來航空交通上の要地なるであらう。

樺太地方
行政區劃圖



地方誌 樺太地方

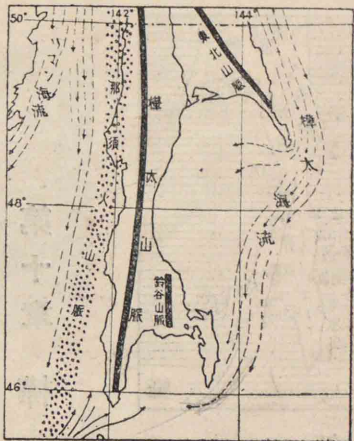
第十章 樺太地方 (領邦)

面積 三六〇三四平方
人口 二〇三六
人口密度約 六人

千島列島はオホーツク海の外縁になつてゐる。列島は大小三十有餘の火山島から成り面積は四國島と略相等しいが人口は二萬に達しない。氣候寒冷で農耕には適せぬが沿海には漁利が多く鱈・鱒・鮭を漁獲するため夏季各地から來るものが多い。擇捉島の紗那は列島の主邑で漁業の中心である。占守島は本邦の最東端に位し阿頼度島は最北端にある。

樺太島は北海道本島の北に位しその間に宗谷海峽を挟み東はオホーツク海に臨み西は間宮海峽を隔ててソヴイェト聯邦領に對する。本島の南半北緯五十度以南は邦領である。

樺太地方地形圖



地形 地形細長く南北に延び、二條の山脈が縦走してゐる。樺太山脈は本島の主軸を成して西に偏し、これと略平行して、北に東北山脈、南に鈴谷山脈がある。この東西兩山脈の間には、北に幌内平野、南に内淵・鈴谷の兩平野の低地がある。幌内平野はツンドラとなり、土地低濕で地下に泥炭を堆積し、夏季なほ地下數米の處は凍結してゐる。幌内川はソヴイェト聯邦領から流れ來て、この低地を過ぎ多來加灣に注いでゐて、漁利が多い。南部低地は内淵・鈴谷の諸川の流域であつて、農牧に適し、この地方文化の中樞地である。海岸は單調で東に多來加灣があり、南に能登呂中知床の兩半島が突出して亞庭灣を抱いてゐる外著しい出入はない。



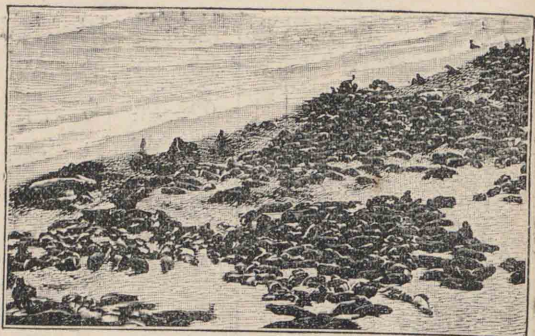
ツンドラは唯土人が馴鹿の放牧に利用するに過ぎない。地表には蘚苔類が密生し、樹木は殆どない。

ツンドラの鹿群

海豹島群の鰮

日英米露の四國が北太平洋に於ける海獸の保護に關する條約を締結してゐた。

上 身欠鰮の製法
下 昆布の乾燥



〔氣候〕 この地方は高緯度に位するため、一般に寒氣厳しく、降水量小である。東岸及び南岸は冬季海面凍結し又流水が多く、西岸は對馬海流の影響を受けて稍溫暖である。

〔産業〕 この地方沿岸は世界屈指の好漁區であつて、水産は最も主要な産業である。西岸・南岸は鰮、東岸は鮭・鱒の漁業が盛で、夏季内地から出漁する者が多い。その他鱈・蟹・昆布等の産が多く、又海豹島には海獸の繁殖



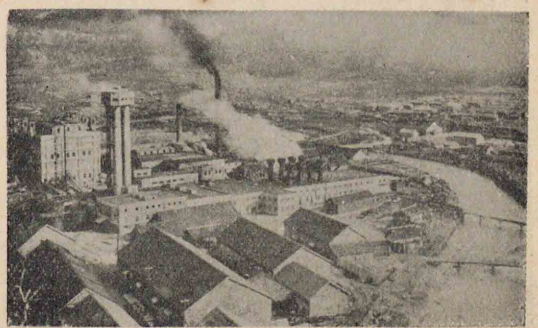
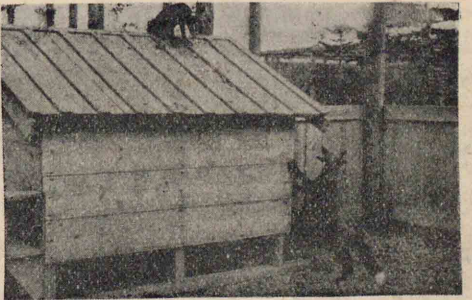
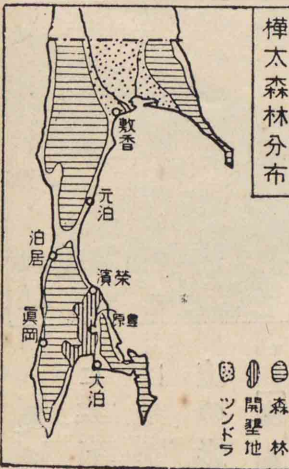
麥・豆・馬鈴薯等を産する。
 森林中には狐・貂等の毛皮獸が多い、近年養狐業も盛である。

上 養狐場
 下 泊居の工場

樺太森林 布圖

地方誌 樺太地方

所がある。農業は僅かに南部低地に行はれるに過ぎないが、林業は近年發達して、樞松、蝦夷松、落葉松、白楊の原生林が全島の約九割を占め、パルプ製造に利用せられる。鑛産では石炭の埋藏量が多く、内淵川流域の炭田は有名である。

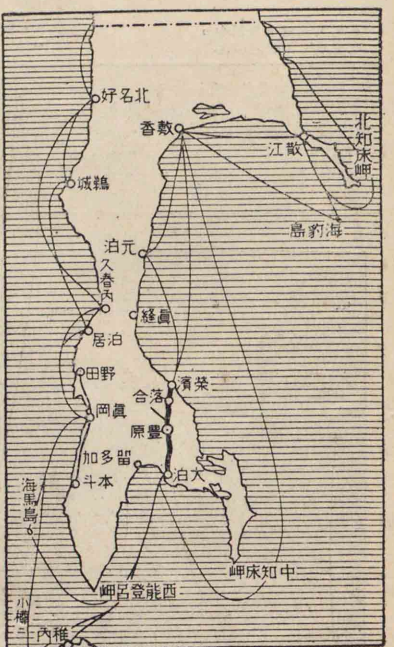


一六〇

交通

陸上の交通はなほ不便である。各地に驛遞を設けて行旅の便をはかり、冬季は一般に橇によつて往來する。鐵道は大泊から鈴谷平野を縦貫し榮濱に達する樺太廳鐵道本線と、

樺太地方交通圖

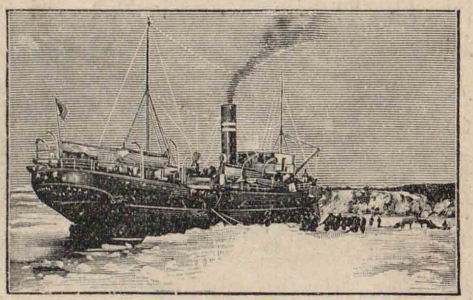


碎氷船

は交通杜絶することがあるが、碎氷船を用ゐて僅かに内地と連絡をする。又大泊と稚内との間には鐵道の連絡船が通つてゐる。大泊・真岡は開港場である。

政治 住民

本島はもとわが國の領土であつたが、徳川時代の半ば過頃からロシア人が移住して來た爲に、日露兩國間に境界問題が起り、明治八年



地方誌 樺太地方

一六一

樺太廳

日露國境兩國線

日露國境の林空

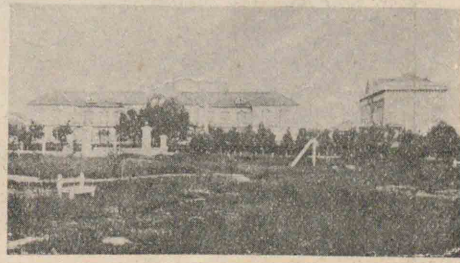
線境國 一分万十二百尺縮



得撫以北の千島列島と樺太とを交換した。その後日露講和條約の結果北緯五十度以南の地が再びわが國の領土に復し、樺太廳を豊原に置き、その下に七支廳を置いて統治してゐる。この地方は氣候が寒冷で拓殖がなほ進まないため人口は稀少である。政府



は内地人の移住を奨励した結果、住民の大部分は内地人であつて、南部低地地方と西部海岸地方とに多い。



上 アイヌ人
下 内地人の村部落

オロツコ人

大泊に無線電信局がある。



都會 人口稀少のため都會は何れも小さく、南部低地及び海岸に存在するに過ぎぬ。大泊は亞庭灣北岸の開港場で本島の門戸となり、内地との交通の要衝に當り、木材水産



土人はアイヌ人、ギリヤーク人、オロツコ人等であるが、その数は甚だ少なく、文化の程度が低く、多くは漁獵に従事してゐる。この中ギリヤーク人、オロツコ人は幌内平原に、アイヌ人は幌内鈴谷の兩平原に住する。



大泊 二四
豊原 一一
真岡 二五

豊原に樺太神社がある。

樺太神社
官幣大社
祭神 大國魂神
外二神

上 大泊市街
中 豊原市街
下 真岡市街

落合にはパルプ工場がある。

真岡は唯一の不凍港である。泊居附近には石炭を産し又パルプ工業が盛である。本斗は近時急激に発達した處である。

地方誌 樺太地方



の外本斗泊居等の小邑がある。

敷香は多來加灣に臨み毛皮の集散地である。西岸の眞岡は漁業の中心である。こ

物を集散する。豊原は鈴谷平野の中心にある新開の市街で樺太廳の所在地である。榮濱は南部低地の北端にある小港で、洋紙の製抄で榮え



一六四

第十一章 朝鮮地方

面積 人口密度

一九七—一三六
一八〇—六八千
九二八

朝鮮地方行政区劃圖

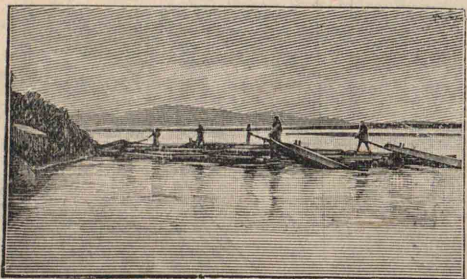
對馬を距ること僅かに六十軒に過ぎない。



及びソヴェエト聯邦領と境する。その位置が内地支那ソヴェエト聯邦領の間に介在するので、わが國防上重要な位置にある。

地形 半島は概して山地であるが、南北によつて

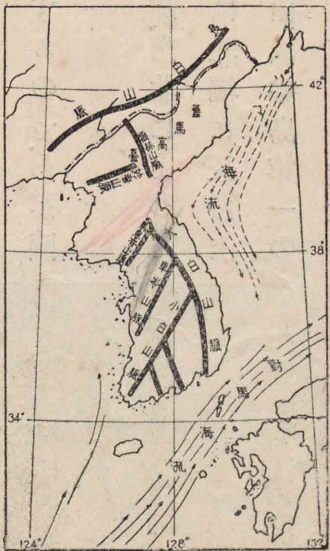
大いにその趣を異にする。北朝鮮は、北端に長白山脈が斜に東西に走り、その首峰白頭山は半島第一の高山であつて、頂上に火口湖を湛へてゐる。山脈の



一六五

豆満江(筏流し) 鐵道京元線の通じる地方を以て南北の境界とする。

南には火山岩から成る蓋馬高臺が發達し、南に急斜してゐる。狼林山脈は略その臺地の中央部を南北に走り、土地が概ね高峻である。河川は西に流れて黄海に入るものが多く、鴨綠江、清川江、大同江



朝鮮地方山系圖
鴨綠江はその延長五五〇軒に達する。

金剛山

金剛山は朝鮮人が神聖の地として崇拜する。



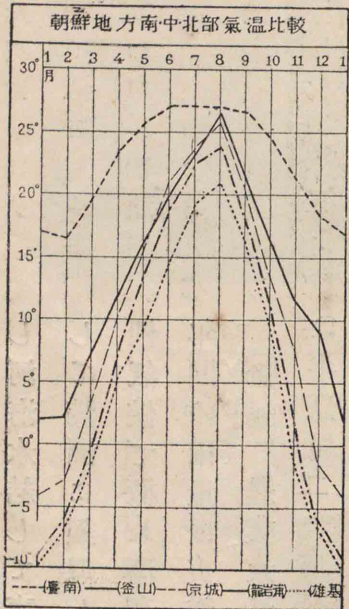
等は、その主なものであつて、その流域には多少の平野を伴なつてゐる。東に流れて日本海に入るものには、唯豆満江等があるに過ぎない。南朝鮮は主軸である大白山脈が略、東岸に沿つて南北に走り、小白山脈等の支脈を分岐してゐる。大白山脈中の金剛山は風景の奇絶を以て著はれてゐる。かく主軸山脈

漢江

日本海に鬱陵島がある。濟州島の最高峯漢羅山は火山で、山頂に火口湖を湛へてゐる。この沿岸は漁業が盛である。

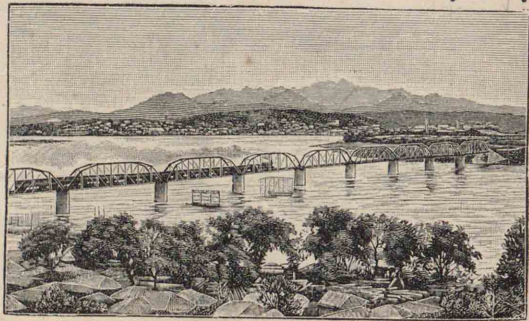
朝鮮地方各地氣温比較圖

近海の潮汐干満の差は日本海岸では僅かに三十厘内外に過ぎないが、黄海岸はその差甚だ大で、仁川では十米に及び、沿岸に干潟が多い。多島海には大小千八百の島嶼が散在してゐる。



が東偏するため、東側の土地は日本海に急斜し、従つて平野が少ないが、西側は小山脈の間を漢江、錦江、洛東江等の大河が流れ、下流に豊沃な平野を作り、又舟運灌漑の便を有してゐる爲に産業が進み文化の發達が著しい。

日本海岸は出入に乏しく、唯永興、迎日の二灣があるに過ぎないが、黄海岸及び朝鮮海峽方面は、西朝鮮灣、江華灣、鎮海灣等の出入が錯雑し、又火山島の濟州島を



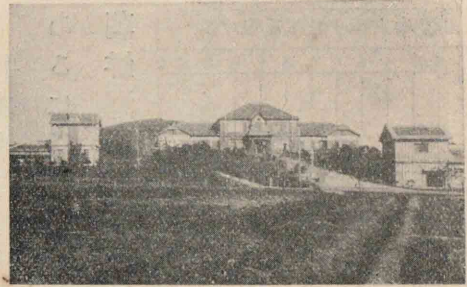
首め大小無數の島嶼が散在し、この南西岸は朝鮮多島海の稱がある。

氣候 北朝鮮はアジヤ大陸の影響を受け、冬季は氣温低下

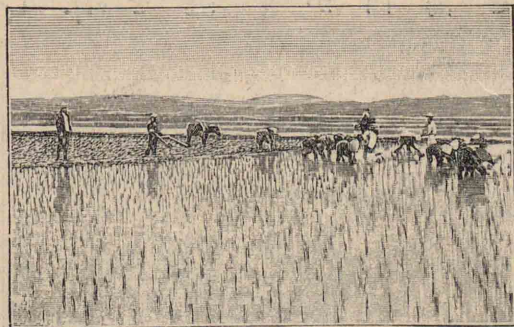
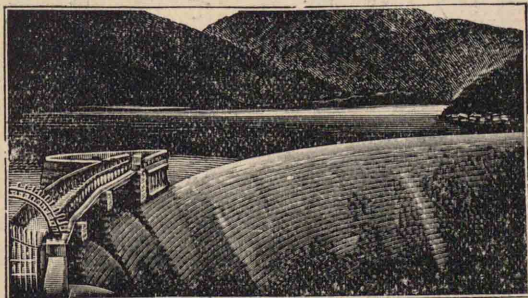
三寒四溫

南西海上は初夏の頃に濃霧が多い。

水原の勸業模範場



し河海水結して車馬を通じ得られる。氣候は概して滿洲に類似してゐる。南朝鮮は多くは海洋性氣候で概ね溫和である。雨は七月頃に多く、一年間の雨量は東海岸を除く外は一般に少ない。
産業 農業・水産業及び鑛業を主とする。農業は半島地方の主要産業であつて、住民



下 朝鮮の水田

上 灌溉設備 (南鮮)

の八割以上は之に従事してゐる。近年わが政府の指導奨励と内地人の移住によつて斯業は次第に改善せられ、水源の涵養法や灌溉工

米は釜山・群山から大豆は釜山・仁川から内地に移出される。

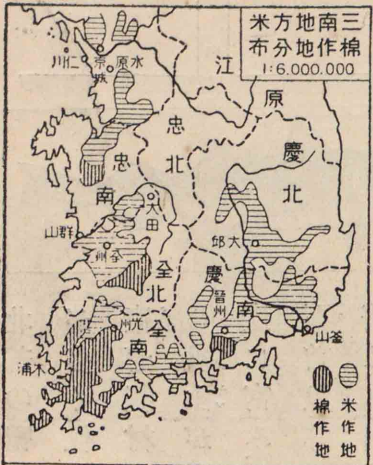
上 群山の米の積出し

棉花はアメリカ種を栽培するに至つた。

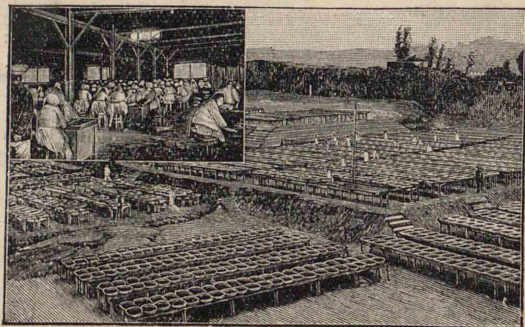
下 人蔘製造状況

高麗人蔘には、白蔘、紅蔘の二種があつて、總督府の專賣である。

三南地方米棉作地分布圖



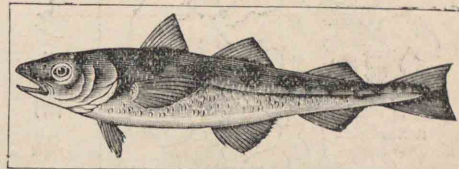
が進み耕地も廣まり、その産額も逐年増加するに至つた。米は南部地方に多く、麥・大豆は各地に産し内地にも移出せられる。その他粟・煙草・苹果等の産が多く、開城附近は人蔘・木浦



附近は棉を栽培し、養蠶も各地に行はれる。中部以北は原野が多いため、牧牛が盛んで、又各地に牛市が開かれる。生牛・牛皮・牛骨は多く内地に移出せられる。

植林事業の行
生林貸付

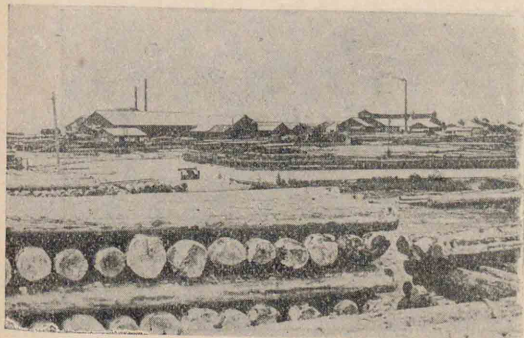
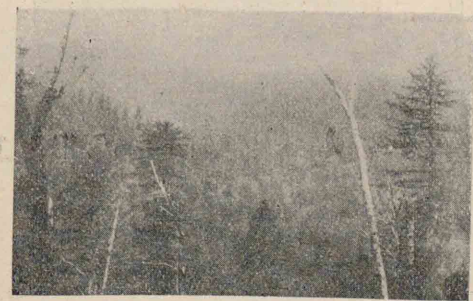
明太魚



北部の鴨綠江・豆滿江流域からは紅松・唐檜・落葉松の木材が多く伐り出され、筏にして新義州に送られ、この營林廠で製材する。南部地方は雨量が少なく、且つ濫伐のため禿山が多いが、今や盛に植林せられてゐる。近海は水産に富み、日本海の明太魚・鯧・鯨・朝鮮海峽の鱒・鯛、黄海の石首魚等は殊に著はれ、内地人が多く漁業に従事してゐる。西岸の廣梁灣では天日製鹽が盛である。礦物はその分布が廣く、金・銅・鐵・石炭・黒鉛等の産が多い。主として金は雲山・稷山に、鐵は安岳・載寧・殷栗等に、石炭は

上 朝鮮北部の森林
下 營林廠貯木所
鑛産の利益の半は外國人が占めてゐる。鐵鑛は兼二浦・八幡の兩製鐵所に供給される。石炭は徳山の燃料廠に送つて煉炭とする。

は安岳・載寧・殷栗等に、石炭は

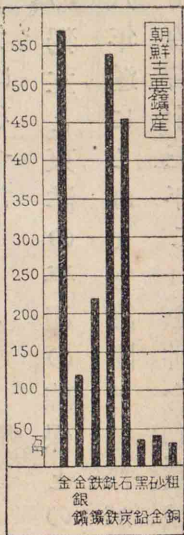


地方誌 朝鮮地方

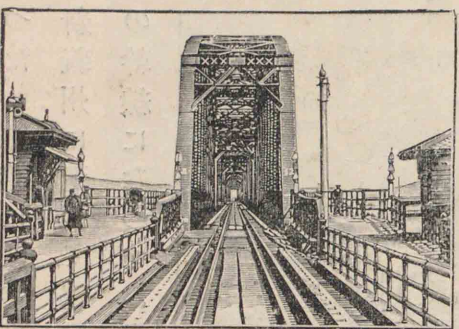
一七〇

右 朝鮮主要鑛産額比較

寺洞に、黒鉛は長興に産する。工業は従來機業・窯業等の手工業に過ぎなかつたが、近時は著しくその面目を改め、製鐵・製紙等の工業が漸く盛となつた。



開港場 釜山・木浦・蔚山・仁川・鎮南浦・龍巖浦・新義州・元山・清津・雄基
開市場 京城・大邱・平壤
鴨綠江鐵橋



地方誌 朝鮮地方

大都市以外では常設の商店が少なく、定期に市を開いて賣買してゐる。内地との取引が發達し、多くの製造品を移入し、米・豆類・魚類等を移出する。

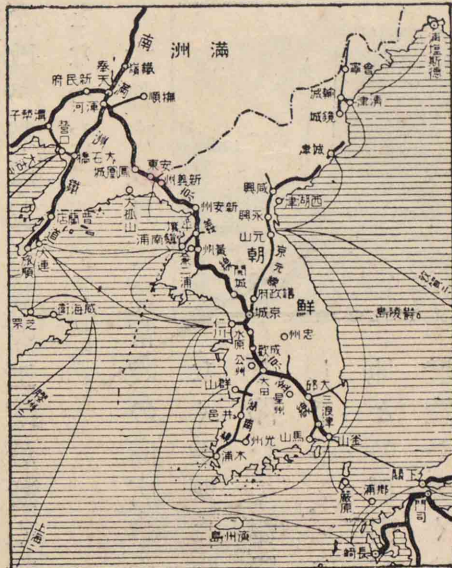


近年道路の改修に努め、その面目を改めるに至る。陸路は往時は馬・轎により往來したが、

一七一

京釜本線
釜山・京城間
京義本線
京城・新義州間
釜山から新義州
迄全長九百五十
軒二十四時間で
達する。
京元線
龍山・元山間
湖南線
大田・木浦間
朝鮮郵船會社の汽
船は沿岸各港に寄
航する。

朝鮮地方交通圖



地方誌 朝鮮地方

つた。鐵道には半島を縦貫する京釜・京義の幹線がある。京義線は
新義州に至つて鴨綠江の大鐵橋を渡り、安奉線と連絡して世界交通
の幹線になつてゐる。この外京元・湖南咸鏡の諸線も通じてゐる

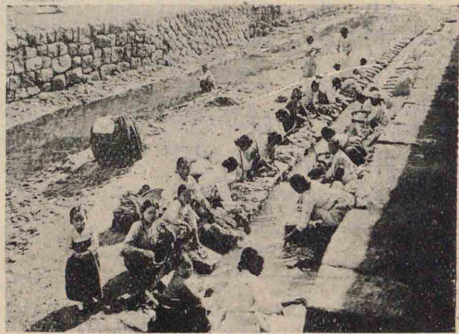
この中咸鏡線北部の清津・會寧間
の鐵道は、吉會豫定線に連絡する
豫定である。鐵道の通ぜぬ地方
は自働車で連絡してゐる。海運
は鐵道連絡船の外、仁川・釜山・元山
等を中心として内外航路が開け、
漸く水陸の交通が不便を感じぬ
やうになつた。

政治 住民

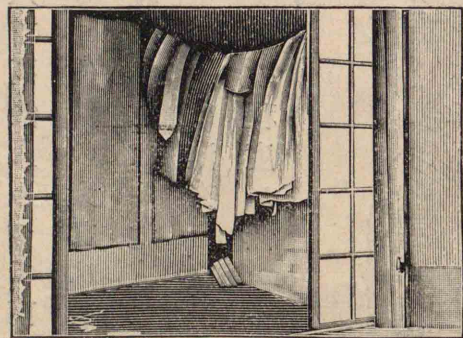
わが國はさきに朝鮮の獨立と、東洋の平和の確保との
ために、支那・ロシアと戦ひ、明治三十八年遂にこれを保護國としたが、
なほ民心がとかく落付かないので、明治四十三年これを併合し、京城



庭家の流中鮮朝



濯洗の人婦鮮朝



室ろあの備設レドンカの庭家流中鮮朝

音母	音子
可	フ
ト	レ
一	ロ
一	ニ
	日
	人
	立
	豆
	上
	止
	下

文 諺

地方誌 朝鮮地方

道 領事
府 府手
府 府守
府 府長

朝鮮總督府



地方誌 朝鮮地方

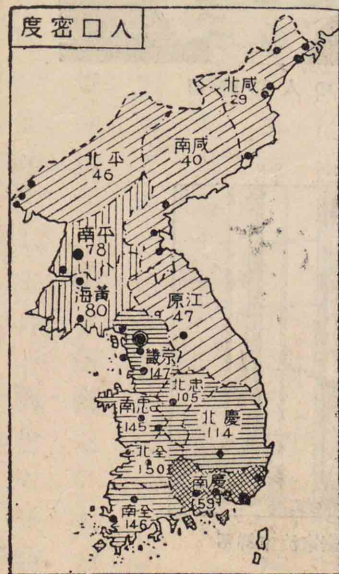
朝鮮總督府を置いて、總督をして政務を統轄させてゐる。又地方を十三道に分け、道の下に府と郡とを置いてゐる。

住民の總數は千八百萬餘人あつて、南部に密に、北部に疎である。住民の大部は朝鮮民族であつて、その容貌體格等は内地人に酷似してゐる。中流以上の人は漢文を、庶民は諺文を用ゐる、概して文明の程度が低かつたが、近時教

朝鮮人口密度圖

内地人の移住者は五十萬人に近い。

育の普及に努め各種學校の施設を見人文が漸く進歩して來た。内地人の移住者は近年増加し、鐵道沿線及び海岸地方に散布する。



慶尙、忠清、全羅各道を三南地方と云ふ。

南部地方
釜山 一〇七
大邱 六二
木浦 二六
群山 二二
全州 二二
馬山 一一

釜山の海陸連絡

釜山は夙に内地と通商し内地に留民も多く内地の都會を見る様である。

蔚山沖は日露海戦のあつた所である。

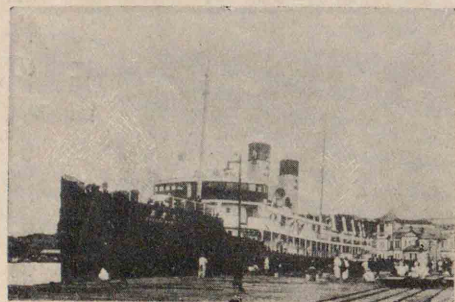
慶州新羅古蹟遺星臺

都會 地形産業交通等の關係によつて、都市は主に西南部の海岸平野に分布し從來は城廓を繞らしてゐたが、近年都市の膨張に連れ

てこれを撤去したものがあつた。釜山府は朝鮮半島第一の開港場であつて、前面に絶影島を望み、港の設備がよく整ひ、内鮮交通の咽喉を占め、下關との間には鐵道の連絡船が通つてゐる。その北東に東萊溫泉がある。

馬山府は馬山支線の終點であつて、水産物等の取引が行はれ、鎮海は巨濟島を控へた天然の良港

で、海軍の要港となつてゐる。蔚山は捕鯨の根據地で、加藤清正の籠城で名高く、慶州は新羅の舊都で史蹟が多い。



地方誌 朝鮮地方

覆審法院がある。
成歡・牙山は日清
戦役の古戦場であ
る。

中部地方

京城 三〇二

仁川 五三

開城 四三

昌徳宮仁政殿

京城に法學専門學
校・高等工業學校
高等商業學校の設
がある。

朝鮮神宮

貨幣大社

祭神 明治天皇

京仁線は永登浦か
ら分岐する。

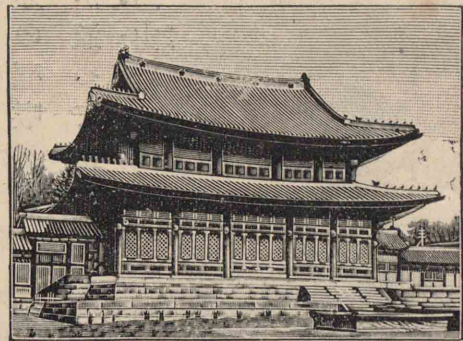
京城市街全景

水原(米七三)

勸業模範農場

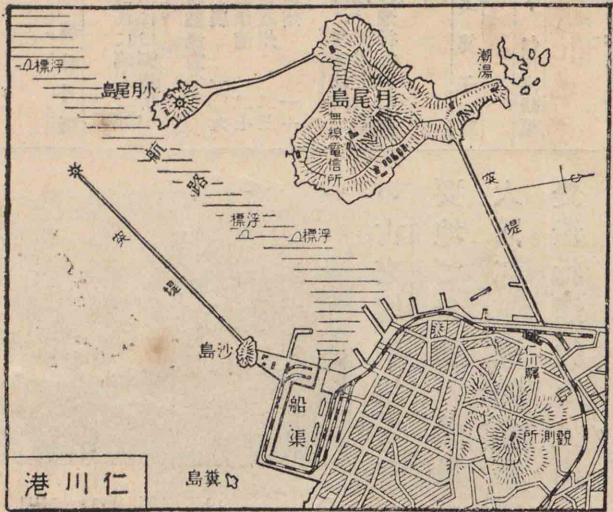
あり

大邱府は洛東江平野の中心地で農産物の集散が多く、盛な南市が開

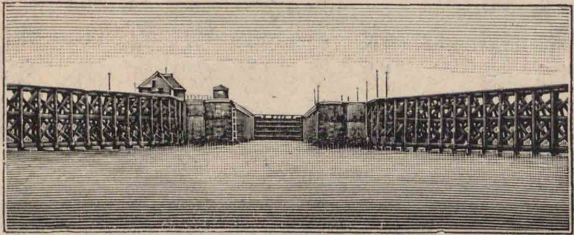


かれる。大田は貨物の集散が多く、全州は米
産の中心地で群山はその積出港である。木
浦府は榮山江流域の農産物の取引港である。
京城府は漢江に沿ひ三方に山を繞らし、久
しく韓國の首府であ
った。市街は近時改
修して全く舊觀を改
め、内地の大都市に比

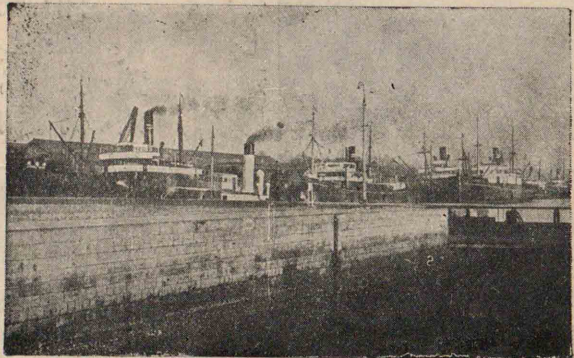
べて遜色がない。この地は朝鮮の政治學術
經濟の大中心地で、總督府李王の宮殿・高等法
院・京城帝國大學等がある。その南西部の龍
山は交通の要地で、貨物の集散が盛で、第二十
師團司令部が置かれてゐる。仁川府は京城



仁川港と月尾島



仁川港船渠閘門



仁川港船渠内繫船壁

平壤牡丹臺

大同江に臨んだ、二浦には製鐵所がある。

北西部地方

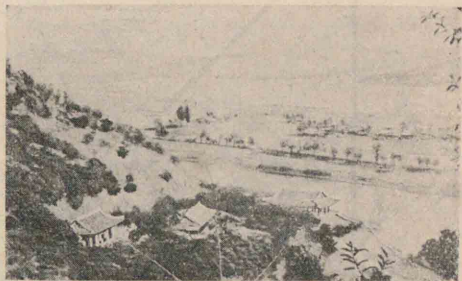
平壤 一〇九
鎮南浦 二七
新義州 二一三
義州 一一

平壤に覆審法院がある、又附近に陸軍の飛行場がある。

上箕子陸

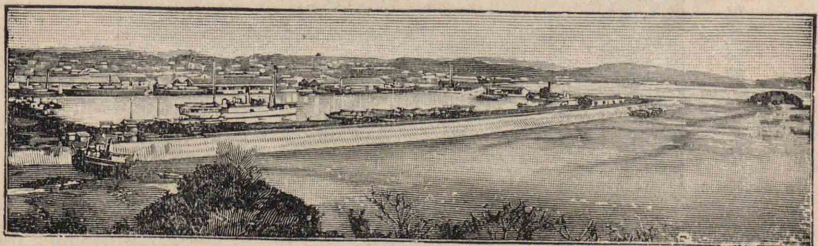
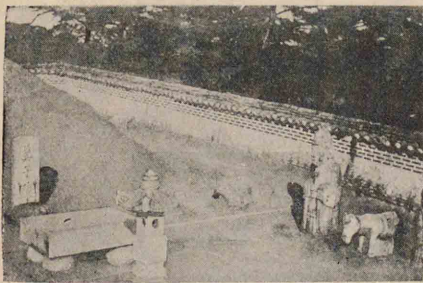
下仁川港船渠

營林廠がある。



の咽喉に當り、重要な開港場であつて、米・人蔘・牛皮等を積出し、近年開門式船渠の築港が完成し、船舶の碇泊に不便がない。開城は高麗の舊都で、人蔘の産が多く、黃州は農産物の集散地である。平壤府は大同江岸に位し、形勝の地にある爲

め古來屢戰場となつた。水陸の要地で貨物の集散が盛である。大同江下流の鎮南浦は開港場で、農産物・鑛物を移出し、又製鍊所の設がある。新義州府は京義線の終點に位し、木材の集散が多く製

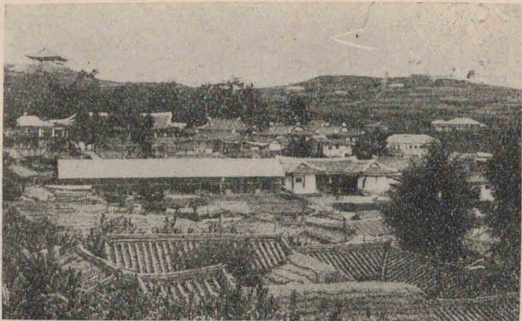


北東部地方

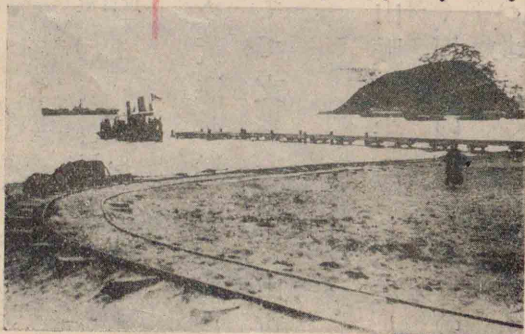
元山 三三
咸興 三三
清津 二二
會寧 一一
羅南 一一
上義州市街 一一
下元山市街 一一

西湖津港

咸興の外港である。



紙業が盛である。義州は日清日露の兩戰役の古戰場であり、龍巖浦は開港場で木材の取引が多い。元山府は永興灣に臨み、東海岸の主要開港場であつて、牛明太魚を集散する。城津・清津・雄基は共



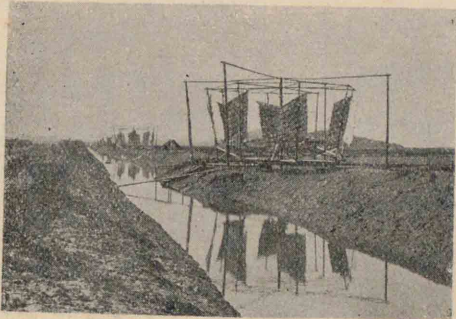
に開港場である。羅南は軍事上の要地で、第九師團司令部が置かれ、會寧は滿洲の間島に入る門戸であり、慶興はシベリヤに對する要地である。

沙里院
平野中心
米大倉

第十二章 關東州(租借地)

面積 三四五七方軒
人口密度 七六六千人
二二一人

關東州は支那滿洲の遼東半島の南西端を占め、黃海と渤海灣とに挟まれ、南は直隸海峽を隔てて支那本部の山東半島に對する。



普蘭店の鹽田

この地方は一般に雨量に乏しい。大豆・高粱・玉蜀黍を産する。

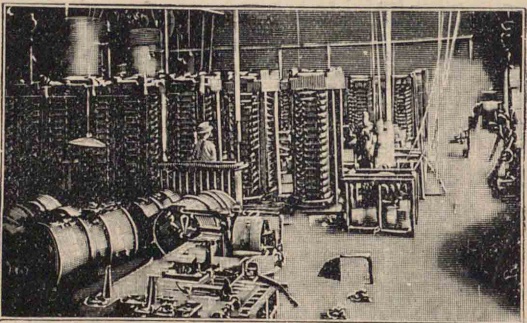
大陸性で寒暑の差甚しく、冬季海水の凍結する處がある。

人文 農産に乏しいが、沿海の沙濱では製鹽業が行はれ、漁業も亦

上 大連に着いた滿洲大豆

下 油房の内部

豆 油



盛である。近時大連には豆油・豆粕・製粉等の工業が勃興して來た。

この地は日清戦役の結果、清國からわが國に割讓した處であるが、間もなく清國に還附した。ついて

ロシアが之を租借し、旅順に軍港を、大連に商港を築き、新市街を興し、東清鐵道を敷き、以て極東經營の根據地とし、その勢が將に東亞を壓せんとしたが、日露戦役の結果、わが國はその租借權を繼承し、大正四年日支



關東州の租借期間
は明治三十一年か
ら向ふ九十九ヶ年
である。

大連にある南滿
洲鐵道會社本社

旅順線は周水子か
ら旅順へ通じる。

大連市街
大連廣市場

大連市 一八五
旅順市 〇二三五
金州 〇二八

大連灣無線電信局
がある。

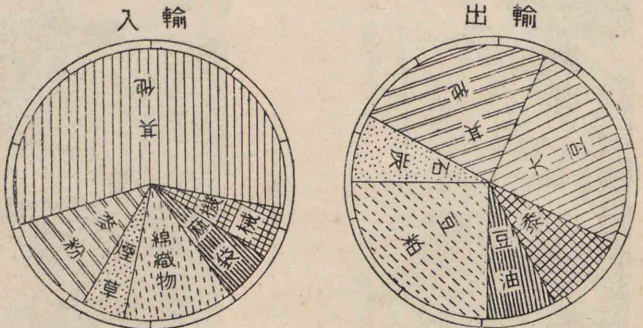


條約で租借期間を更に延長した。旅順に關東
廳を置き、その下に旅順・大連に二民政署を設け
てゐる。別に關東軍司令官を置いて州内の防
備を掌らせてゐる。人口は約八十萬、支那人が
その大部分を占め、内地人は十萬に満たない。
鐵道はわが南滿洲鐵道會社の經營する線路
であつて、大連を起點とし
て北東に進み、滿洲の長春

で東支鐵道と連絡する。この鐵道は歐亞交通
連絡の一重要幹線である。海運は大連を起點
として、内地、朝鮮、支那本部の諸港に通じ、海底電
線は内地と支那の芝罘とに通じる。
都會 大連市は大連灣にある自由貿易港で
あつて、滿洲の南方の重要な門戸である。その



大連輸出入貿易圖
表

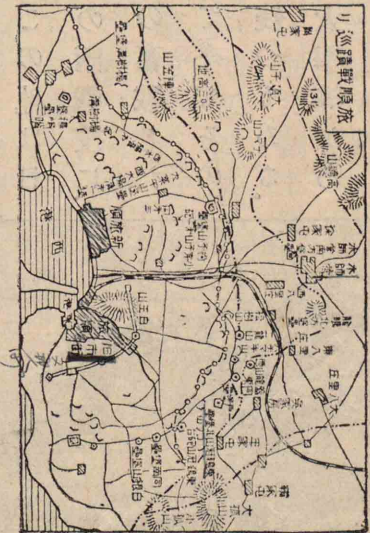
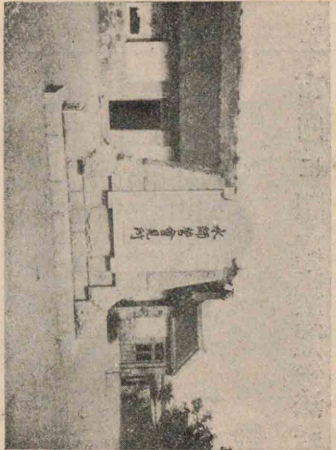


港は廣くて水深く、防波堤、棧橋などの設備がよ
く整ひ、冬季氷結を見ないから四時船舶の出入
が頻繁で貿易が盛に行はれる。又市街の設備
もよく整ひ市況殷盛で、南滿洲鐵道會社、各國領
事館等がある。旅順市は金州半島の南端に近
く、港は東西の二部に分れ、後方には丘陵を繞ら
し、天然の要害地である。この地は日
清、日露の兩戰役に、
わが軍の奮戦した
處として今もその
戦蹟が残つてゐる。

市内に關東廳高等法院、工科大学等があ
る。金州の附近に南山の戦蹟がある。

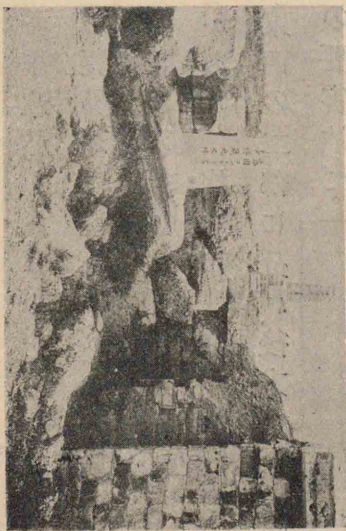
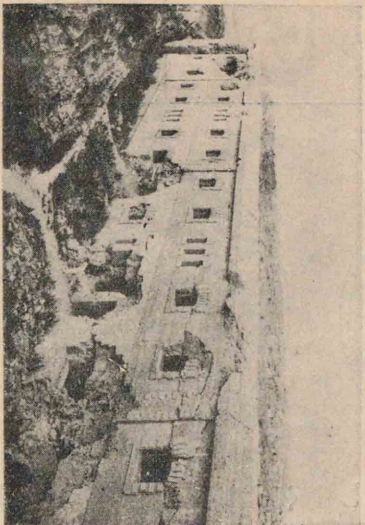


水師警會見所



旅順戰蹟巡り

東羅冠山堡壘の掩蔽所



東羅冠山北堡壘
將軍戰死の場所

第十三章 南洋群島 (委任統治地)

面積 二四五千方
人口 五六千人
人口密度 二六人

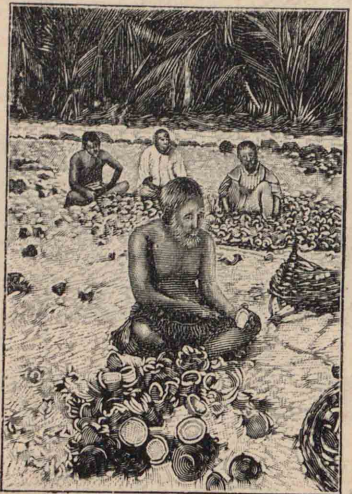
南洋群島は東西四千百軒、南北二千軒の廣さ間に散在してゐる。

分布區域が廣いために東・中・西の三標準時を使用する。西部標準時は内地使用の中央標準時と同一である。

コブラ製造

年平均氣温二十七度に及ぶ、雨量が多く、又時に颱風が襲來して災害を及ぼすことがある。

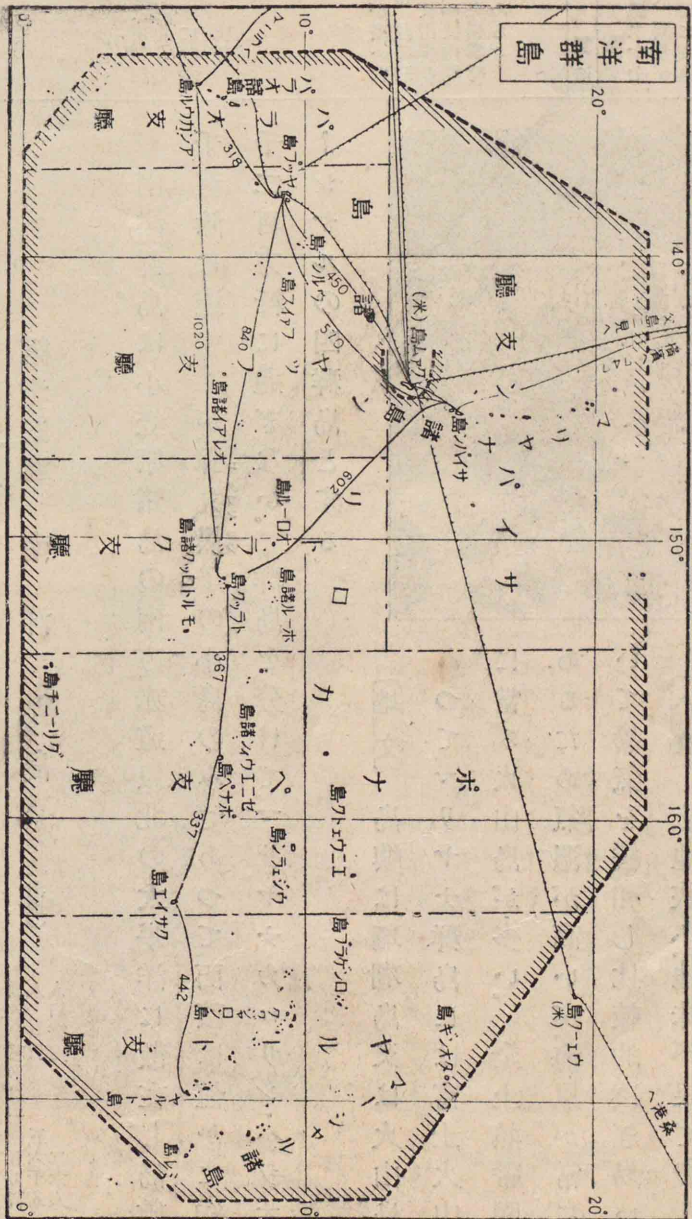
南洋群島は小笠原諸島の南方、赤道以北の太平洋に散在し、島數一千有餘に達するが、彈丸黒子の小島のみであつて、面積は僅かに約二千二百方軒に過ぎない。群島を分けて、マリヤナ・カロリン・パラオ・マーシャルの四群島とする。



地方誌 南洋群島

地文 島嶼は珊瑚島又は火山島であつて、マリヤナ群島には富士火山脈に當る火山島が多い。全土熱帶圈にあるため氣温が高いが、海風が常に吹いて暑氣を緩和し比較的凌ぎ易い。

人文 土地狭小、地味不良で農産は少ない。椰子及び甘蔗を栽培しコブラ

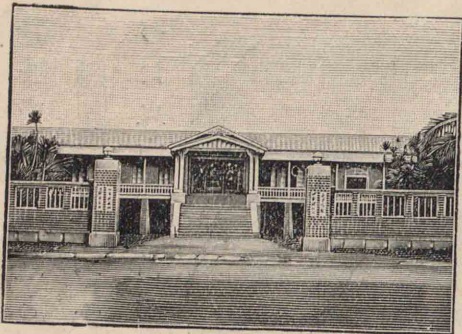


アンガウル島の燐礦

南洋廳各支廳所在

サイパン
パラオ
ヤップ
トラップ
ボナペ
ヤルット

南洋廳



地方誌 南洋群島

ラ粗糖を製する外、介類、海參等の産がある。又アンガウル島の燐礦はその産額が多く、南洋廳採礦所で採掘して内地に輸送せられる。南洋群島はもとドイツがイスパニヤから買収したものであつたが、大正三年わが國はこれを占領し、講和條約によつて國際聯盟の管理となり、わが國はその統治を委任せられ、コロールに南洋廳を置き、その下に六支廳を置いて治めてゐる。住民の數五萬餘に達し、カナカ族が最も多く、その他チャモロ族がある。各島の住民はその容貌、風俗が違ひ、一般に文化の程度が低い。内地人は五千餘に過ぎない。本群島は天産が少なく、住民も少ないが、將來わが國が太平洋に



マリヤナ群島の東方にマリヤナ海溝がある。

土人の石貨

マリヤナ群島の最大島グアムは米國領で、太平洋の海軍貯炭所であり、また海底電線の中継所である。

海底電線
グアムーハワイ
—桑港。
グアムーヤップ。
グアムーフィリッピン群島。
グアムー小笠原—東京。

ヤップ支廳

海底電線
ヤップーグアム。
ヤップー沖繩島—上海。
ヤップーメナド。

發展する中繼地として重要視せられてゐる。

地方誌

マリヤナ群島

小笠原諸島の南に連なつた火山島であつて、南部には隆起珊瑚礁が發達する。

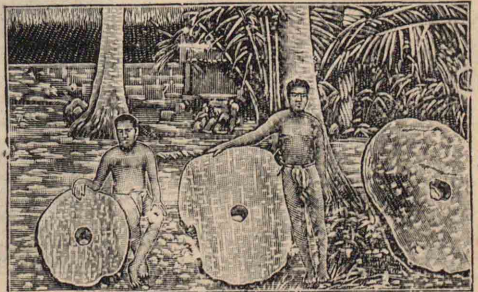
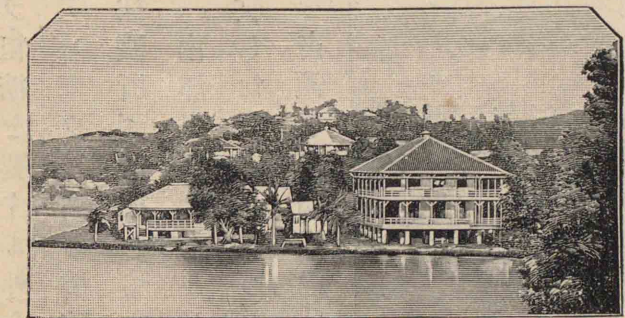
サイパン島は本群島の主島で、甘藷を栽培する。

カロリン群島 長く東西に連なり、東カロリン、西カロリンの二群島にわけれる。

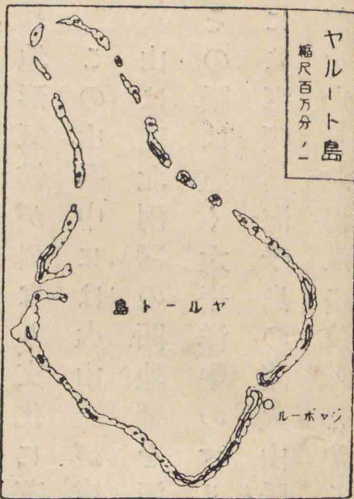
火山島と珊瑚礁とから成り、ポナペ島は最高最大の島であつて、その西方トラツク島は火山島で、珊瑚礁を以て圍まれた礁湖の中は良錨地である。

ヤップ島は海底電線の中繼所で、土人は今も石貨、貝貨を用ゐる。

パラオ群島 カロリン群島の西に位し、パラオ群島



下
ヤールト島の無線電信局

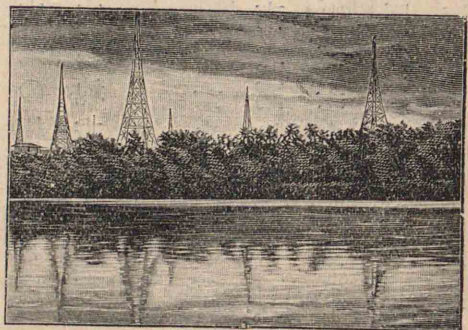


オ島が最大島である。その南西のコロル島に南洋廳がある。

マーシャル群島

マリツク、ラタツク

の二列に分れ、珊瑚礁から成り環礁が多い。礁に椰子樹を植え、コブラを採集する。ヤールト島は好錨地の礁湖を控へ、礁上にジヤポールの主邑がある。



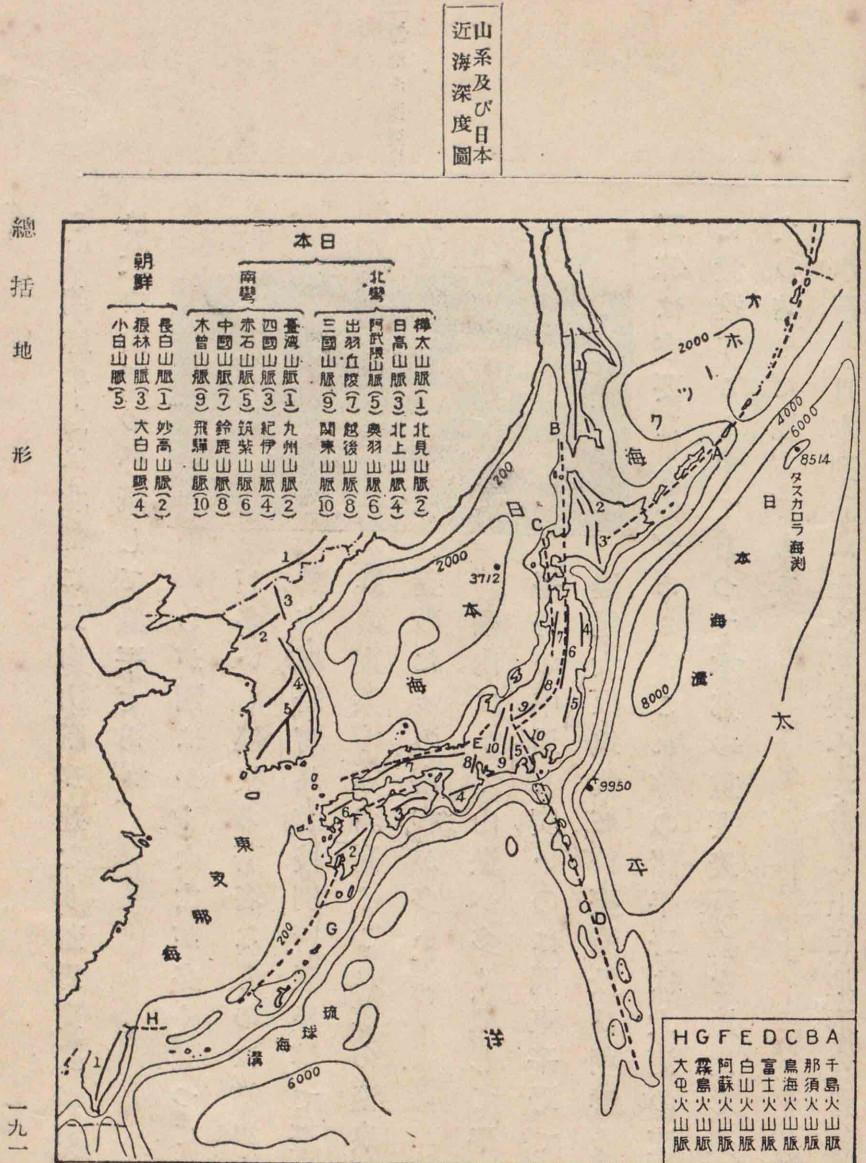
第三編 總括

第一章 地 形

總括地 形

山系 日本列島を構成する主要山系は、南北の兩彎に屬する山脈である。南彎山系は内外二帶の山脈から成り、外帶に屬するものは、太平洋に沿つたところのものであつて、臺灣山脈から琉球諸島を經、九州山脈・四國山脈・紀伊山脈を過ぎて本州中部に達し、内帶に屬するものは、日本海岸に沿つたところのものであつて、筑紫山脈・中國山脈・丹波高原等である。北彎山系は樺太から北海道本島・奥羽關東の諸地方を過ぎて中部地方に達するもので、この兩彎山系の相會する處は、幅最も廣く高峻な山嶽が聳立する。この兩彎山系地方は、それぞれ地形・氣候が異なり、文化に著しい差異がある。

この山系中には火山脈が處々に發達してゐる。富士火山脈の諸火山は、南北兩彎の凹地帶を通じて本州を横斷し、南北兩日本に分け、その脈は遠く太平洋中のマリヤナ諸島に達する。富士火山脈以北には那須・鳥海・千島の諸火山脈がある。那須火山脈は北彎山系の中を走り、北海道の肢節部から北方海中に延び、鳥海火山脈は出羽丘



陵上を、千島火山脈は千島列島から北海道本島の中部に達する。南日本の火山脈には、乘鞍・白山・阿蘇・霧島・大屯等の諸火山が發達す

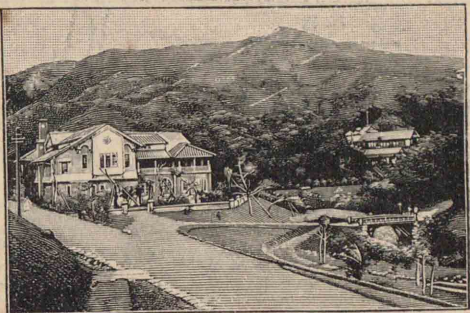
朝鮮半島は北部に長白山脈が連なり、蓋馬高臺があり、南鮮地方は大白山脈の外概して低平である。

わが國はかく火山が多く、随つて温泉の湧出が多い。温泉の著名なものは箱根・伊香保・鹽原・熱海・城崎・有馬・道後・別府・温泉等、臺灣の北投・朝鮮の東萊も亦名高く、これ等の温泉には療養保養のための浴客が多い。

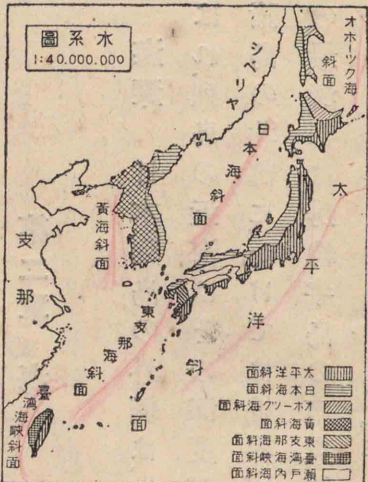
國內はかく山嶽が多く、概して平野に乏しい。平野の中最も廣いのは關東平野であつて、越後・濃尾・大阪・筑紫・石狩・臺灣及び朝鮮の西部海岸平野等は主要なものである。これ等の諸平野は、大河の流域と海岸とに發達するものであつて、本邦の重要農産物を産出し、交通が開け、人文の進んだ地方である。

水系 日本列島は土地が狭小である上に、地形の影響によつて、大

臺灣北投温泉



水系圖



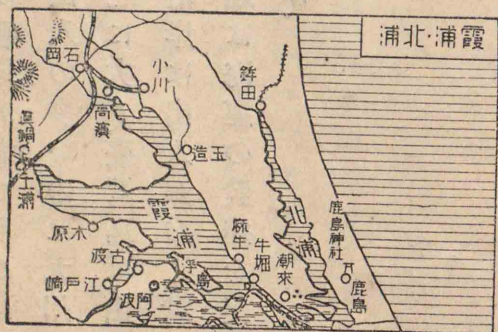
河長流に乏しく、水勢が急で舟楫の便が少ない。然し水量が豊富なために、灌溉がよく行はれ、又水力發電に利用せられるものが多い。利根・信濃・木曾・淀・筑後等の諸川は、その利用の著しいものである。朝鮮半島には鴨綠江を首め、大同・洛東等の諸江が全國の河川をそ

附霞浦の北浦圖

菅沼湖面 一七五米
海抜 一七五米
田澤湖 四一四米
池田湖底 一四四米
海面下 一四四米

あり、多くは黃海に流入する。の流入する海洋によつて、七つの斜面に分ける。湖沼は琵琶湖を第一とし、霞浦・濱名・八郎瀉・猪苗代・蘆等の小湖が多く、これ等は舟運・灌溉・工業動力・養魚等に利用せられる。又湖畔の風光の優れたものが多い。これ等の諸湖は、斷層河跡堰塞等によつて出來たものが多い。

總括地形



海岸 わが國は港灣・島嶼が多いため、海岸線の延長が大であるが、表日本は裏日本に比べて一層それが著しい。出入の多いのは九州を首位とし、瀬戸内海地方、本州の太平洋岸等が之に次ぎ、臺灣島は出入が最も乏しい。朝鮮半島では黄海・朝鮮海峡沿岸は出入が多く、就中朝鮮多島海地方は最も著しい。海岸線の發達は海運の發達を促し、交通便に人文の開發に資することが大である。

第二章 海 洋

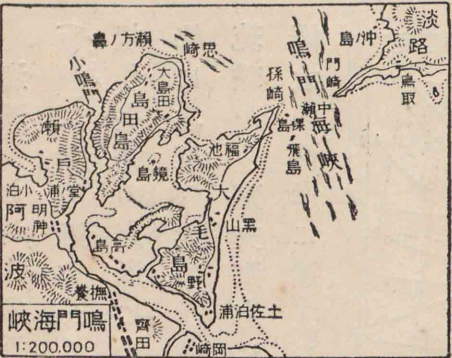
海深 日本列島の外側は、世界第一の大洋である太平洋の波に洗はれ、列島の近海はその深度が著しい。千島諸島の東部から小笠原諸島の北部にかけては、世界屈指の深所である日本海溝がある。その最深部は房總半島の南東約百五十軒にあつて、深度九千九百五十米以上に達する海淵で、近年わが國の發見に係るもので、世界最深の

東經百四十一度十六分北緯三十四度十六分に位する。タスカローラ海淵は八千五百十四米の深度を有する。

海淵である。又琉球諸島の南東には、琉球海溝の發達を見、南洋群島のマリヤナ列島の南東にはマリヤナ海溝があり、その最深部であるネロ海淵は九千六百三十六米を算する。然し日本列島の内側にあるオホーツク海・日本海・黄海・東支那海は、一般に深度が小である。日本海は最深三千七百米に達し、近時の調査によつて隱岐島の北部に深度二千米以内の海底臺地を發見した。

潮汐 潮汐干満の差は、地形・海底の状態等によつて異なつてゐる。日本海方面ではその差が頗る小であるが、太平洋沿岸は二米内外に達し、黄海沿岸は最も甚だしく、仁川ではその差實に九米以上に及び、船舶の碇繋には頗る不便である。海峡・岬角では、潮汐の進退につれて潮流を起すために航海が困難である。瀬戸内海の諸海峡はその好例である。

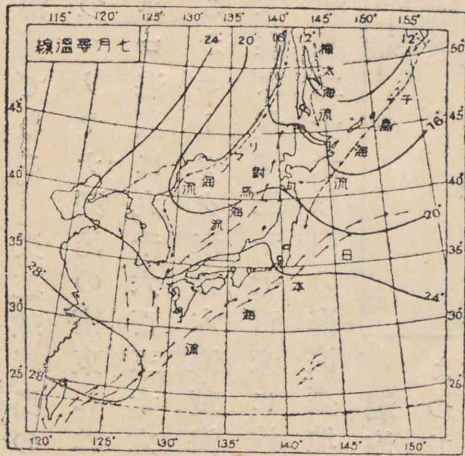
鳴門海峡 内地では九州の有明海が最も大であつて、その差五米餘に達する。佐渡島では僅かに三十種内外に過ぎない。



總括海洋

千島海流は又一に親潮ともいふ。

月海流及温線及び七



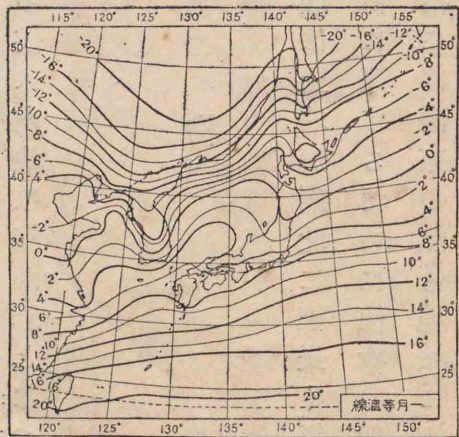
海流 わが國の近海は寒暖の二海流に洗はれてゐる。日本海流(黒潮)は赤道近海から來た暖流であつて、フィリッピン群島の東から起り、臺灣の東岸に沿つて北東に向ひ、琉球・九州・四國・本州の南を流れ、終に北東の太平洋中に轉じる。日本海流の分派である對馬海流は琉球から東支那海に入り、對馬海峽を経て日本海沿岸を北流し、終に樺太の西岸に達する。その他北方に寒流の千島樺太・リマンの諸海流がある。海流の寒暖は、これに棲む魚類に密接の關係をもち、又通過する沿岸地方の氣候に影響を與へ、引いては産業交通に關係をもつことが大である。

第三章 氣候

氣温 わが國はその大部分が北温帶

一月等温線圖

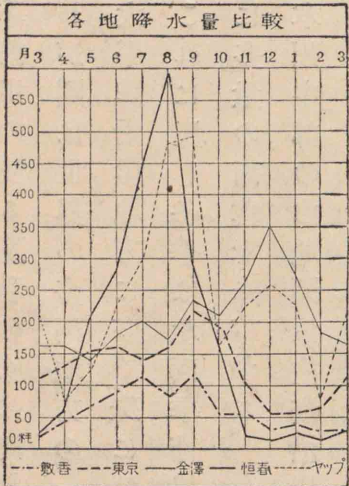
に位し、且つ殆んど四面環海であるために、氣候は概して温暖である。然し地形が南北に長くて複雑である上に、海洋及びアジア大陸の影響が著しいため、各方によつてその變化が多い。臺灣の南半と南洋群島とは熱帯に位して氣温が高く、本州以南の舊日本は氣温の較差が



少なく、寒暑中和を得てゐる。北海道・樺太・朝鮮及び關東州は、冬季寒氣強く沿海が凍結する處がある。

雨量 わが國は一般に夏季は南東の季節風が吹き、冬季はアジア大陸から北西の季節風が吹いて來る。この

各地降水量比較

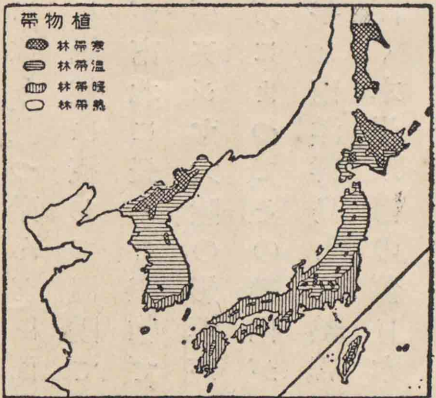


南洋群島は雨量が多い。

總括生物

季節風の變る夏秋の交は颱風が襲ひ、豪雨を降らして水害を與へる。わが國は世界の多雨地方の一であつて、夏季は南東の季節風の吹く太平洋沿岸地方に多く、殊に日本海流の通過する沿岸に最も多い。これに反し、冬季は北西季節風が對馬海流上を吹き、裏日本沿岸地方に多量の雨雪を降下する。一年を通じて寡雨の地方は、北海道樺太本州中部の山地瀬戸内海沿岸地方朝鮮の北西部關東州の諸地方である。又初夏の候は内地は梅雨季となつて霖雨が多い。

植物帶圖



第四章 生物

植物 わが國は土地が南北に細長く、氣候は生物の生育に適するため、植物の種類が多い。植物には、南方の熱帶地域に椰

津輕海峡は生物分布上著しき境界をなし、アラツキストン線と名づけられる。アラツキストンは北海道にあつて、生物の分布につき研究した英人である。

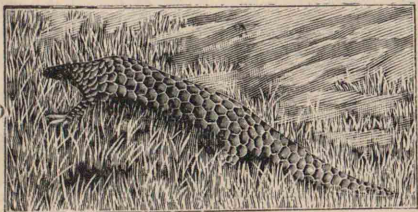
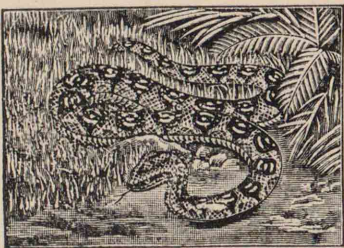
臺灣檳榔の樹林



子榕樹・蒲葵・檳榔等の植物が繁茂し、本州以南では杉・松・檜・栲の良材を産し、高山では偃松が疎生する。津輕宗谷の兩海峡では生物の分布に著しい境界をつくり、北海道樺太には蝦夷松・根松・落葉松等の森林が多い。

動物 特有動物中で珍しいものに、臺灣の穿山甲、琉

球のハブ・木葉蝶、中國地方の山椒魚、小笠原島の大蝙蝠等がある。猿は津輕海峡以南に、熊は北海道に限られ、樺太には馴鹿を飼ひ、朝鮮には虎・豹・獐が棲んでゐる。海には暖流に鯉・鱈・鮪・秋刀魚等が群棲し、寒流には鯨・鱈等が生育する。



上ハブ(毒蛇)
下穿山甲

總括生物

廣島縣面積

五四七七方里

秋全面積

六八〇〇〇〇方里

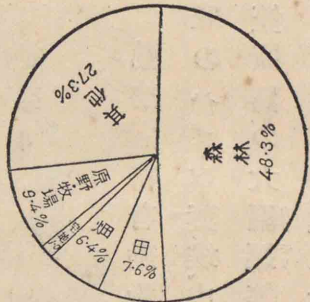
人口 八三四五五三三七人

區内地別比較

近年政府の獎勵によつて耕作法の改善、施肥の改良、耕地の整理の結果農産額は次第に増加した。

農産物價格

食用・園藝・工業農産物總價を示したものである。



内地土地別比較

第五章 産業

農業 わが國は古來農を主業とし、瑞穂國の名さへあり、國民の過半はこれに従事する。内地では耕地は全面積の一割四分に當り、田畑が殆ど相半してゐる。農産物中、食用農産物には米・麥・大豆・甘藷・馬鈴薯・甘蔗等があり、特用農産物には茶・煙草・桑・麻・類・菜種等がある。

米は沖積平野に栽培せられるが、人口の増加・生活の向上・醸造原料等のために、その需要を充たすに足らないから年々外國米を輸入する。麥は關東平野を主産地とし、大

年	円億十	円億十二	円億十三
年四十五大	10.0	12.0	13.0
年三十五大	10.0	12.0	13.0
年二十五大	10.0	12.0	13.0
年十五大	10.0	12.0	13.0

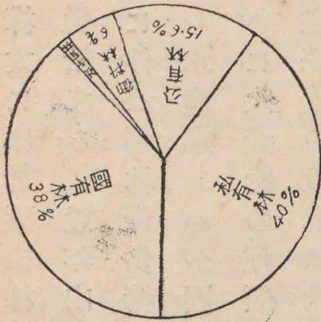
大豆は年々滿洲から多く輸入する。

主要家畜數比較

政府は軍馬の改良に腐心し、軍馬育成所、種馬場を設け、その發達に努めてゐる。北海道等では綿羊を試育する。

林野面積比較

森林は御料林・國有林・社寺有林・私有林等に區別することがある。



林野面積比較

豆は朝鮮・北海道を主産地とする。甘蔗は臺灣に多く栽培し、茶は内地産は綠茶を、臺灣産は紅茶を主とする。養蠶業は農家の副業として發達し、中部・關東地方を主産地とし、輸出品の首位を占める生絲及び絹織物の原として極めて重要である。

牧畜業 近年肉類・乳・皮革の需要が増加して來たのに伴なつて稍隆盛となつた。牛は中國・九州・朝鮮・臺灣に多く、馬は北海道・奥羽・九州に多い。豚は鹿兒島以南に多く、養雞は農家の副業であつたが、近年これを專業とする者が生じた。

林業 内地森林は、全面積の四割餘を占め、天然林が多い。森林中著名なものは、秋田・木曾・吉野等であつて、杉・檜の良材を産する。臺灣には阿里山等の大森林があり、朝鮮の鴨綠豆・滿江の流域・北海道

畜種	頭萬十四	頭萬十八	頭萬二十二	頭萬十六百
馬	140,000	180,000	220,000	160,000
豚	140,000	180,000	220,000	160,000
羊	140,000	180,000	220,000	160,000

この外臺灣等には樟腦を産する。

従来は沿岸漁業がその大部分を占めたが近來は遠洋漁業も行はれ又湖海の養殖も盛になつた。

朝鮮近海には明太魚・石首魚・鯛を産する。

鑛山監督局
東京・仙臺・札幌
大阪・福岡

内地金産額

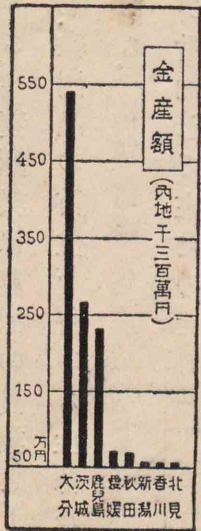
この外福島・茨城・山口・朝鮮・臺灣等に産する。
銅の産額は世界第三位である。

總括産業

樺太には針葉樹林が多く、建築用材・鐵道枕木・マツチ軸木・パルプ等を供給する。近年山地の開墾・木材需要の増加するに反して、植林が之に伴はず、林産供給の不足を來し爲めに、これを輸入に仰いでゐる。

水産業 わが國は寒暖二流に洗はれて、水溫水質が一様でないために、水産物の種類と數量とが多く、世界有数の漁業國である。北海道樺太の近海は世界三大漁場の一と稱せられ、日本海流及び對馬海流に沿つた地方も亦盛である。漁獲物には鯉・鱒・鯛・鰯等を、製造物には鯉節・搾粕・鰯煮干等を主とする。製鹽業は瀬戸内海沿岸を主とし、臺灣・朝鮮・關東州には天日製鹽が行はれる。

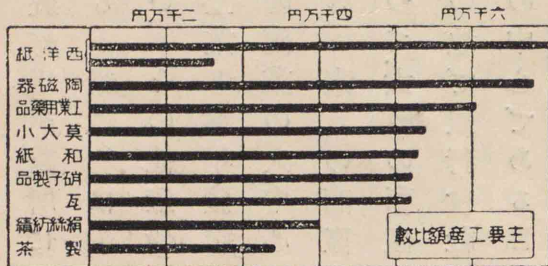
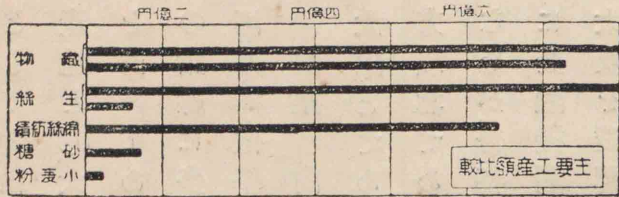
鑛業 わが國の鑛産は、石炭・銅・石油・金・銀・硫黄等を主とする。石炭は九州の北部・北海道の夕張山脈地方を主とし、内國にて消費せらるゝ外、東亞各地に輸出する。銅は足尾別子・日立・小坂等の鑛山から産し、石



その他鐵・亞鉛・燐礦等の産がある。

主要工業産額比較

總括産業



油は新潟・秋田の兩縣に産するが、なほ米國から多量に輸入し、金は朝鮮・臺灣・鹿兒島等に多く、硫黄は北海道を主産地とする。
工業 わが國民は古來手工に長じ、美術工藝品の製作に巧みであるが、その規模小で産額も少なかつた。近年大工業が發達し、生産額が大いに増加して來た。わが國は東亞に廣い販路をもち、交通上の良位置を利用して原料を容易に輸入することが出來、燃料・動力の供給が十分であり、國民が勤勉で且つ勞銀が比較的低廉であるから、工業の發達は頗る有望である。大工業は京濱・阪神・名古屋及び北九州に行はれる。綿絲紡績は大阪地方を中心とし、綿絲は内地各地に織物原料

として供給する外支那に輸出する。生絲は中部關東の兩地方を主産地とし、大製絲場が諸所に起り、その産額が多く、本邦輸出品の首位を占めてゐる。絹織物は羽二重縮緬が主で、羽二重は福井・石川・福島

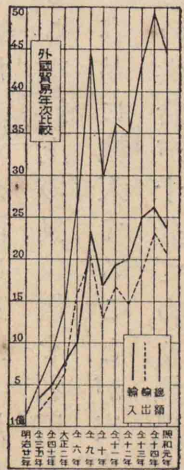
の諸縣に多い。その他造船製鐵製紙精糖肥料マツチ陶磁器製粉清酒機械化學工業も逐年發達しその産額も増加する。

大阪の商區は關西以西で朝鮮及び滿洲にも及んでゐる。

年外國貿易較

この外小樽・福島・廣島・門司・福岡・京城・臺北等はその地方の商業上の中心である。

商業 内國商業の大中心は東京と大阪とである。東京の商區は關東地方以北であつて、大阪の商區には及ばないが、帝都の地で銀行會社が多く、殊に金融機關の中心である日本銀行があるから經濟金融上の勢力は大阪を凌駕する。名古屋はこの二大商區の間にその商區を有する。外國貿易は近年著しく盛大となり、殊に世界大戰中に急激な發展を見、その額五十億圓に近い。貿易港は六十餘箇所あるが、横濱・神戸が最も盛で、内地貿易額の大部分を占め、大阪・門司・名古屋がこれに次



横濱は輸出が多く、神戸は輸入が多い。

輸入の補助

船保表
船外
船利
船外投資
移住
送金

輸入

輸出

日記帳

貿易港及び關市場	
大泊 眞岡 函館 小樽 室蘭 釧路	根室 青森 横濱 東京 武蔵野 名古屋
大阪 神戸 新瀉 東海 伏木 四日市	大津 津 京都 奈良 和歌山 徳島 高松 松山 坂井 福井
三河 岐阜 長崎 山口 住吉 三池	安芸 高松 徳島 高松 松山 坂井 福井
東平 高松 徳島 高松 松山 坂井 福井	石川 福井 石川 福井 石川 福井
鎮南 新嘉州 龍巖 元山 津 清津	雄基 大邱 平壤 京城 開通 市場 五三六

なり貿易の状態が均衡を失ふやうになつた。國民は産業を奨励し、奢侈を戒め國産品の使用に努め以て輸出入の平均が得られるやうに心懸けねばならない。

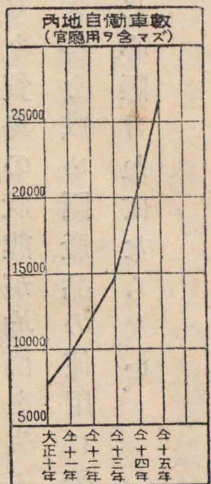
第六章 交通

道路 道路は國道・縣道・市町村道に分たれる。從來は不完全であ

總括交通

つたが近年次第に改修し、主要道路及び大都市の道路は、その面目を一變した。自動車の發達は道路の改良を促すことが大である。

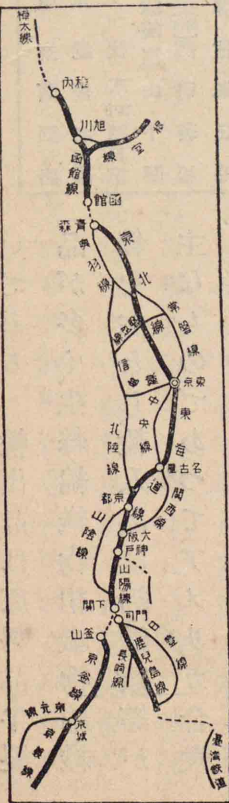
内地自動車數
内地鐵道の軌幅は
三呎六吋である。



鐵道 鐵道は國有制度確立以來その發達が著しく、今は全線の延長二萬二千軒を超える。鐵道の幹線は、本州では東北東海道山陽の三線であつて、

近時著しく改良せられ、その大部分は複線で、速力運轉回數輸送力等に於ても他の諸線に勝り、今やその一部は電化せられてゐる。これ等の幹線に連續するものには、奥羽常磐信越中央北陸關西山陰等の諸線がある。更にこの幹線は青函連絡航路で北海道の幹線と、關門關釜の連絡航路で、九州朝鮮の幹線と連絡してゐる。朝鮮の幹線である京釜京義の二

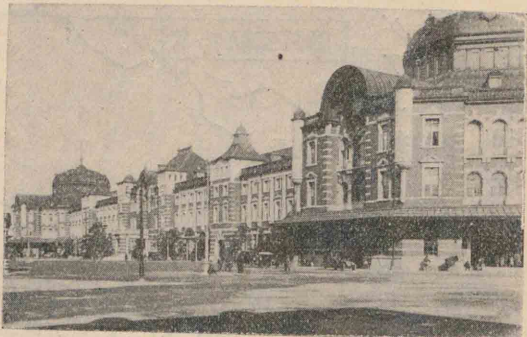
鐵道幹線圖



東京 驛

本邦主要汽船會社
日本郵船・大阪商船・日清汽船・國際汽船・朝鮮郵船・近海郵船

五大國汽船總噸數 (單位萬噸)
英 一九四三 一三三
日 一九四三 一三三
佛 一九四三 一三三
伊 一九四三 一三三



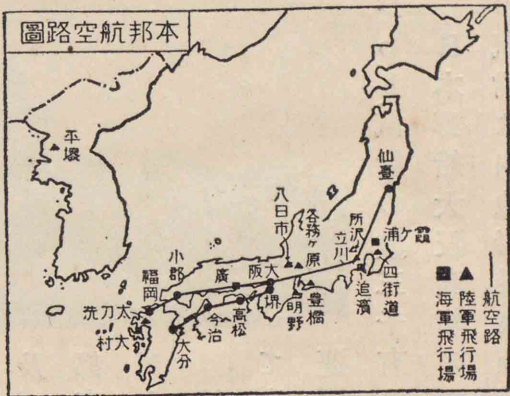
線は更に滿洲の鐵道に連絡して歐亞大陸橫斷線の一部となつてゐる。全國中で鐵道網の發達する地方は、東京附近大阪附近筑豊炭田地方及び臺灣の南西の甘蔗栽培地方である。主要都市及びその附近には、多く電車自動車等の便がある。

航路 産業の振興外國貿易の進展に伴なつて海運も著しい發達をなし、今や世界有數の海運國となつた。内地は勿論、世界各地への航路があり、汽船の數三千有餘隻、その噸數が三百九十萬噸に達してゐる。日本郵船大阪商船の兩會社は、世界有數の大汽船會社であつて、その汽船は内地諸港東亞印度歐洲濠洲南北米の諸港間に定期航海を營み、日清汽船會社の汽船は支那揚子江流域に活躍し、朝鮮郵船會社の汽船は朝鮮沿岸の航海に従事する。

總括交通

航空 わが國の航空事業は、歐米列強のそれに比べて著しい遜色がある。軍用航空以外の一般商業的用途も不十分であつて、乗客貨物郵便の輸送計劃も、その緒についたばかりである。民間航空事業は頗る不振で航空路も少ない。陸軍では戦闘偵察爆撃等のために要地に飛行聯隊等を設け、海軍では航空隊を置き、又航空母艦を有する。

通信 郵便電信の通信事業はよく整つて、歐米先進國に比べて遜色がない。海底電線は主要の諸島を連ねる外、上海浦潮斯德に通じ、又東京・小笠原間のものは小笠原



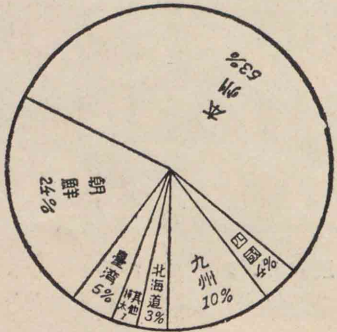
グアム線と連絡してゐる。また海岸の要地及び主な船舶には無線電信局を設け、電話も全國都市に普及利用せられ、無線電話も次第に普及するやうになつた。

無線電信局
東京・船橋・銚子
磐城・金澤・大阪
潮岬・舞鶴・下津
井・角島・大瀬
崎・鹿兒島・那
霸・鳳山・京城
落石・既延・大泊
大連灣等。

主要都市間には長距離電話を通じる。
東京・大阪・名古屋・京城にラヂオ放送局がある。

第七章 住民

種族 國民の大部を占めてその中堅であるものは、大和民族であつて、その外朝鮮に朝鮮族、臺灣に漢族及び高砂族、北海道にアイヌ族、樺太にアイヌ・ギリヤーク・オロツコの諸族、關東州に支那族、南洋群島にはカナカ・チャモロの二族が住んでゐる。



大和民族、朝鮮族及び漢族を除いた他の諸民族は、その數少なく、文化の程度が著しく低い。大和民族は文化最も進み、忠君愛國の至誠に富み、勤勉で産業を勵み、學藝を好み、技術に長じ、今や世界の大國民として耻ぢないまでに

進んだ。その他の種族の中で、朝鮮族、漢族は主として農耕に従ひ、北海道、樺太に住する種族は漁獵遊牧する者が多く、高砂族及び南洋群島土人は次第にわが皇化に浴し文化に向つてゐる。



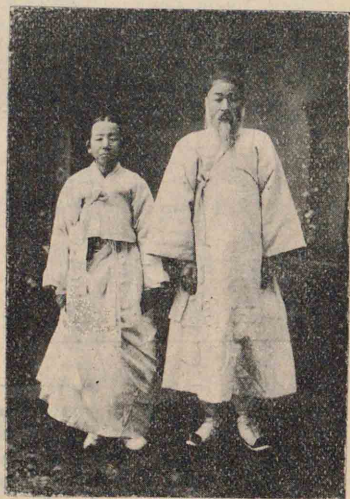
人島クツラト



人海臺



族砂高



人鮮朝



鹿馴ミ人クーヤリギ



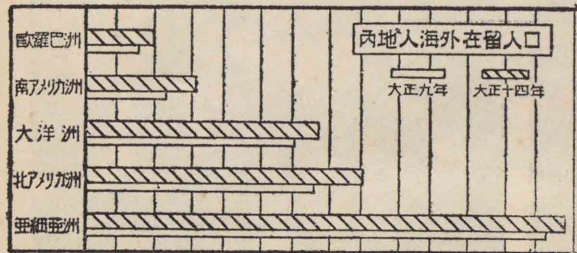
幕天の人コツロオ



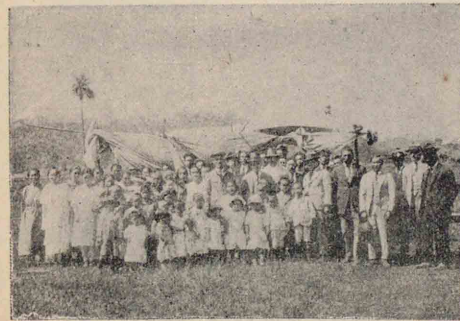
人 × イ ア

大正十四年十月一日内地の國勢調査を行つた。帝國人口單位千人

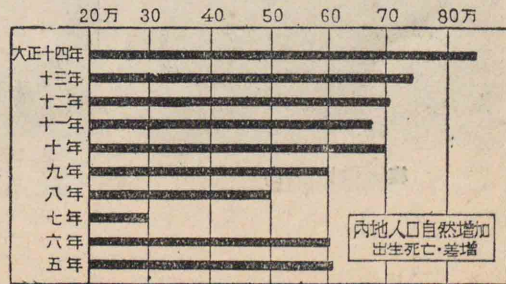
内地	五七三六
朝鮮	一五九一
臺灣	三九四
樺太	二〇三
計	八三四五
關東州及鐵道附屬地	二〇四
南洋群島	五
上 内地人海外在留人口	一日は人口二萬を示す。
中 プラジルの於ける邦人の活動	支那・ハワイ・米本國に最も多く在留し、日本に送金する額が多い。
下 内地人増加	



人口 帝國の人口總數は八千三百萬を算する。この中大和民族は六千萬人を有する。一般に人口の密度が大であつて、殊に關東近畿地方は最も大である。かく人口稠密な上になほ毎年七十萬人内外づゝ増加するから、政府は銳意北海道及び新領土への移住と海外移



民とを奨励してゐる。在外邦人はその數六十二萬人に達し、これ等は概ね農業・商業に従事する。近年ブラジルに赴いて農耕に従事する者が増加するに至つた。



教育 教育

制度はよく整ひ、その進歩が著しい。初等教育はよく普及し、内地小學校兒童の就學歩合は百分の九十八に達し、僻陬の山地海濱でも小學校の設備がある。中等學校には内地に師範學校・中學校・高等女學校各種の實業學校がある。又各地の帝國大學を首め、單科大學各種の高等專門學校・高等學校があつて、専門の學術技藝又は高等普通教育を授ける。軍人養成の機關としては、陸軍士官學校・海軍兵學校・海軍機關學校・陸軍大學校・海軍大學校がある。

全國主要官立學校一覽	
帝國大學	東京(東京)、京都(京都)、九州(福岡)、東北(仙台)、北海道(札幌)、京城(京城)
大單學科	東京(東京)、大阪(大阪)、名古屋(名古屋)、京都(京都)、新潟(新潟)、岡山(岡山)、熊本(熊本)、千代田(千代田)、金澤(金澤)、長崎(長崎)、旅順(旅順)
高等學校	山形(山形)、佐賀(佐賀)、弘前(弘前)、松江(松江)、東京(東京)、浦和(浦和)、大阪(大阪)、福岡(福岡)、靜岡(靜岡)、高知(高知)、廣島(廣島)、姫路(姫路)、富山(富山)、浪速(浪速)、臺南(臺南)
高等商業學校	神戶(神戶)、山口(山口)、長崎(長崎)、小倉(小倉)、名古屋(名古屋)、大阪(大阪)、福井(福井)、大分(大分)、横濱(横濱)、和歌山(和歌山)、高松(高松)、岡山(岡山)、京城(京城)
高等工業學校	東京(東京)、東京(東京)、東京(東京)、東京(東京)、東京(東京)、東京(東京)、東京(東京)、東京(東京)
高等農林學校	盛岡(盛岡)、鹿兒島(鹿兒島)、三浦(三浦)、宇都宮(宇都宮)、鳥取(鳥取)、岐阜(岐阜)、宮崎(宮崎)、水原(水原)、臺灣(臺灣)
其他	高等師範學校(東京、廣島、奈良)、外國語學校(東京、大阪)、美術學校(東京)、音樂學校(東京)、高等商船學校(東京、神戸)、鑛山專門學校(秋田、山形)、蠶絲專門學校(上野、山形)、蠶絲專門學校(上野、山形)、高等蠶業學校(京都)、高等蠶業學校(京都)、藥學專門學校(熊本、富山)

臺灣・朝鮮も教育設備が完整してきてゐる。

神宮 八七一
官幣社 二四七
別格官幣社 七七
國幣社 以上百八十
國幣社以上百八十
八社で近畿地方に
は五十七社ある。

靖國神社

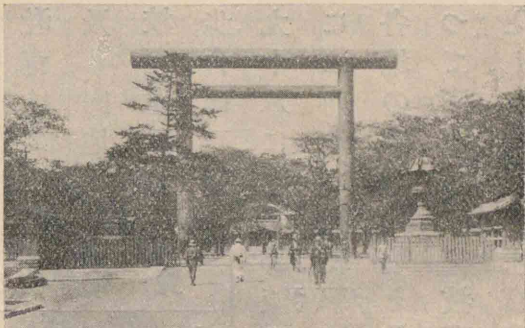
佛教には眞言宗・天台宗・眞宗・曹洞宗・淨土宗・日蓮宗・黄蘗宗・時宗等の宗派がある。

總括住民

二一四

神社 わが國民は皇祖皇宗を首め、忠賢の士を神として祀る美風

がある。従つて神社の數も多い。伊勢神宮は上
下の尊崇が厚くして社格の外にある。神社に
は官幣社、別格官幣社、國幣社、府縣社、郷社、村社等
の社格に分け、官幣社、國幣社を各、大中小の三種
に分ける。近畿地方は古來帝都のあつた地で
あつて神社の數が多い。



宗教 わが國民は憲法の條章によつて信教

の自由を有する。現今多く行はれてゐる宗教
には佛教、神道、基督教等がある。佛教は本邦の
文化・風俗に影響を與へ國民の多數はこれを信じ、現今十餘宗寺院數
七萬餘を有する。神道はわが國固有の宗教であつて、大社教、黒住教、
扶桑教、大成教等十三派に分れ、基督教は内地の都市及び新領土に信
者が多い。

第八章 政治

わが大日本帝國は、開關以來萬世一系の皇室を戴き、古來君臣の關
係の美しいこと世界にその比を見ない。

政體 明治二十二年紀元の佳節に帝國憲法を發布せられ、翌年帝
國議會の開設を見、東洋唯一の立憲國となつた。天皇はわが國の元
首であらせられ、統治權を總攬し、憲法の條章に従つて、立法、司法、行政
その他の大權を行はせ給ふのである。立法部は帝國議會であつて、
貴族院、衆議院の二院から成り、法律案及び歳出入豫算案等を審議す
る。行政部は政府であつて、内閣の外に外務、内務、大藏、陸軍、海軍、司法
文部、農林、商工、逓信、鐵道の十一省があつて、主要の政務を分掌する。
又内閣總理大臣は、各省大臣と共に國務大臣として内閣を組織する。
地方は三府、四十三縣に知事を、北海道樺太に長官を、臺灣、朝鮮には

總括政治

二一五

この外宮内省・樞密院・會計検査院がある。宮内省は皇室の事務を掌り、兼て華族を監督し、樞密院は諮詢に奉答し、會計検査院は政府の會計を検査する。貴族院は皇族・華族及び國家に勳功あり又學識あるもの並に多額納税者の議員から成る。衆議院は各地から選舉せられた議員から成る。僻遠の地方・島嶼には支廳を置いてゐる。

總督を置いて、その部内の行政を掌らせてゐる。又租借地の關東州、委任統治地の南洋群島には各長官を置いてゐる。司法權は天皇の名に於いて裁判所が行つてゐる。内地及び樺太では東京に大審院を、各地七ヶ所に控訴院を分置し、北海道に四ヶ所、樺太に一ヶ所の外各府縣に一地方裁判所を設けてゐる。又その下に全國に二百有餘の區裁判所を設けてゐる。臺灣、朝鮮、關東州、南洋群島には特別の司法制度を設けてゐる。

控訴院
東京・大阪・名古屋・廣島・長崎・仙臺(宮城)・札幌

財政 財政は一國の經濟であつて、國家がその生存發達のために必要な費用を定めて、これを收支することである。わが國は國勢の發展に伴なつて、財政も亦急激に膨張し、歳出は十七億圓であつて、歳入も略之に等しい。歳入は酒稅、地租、關稅、所得稅、營業稅等の租稅と、專賣局益金等の官業收入とを主な財源とする。歳出は軍事費を第一とし、國債費がこれに次いでゐる。國債は約五十億圓に達し、その中で外國債は約十五億圓ある。

兵備

わが國は國民皆兵主義をとり、男子は滿十七歳から兵役の義務を有する。兵役は常備、後備、補充、國民の四種に分れ、常備兵役は更に現役と豫備役とに分ける。陸軍と海軍とは稍、その服役年數に差異がある。陸軍は内地を十四師管區に分け、各師管に一箇師團を置き、別に近衛師團があつて、宮闕を守衛する。また朝鮮に二箇師團を置き、臺灣、關東州、支那には守備の兵が駐屯する。

常備	現役 陸軍二年 海軍四年
豫備	豫備役 陸軍四年四ヶ月 海軍三年
後備	陸軍 十年 海軍 五年
補充	現役兵員に超過したもの 第一、後備補充を終りたるもの 第二、常備・後備・補充第一國民等以外の者
國民兵	

灣、關東州、支那には守備の兵が駐屯する。

海軍は帝

海軍區	軍港	鎮守府	要港
第一	橫須賀	同上	大湊
第二	吳	同上	舞鶴
第三	佐世保	同上	鎮西
			馬公

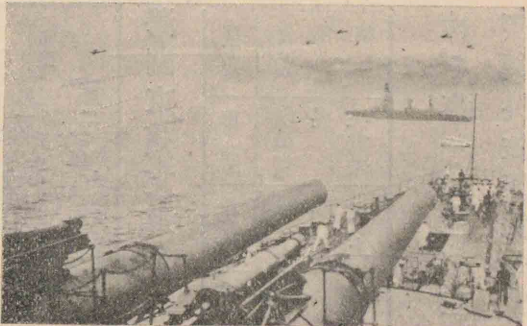
國の海岸海面を防備するために、これを第一・二・三の三海軍區に分け、横須賀、吳、佐世保の軍港に鎮守府を置

師團	司令部所在地	師團	司令部所在地
第一	東京	第六	熊本
第二	仙臺	第七	旭川
第三	名古屋	第八	弘前
第四	大阪	第九	金澤
第五	廣島	第十	姫路
		第十一	善通寺
			第十二
			宇都宮
			京都
			久留米
			龍山

陸軍の兵種に歩・騎・砲・工・輜重・航空の六種がある。國防用兵を掌る處は陸軍では參謀本部、海軍では海軍軍令部である。

戰艦長門の主砲

長門より山城及び飛行機煙幕を望めるもの。



き大湊舞鶴鎮海馬公の要港には要港部が置いてある。ワシントン會議の結果、わが國もその海軍力を縮小制限したが、なほ三十萬噸餘の主力艦があつて、英米にすぎ世界第三位の大海軍をもつてゐる。

外交 わが條約國はその數三十有餘に達し、世界の主要國を網羅してゐる。

その中英米伊獨白土米伯及びソヴェイト聯邦の諸國とは互に大使を交換し、他は概ね公使を交換し、以て國交を修めてゐる。また通商上の要地には領事官を派遣してゐる。歐洲大戰の後國際聯盟が成

條約國	
支那	暹羅
英吉利(大)	佛蘭西(大)
白耳蘭(大)	獨逸(大)
土其(大)	希臘
丁抹芬	牙利
葡萄牙	希臘
奧地利	羅馬尼亞
チ・ス國	波蘭
北米合衆國(大)	ソヴェイト聯邦(大)
亞爾然丁	メキシコ
智利	ペラグワイ
コロムビヤ	エクアドル
	ブラジル(大)
	ウルグワイ
	ボリビヤ
	(大(大)使(大)變(大)スル國)

立するや、之に加はつて重要な地位を占め、世界五大強國の一に數へられるに至つた。

第四編 結論

わが大日本帝國は世界無比の國體であつて、上には萬世一系の天皇を戴き、下には忠良な國民があり、舉國一致その誠を盡し、建國以來未だかつて外國の侮を受けたことがない。しかも國土の位置は、絶東にあつて世界交通の衝を占め、東西文化の融合點に當つてゐる上に、國土の大部は温帶圏中に横はり、種々の産業は各地の風土と相應じてよく發達してゐる。實に地理上でも、國史の上でも、全世界に誇るに足る國である。

今やわが國は世界列強に位し、國運隆々として進むとは云へ、なほ新進國であつて列強に比べて、産業の發達、國富の程度、學術の普及等

文明富力の點では多分の遜色がある。しかも太平洋及び東洋方面は、今後益々列強の競争場裡となるであらう。されば國民は擧つて帝國の優良な地位を利用し、國內には産業の振興、教育の普及を圖り、外には貿易の増進に努め、海外に雄飛し、國力の充實、國家の發展に力を盡し、奉公の實を擧げなければならぬ。

和 新 日 本 地 理 終

〔附録〕 設 問

大 日 本 帝 國

- わが帝國の位置と境域とについてのべよ。
 - わが帝國の四極をのべよ。
 - 日本列島とアジア大陸との間にある海峡についてのべよ。
 - 明治維新後に帝國の領土となつた地方とその時期とをのべよ。
 - 次の語の意味を問ふ。
内地 租借地 委任統治地
- 關 東 地 方
- 關東の意義。この地方に含まれる府縣名と府縣廳の所在地名とをあげよ。
 - 關東平野を限る山脈名と他地方に通じる峠の名とをあげよ。

- 關東平野の人文地理についてのべよ。利根川の利用についてのべよ。
- 關東地方の主要な湖沼をあげそこにできた理由をのべよ。
- 那須火山脈に屬する火山と著名な温泉とをあげよ。
- 關東地方中で避暑・避寒に適した沿海地についてのべよ。
- 關東地方の機業地とその發達の理由をのべよ。
- 次の問に答へよ。
主要鑛山名と其の産出鑛物 釀造業の盛な地方
葉煙草の産地 水産業の盛なる地方と其の漁獲物
- 京濱工業地の工業の特色と何故に發達したかの理由とをのべよ。
- 東京を中心とした鐵道線路名をあげよ。わが國で鐵道網の發達した地方をあげよ。
- 東京市を發して、高崎・前橋・水戸經由仙臺に行く際に搭乘する鐵道線路名を順記せよ。

○何故に關東地方に都會が多いか。政治・經濟・商工業・學術上から見た東京市についてのべよ。國防上から見た浦賀水道・小笠原諸島についてのべよ。

○開港としての横濱港についてのべよ。

○次の間に答へよ。

關東地方にある無線電信局及飛行場(陸海軍) 日光見學の際見學すべき場所 關東地方にある著名な神社・佛閣

○次の間に答へよ。

高層氣象臺 三原山 那須野 アプト式軌道 東海道線の電化 筑波山

奥羽地方

○奥羽の意義及びこの地方に含まれる縣名と縣廳所在地名とをあげよ。

○那須・鳥海兩火山脈に屬する火山についてのべよ。

○奥羽山脈の東西兩地の谷及盆地をあげよ。

○奥羽山脈の東西兩側を比較せよ。

一、山脈、二、河川、三、海岸、四、平野盆地、五、都邑分布、六、文化

○奥羽地方の氣候が東西兩斜面に差異あるのは何故か、又この地方の氣候と産業との關係をのべよ。

○奥羽地方の主要鑛山名と其の産出鑛物についてのべよ。

○この地方の蠶業及び林業についてのべよ。何故に牧畜業が盛であるか。

○この地方の鐵道分布と地形との關係についてのべよ。

○東京市を發して平・郡山・新庄・横手・盛岡を經由弘前に到るとき搭乘する鐵道線路名を順記せよ。

○次の間に答へよ。

津輕海峽の交通とその防備 この地方の機業地 果實の産出地方 鬼首 八郎潟 松島 宮古 水澤 能代港 酒田

○奥羽地方が他の本州地方より文化が稍、遅れた理由。

中部地方

○中部地方に含まれる縣名と縣廳所在地名とをあげよ。

○この地方の山脈を南北の兩麓に區別して説明せよ。

○日本アルプスについてのべよ。この地方の水力の利用如何。

○長野縣に發源する大河についてその流域の人文地理をのべよ。

○北陸地方と中部高地と駿河灣沿岸の氣候の特徴を比較せよ、この三地方の農業についてのべよ。

○中部地方の生絲・羽二重の産地についてのべよ。○次の間に答へよ。

主要油田と製油地 陶磁器業の盛な地方 林業の發達する地方 名古屋市を中心とする工業とこの地方の開港。

○中部地方の鐵道分布と地形との關係及び主要鐵道線路名をのべよ。

○この地方の太平洋・中部・日本海の三地方が人口密度に差異ある理由をのべよ。

○東海道線に沿ふ主要都市名と其の特色をのべよ。

○伊豆温泉、三方ヶ原、天龍峽と其の成因についてのべよ。

○次の地の主要工業を記せ。

岡谷 輪島 濱松 岐阜 高岡 福井 金澤 柏崎 瀬戸

○北陸線に沿ふ主要都會名と其の特色をのべよ。

近畿地方

○近畿の意義及びこの地方に含まれる府縣名とその府縣廳所在地名とをあげよ。

○紀伊半島地方と丹波高原地方との地形と産業とを比較せよ。

○淀川河系の地形と人文地理とをのべよ。

○琵琶湖を例として湖沼と人文との關係を考へて見よ。

○この地方の南北の海岸地方の氣候を比較せよ。

○阪神の工業と京都の工藝についてのべよ。

○近畿地方で紡績業の盛な地をあげよ。

- 次の問に答へよ。
茶の産地 果實の産地 水産業の盛な地方 林業の盛な地方 木棉及棉ネル産地 醸造地
- 貿易港としての神戸・横濱・大阪の三港を比較せよ。
- 商業上から見た大阪市についてのべよ。
- 大阪湾沿岸が交通網の發達してゐる理由をのべよ。
- 名古屋から米原・柘植・奈良・大阪・姫路を経て舞鶴に到るとき乗るべき鐵道線路名を順記せよ。
- 次の問に答へよ。
この地方の著名な温泉 笠置山 四條畷 高野山 瀨八町 潮岬 海洋氣象臺 黒江 洲本 延曆寺 峰山 宮津
- 近畿地方は何故早く開けたか又何故官國幣社が多いか。
- 京都・奈良・吉野へ旅行の際見學すべき場所についてのべよ。

中國地方

- 中國の意義及びこの地方に含まれる縣名と縣廳所在地名

四國地方

- 四國の南北兩斜面が文化が異なるのは何故か。

- 四國南北の氣候の特色。高知縣柏島に熱帯性植物の繁茂するは何故か。
- この地方の氣候と産業との關係をのべよ。
- 四國に從來鐵道の發達しなかつた理由と鐵道とについてのべよ。
- 四國から見た瀬戸内海の交通をのべよ。
- 次の問に答へよ。
四國製鹽地 銅産地 製紙業地 琴平 屋島 鳴門 今治 小豆島 浦戸 道後 祖谷 池田 多度津

九州地方

- 九州地方に含まれる縣名と其の縣廳の所在地名とをあげよ。
- 九州地方に對外的史蹟の多いのは何故か。
- 國防上から見た朝鮮海峡について語れ。
- 九州山脈と筑紫山脈とを比較せよ。
- 九州にある二大火山脈名をあげその主要火山について説

- とをあげよ。
山陰・山陽の兩斜面について地形・氣候・産業・交通・文化を比較せよ。
- 何故に山陰地方は山陽地方に比べて文化は遅れたか。
- 瀬戸内海が製鹽業に適する理由とその製鹽地とについて語れ。
- 瀬戸内海の成因、又内海の交通についてのべよ。
- 山陰本線・山陽本線に沿ふ主要都市名と其の特徴とを語れ。
- 軍港としての呉についてのべよ。
- 次の問に答へよ。
江田島 岩國 人造絹絲 津山 宇野 大社 大山 絲崎 宇品 境 西郷 中國地方の開港場 秋吉臺 海軍燃料廠 下關 壇浦

- 九州の東西海岸を比較し人文上に及ぼした影響について語れ。
- 北九州の炭田をあげその中心地及び輸出港をあげよ。
- 北九州工業地帯について工業地及びその主要工業をのべよ。
- 北九州が文化進み都邑多きは何故か。
- 門司から博多・熊本・都城・別府を經由小倉に到る際に利用する鐵道線路名を順記せよ。
- 次の問に答へよ。
太宰府 芥屋大門 香椎 武雄 有田 大村 平戸 大崎瀨 櫛 筑紫平野 八代 三角 ループ線 名瀨 耶馬溪 佐賀關 青島 天草島 竹敷 嚴原 ラサ島 那覇 先島列島・奄美大島について語れ。

臺灣地方

- 臺灣防備上から見た臺灣海峡について語れ。

- 馬公要港の設置の理由、バシー海峡についてのべよ。
- 臺灣の東西兩斜面について山系・水系・平野・海岸・文化を比較せよ。
- 臺灣と内地との氣候の差異、臺灣の特有動植物をあげよ。
- 臺灣の氣候と産業との關係をのべよ。
- 臺灣主要産業を概説せよ。
- 臺灣と内地との取引關係をのべよ、貿易港をあげよ。
- 内地人及び本島人の活動狀況を語れ。
- 臺灣と南支との經濟交通關係をのべよ。
- 故北白川宮殿下の臺灣に於ける御功績を語れ。
- 次の間に答へよ。
- 高砂族 産金地 特別開港場 北投 烏龍茶 北回歸線
- 日月潭 樟腦産地 五州三廳名 西部準標時 安平 蘇澳 八仙山 阿里山。

北海道地方

- 交通上・軍事上・生物分布上から見た津輕海峡について

- のべよ。
- 北海道に於ける主要火山脈についてのべよ。
- 北海道と内地との氣候の差異如何。北海道の氣候と産業との關係をのべよ。
- 北海道の拓殖の現況を語れ。北海道への移住についてのべよ。
- 北海道の産産・林産・畜産・水産についてのべよ、是等の産物と工業との關係をのべよ。
- アイヌ族の保護について語れ。
- 函館から小樽・旭川を経て大泊に到る際に利用すべき鐵道線路名及び航路名を順記せよ。主要交通線路についてのべよ。
- 北海道と本州との商業交通上の關係をのべよ。
- 北海道の都市村落の形態の特徴をのべよ。都會の分布につきのべよ。
- 次の間に答へよ。
- 石狩炭田 流水 ガス 上川盆地 落石 幌筵 神居古

- 潭 十勝岳 大沼 室蘭製鋼所 平取 帯廣 釧路 根室 留萌 天鹽平野 網走 有珠岳 石狩平野 亞麻新冠 苫小牧 岩見澤 内浦灣 占守島。
- 産業上又移住地としての北海道の將來を考へて見よ。

樺太地方

- 日露境界について語れ。
- 南北の兩凹地帯の地形・氣候・交通・住民・都會について比較せよ。
- 樺太の氣候の特色と冬季の交通機關をのべよ。
- 樺太の富源について語れ。北太平洋に於ける海獸保護の現況をのべよ。
- 樺太の住民とその拓殖とについてのべよ。樺太にある大和民族以外の民族が次第に衰滅するは何故か。
- 次の間に答へよ。
- ツンドラ 海獸繁殖所 幌内川 眞岡 野田 本斗 海馬島 宗谷海峡 近海の海流 間宮海峡 大泊 豊原

朝鮮地方

- 産業上から見た樺太の將來についてのべよ。
- わが内地の防備上から見た朝鮮の位置についてのべよ。
- 朝鮮の東西兩斜面の地理上の差異をのべよ。朝鮮多島海について語れ。
- 朝鮮の氣候の特色如何、氣温・雨量について語れ。
- 朝鮮併合前と現時との産業狀態を比較せよ。
- 三南地方の主産業につき語れ。營林廠經營の事業についてのべよ。
- 次の間に答へよ。
- 明太魚 石首魚 製鹽地 高麗人蔘 勸業模範場 開港開市場、鐵・石炭の産地。
- 歐亞交通上から見た朝鮮縱貫鐵道線について語れ。その他の鐵道について語れ。吉會鐵道の開通後の裏朝鮮について考へよ。
- 朝鮮族の性質・風俗・習慣について語れ。朝鮮に於け

る内地人の活動についてのべよ。

○日韓併合後の朝鮮人の文化の發達についてのべよ。

○次の間に答へよ。

鎮海 東萊 大邱 大田 木浦 群山 蔚山 慶州

金剛山 元山 開城 鎮南浦 仁川 龍巖浦 白頭山

羅南 龍山 會寧 雄基 清津 新義州 平壤。

○産業上から見た朝鮮と内地との關係についてのべよ。

○内鮮の融和について考へよ。

關 東 州

○關東州を租借するに至つた事情をのべよ。

○滿洲の門戸としての關東州の位置についてのべよ。

○關東州の主要産業をのべよ。

○南滿洲鐵道會社の事業を概説せよ。歐亞交通上から見た

南滿洲鐵道についてのべよ。内地と關東州との交通上の

連絡についてのべよ。

○商港としての大連市についてのべよ。大連市街の特色を

語れ。

○旅順地方へ修學旅行の際見學すべき場所の案内記をつくれ。

○わが國防上から見た關東州の租借について考へよ。

南 洋 群 島

○委任統治地の意義及びわが國は舊獨逸領を委任統治した事情についてのべよ。

○南洋群島の島嶼をその成因から分類して説明せよ。

○海洋性氣候とは何か。南洋群島の氣候の特徴をのべよ。

○熱帯のこの地方に適する産業をあげよ。

○この地方の住民と其の教化の模様とをのべよ。

○内地とこの地方との交通の連絡をのべよ。

○次の間に答へよ。

アンガウル島、環礁、コロール、ヤップ島、ボナベ島、

トラツク島、サイパン島、スコール(驟雨)

○我が國防上から見たこの地方の位置を考へて見よ。

總 括

○日本列島・朝鮮半島の諸山脈の系統をのべよ。

○北日本と南日本との地形の相違点をあげよ。

○日本列島の火山脈をあげ是に屬する主な火山及び温泉を示せ。

○左の湖沼の所在縣名及びその成因をのべよ。

蘆湖 印旛沼 中禪寺湖 十和田湖 八郎潟 琵琶湖

網走湖 阿寒湖。

○わが國の主要平野五つをあげこの平野を灌溉する河川名と都會一つ宛をあげよ。

○本邦近海の海流を圖示し、又わが國の氣候との關係をのべよ。

○わが國の雨量の分布につきのべよ。表日本と裏日本と氣候を比較せよ。

○臺灣及び津輕海峽以北の地方にある特有の生物についてのべよ。

- わが國の農業及び農産物につき記せ。
- 次の間に答へよ。
- 米麥の主要産地、養蠶製絲の盛な地方、有名な炭田及び油田、有名な銅山及び鐵山、陶磁器及び漆器業の盛な地方、機械業の盛な地方、林産業及び水産業の盛な地方、牧畜の盛な地方。
- 京濱・阪神・北九州の三工業地帯の各の特色を比較せよ。
- わが國の重な造船地をあげよ。
- わが國の重要な輸出入品を列舉せよ。わが國の外國貿易につきのべよ。
- わが國の鐵道幹線についてのべよ。長崎から青森迄の鐵道幹線に沿つた市をあげその特色をのべよ。
- 大泊から東京を経て新義州に行く際にのるべき汽船航路及び鐵道線路を順記せよ。
- わが國の海運についてのべよ。日本海方面の海上交通をのべよ。

- わが國より外國に通じる主要海底電信線について語れ。
- わが國の無線電信局の所在地をあげよ。
- わが國の住民と主な移民地とをあげよ。
- わが國の人口の密度の最も大きい所と最も小さい所とをあげよ。
- わが國の行政組織をのべよ。
- わが國の師團司令部の所在地をあげよ。
- わが國の海軍區と鎮守府所在地とをあげよ。
- 在外帝國大公使館の所在地をあげよ。

附 録 (終)

昭和二年九月二十五日印
 昭和二年九月三十日發
 昭和二年十二月十七日訂正再版印刷
 昭和二年十二月二十日訂正再版發行

和昭 新日本地理

定 價 昭和三年臨時定價

金七拾四錢 金壹圓二十三錢

廣島高等師範學校附屬中學校

地 理 研 究 會

代表者 長谷川與三治

東京市神田區表神保町二番地

鈴 木 常 次 郎

大阪市東區博勞町五丁目五十六番地

鈴 木 常 松

不 許

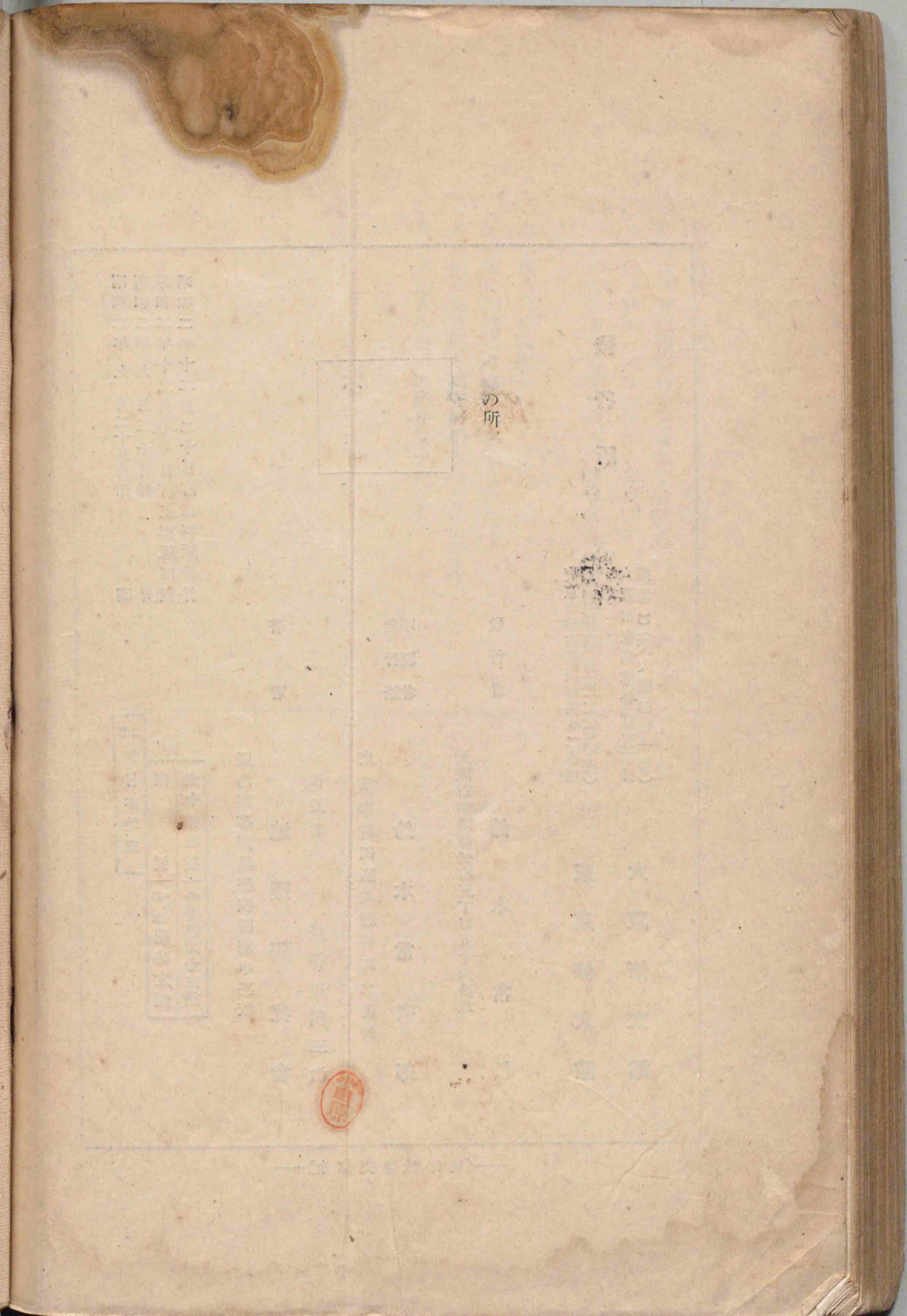
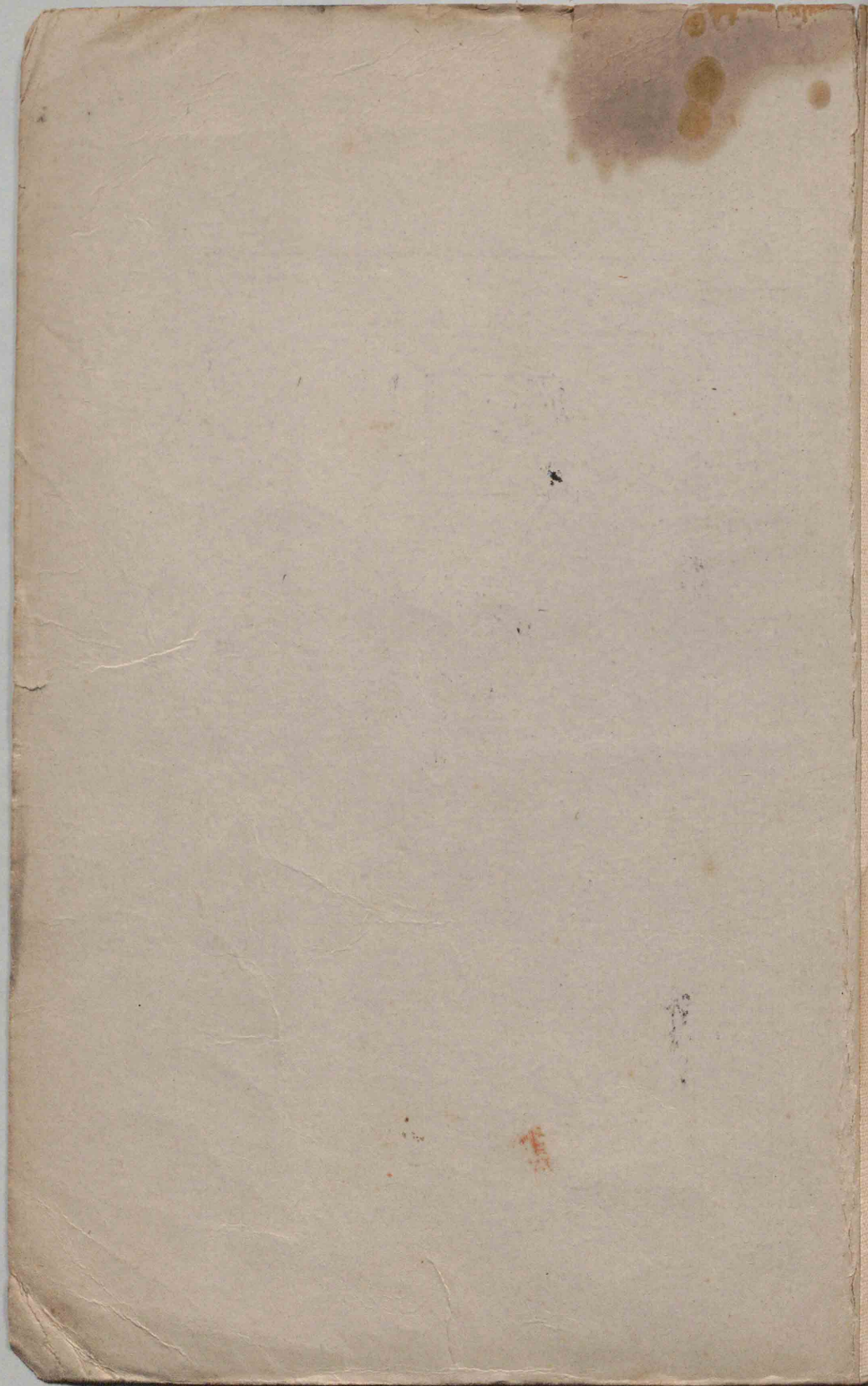
發 行 所

東京市神田區表神保町二番地
振替口座(東京二六四四番)

東 京 修 文 館

大阪市東區博勞町五丁目
振替口座(大阪四七一番)

大 阪 修 文 館



の所





広島大学図書

2000039361



庫
8
61